

大井町まちづくりアンケート調査

調査結果報告書

平成27年3月
大井町

目 次

第1編 大井町まちづくりアンケート調査

1.調査の概要.....	1
2.調査結果の概要.....	3
3.調査結果	
3.1 回答者の属性.....	5
3.2 大井町の将来像や今後のまちづくりについて	19
3.3 行政の施策や事業への取り組みについて	39
3.4 まちづくりへの参加と協力について	51
3.5 自由意見.....	61
4.資料編	
4.1 町民アンケート.....	63
4.2 職員アンケート.....	97
4.3 調査票.....	111

第2編 町外住民意向調査

1.調査の概要	
1.1 調査目的.....	135
1.2 調査対象.....	135
1.3 サンプル数	135
1.4 調査方法.....	135
1.5 調査期間.....	135
2.調査結果	
2.1 回答者の属性.....	137
2.2 回答結果.....	138

<第 1 編 大井町まちづくりアンケート調査>

1. 調査の概要

1. 調査の概要

1.1 調査の目的

本町では、第5次総合計画「おいきらめきプラン」(計画期間:平成23～32年度)に基づき、計画的なまちづくりを推進してきた。そして平成23年度から平成27年度までの計画である「前期基本計画」を見直し、平成28年度から平成32年度の大井町の基本的な方向を示す「後期基本計画」を策定する。

このアンケートは後期基本計画の策定にあたり、町民の方々の意見や希望を把握し、計画策定に反映させることを目的に実施した。

また、同じアンケートを町職員に対しても行い、計画策定に活用する。

1.2 調査方法

	住民アンケート	職員アンケート
対象地域	大井町全域	大井町役場
対象者	全町民(16歳以上の男女)	全職員
母集団	17,303人 (平成26年7月31日現在)	141人(育休等を除く) (平成26年4月1日現在)
標本数	3,000票	141票
抽出方法	無作為抽出	全職員
調査方法	郵送配布・回収	手渡し配布・回収
調査期間	平成26年8月14日(木) ～平成26年8月29日(金)	平成26年9月8日(月) ～平成26年9月11日(木)

1.3 回収率

	住民アンケート	職員アンケート
標本数	3,000票	141票
有効回収数	1,098票	141票
有効回収率	36.6%	100%

2. 調査結果の概要

2. 調査結果の概要

2.1 町民の属性について

- ・ 買い物、通院等の日常の生活圏については、「小田原市」が 71.7%と最も高く、「大井町」が前回の 11.5%（第 4 位）から 53.4%（第 2 位）と大幅に増加した。
- ・ 大井町での居住期間は、「20 年以上」が 43.2%と最も高く、次いで「10～19 年」が 16.9%、「生まれてからずっと」が 16.8%となっている。
- ・ 大井町に住み始めた理由は、「探していた条件に合った物件が見つかったから」が 26.9%と最も高く、次いで「親がいる又は持ち家があったから」21.2%、「大井町民と結婚したから」20.5%と続いている。
- ・ 大井町の住みよさは、前回の 64.7%から 57.3%に減少した。
- ・ 今後の居住意向は、「住み続けたい」、「住み続けても良い」が 78.8%であるが、20 歳代では 60.7%となっている。

2.2 大井町の将来像や今後のまちづくりについて

- ・ 大井町の強みや資源と思うものは、最も多かったのは「住環境が良い」（246 票）、以下「買物・外食に便利」（233 票）、「豊かな自然」（191 票）、「交通の利便性」（174 票）、「人間関係が良い」（111 票）となっている。職員も概ね同様の項目が上位に重なっている。
- ・ 人口と開発の関係については、「人口を少しずつ増加させるため、開発を行う」が 36.5%と最も高く、次いで「人口を増加させるため、開発を行う」が前回 14.8%から 21.4%に増加し、「人口も開発も成り行きにまかせてよい」が前回 17.4%から 9.8%に減少した。
- ・ 地球環境問題に関して取り組むべきことは、「太陽光や風力など自然エネルギー等の有効活用」が 43.3%（前回第 2 位）と最も高く、次いで「リサイクルの推進などゴミの減量」が前回 42.5%（第 1 位）から下がり 31.8%となった。
- ・ 整備を希望するものは、「防犯灯」が 42.1%と最も高く、次いで「信号・カーブミラー等の交通安全施設」が 30.1%、「公園」28.7%、「家のまわりの生活道路」28.1%、「子どもの遊び場」27.3%と続いている。「公園」は前回の 16.9%から大幅に増加した。
- ・ 健康増進施設として希望するものは、「公園、芝生広場」が 45.1%と最も高く、次いで「温浴施設」が 41.1%、「ランニング・ジョギングコース」31.3%、「プール・水泳教室」30.2%、「スポーツクラブ、ジム」20.0%、「パークゴルフ」16.7%となっている。20 歳代では、「プール、水泳教室」が 42.9%、「スポーツクラブ、ジム」39.3%と高く、60 歳以上では「パークゴルフ」が 25.8%と高い。
- ・ 行財政改革を進めるために取り組むべきことは、「行政組織の簡素・効率化」が 51.7%と最も高く、次いで「積極的でわかりやすい情報公開」が 33.5%、「行政業務の一部民営化など民間活力の導入」が 32.2%と続いている。

2.3 行政の施策や事業への取り組みについて

- ・ 満足度の高い順は、「水道事業」33.0%、「広報活動・広聴活動」32.3%、「消防・救急体制の整備」32.0%となっている
- ・ 満足度の低い順は、「地域資源を活用した観光振興」5.4%、「鉄道・バス路線網」6.4%、「商・工業の振興」7.2%となっている。
- ・ 重要度の高い順は、「消防・救急体制の整備」65.8%、「不法投棄防止対策や美化活動」64.6%、「歩道の整備」63.8%となっている。
- ・ 重要度の低い順は、「人権擁護活動」31.3%、「男女平等参画社会の推進」31.7%、「文化財の保護と活用」32.2%となっている。
- ・ 重要度が高く、満足度が低いものとして「鉄道・バス路線網」（重要度 63.3%、満足度 6.4%）、「公園・緑地の整備」（重要度 59.4%、満足度 11.0%）、「歩道の整備」（重要度 63.8%、満足度 16.5%）があげられる。

2.4 まちづくりへの参加と協力について

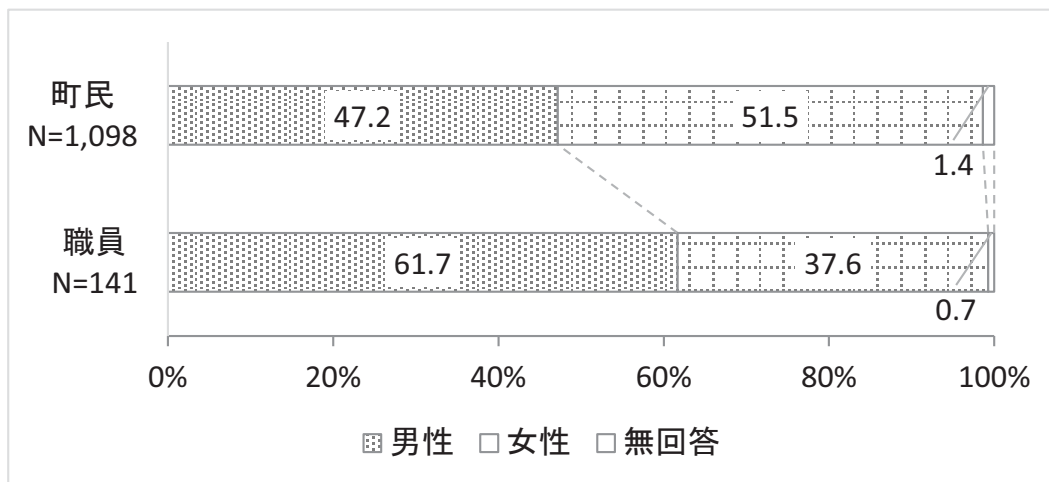
- ・ 町について特に知りたい情報は、「町が将来的に進める事業やその内容」が 38.7%と最も高く、次いで「町が現在実施している事業の内容や進みぐあい」29.9%、「町が抱えている課題」28.6%（前回 37.1%）となっている。
- ・ 地域づくりやまちづくり活動に対する関心は、関心のある方が 61.1%と前回の 66.5%、前々回の 69.9%から徐々に低下している。性別でみると関心のある方は男性 66.5%に対し、女性が 57.4%となっている。
- ・ 町に対する意見の伝え方としては、「アンケート調査で十分である」が 32.5%と目立って高く、次いで「町民の自主的な集まりがあれば参加したい」12.0%、「議員や専門家にまかせる」11.2%と続いている。
- ・ まちづくりについての自由意見では、「まちづくり全体」「情報公開・開示」「環境共生」「生活環境」「ごみ」「都市整備」「公共交通」「安全・安心」「福祉健康」「産業振興」「教育文化」「行財政」「住民参加」に概ね分類される。

3. 調查結果

3. 調査結果

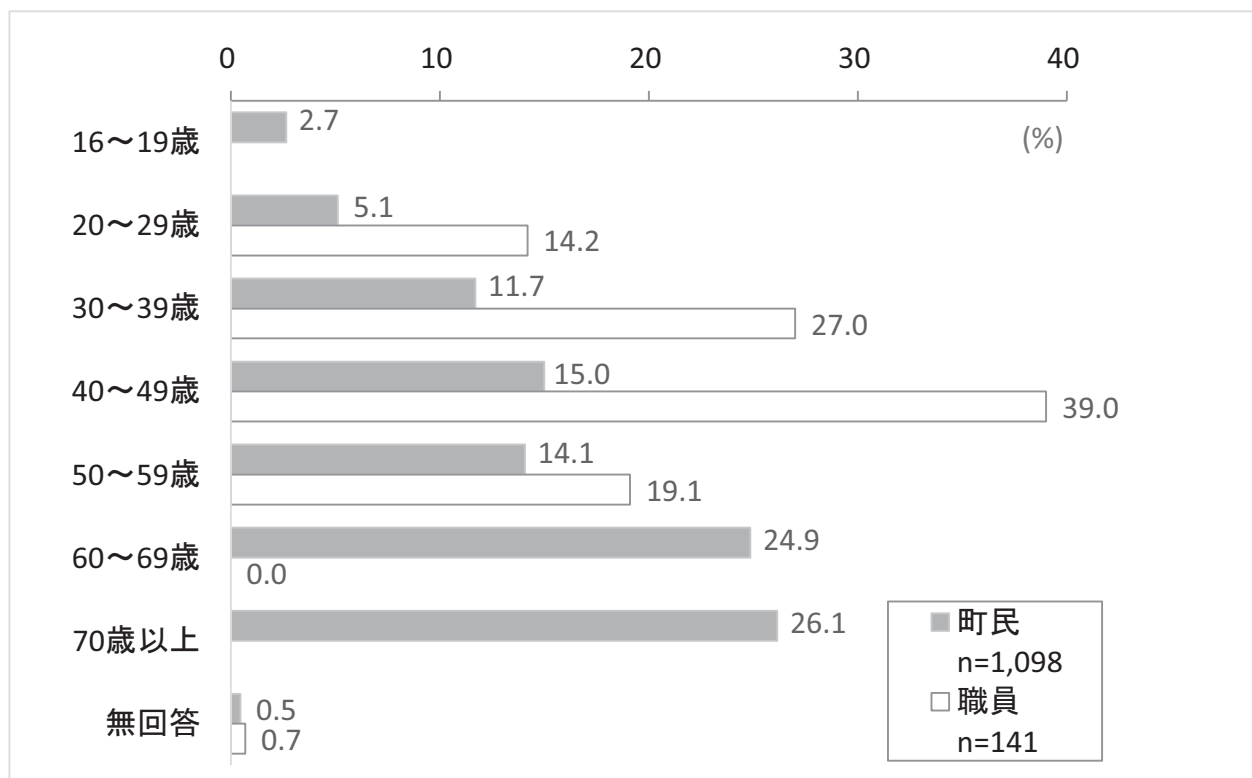
3.1 回答者の属性

問1 あなたの性別を教えてください。



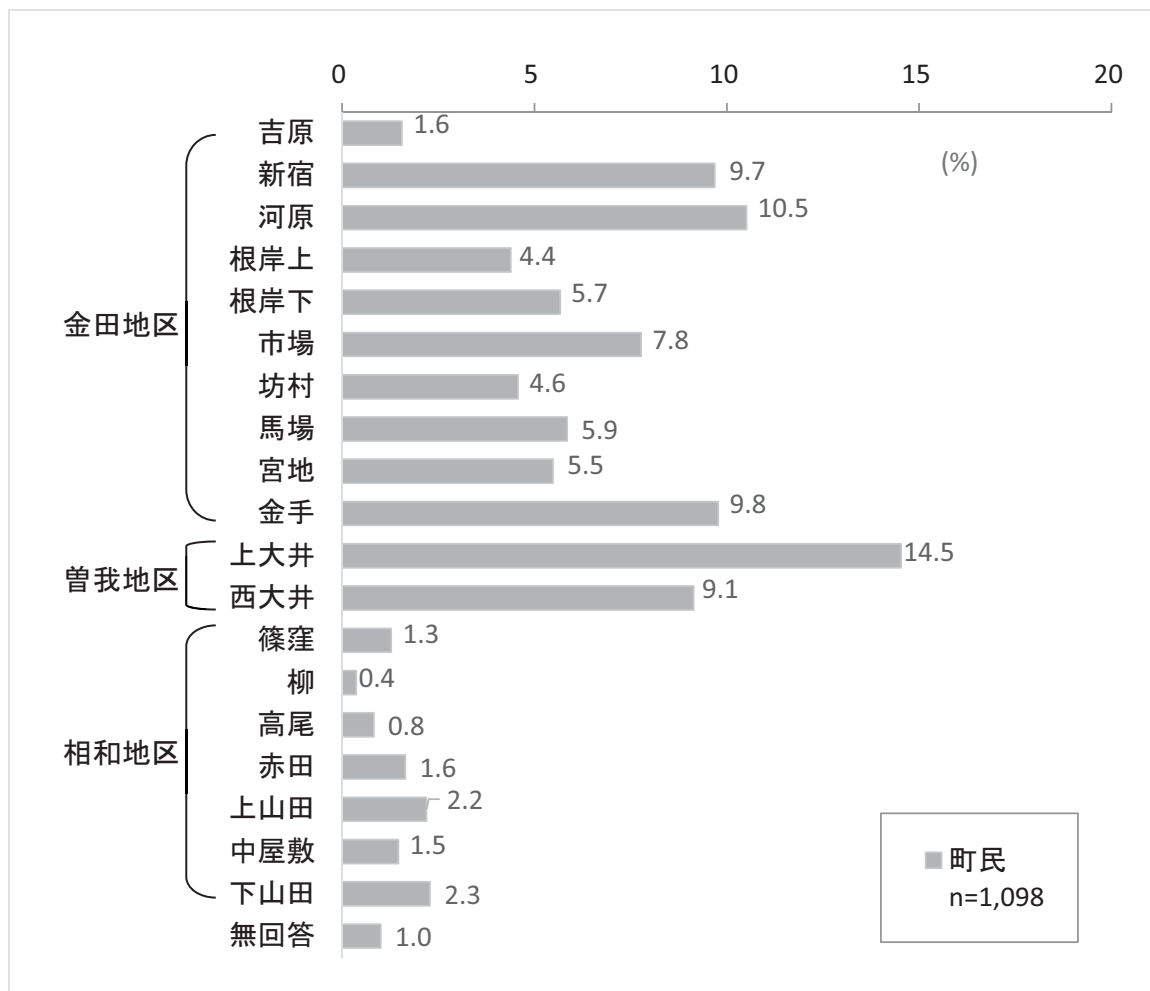
町民の性別は、「男性」が47.2%、「女性」が51.5%となっている。職員の性別は、「男性」が61.7%、「女性」が37.6%となっている。町民は、「女性」が「男性」よりやや高くなっているのに対し、職員は「男性」が約6割と「女性」の約4割を上回っている。

問2 あなたの年齢を教えてください。



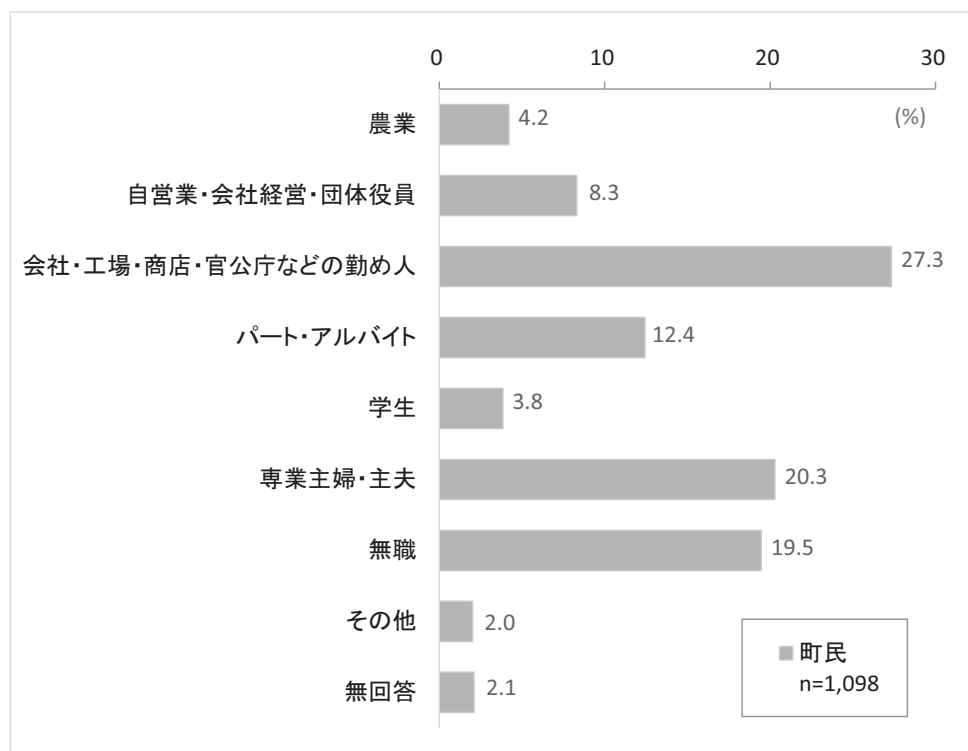
町民の年齢は「70歳以上」が26.1%と最も高く、次いで「60～69歳」が24.9%となっている。職員は、「40～49歳」が39.0%と最も高く、次いで「30～39歳」が27.0%、「50歳以上」が19.1%となっている。町民はやや高齢層に偏っているのに対し、職員は30～40代に偏っている。

問3 あなたのお住まいの自治会（地区）は次のうちどれですか。（○は1つだけ）



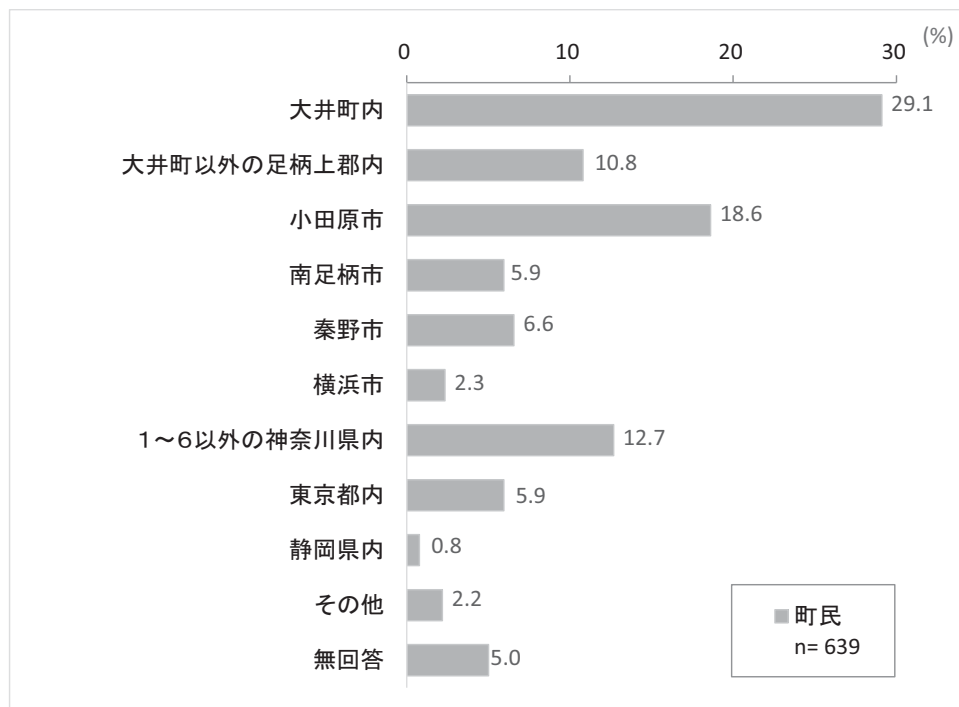
居住地区は、「上大井」が 14.5%と最も高く、次いで「河原」が 10.5%、「金手」が 9.8%となっている。

問 4 あなたのご職業を教えてください。兼業の方は主な職業についてのみお答えください。



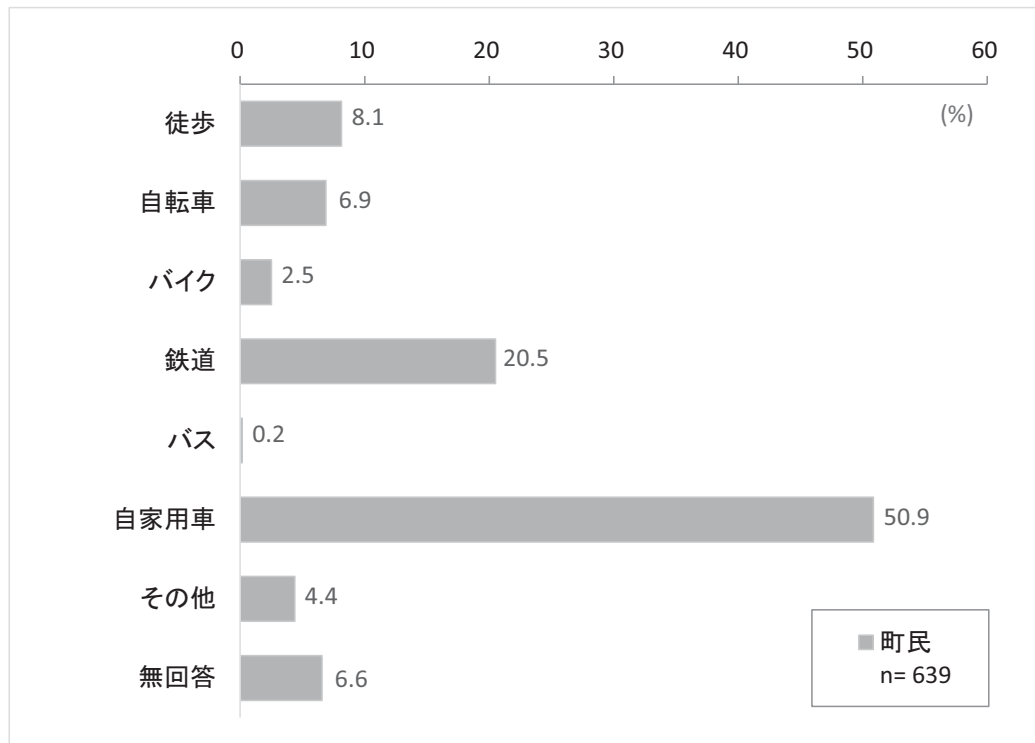
職業は、「会社・工場・商店・官公庁などの勤め人」が 27.3%と最も高く、次いで「専業主婦・主夫」が 20.3%、「無職」が 19.5%となっている。

問 4－1 あなたの勤務地・通学地を教えてください。



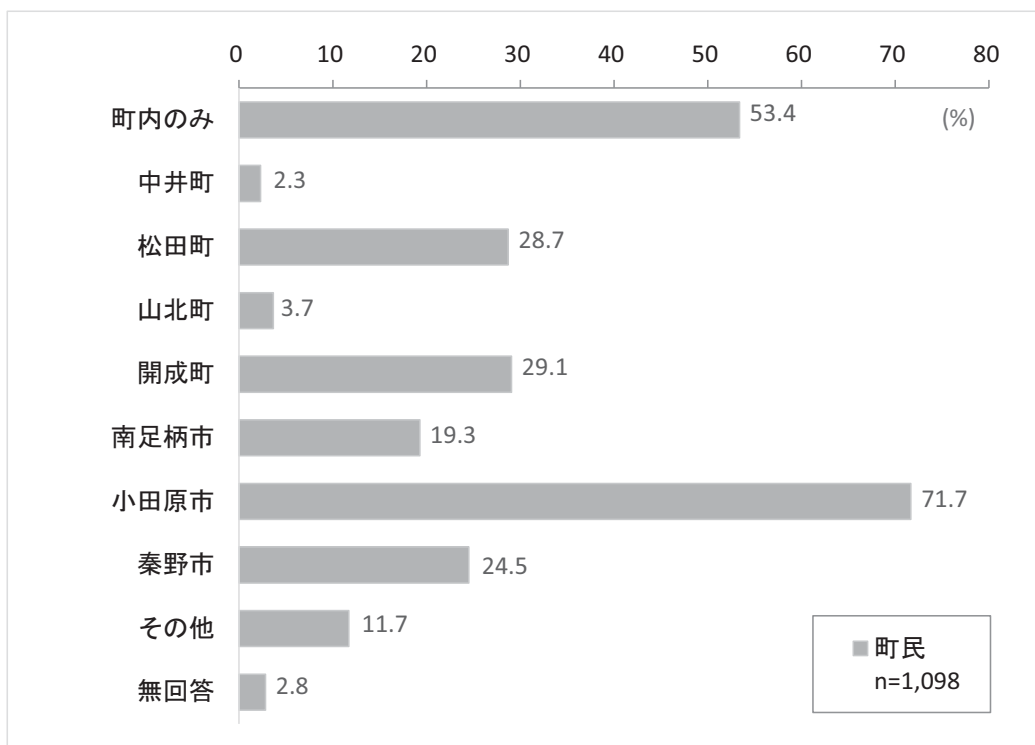
勤務地・通学地は、「大井町内」が 29.1%と最も高く、次いで「小田原市」が 18.6%、「1～6以外の神奈川県内」が 12.7%となっている。

問４－２ 主な通勤・通学の交通手段は何ですか。



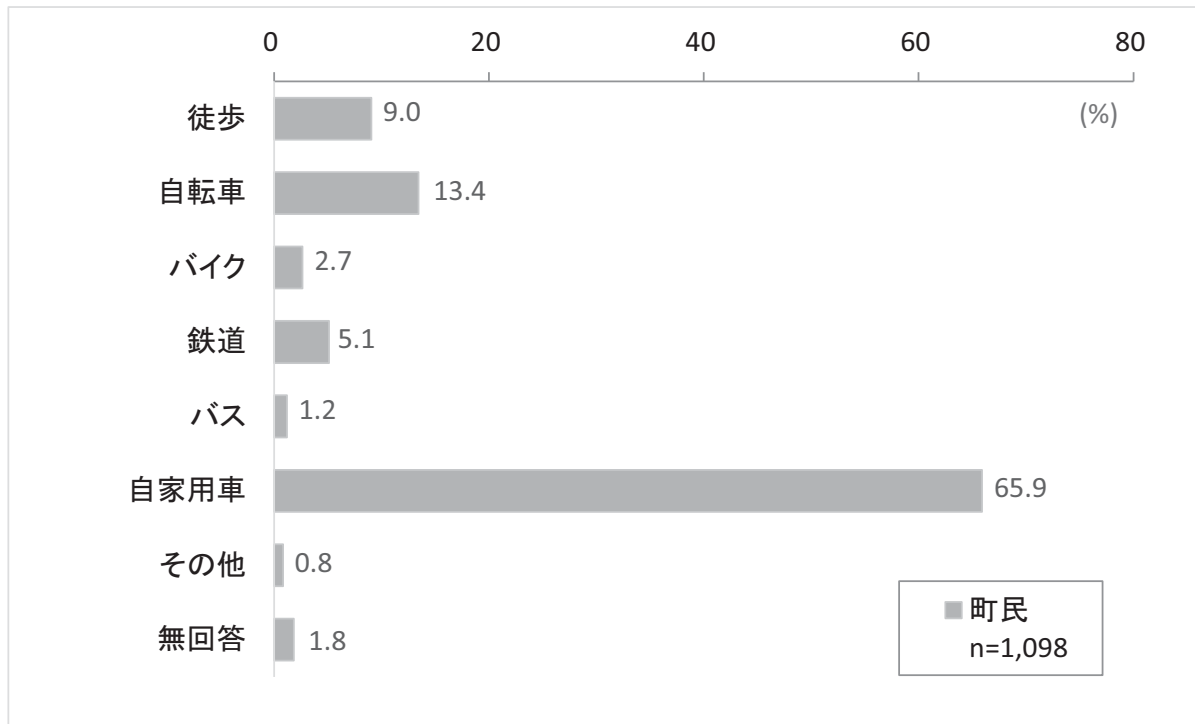
通勤・通学の交通手段は、「自家用車」が 50.9%と大変高く、次いで「鉄道」が 20.5%となっている。

問５ 通勤・通学以外での買物、通院など日常の生活圏は、どの範囲ですか。



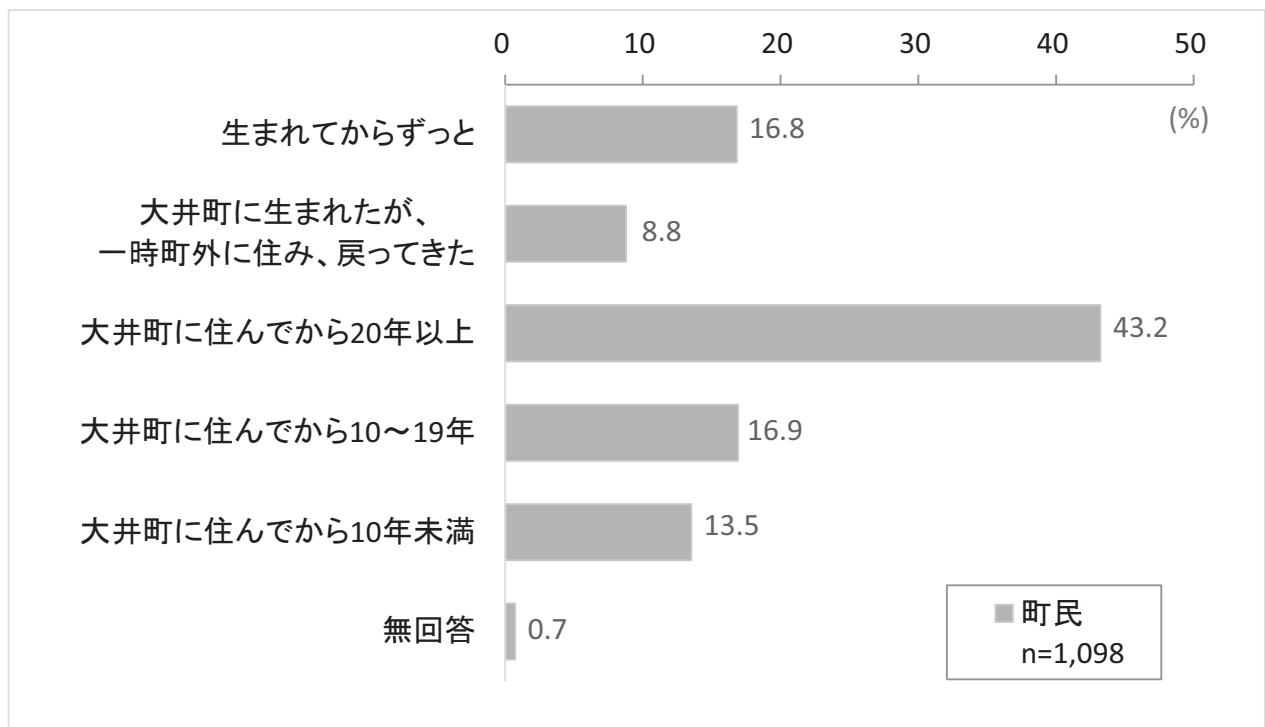
通勤・通学以外の日常の生活圏は、「小田原市」が 71.7%と最も高く、次いで「町内のみ」が 53.4%、「開成町」が 29.1%、「松田町」が 28.7%となっている。

問6 あなたの日常生活における主な交通手段は何ですか。



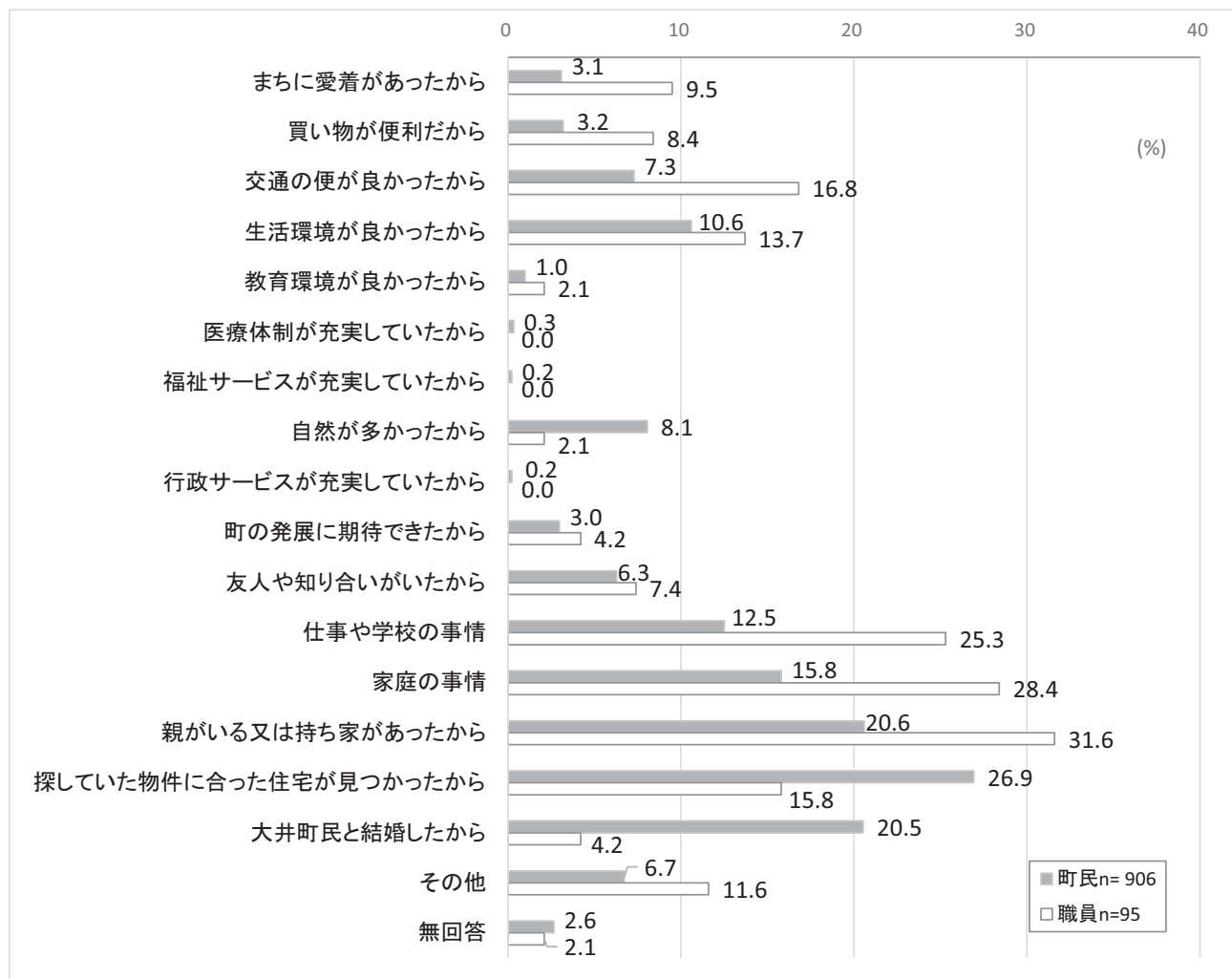
日常における交通手段は、「自家用車」が 65.9%と突出して高くなっている。

問7 あなたは大井町に住んで、どれくらいになりますか。



住民の居住年数は、「大井町に住んでから 20 年以上」が 43.2%と最も高く、次いで「大井町に住んでから 10～19 年」が 16.9%、「生まれてからずっと」が 16.8%となっている。

問8 あなたが大井町に住み始めた理由は何ですか。



※職員は「今のところに住み始めた理由」を回答

大井町に住み始めた理由としては、町民アンケートでは「探していた物件に合った住宅が見つかったから」が 26.9%と最も高く、以下「親がいる又は持ち家があったから」(20.6%)、「大井町民と結婚したから」(20.5%) となっている。

職員アンケートでは「親がいる又は持ち家があったから」が 31.6%と最も高く、以下「家庭の事情」(28.4%)、「仕事や学校の事情」(25.3%) となっている。

町民アンケートと職員アンケートを比較してみると、「大井町民と結婚したから」や「探していた物件に合った住宅が見つかったから」において職員より町民のほうが 10 ポイント以上高くなっている一方、「仕事や学校の事情」「家庭の事情」「親がいる又は持ち家があったから」では町民より職員のほうが 10 ポイント以上高くなっている。

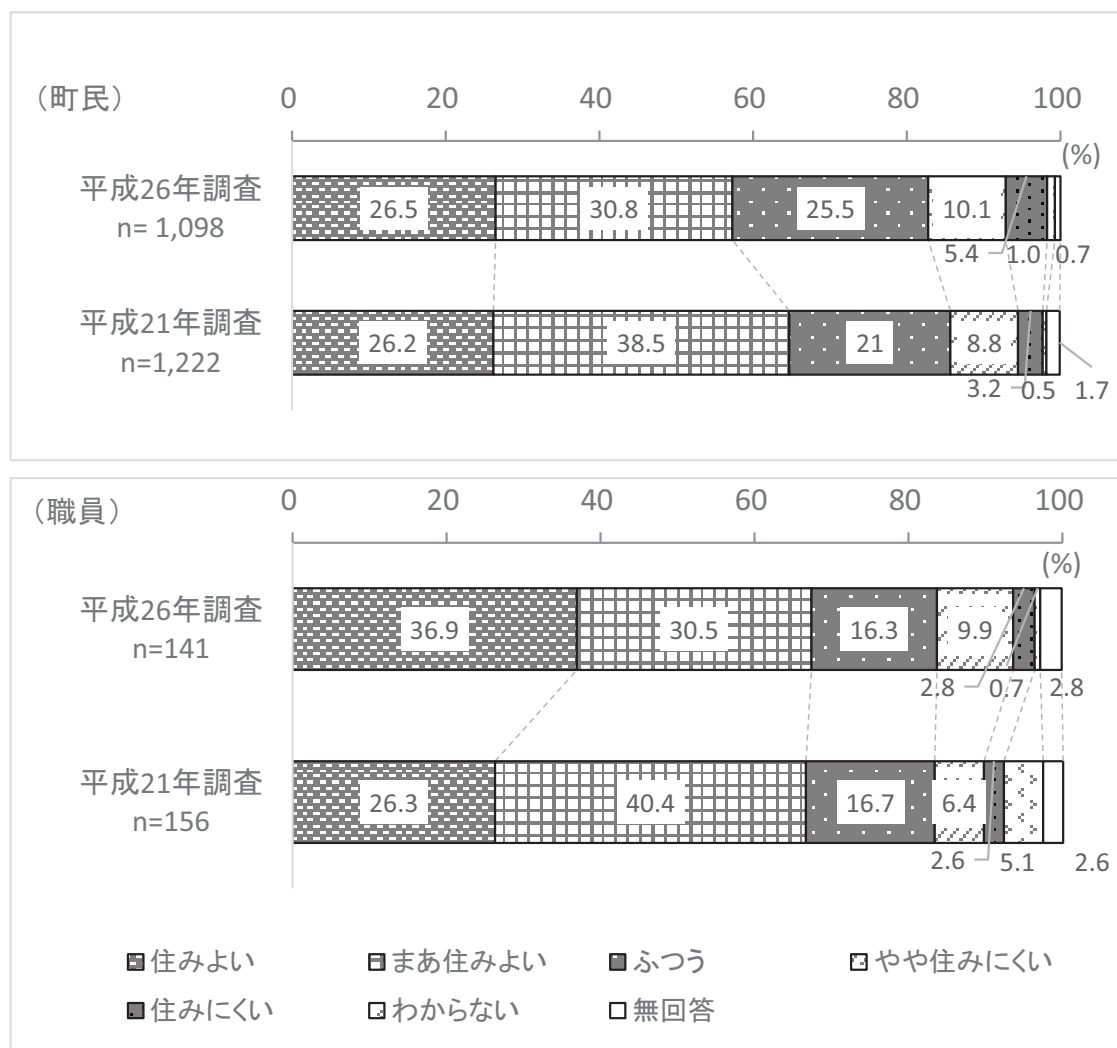
		全体	1位		2位		3位	
全体		n=906	探していた物件に合った住宅が見つかったから	26.9	親がいる又は持ち家があったから	20.6	大井町民と結婚したから	20.5
性別	男性	n=388	探していた物件に合った住宅が見つかったから	27.3	親がいる又は持ち家があったから	23.5	仕事や学校の事情	17.3
	女性	n=505	大井町民と結婚したから	29.3	探していた物件に合った住宅が見つかったから	25.9	親がいる又は持ち家があったから	19.0
年齢別	16～19歳	n=13	家庭の事情	53.8	親がいる又は持ち家があったから	38.5	探していた物件に合った住宅が見つかったから	15.4
	20～29歳	n=30	親がいる又は持ち家があったから	43.3	仕事や学校の事情	16.7	探していた物件に合った住宅が見つかったから／町の発展に期待できなかったから／その他	6.7
	30～39歳	n=107	親がいる又は持ち家があったから	29.0	探していた物件に合った住宅が見つかったから	28.0	家庭の事情	20.6
	40～49歳	n=148	親がいる又は持ち家があったから	29.7	探していた物件に合った住宅が見つかったから	29.1	家庭の事情	16.2
	50～59歳	n=134	探していた物件に合った住宅が見つかったから	29.1	大井町民と結婚したから	25.4	親がいる又は持ち家があったから	20.9
	60～69歳	n=236	探していた物件に合った住宅が見つかったから	33.5	大井町民と結婚したから	23.7	親がいる又は持ち家があったから	14.4
	70歳以上	n=235	探していた物件に合った住宅が見つかったから	20.4	大井町民と結婚したから	17.4	生活環境が良かったから	14.9
地区別	金田地区	n=606	探していた物件に合った住宅が見つかったから	30.5	親がいる又は持ち家があったから	18.0	家庭の事情	16.7
	曾我地区	n=226	大井町民と結婚したから	26.1	親がいる又は持ち家があったから	23.5	探していた物件に合った住宅が見つかったから	23.0
	相和地区	n=67	大井町民と結婚したから	38.8	親がいる又は持ち家があったから	35.8	自然が多かったから	11.9

性別にみると、女性の1位は「大井町民と結婚したから」となっているが2位、3位は全体の傾向と同様である。

年齢別にみると、19歳以下では「家庭の事情」が1位となっており、20～29歳、30～39歳、40～49歳では「親がいる又は持ち家があったから」となっており、50歳以上では「探していた物件に合った住宅が見つかったから」となっており、年代によって大きく異なる。

地区別にみると、金田地区では「探していた物件に合った住宅が見つかったから」が1位となっているが、曾我地区、相和地区では「大井町民と結婚したから」が1位となっている。

問9 あなたにとって大井町は、住みよいところですか。



大井町の住みよさは、町民アンケートでは「まあ住みよい」が30.8%と最も高いが、平成21年調査での38.5%から低くなっている。「住みよい」「まあ住みよい」と合わせると57.3%であり、平成21年調査(64.7%)から下回っている。

職員アンケートでは、「住みよい」が36.9%と最も高く、平成21年調査と比較しても約10ポイント高くなっている。「住みよい」「まあ住みよい」と合わせると67.4%であり、平成21年調査(66.7%)に比べ大きな変化は見られない。

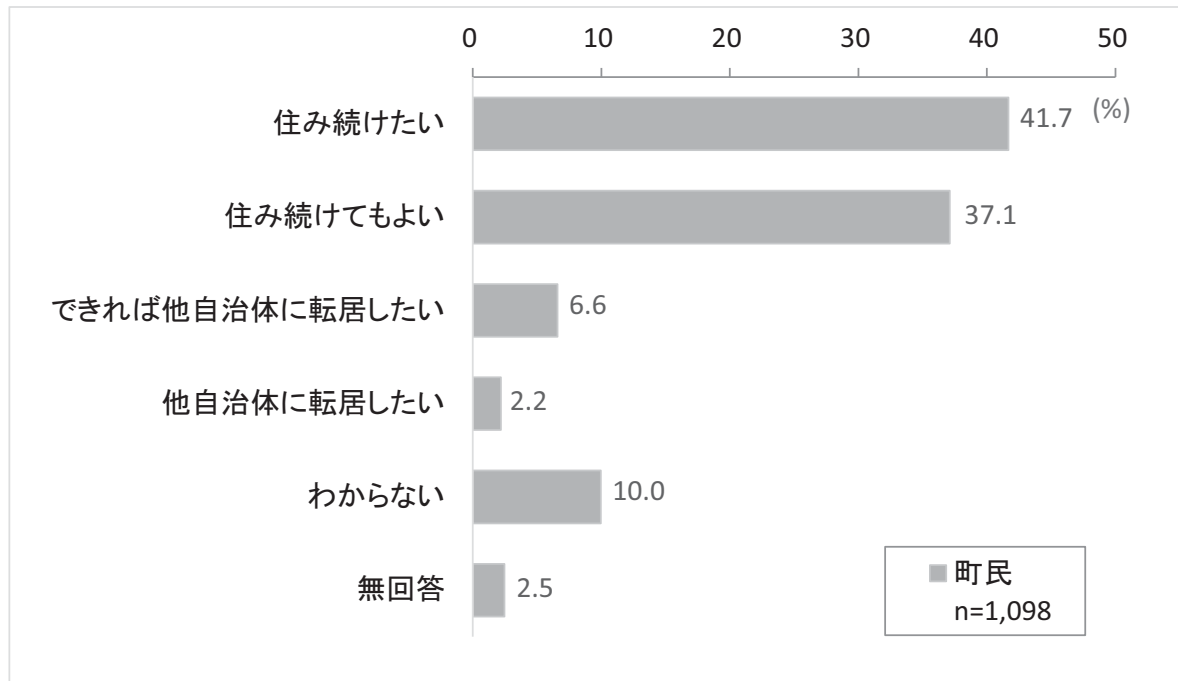
		全体	1位		2位		3位	
全体		n=1,098	まあ住みよい	30.8	住みよい	26.5	ふつう	25.5
性別	男性	n=517	まあ住みよい	30.6	住みよい	28.6	ふつう	26.3
	女性	n=566	まあ住みよい	30.9	住みよい	24.9	ふつう	24.4
年齢別	16～19歳	n=29	住みよい	27.6	まあ住みよい	27.6	ふつう	24.1
	20～29歳	n=56	まあ住みよい	28.6	住みよい	23.2	ふつう	21.4
	30～39歳	n=129	まあ住みよい	42.6	ふつう	24.8	住みよい	16.3
	40～49歳	n=166	まあ住みよい	30.1	住みよい	25.3	ふつう	24.7
	50～59歳	n=155	住みよい	29.7	まあ住みよい	26.5	ふつう	22.6
	60～69歳	n=272	まあ住みよい	32.0	ふつう	27.6	住みよい	27.2
	70歳以上	n=286	住みよい	29.7	まあ住みよい	28.3	ふつう	26.2
地区別	金田地区	n=716	住みよい	30.4	まあ住みよい	29.9	ふつう	26.0
	曾我地区	n=261	まあ住みよい	35.6	ふつう	24.1	住みよい	19.5
	相和地区	n=110	まあ住みよい	26.4	ふつう	23.6	住みよい	19.1

性別にみると、大差はみられず、全体の傾向と同様である。

年齢別にみると、16～19歳や50～59歳、70歳以上において1位に「住みよい」、2位「まあ住みよい」となっており、全体の傾向と順位が異なっている。

地区別にみると、金田地区において1位に「住みよい」、2位「まあ住みよい」となっており、全体の傾向と順位が異なっている。曾我地区、相和地区では全体の傾向と異なり2位「ふつう」、3位が「住みよい」になっており、全体の傾向とは順位が異なっている。

問 10 あなたは、大井町に引き続き住みたいですか。



今後の居住については「住み続けたい」が 41.7%と最も高く、「住み続けてもよい」(37.1%) と合わせると 78.8%を占めている。

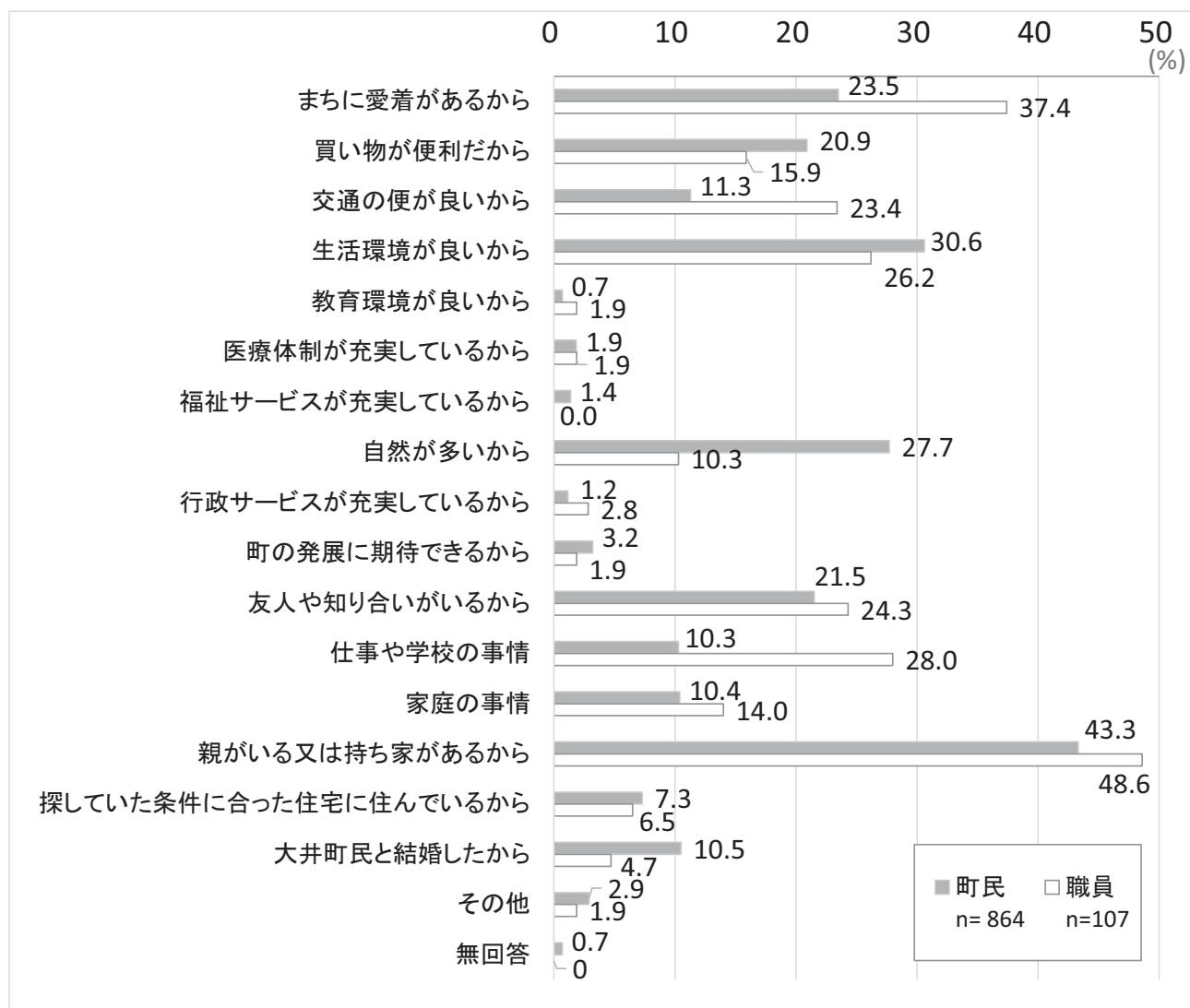
		全体	1位		2位		3位	
全体		n=1,098	住み続けたい	41.7	住み続けてもよい	37.1	わからない	10.0
性別	男性	n=517	住み続けたい	43.7	住み続けてもよい	35.6	わからない	9.7
	女性	n=566	住み続けたい	39.4	住み続けてもよい	39.2	わからない	9.4
年齢別	16～19歳	n=29	わからない	34.5	住み続けたい	27.6	住み続けてもよい	27.6
	20～29歳	n=56	住み続けてもよい	37.5	住み続けたい	23.2	わからない	17.9
	30～39歳	n=129	住み続けてもよい	45.0	住み続けたい	27.9	できれば他自治体に転居したい	8.5
	40～49歳	n=166	住み続けてもよい	41.6	住み続けたい	34.9	わからない	11.4
	50～59歳	n=155	住み続けたい	41.9	住み続けてもよい	41.3	できれば他自治体に転居したい	8.4
	60～69歳	n=272	住み続けたい	41.9	住み続けてもよい	41.5	わからない	8.8
	70歳以上	n=286	住み続けたい	55.2	住み続けてもよい	25.9	わからない	7.0
地区別	金田地区	n=716	住み続けたい	43.9	住み続けてもよい	36.2	わからない	10.1
	曾我地区	n=261	住み続けてもよい	39.8	住み続けたい	35.6	わからない/できれば他自治体に転居したい	9.6
	相和地区	n=110	住み続けたい	40.0	住み続けてもよい	37.3	わからない	10.9

性別にみると、大差はみられず、全体の傾向と同様である。

年齢別にみると、60歳以上では全体の傾向と同様であるが、30～39歳及び50～59歳では3位に「できれば他自治体に転居したい」となっており、全体の傾向とは項目や順位が異なっている。

地区別にみると、金田地区及び相和地区は全体の傾向と同様であるが、曾我地区では1位「住み続けてもよい」2位「住み続けたい」3位「わからない/できれば他自治体に転居したい」となっており、全体の傾向と項目や順位が異なっている。

問 10-1 「住み続けたい」、「住み続けてもよい」とした理由は何ですか。



今後も住み続けたい理由としては、町民アンケートでは「親がいる又は持ち家があるから」が43.3%と最も高く、以下「生活環境が良いから」(30.6%)、「自然が多いから」(27.7%) となっている。

職員アンケートでは「親がいる又は持ち家があるから」が48.6%と最も高く、以下「まちに愛着があるから」(37.4%)、「仕事や学校の事情」(28.0%) となっている。

町民アンケートと職員アンケートを比較してみると、「自然が多いから」が職員より町民のほうが10ポイント以上高くなっている一方、「仕事や学校の事情」、「まちに愛着があるから」「交通の便が良いから」においては町民より職員のほうが10ポイント以上高くなっている。

		全体	1位	2位	3位
全体		n=864	親がいる又は 持ち家があるから 43.3	生活環境が良いから 30.6	自然が多いから 27.7
性別	男性	n=410	親がいる又は 持ち家があるから 42.7	生活環境が良いから 31.7	まちに愛着があるから 29.5
	女性	n=445	親がいる又は 持ち家があるから 44.7	自然が多いから 30.6	生活環境が良いから 29.4
年齢別	16～19歳	n=16	まちに愛着があるから 68.8	生活環境が良いから 37.5	自然が多いから 37.5
	20～29歳	n=34	まちに愛着があるから 44.1	生活環境が良いから 32.4	自然が多いから 32.4
	30～39歳	n=94	親がいる又は 持ち家があるから 43.6	仕事や学校の事情 25.5	生活環境が良いから 24.5
	40～49歳	n=127	親がいる又は 持ち家があるから 45.7	生活環境が良いから 26.0	まちに愛着があるから/ 自然が多いから 16.5
	50～59歳	n=129	親がいる又は 持ち家があるから 49.6	生活環境が良いから 30.2	買い物が便利だから 24.8
	60～69歳	n=227	親がいる又は 持ち家があるから 40.1	自然が多いから 34.8	生活環境が良いから 29.5
	70歳以上	n=232	親がいる又は 持ち家があるから 41.8	生活環境が良いから 35.8	自然が多いから 32.3
地区別	金田地区	n=573	親がいる又は 持ち家があるから 40.0	生活環境が良いから 33.3	自然が多いから 25.0
	曾我地区	n=197	親がいる又は 持ち家があるから 45.7	自然が多いから 28.4	生活環境が良いから 27.9
	相和地区	n=85	親がいる又は 持ち家があるから 61.2	自然が多いから 45.9	まちに愛着があるから 25.9

性別にみると、男女ともに1位は「親がいる又は持ち家があるから」と全体の順位と同様であるが、男性は3位に「まちに愛着があるから」、女性は2位に「自然が多いから」となっており、全体の傾向と比べて項目と順位が異なっている。

年齢別にみると、30歳以上では1位「親がいる又は持ち家があるから」と全体の順位と同様であるが、29歳以下では1位が「まちに愛着があるから」となっており、全体の傾向と順位と項目が異なっている。また、30～39歳では「仕事や学校の事情」が2位、50～59歳では3位に「買い物が便利だから」となっており、全体の傾向と比べて順位と項目が異なっている。

地区別にみると、いずれの地区も1位は全体の項目と同様に「親がいる又は持ち家があるから」となっており、特に相和地区では61.2%と他地区や全体と比較してポイントが10ポイント以上高い値を示している。金田地区では全体の傾向と同様である。また曾我地区及び相和地区では2位が「自然が多いから」となっており、全体の傾向と順位が異なっている。

3.2 大井町の将来像や今後のまちづくりについて

問 11 あなたは、大井町と他の自治体とを比べたときの「大井町の強み」や「大井町の資源」は何だと思いますか。

(町民)

順位	分類	項目	票数	構成比(%)
1位	生活	住環境が良い	246	14.9
2位	生活	買物・外食に便利	233	14.1
3位	自然	豊かな自然	191	11.5
4位	交通	交通の利便性	174	10.5
5位	人	人間関係が良い	111	6.7
6位	自然	酒匂川の清流	85	5.1
7位	教育文化	ひょうたん祭	71	4.3
8位	交通	大井松田 IC	62	3.7
9位	自然	自然環境が良い	45	2.7
10位	自然	おいしい水	44	2.7
11位	交通	東名高速	25	1.5
12位	安全・安心	災害が少ない	22	1.3
13位	自然	富士山	20	1.2
14位	その他	特にない	17	1.0
15位	人	地域のつながり	16	1.0
16位	自然	気候が良い	15	0.9
17位	生活	国道 255 号の沿道サービス	13	0.8
18位	生活	静かな環境	12	0.7
19位	生活	田園風景	11	0.7
20位	人	近所づきあい	10	0.6
21位	人	人の良さ	10	0.6
22位	交通	観光地に近い	9	0.5
23位	交通	国道 255 号	9	0.5
24位	行政	町政	9	0.5
25位	土地	土地が広い	9	0.5
26位	教育文化	スポーツ	6	0.4
27位	自然	おいしい空気	5	0.3
28位	教育文化	祭囃子	5	0.3
29位	施設	第一生命	5	0.3
30位	自然	眺望	5	0.3
31位	自然	平地が多い	5	0.3
32位	教育文化	ひょうたん	4	0.2
33位	安心・安全	安心・安全	4	0.2
34位	施設	公共施設が充実	4	0.2
35位	生活	豊かな農産物	4	0.2
		その他	138	8.3
		合計	1,654	100.0

（職員）

順位	分類	項目	票数	構成比 (%)
1位	自然	豊かな自然	32	13.7
2位	交通	交通の利便性	24	10.3
3位	生活	住環境が良い	18	7.7
4位	交通	大井松田 IC	15	6.4
5位	生活	買物・外食に便利	15	6.4
6位	人	人間関係が良い	12	5.1
7位	自然	富士山	12	5.1
8位	自然	自然環境	11	4.7
9位	人	人の良さ	8	3.4
10位	教育文化	ひょうたん	7	3.0
11位	自然	酒匂川の清流	6	2.6
12位	人	地域のつながり	6	2.6
13位	自然	景観	5	2.1
14位	生活	国道 255 号の沿道サービス	5	2.1
15位	交通	東名高速	4	1.7
16位	自然	おいしい水	3	1.3
17位	生活	コンパクト	3	1.3
18位	生活	バランスが良い	3	1.3
19位	教育文化	ひょうたん祭	3	1.3
20位	安心・安全	災害が少ない	3	1.3
		その他	39	16.7
		合計	234	100.0

大井町の強みや資源と思うものは、町民アンケートにおいて上位 10 項目をみると、自然に関する項目が 4 項目、生活や交通に関する項目がそれぞれ 2 項目となり、豊かな自然と生活の暮らしやすさに関連することが強みや資源と考えられていることが伺われる。

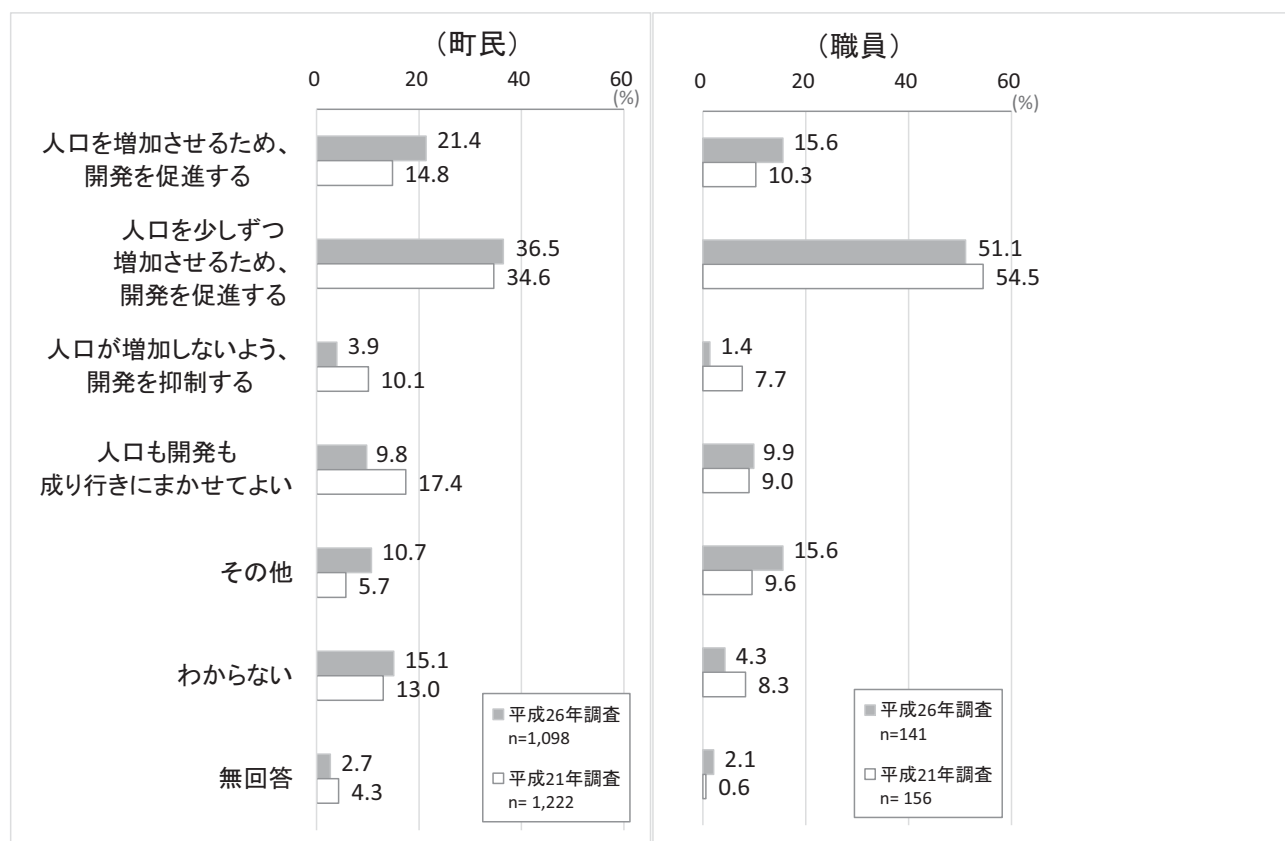
最も多かったのは「住環境が良い」246 票、以下「買物・外食に便利」（233 票）、「豊かな自然」（191 票）、「交通の利便性」（174 票）、「人間関係が良い」（111 票）となっている。

一方、職員アンケートにおいて上位 10 項目をみると、自然に関する項目が 3 項目、生活や交通に関する項目がそれぞれ 2 項目となり、町民アンケートと同様の傾向が見られる。

最も多かったものは「豊かな自然」32 票、以下「交通の利便性」（24 票）、「住環境が良い」（18 票）、「大井松田 IC」（15 票）、「買物・外食に便利」（15 票）となっている。

町民アンケートと職員アンケートを比較すると、上位 10 項目中「住環境が良い」「買物・外食に便利」「豊かな自然」をはじめとする 6 項目が町民と職員で共通しており、大井町の強みや資源と思うものの傾向は町民と職員で概ね同様であるといえる。

問 12 大井町の人口は近年、減少傾向にあります。これからの人口と開発との関係についてあなたの考えに最も近いものは何ですか。(〇は1つまで)



人口と開発の関係についての考えでは、町民アンケートでは「人口を少しずつ増加させるため、開発を促進する」が36.5%と最も高く、次いで「人口を増加させるため、開発を促進する」が21.4%となっている。

平成21年の調査と比較すると、「人口も開発も成り行きにまかせてよい」(9.8%)では、平成21年調査時の17.4%に比べて低くなっている。

職員アンケートでは、「人口を少しずつ増加させるため、開発を促進する」が51.1%と最も高く、次いで「人口を増加させるため、開発を促進する」が15.6%となっている。

平成21年の調査と比較すると、「人口が増加しないよう、開発を抑制する」(1.4%)では、平成21年調査時の7.7%に比べて低くなっている。

町民アンケートと職員アンケートを比較してみると、「人口を少しずつ増加させるため、開発を促進する」は、町民の36.5%に比べて職員は51.1%と目立って高くなっている。

【属性別】

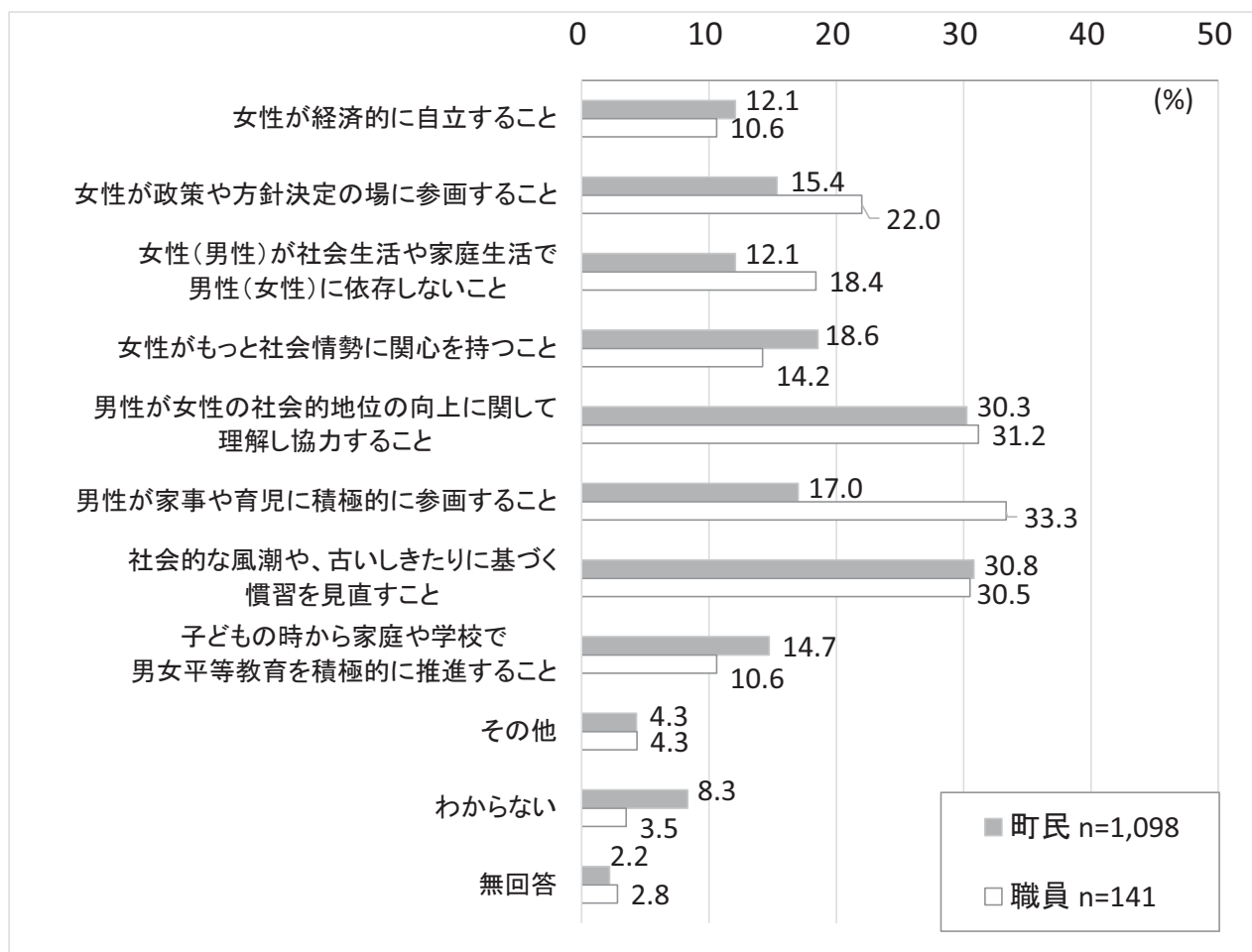
		全体	1位	2位	3位
全体		n=1,098	人口を少しずつ増加させるため、開発を促進する 36.5	人口を増加させるため、開発を促進する 21.4	わからない 15.1
性別	男性	n=517	人口を少しずつ増加させるため、開発を促進する 39.5	人口を増加させるため、開発を促進する 20.1	その他 12.4
	女性	n=566	人口を少しずつ増加させるため、開発を促進する 33.9	人口を増加させるため、開発を促進する 22.6	わからない 19.3
年齢別	16～19歳	n=29	人口を少しずつ増加させるため、開発を促進する 41.4	人口も開発も成り行きにまかせてよい 17.2	わからない 17.2
	20～29歳	n=56	人口を少しずつ増加させるため、開発を促進する 32.1	人口を増加させるため、開発を促進する 25.0	わからない 16.1
	30～39歳	n=129	人口を少しずつ増加させるため、開発を促進する 45.0	人口を増加させるため、開発を促進する 21.7	その他 14.0
	40～49歳	n=166	人口を少しずつ増加させるため、開発を促進する 28.9	人口を増加させるため、開発を促進する 26.5	わからない 14.5
	50～59歳	n=155	人口を少しずつ増加させるため、開発を促進する 32.9	その他 18.7	人口を増加させるため、開発を促進する 17.4
	60～69歳	n=272	人口を少しずつ増加させるため、開発を促進する 40.1	人口を増加させるため、開発を促進する 18.8	わからない 13.6
	70歳以上	n=286	人口を少しずつ増加させるため、開発を促進する 36.4	人口を増加させるため、開発を促進する 23.1	わからない 16.8
地区別	金田地区	n=716	人口を少しずつ増加させるため、開発を促進する 37.6	人口を増加させるため、開発を促進する 21.5	わからない 15.2
	曾我地区	n=261	人口を少しずつ増加させるため、開発を促進する 37.5	人口を増加させるため、開発を促進する 19.2	わからない 13.0
	相和地区	n=110	人口を少しずつ増加させるため、開発を促進する 30.0	人口を増加させるため、開発を促進する 25.5	わからない 16.4

性別にみると、1位「人口を少しずつ増加させるため、開発を促進する」、2位「人口を増加させるため、開発を促進する」は共通しているが、3位では男性と女性で項目が異なり、男性は「その他」(12.4%)、女性は「わからない」(19.3%)となっている。

年齢別にみると、1位「人口を少しずつ増加させるため、開発を促進する」はすべての年代で共通しているが、16～19歳では2位「人口も開発も成り行きにまかせてよい」(17.2%)、30～39歳では3位「その他」(14.0%)、50～59歳では2位「その他」(18.7%) 3位「人口を増加させるため、開発を促進する」(17.4%)となっており、全体の傾向とは順位や項目が異なっている。

地区別に見ると、大差はみられない。

問 13 男女の地位が平等で、あらゆる分野において参画する社会（男女共同参画社会）を実現するために、あなたはどのようなことが必要だと思われますか。



男女共同参画社会の実現のために必要と思われることは、町民アンケートでは「社会的な風潮や、古いしきたりに基づく慣習を見直すこと」が 30.8%と最も高く、次いで「男性が女性の社会的地位の向上に関して理解し協力すること」が 30.3%、「女性がもっと社会情勢に関心を持つこと」が 18.6%となっている。

職員アンケートでは、「男性が家事や育児に積極的に参画すること」が 33.3%と最も高く、次いで「男性が女性の社会的地位の向上に関して理解し協力すること」が 31.2%、「社会的な風潮や、古いしきたりに基づく慣習を見直すこと」が 30.5%となっている。

町民アンケートと職員アンケートを比較してみると、「男性が家事や育児に積極的に参画すること」では町民の 17.0%に比べて職員は 33.3%と目立って高くなっており、「女性が政策や方針決定の場に参画すること」では町民の 15.4%に比べて職員は 22.0%とやや高くなっている。

【属性別】

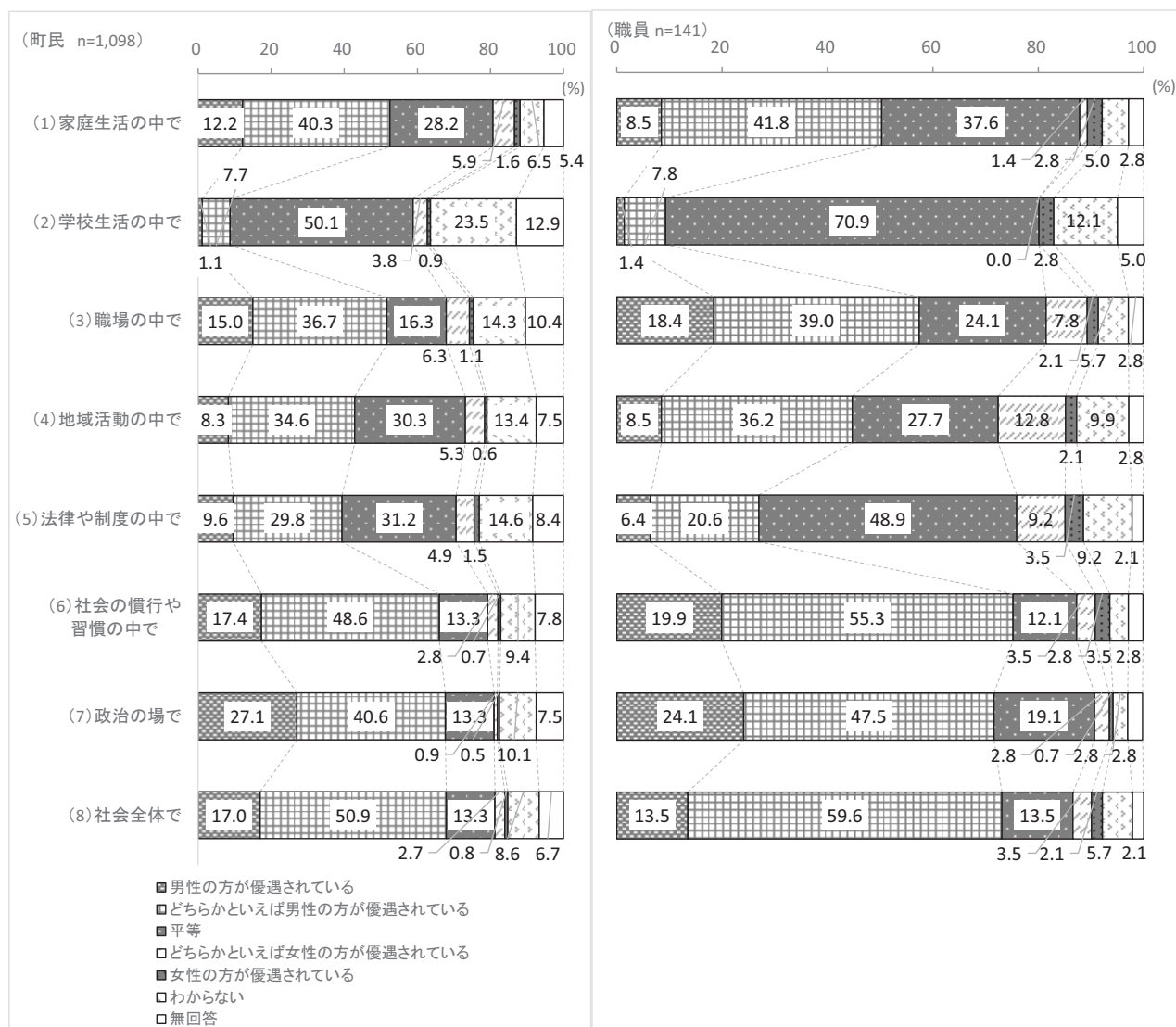
		全体	1位	2位	3位
全体		n=1,098	社会的な風潮や、古いしきたりに基づく慣習を見直すこと 30.8	男性が女性の社会的地位の向上に関して理解し協力すること 30.3	女性がもっと社会情勢に関心を持つこと 18.6
性別	男性	n=517	社会的な風潮や、古いしきたりに基づく慣習を見直すこと 30.4	男性が女性の社会的地位の向上に関して理解し協力すること 28.4	女性が政策や方針決定の場に参画すること 18.6
	女性	n=566	社会的な風潮や、古いしきたりに基づく慣習を見直すこと 31.6	男性が女性の社会的地位の向上に関して理解し協力すること 31.4	女性がもっと社会情勢に関心を持つこと 20.7
年齢別	16～19歳	n=29	社会的な風潮や、古いしきたりに基づく慣習を見直すこと 34.5	男性が家事や育児に積極的に参画すること 27.6	男性が女性の社会的地位の向上に関して理解し協力すること 24.1
	20～29歳	n=56	男性が家事や育児に積極的に参画すること 33.9	男性が女性の社会的地位の向上に関して理解し協力すること 28.6	女性が経済的に自立すること 21.4
	30～39歳	n=129	男性が家事や育児に積極的に参画すること 31.8	社会的な風潮や、古いしきたりに基づく慣習を見直すこと 27.9	男性が女性の社会的地位の向上に関して理解し協力すること 25.6
	40～49歳	n=166	男性が女性の社会的地位の向上に関して理解し協力すること 31.9	社会的な風潮や、古いしきたりに基づく慣習を見直すこと 29.5	男性が家事や育児に積極的に参画すること 24.1
	50～59歳	n=155	社会的な風潮や、古いしきたりに基づく慣習を見直すこと 37.4	男性が女性の社会的地位の向上に関して理解し協力すること 29.7	女性が経済的に自立すること 18.7
	60～69歳	n=272	社会的な風潮や、古いしきたりに基づく慣習を見直すこと 33.1	男性が女性の社会的地位の向上に関して理解し協力すること 30.9	女性がもっと社会情勢に関心を持つこと 24.3
	70歳以上	n=286	男性が女性の社会的地位の向上に関して理解し協力すること 32.2	社会的な風潮や、古いしきたりに基づく慣習を見直すこと 29.0	女性がもっと社会情勢に関心を持つこと 27.3
地区別	金田地区	n=716	社会的な風潮や、古いしきたりに基づく慣習を見直すこと 33.1	男性が女性の社会的地位の向上に関して理解し協力すること 29.1	男性が家事や育児に積極的に参画すること 19.6
	曾我地区	n=261	男性が女性の社会的地位の向上に関して理解し協力すること 33.0	社会的な風潮や、古いしきたりに基づく慣習を見直すこと 26.1	女性がもっと社会情勢に関心を持つこと 20.3
	相和地区	n=110	男性が女性の社会的地位の向上に関して理解し協力すること 31.8	社会的な風潮や、古いしきたりに基づく慣習を見直すこと 28.2	子どもの時から家庭や学校で男女平等教育を積極的に推進すること 20.0

性別にみると、男性・女性共に1位「社会的な風潮や、古いしきたりに基づく慣習を見直すこと」と2位「男性が女性の社会的地位の向上に関して理解し協力すること」は全体と同じだが、男性が3位に「女性が政策や方針決定の場に参画すること」（18.6%）と異なっている。

年齢別にみると、16～19歳、20～29歳、30～39歳において「男性が家事や育児に積極的に参画すること」が他年代に比較すると上位に位置しており、40歳以上では概ね全体と同様な傾向が見られるが、各年代によって順位や項目が異なっている。

地区別にみると、金田地区では3位「男性が家事や社会情勢に関心を持つこと」（19.6%）、曾我地区と相和地区では1位「男性が女性の社会的地位の向上に関して理解し協力すること」、2位「社会的な風潮や、古いしきたりに基づく慣習を見直すこと」、相和地区では3位「子どもの時から家庭や学校で男女平等教育を積極的に推進すること」（20.0%）となっており、全体の傾向とは順位が異なっている。

問 14 あなたは、男女平等がどの程度実現されていると思いますか。

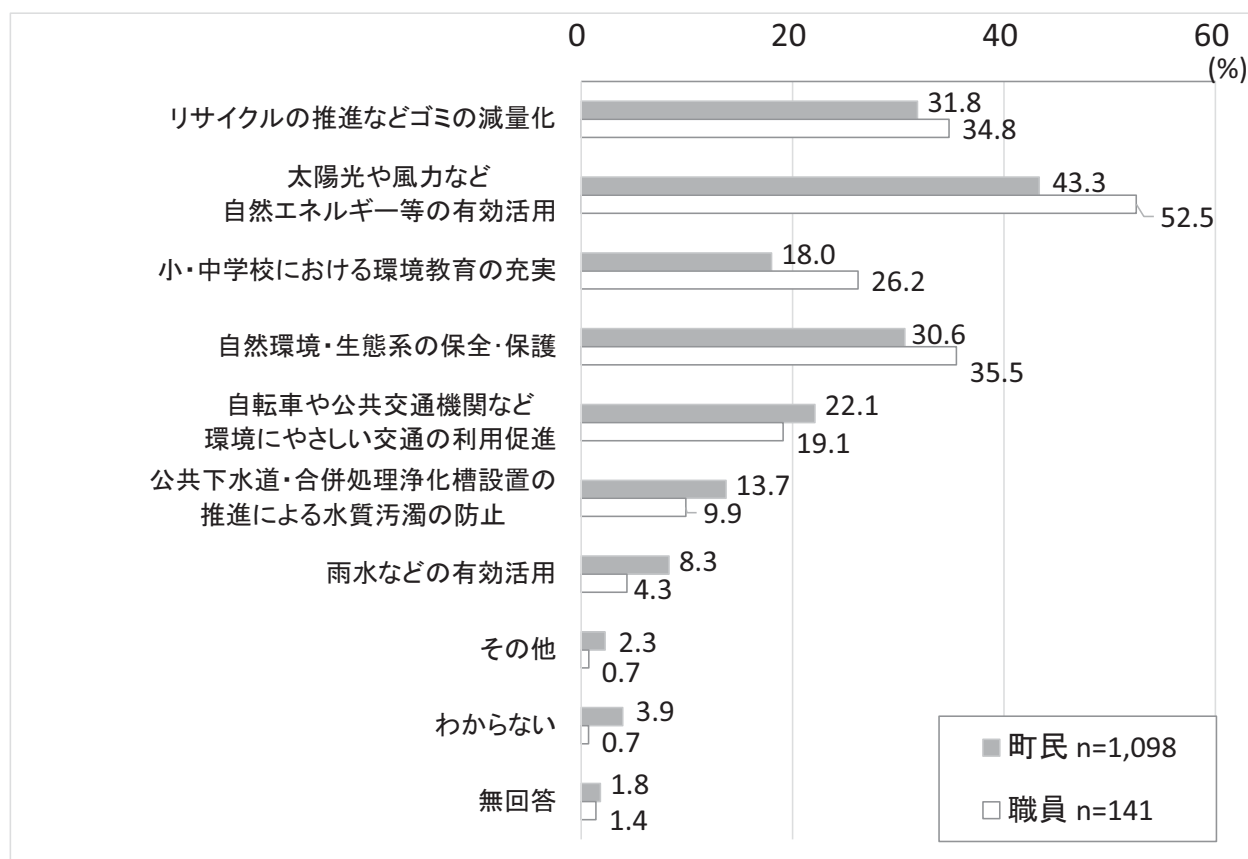


男女平等の実現の程度について、町民アンケートでは「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を含めると、『(1) 家庭生活の中で』、『(3) 職場の中で』、『(6) 社会の慣行や習慣の中で』、『(7) 政治の場で』、『(8) 社会全体で』において過半数を超えるポイントを占めている。一方、『(2) 学校生活の中で』、『(4) 地域活動の中で』、『(5) 法律や制度の中で』に関しては「男性の方が優遇されている」は1割に満たない。

また、「女性の方が優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」については、各項目共に1割に満たない。

職員アンケートについても、概ね町民アンケート結果と同様の傾向が見受けられる。

問 15 あなたは、地球環境問題に対し、今後、大井町ではどのようなことを重点的に取り組んでいくべきだと思いますか。



地球環境問題に対して大井町にて重点的に取組んでいくべきこととして、町民アンケートと職員アンケートいずれでも「太陽光や風力など自然エネルギー等の有効活用」が最も高く（町民 43.3%、職員 52.5%）、「リサイクルの推進などゴミの減量化」（町民 31.8%、職員 34.8%）、「自然環境・生態系の保全・保護」（町民 30.6%、職員 35.5%）となっている。

町民アンケートと職員アンケートを比較してみると、「太陽光や風力など自然エネルギー等の有効活用」などは、職員が町民に比べてやや高くなっている（町民 43.3%、職員 52.5%）。

【属性別】

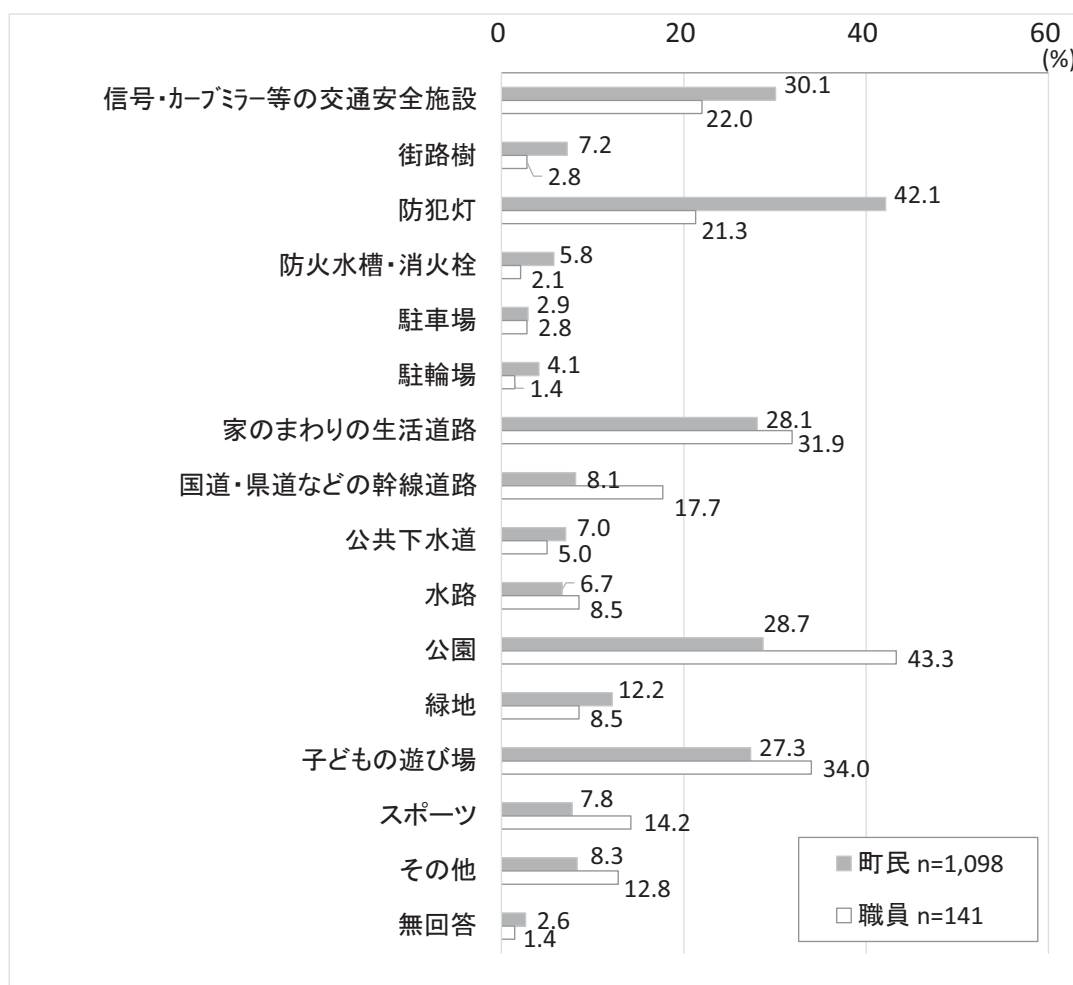
		全体	1位	2位	3位
全体		n=1,098	太陽光や風力など自然エネルギー等の有効活用 43.3	リサイクルの推進などゴミの減量化 31.8	自然環境・生態系の保全・保護 30.6
性別	男性	n=517	太陽光や風力など自然エネルギー等の有効活用 46.4	自然環境・生態系の保全・保護 32.1	リサイクルの推進などゴミの減量化 31.5
	女性	n=566	太陽光や風力など自然エネルギー等の有効活用 40.6	リサイクルの推進などゴミの減量化 31.8	自然環境・生態系の保全・保護 29.9
年齢別	16～19歳	n=29	太陽光や風力など自然エネルギー等の有効活用 44.8	自転車や公共交通機関など環境にやさしい交通の利用促進 37.9	小・中学校における環境教育の充実 27.6
	20～29歳	n=56	太陽光や風力など自然エネルギー等の有効活用 41.1	リサイクルの推進などゴミの減量化 32.1	自転車や公共交通機関など環境にやさしい交通の利用促進 25.0
	30～39歳	n=129	太陽光や風力など自然エネルギー等の有効活用 41.9	リサイクルの推進などゴミの減量化 31.0	小・中学校における環境教育の充実 27.1
	40～49歳	n=166	太陽光や風力など自然エネルギー等の有効活用 53.0	自然環境・生態系の保全・保護 32.5	自転車や公共交通機関など環境にやさしい交通の利用促進 26.5
	50～59歳	n=155	太陽光や風力など自然エネルギー等の有効活用 45.8	自然環境・生態系の保全・保護 39.4	リサイクルの推進などゴミの減量化 32.3
	60～69歳	n=272	太陽光や風力など自然エネルギー等の有効活用 42.6	リサイクルの推進などゴミの減量化 37.9	自然環境・生態系の保全・保護 34.9
	70歳以上	n=286	太陽光や風力など自然エネルギー等の有効活用 37.4	リサイクルの推進などゴミの減量化 31.1	自然環境・生態系の保全・保護 26.6
地区別	金田地区	n=716	太陽光や風力など自然エネルギー等の有効活用 42.9	リサイクルの推進などゴミの減量化 32.7	自然環境・生態系の保全・保護 29.5
	曾我地区	n=261	太陽光や風力など自然エネルギー等の有効活用 43.7	自然環境・生態系の保全・保護 32.2	リサイクルの推進などゴミの減量化 31.0
	相和地区	n=110	太陽光や風力など自然エネルギー等の有効活用 44.5	自然環境・生態系の保全・保護 36.4	リサイクルの推進などゴミの減量化 24.5

性別にみると、1位「太陽光や風力など自然エネルギー等の有効活用」では、女性の40.6%に対して男性は46.4%とやや高くなっている。また男性は2位「自然環境・生態系の保全・保護」、3位「リサイクルの推進などゴミの減量化」と全体と順位が異なっている。

年齢別にみると、どの年代も1位「太陽光や風力など自然エネルギー等の有効活用」が共通しているが、2位以下では年代により項目や順位が異なっている。

地区別にみると、曾我地区と相和地区では2位「自然環境・生態系の保全・保護」、3位「リサイクルの推進などゴミの減量化」が全体と順位が異なっている。

問 16 次にあげる施設で、あなたが今後、特に整備して欲しいと思われるのはどれですか。
(○は最大3つまで)



特に整備を希望する施設は、町民アンケートでは「防犯灯」が 42.1%と最も高く、以下「信号・カーブミラー等の交通安全施設」(30.1%)、「公園」(28.7%)、「家のまわりの生活道路」(28.1%)、「子どもの遊び場」(27.3%)となっている。

職員アンケートでは、「公園」が 43.3%と最も高く、以下「子どもの遊び場」(34.0%)、「家のまわりの生活道路」(31.9%)、「防犯灯」(21.3%)となっている。

町民アンケートと職員アンケートを比較すると、「防犯灯」が職員より町民のほうが 20 ポイント以上高くなっている一方で、「公園」(町民 28.7%、職員 43.3%)「国道・県道などの幹線道路」(町民 8.1%、職員 17.7%)や「子どもの遊び場」(町民 27.3%、職員 34.0%)、スポーツ(町民 7.8%、職員 14.2%)では、町民より職員のほうがやや高くなっている。

【属性別】

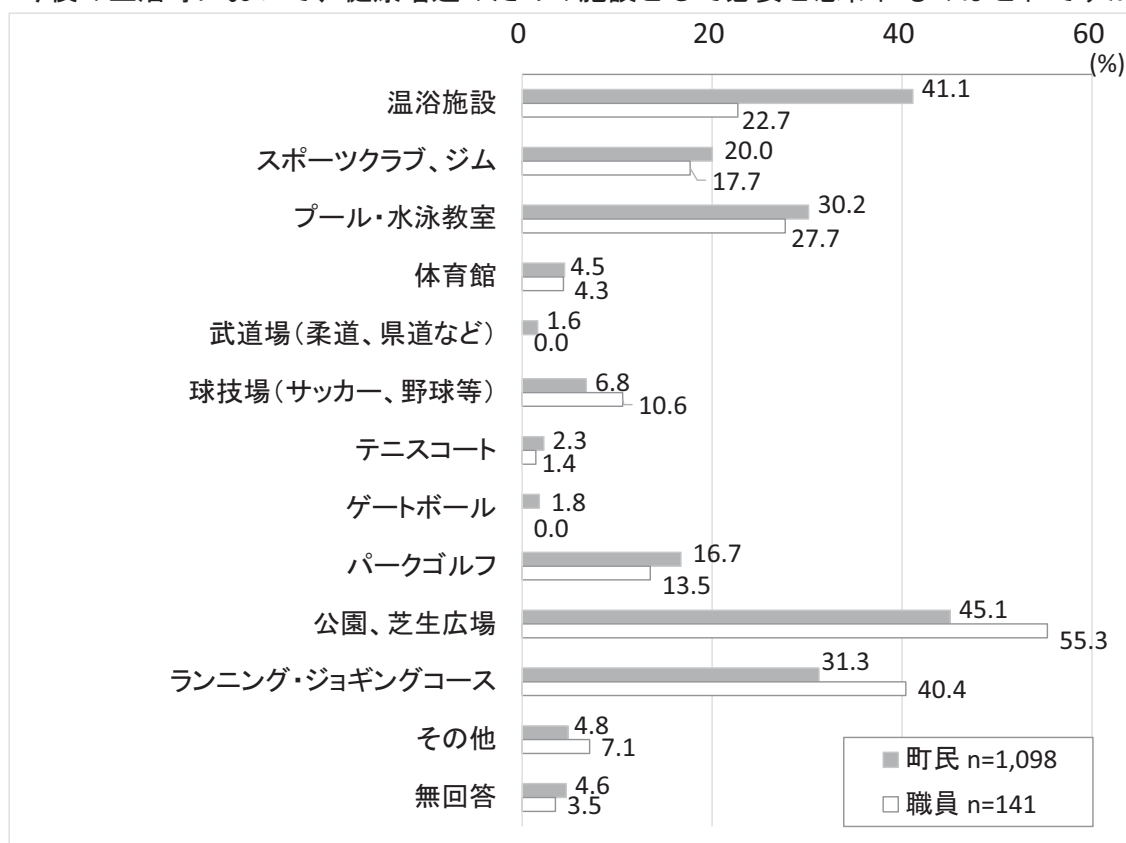
		全体	1位		2位		3位	
全体		n=1,098	防犯灯	42.1	信号・カーブミラー等の交通安全施設	30.1	公園	28.7
性別	男性	n=517	防犯灯	34.6	家のまわりの生活道路	31.9	信号・カーブミラー等の交通安全施設	30.2
	女性	n=566	防犯灯	49.3	公園	30.0	信号・カーブミラー等の交通安全施設	30.0
年齢別	16～19歳	n=29	公園	41.4	子どもの遊び場	34.5	信号・カーブミラー等の交通安全施設	27.6
	20～29歳	n=56	子どもの遊び場	37.5	防犯灯	35.7	信号・カーブミラー等の交通安全施設	30.4
	30～39歳	n=129	子どもの遊び場	49.6	公園	45.0	防犯灯	34.9
	40～49歳	n=166	防犯灯	48.8	子どもの遊び場	37.3	信号・カーブミラー等の交通安全施設	30.7
	50～59歳	n=155	防犯灯	42.6	信号・カーブミラー等の交通安全施設	37.4	家のまわりの生活道路	32.3
	60～69歳	n=272	防犯灯	45.6	家のまわりの生活道路	29.0	公園	29.0
	70歳以上	n=286	防犯灯	41.3	家のまわりの生活道路	30.8	信号・カーブミラー等の交通安全施設	26.9
地区別	金田地区	n=716	防犯灯	45.9	信号・カーブミラー等の交通安全施設	30.3	公園	29.7
	曾我地区	n=261	防犯灯	37.9	公園	32.2	子どもの遊び場	32.2
	相和地区	n=110	家のまわりの生活道路	41.8	信号・カーブミラー等の交通安全施設	30.9	防犯灯	30.0

性別にみると、1位「防犯灯」は男性の34.6%に対し、女性は49.3%と10ポイント以上高くなっている。また男性の2位は「家のまわりの生活道路」(31.9%)と、女性の2位「公園」(30.0%)と異なっている。

年齢別にみると、16～19歳、20～29歳、30～39歳、40歳～49歳では全体の傾向と異なり、「公園」「子どもの遊び場」に関する項目が1位や2位になっている。また50～59歳、60～69歳、70歳以上では、「家のまわりの生活道路」の項目が他年代と比較すると上位に位置している。

地区別にみると、金田地区は全体の傾向と同様となっているが、曾我地区では2位「公園」(32.2%)、3位子どもの遊び場(32.2%)、相和地区では1位「家のまわりの生活道路」(41.8%)、3位「防犯灯」(30.0%)と全体の傾向と順位が異なっている。

問 17 今後の生活等において、健康増進のための施設として必要と思われるのはどれですか。



今後必要になると思われる健康増進施設については、町民アンケートでは「公園、芝生広場」が 45.1%と最も高く、次いで「温浴施設」(41.1%)、「ランニング・ジョギングコース」(31.3%)、「プール・水泳教室」(30.2%) となっている。

職員アンケートでも「公園、芝生広場」が 55.3%と最も高く、次いで「ランニング・ジョギングコース」(40.4%)、「プール・水泳教室」(27.7%)、「温浴施設」(22.7%) となっている。

町民アンケートと職員アンケートを比較すると、「温浴施設」が職員よりも町民のほうが約 20 ポイント高い一方、「公園、芝生広場」や「ランニング・ジョギングコース」については町民よりも職員のほうが約 10 ポイント高くなっている。

【属性別】

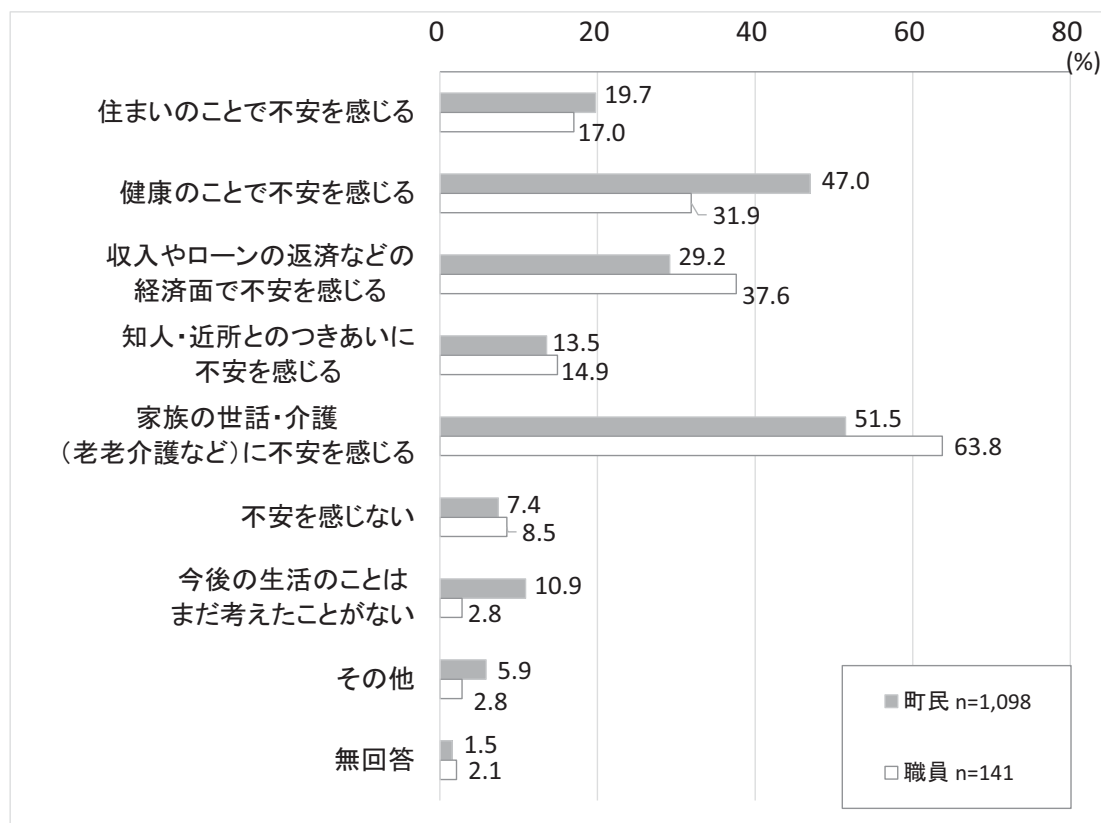
		全体	1位		2位		3位	
全体		n=1,098	公園、芝生広場	45.1	温浴施設	41.1	ランニング・ジョギングコース	31.3
性別	男性	n=517	公園、芝生広場	44.4	温浴施設	41.9	ランニング・ジョギングコース	32.0
	女性	n=566	公園、芝生広場	46.5	温浴施設	40.1	プール・水泳教室	35.2
年齢別	16～19歳	n=29	プール・水泳教室	44.8	公園、芝生広場	41.4	スポーツクラブ、ジム	37.9
	20～29歳	n=56	公園、芝生広場	44.6	プール・水泳教室	42.9	温浴施設	41.1
	30～39歳	n=129	公園、芝生広場	54.7	プール・水泳教室	45.3	温浴施設	38.3
	40～49歳	n=166	公園、芝生広場	48.2	プール・水泳教室	39.6	温浴施設	39.0
	50～59歳	n=155	温浴施設	40.3	公園、芝生広場	40.3	ランニング・ジョギングコース	36.4
	60～69歳	n=272	公園、芝生広場	50.0	温浴施設	39.0	ランニング・ジョギングコース	33.8
	70歳以上	n=286	温浴施設	45.8	公園、芝生広場	38.5	パークゴルフ	32.2
地区別	金田地区	n=716	公園、芝生広場	47.8	温浴施設	39.2	ランニング・ジョギングコース	32.5
	曾我地区	n=261	公園、芝生広場	45.9	温浴施設	45.6	プール・水泳教室	30.5
	相和地区	n=110	温浴施設	44.5	公園、芝生広場	30.0	ランニング・ジョギングコース	26.4

性別にみると、男性は全体の傾向と同様であるが、女性は3位に「プール・水泳教室」(35.2%)と異なっている。

年齢別にみると、16～19歳では1位「プール・水泳教室」(44.8%)、2位「公園・芝生広場」(41.4%)、3位「スポーツクラブ、ジム」(37.9%)と全体の傾向に対して項目と順位が異なっている。20～29歳、30～39歳、40～49歳では1位「公園、芝生広場」、2位「プール・水泳教室」、3位「温浴施設」となっており全体の傾向に対して項目と順位が異なっている。50～59歳では全体の傾向に対して項目は同じだが順位がそれぞれ異なっている。70歳以上では他年代と比較すると3位に「パークゴルフ」(32.2%)が位置している。

地区別にみると、金田地区では全体の傾向と同様である。曾我地区では3位が「プール・水泳教室」(30.5%)となっている。相和地区では1位が「温浴施設」(44.5%)、2位が「公園、芝生広場」(30.0%)となっている。

問 18 あなたは、現状では支障がないものの、今後の生活等において不安を感じることはありますか。



今後の生活等において不安を感じることとして、町民アンケートでは「家族の世話・介護（老老介護など）に不安を感じる」が 51.5%と最も高く、次いで「健康のことで不安を感じる」（47.0%）、「収入やローンの返済などの経済面で不安を感じる」（29.2%）となっている。

職員アンケートでも同様に「家族の世話・介護（老老介護など）に不安を感じる」が 63.8%と最も高く、次いで「収入やローンの返済などの経済面で不安を感じる」（37.6%）、「健康のことで不安を感じる」（31.9%）となっている。

住民と職員アンケートを比較すると、「健康のことで不安を感じる」が職員よりも住民が 10 ポイント以上も高くなっている。その一方「家族の世話・介護（老老介護など）に不安を感じる」では住民よりも職員のほうが 10 ポイント以上高くなっている。

【属性別】

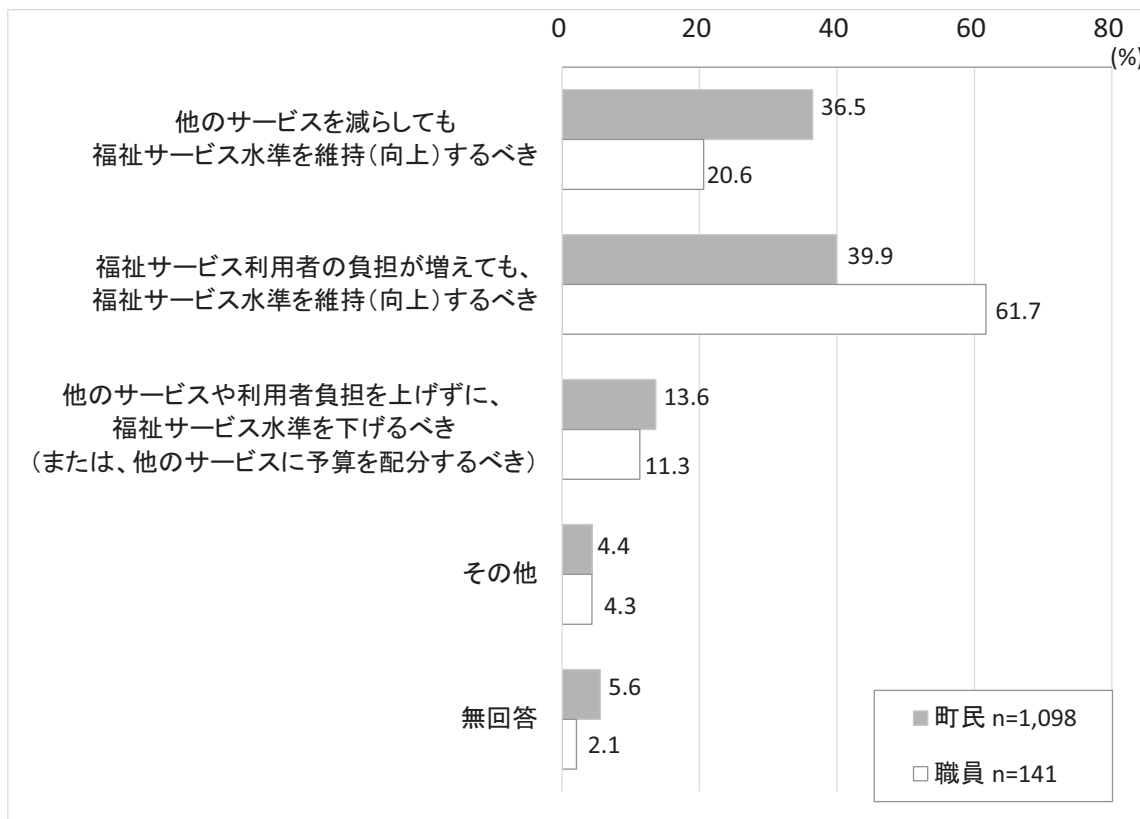
		全体	1位		2位		3位	
全体		n=1,098	家族の世話・介護 (老老介護など)に不安を感じる	51.5	健康のことで不安を感じる	47.0	収入やローンの返済などの経済面で不安を感じる	29.2
性別	男性	n=517	家族の世話・介護 (老老介護など)に不安を感じる	50.5	健康のことで不安を感じる	44.1	収入やローンの返済などの経済面で不安を感じる	29.2
	女性	n=566	家族の世話・介護 (老老介護など)に不安を感じる	52.5	健康のことで不安を感じる	49.1	収入やローンの返済などの経済面で不安を感じる	29.5
年齢別	16～19歳	n=29	今後の生活のことはまだ考えたことがない	37.9	不安を感じない	27.6	家族の世話・介護 (老老介護など)に不安を感じる	20.7
	20～29歳	n=56	収入やローンの返済などの経済面で不安を感じる	48.2	家族の世話・介護 (老老介護など)に不安を感じる	28.6	今後の生活のことはまだ考えたことがない	25.0
	30～39歳	n=129	家族の世話・介護 (老老介護など)に不安を感じる	49.6	収入やローンの返済などの経済面で不安を感じる	45.0	健康のことで不安を感じる	24.0
	40～49歳	n=166	家族の世話・介護 (老老介護など)に不安を感じる	51.8	収入やローンの返済などの経済面で不安を感じる	45.8	健康のことで不安を感じる	31.3
	50～59歳	n=155	家族の世話・介護 (老老介護など)に不安を感じる	60.6	健康のことで不安を感じる	51.0	収入やローンの返済などの経済面で不安を感じる	39.4
	60～69歳	n=272	健康のことで不安を感じる	56.6	家族の世話・介護 (老老介護など)に不安を感じる	51.5	収入やローンの返済などの経済面で不安を感じる	20.6
	70歳以上	n=286	健康のことで不安を感じる	65.4	家族の世話・介護 (老老介護など)に不安を感じる	54.5	住まいのことで不安を感じる	17.1
地区別	金田地区	n=716	家族の世話・介護 (老老介護など)に不安を感じる	50.1	健康のことで不安を感じる	47.2	収入やローンの返済などの経済面で不安を感じる	30.3
	曾我地区	n=261	家族の世話・介護 (老老介護など)に不安を感じる	52.1	健康のことで不安を感じる	47.1	収入やローンの返済などの経済面で不安を感じる	28.7
	相和地区	n=110	家族の世話・介護 (老老介護など)に不安を感じる	60.0	健康のことで不安を感じる	45.5	収入やローンの返済などの経済面で不安を感じる	22.7

性別にみると、全体と大差は見られない。

年齢別にみると、16～19歳では「今後の生活のことはまだ考えたことがない」が37.9%と最も高く、2位は「不安を感じない」(27.6%)、3位「家族の世話・介護（老老介護など）に不安を感じる」（20.7%）となっている。20～29歳では、1位「収入やローンの返済などの経済面で不安を感じる」（48.2%）、2位「家族の世話・介護（老老介護など）に不安を感じる」（28.6%）、3位「今後の生活のことはまだ考えたことがない」（25.0%）となっている。30～39歳、40～49歳では2位「収入やローンの返済などの経済面で不安を感じる」、3位「健康のことで不安を感じる」となっている。50～59歳は全体の傾向と同様である。60～69歳、70歳以上では共に1位が「健康のことで不安を感じる」となっている。地区別にみると、全体と大差はみられない。

問 19 地方分権が進展するなか、地域住民の自己決定・自己責任が求められています。このような時代を迎えるにあたり、あなたは、下記の公共サービスに関する今後の方向性について、どのようなお考えをお持ちですか。

問 19-1 今後の福祉サービスの方向性

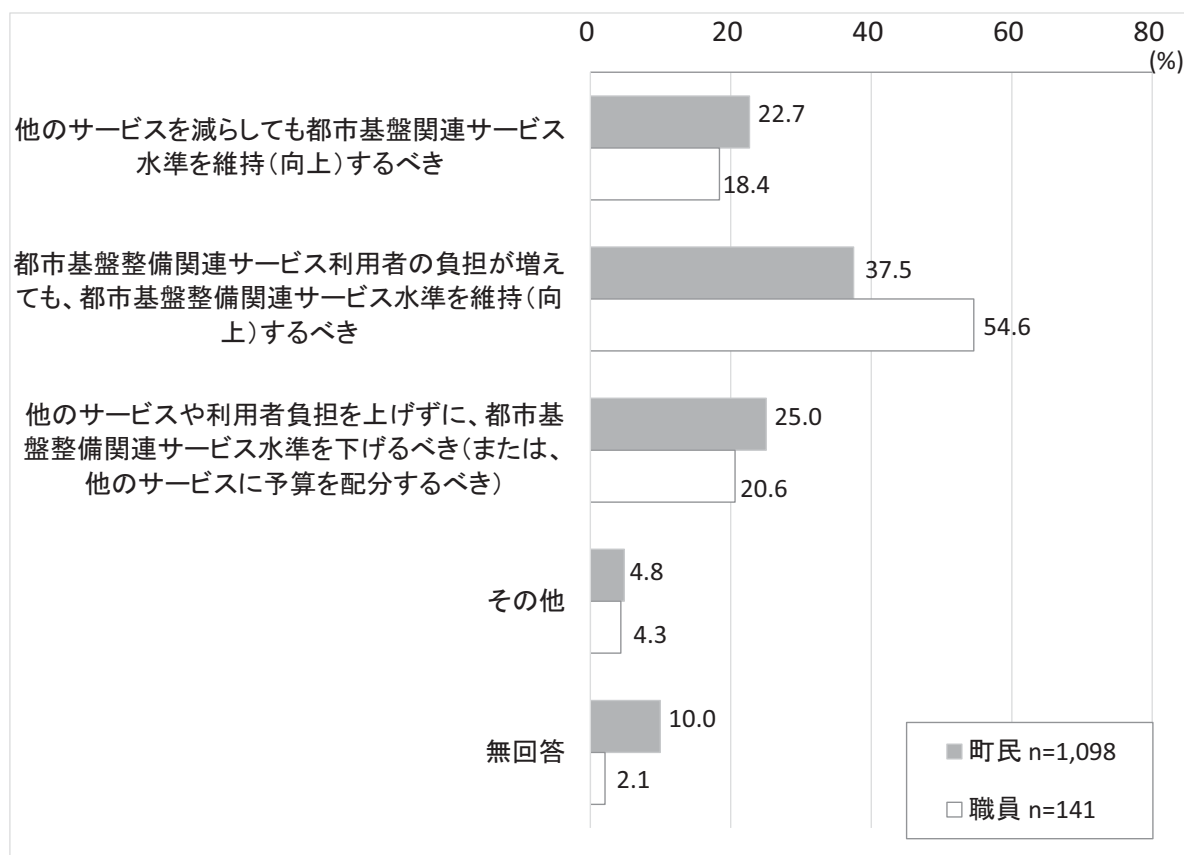


住民と職員アンケートでは、いずれも「福祉サービス利用者の負担が増えても福祉サービス水準を維持（向上）するべき」（住民 39.9%、職員 61.7%）が最も高くなっている。

住民と職員アンケートを比較すると、「他のサービスを減らしても福祉サービス水準を維持（向上）するべき」では住民のほうが職員よりも 20 ポイント以上高くなっている一方、「福祉サービス利用者の負担が増えても、福祉サービス水準を維持（向上）するべき」では職員のほうが住民よりも 20 ポイント以上高くなっている。

問 19－2 今後の都市基盤^(※)整備関連サービスの方向性

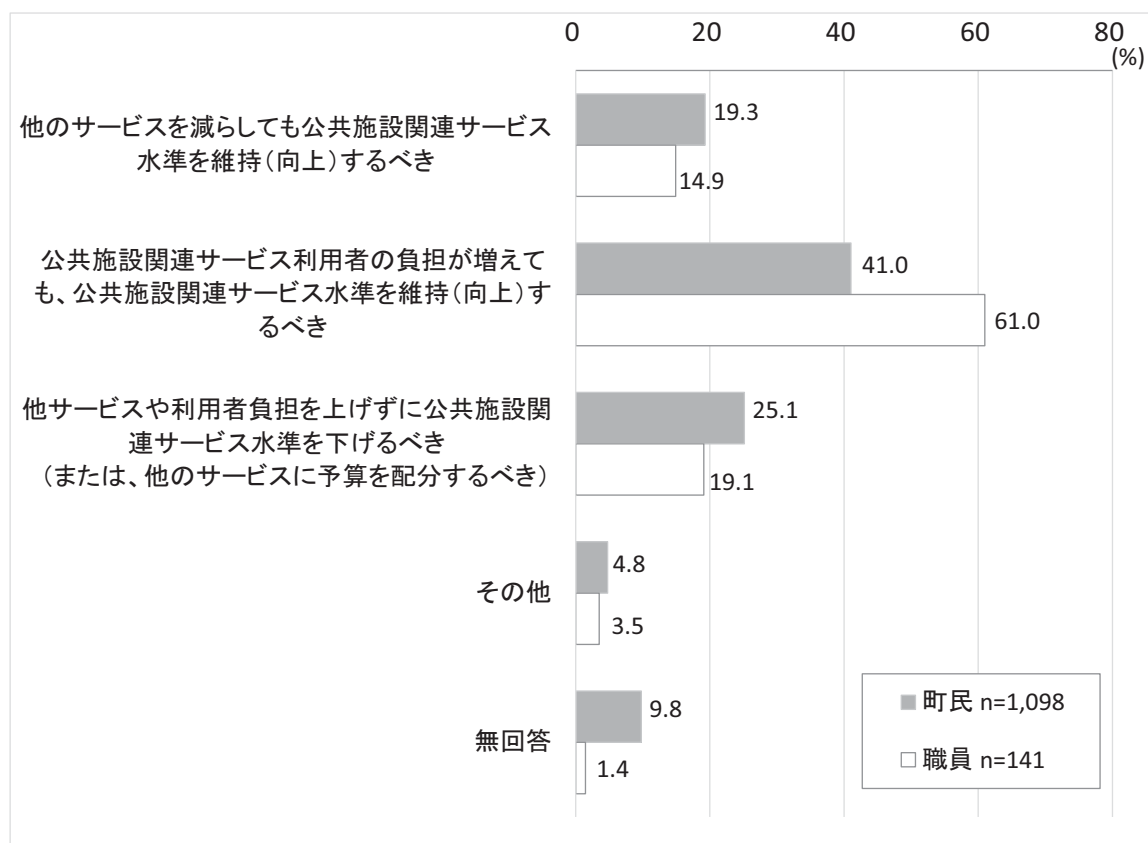
(※) 都市基盤…道路、水路、上・下水道、公園等のこと



住民と職員アンケートでは、いずれも「都市基盤整備関連サービス利用者の負担が増えても都市基盤整備関連サービス水準を維持(向上)すべき」(住民 37.5%、職員 54.6%) が最も高くなっている。

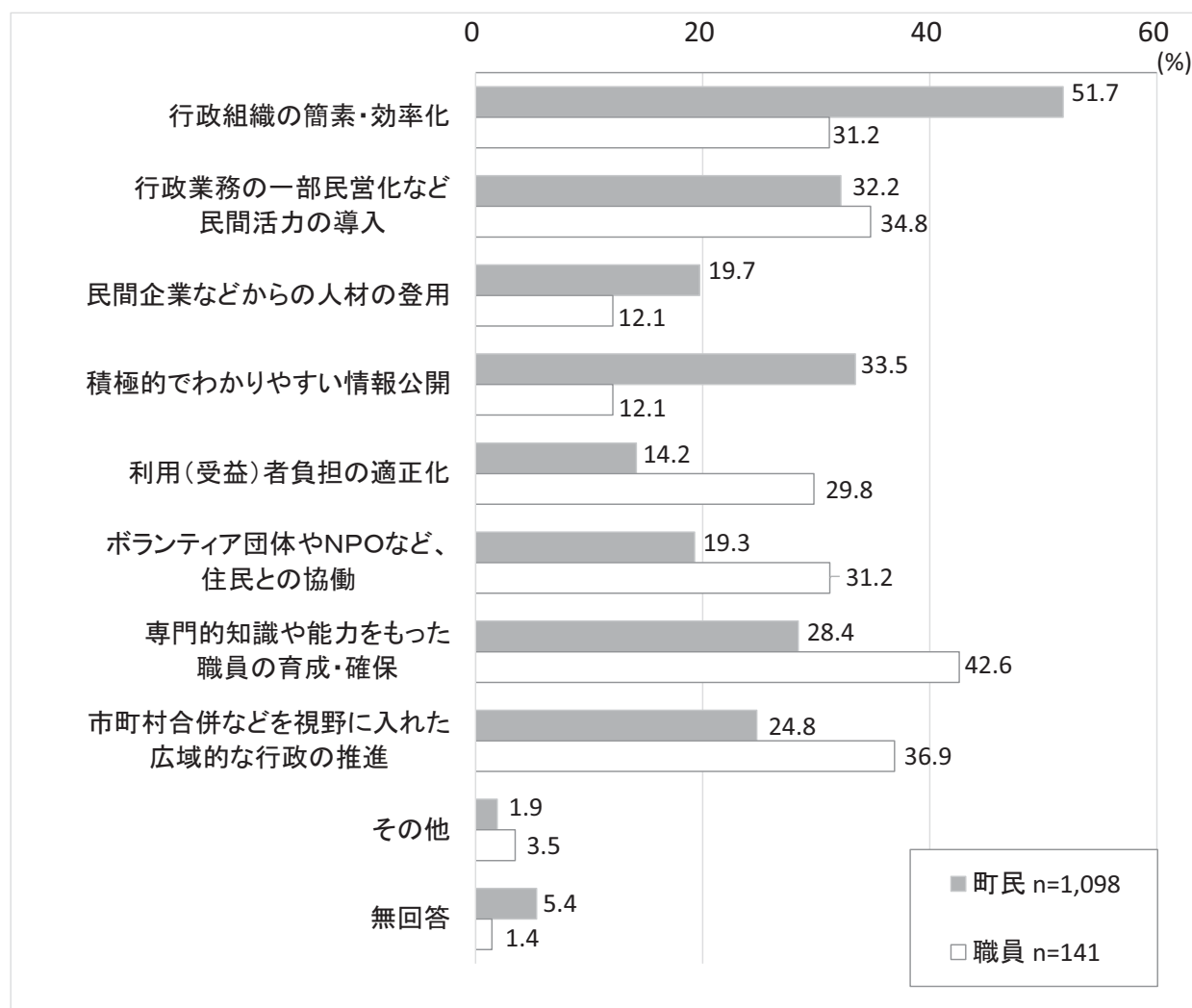
問 19-3 今後の公共施設^(※) 関連サービスの方向性

(※) 公共施設…庁舎、生涯学習センター、そうわ会館、保育園、学校等のこと



住民と職員アンケートでは、いずれも「公共施設関連サービス利用者の負担が増えても公共施設関連サービス水準を維持（向上）するべき」（住民 41.0%、職員 61.0%）が最も高くなっている。

問 20 あなたは、地方分権や行財政改革を進めるために、どのようなことを重点的に取り組むべきだと思いますか。



地方分権や行財政改革を進める上で重点的に取り組むべきこととして、町民アンケートでは「行政組織の簡素・効率化」が 51.7%と最も高く、次いで「積極的でわかりやすい情報公開」(33.5%)、「行政業務の一部民営化など民間活力の導入」(32.2%)となっている。

一方、職員アンケートでは、「専門的知識や能力をもった職員の育成・確保」が 42.6%と最も高く、次いで「市町村合併などを視野に入れた広域的な行政の推進」(36.9%)、「行政業務の一部民営化など民間活力の導入」(34.8%)となっている。

住民と職員アンケートを比較すると、「行政組織の簡素・効率化」や「積極的でわかりやすい情報公開」において住民が職員よりも約 20 ポイント高くなっている。一方、「利益(受益)者負担の適正化」や「専門的知識や能力をもった職員の育成・確保」、「市町村合併などを視野に入れた広域的な行政の推進」、「ボランティア団体やNPO など、住民との協働」では職員が住民よりも 10 ポイント以上高い値を示している。

【属性別】

		全体	1位		2位		3位	
全体		n=1,098	行政組織の簡素・効率化	51.7	積極的でわかりやすい情報公開	33.5	行政業務の一部民営化など民間活力の導入	32.2
性別	男性	n=517	行政組織の簡素・効率化	57.8	行政業務の一部民営化など民間活力の導入	38.9	市町村合併などを視野に入れた広域的な行政の推進	29.8
	女性	n=566	行政組織の簡素・効率化	46.6	積極的でわかりやすい情報公開	37.5	専門的知識や能力をもった職員の育成・確保	32.5
年齢別	16～19歳	n=29	積極的でわかりやすい情報公開	44.8	ボランティア団体やNPOなど、住民との協働	37.9	専門的知識や能力をもった職員の育成・確保	27.6
	20～29歳	n=56	積極的でわかりやすい情報公開	51.8	行政組織の簡素・効率化	35.7	専門的知識や能力をもった職員の育成・確保	35.7
	30～39歳	n=129	行政組織の簡素・効率化	45.7	積極的でわかりやすい情報公開	42.6	専門的知識や能力をもった職員の育成・確保	31.0
	40～49歳	n=166	行政組織の簡素・効率化	57.8	行政業務の一部民営化など民間活力の導入	41.0	積極的でわかりやすい情報公開	27.1
	50～59歳	n=155	行政組織の簡素・効率化	60.6	行政業務の一部民営化など民間活力の導入	36.1	積極的でわかりやすい情報公開	32.3
	60～69歳	n=272	行政組織の簡素・効率化	58.1	行政業務の一部民営化など民間活力の導入	37.9	市町村合併などを視野に入れた広域的な行政の推進	34.6
	70歳以上	n=286	行政組織の簡素・効率化	47.2	積極的でわかりやすい情報公開	36.7	専門的知識や能力をもった職員の育成・確保	30.8
地区別	金田地区	n=716	行政組織の簡素・効率化	53.4	積極的でわかりやすい情報公開	33.5	行政業務の一部民営化など民間活力の導入	31.3
	曾我地区	n=261	行政組織の簡素・効率化	49.0	積極的でわかりやすい情報公開	34.5	行政業務の一部民営化など民間活力の導入	32.6
	相和地区	n=110	行政組織の簡素・効率化	50.0	行政業務の一部民営化など民間活力の導入	39.1	専門的知識や能力をもった職員の育成・確保	30.9

性別にみると、1位は全体と同様「行政組織の簡素・効率化」となっているが、2位、3位において項目と順位が異なっている。

年齢別にみると、16～19歳、20～29歳では1位に「積極的でわかりやすい情報公開」となっているが、2位、3位において項目と順位が異なっている。30～39歳では3位に「専門的知識や能力をもった職員の育成・確保」(31.0%)が位置している。40～49歳、50～59歳では1位「行政組織の簡素・効率化」、2位「行政業務の一部民営化など民間活力の導入」、3位「積極的でわかりやすい情報公開」となっている。60～69歳では、3位に「市町村合併などを視野に入れた広域的な行政の推進」(34.6%)となっている。70歳以上では3位に「専門的知識や能力をもった職員の育成・確保」(30.8%)が位置している。

地区別にみると、金田地区及び曾我地区は全体の傾向と同様である。相和地区では2位「行政業務の一部民営化など民間活力の導入」(39.1%)、3位「専門的知識や能力をもった職員の育成・確保」(30.9%)となっている。

3.3 行政の施策や事業への取り組みについて

問 21 回答例にならって、これまで進めてきた大井町のまちづくりの取り組みについての「満足度」と、これからの取り組みを進める上での「重要度」のそれぞれについて、今のお気持ちに最も近い番号を1つずつ選び、回答欄に○印をおつけ下さい。

各種施策・事業に対する満足度（満足度／町民）

	非常に満足している	満足している	どちらともいえない	不満である	非常に不満である	無回答	相関係数
教育環境の整備	1.2	28.8	50.9	5.9	1.2	12.0	0.26
産業立地と居住環境の創出	0.5	9.6	65.2	10.1	1.7	13.0	-0.03
相和地域の活性化	0.6	12.5	56.5	14.7	4.2	11.4	-0.11
広報活動・広聴活動	1.1	31.2	47.9	6.5	1.6	11.8	0.27
情報公開・情報開示	0.6	21.5	55.4	9.1	1.7	11.6	0.11
世代間交流事業	0.5	11.3	63.2	9.8	2.1	13.2	-0.02
自治会活動等への支援	0.9	20.4	55.9	9.4	1.8	11.5	0.10
人権擁護活動	0.5	10.1	69.4	5.7	1.0	13.3	0.04
男女平等参画社会の推進	0.4	8.0	70.5	6.6	1.0	13.5	0.00
地球温暖化対策や自然環境の保全	1.2	14.9	54.9	14.1	1.9	13.0	-0.01
大気・水質汚染の防止	1.0	14.7	57.3	12.3	1.5	13.2	0.02
不法投棄防止対策や美化活動への支援	1.1	15.6	49.4	18.9	3.3	11.7	-0.09
ゴミの減量化やリサイクルの推進	1.6	21.0	50.4	13.3	2.3	11.3	0.07
公園・緑地の整備	0.7	10.3	42.9	25.1	9.9	11.1	-0.37
道路の整備	1.4	22.8	40.3	18.6	5.3	11.6	-0.04
歩道の整備	1.1	15.4	37.6	29.0	6.5	10.4	-0.27
河川・水路の整備	1.6	17.9	53.2	13.1	2.7	11.6	0.03
水道事業	2.7	30.3	50.6	4.1	1.0	11.2	0.33
下水道事業	2.1	25.3	51.4	7.9	2.1	11.2	0.20
鉄道・バス路線網	0.7	5.7	33.3	30.5	20.7	9.0	-0.71
消防・救急体制の整備	2.7	29.3	50.5	7.0	1.2	9.4	0.28
防災体制と防災施設の整備	1.8	22.9	54.5	9.0	1.4	10.5	0.17
防犯対策	1.3	14.3	59.7	12.6	1.5	10.7	0.01
交通安全対策	1.9	16.7	57.3	11.1	2.6	10.4	0.05
消費者保護対策	0.5	9.0	69.7	7.6	1.6	11.4	-0.01
健康づくりの推進	1.3	21.9	57.3	7.8	1.0	10.7	0.16
地域医療体制の整備	1.1	16.7	52.8	15.7	2.7	11.0	-0.02
高齢者福祉	1.1	15.7	61.0	10.9	2.0	9.3	0.03
障がい者（児）福祉	1.0	9.7	68.6	6.7	1.9	12.2	0.01
子育て支援・児童福祉	0.9	12.7	58.1	12.2	3.5	12.6	-0.05
社会保障・勤労者福祉	0.5	8.6	67.9	8.2	2.3	12.4	-0.04
農業振興	1.0	6.9	69.3	8.5	2.0	12.2	-0.04
商・工業の振興	0.5	6.7	67.4	10.5	2.2	12.7	-0.08
地域資源を活用した観光振興	0.5	4.9	59.0	19.6	4.7	11.3	-0.26
幼稚園教育	1.5	20.4	57.3	6.1	1.4	13.3	0.17
小・中学校教育	1.6	18.5	55.4	9.8	2.1	12.7	0.09
青少年の育成	0.6	9.7	67.0	8.0	1.8	12.8	-0.01
生涯学習機会の提供	1.1	13.9	65.6	5.2	0.9	13.3	0.10
文化財の保護と活用	1.0	9.6	72.3	3.3	0.5	13.3	0.08
生涯スポーツ活動の支援と施設整備	0.7	11.2	64.8	8.7	1.4	13.2	0.01

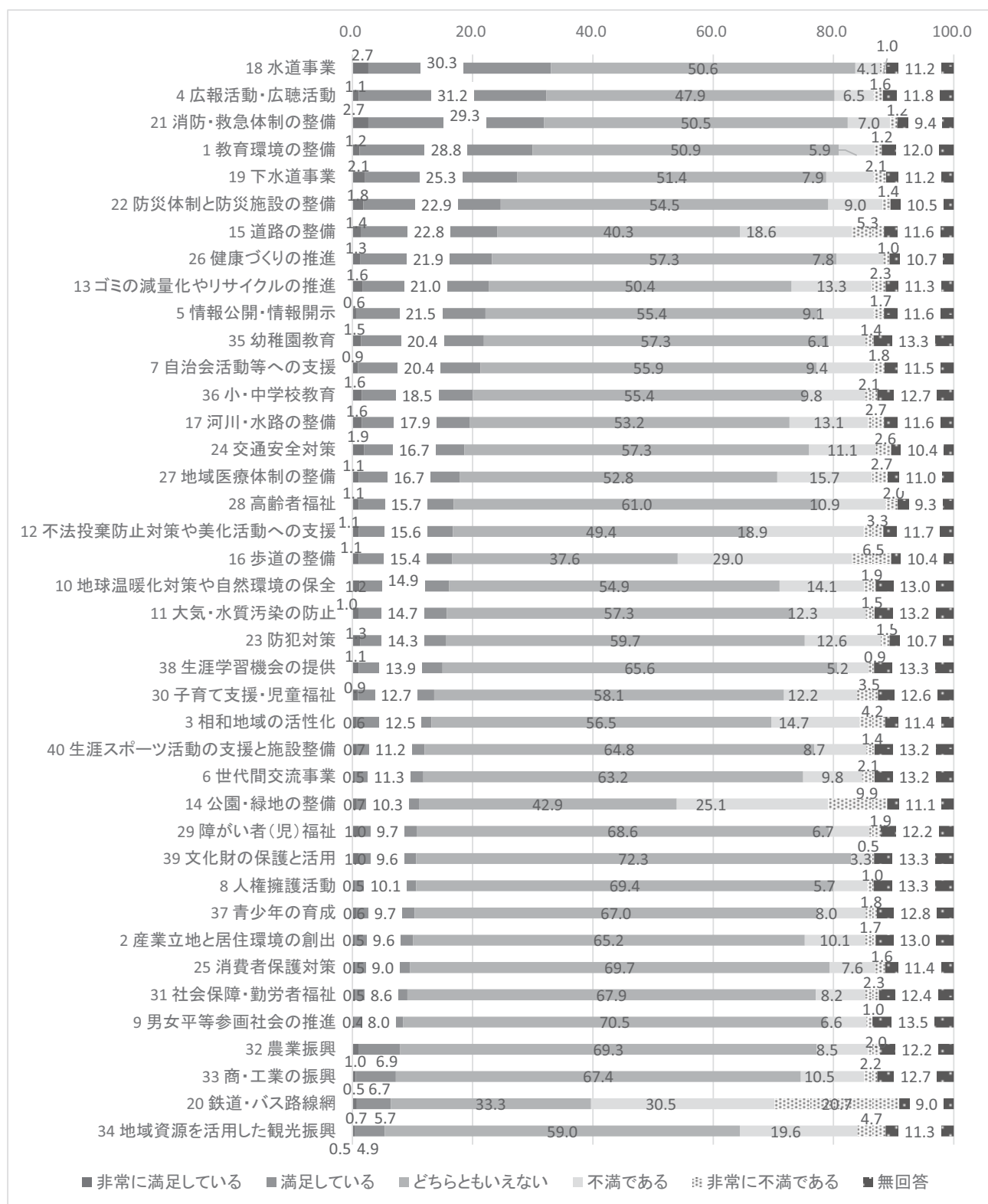
※相関係数の算出方法：下記配点と比率を乗じて計算している（無回答は除く）。「非常に満足している」：2点、「やや満足している」：1点、「どちらともいえない」：0点、「やや不満である」：-1点、「非常に不満である」：-2点
 ※各種施策・事業においてポイントが高い上位2項目を太字にて記載している。

各種施策・事業に対する満足度(満足度／職員)

	非常に満足している	満足している	どちらともいえない	不満である	非常に不満である	無回答	相関係数
教育環境の整備	2.8	48.2	41.1	6.4	1.4	0.0	0.45
産業立地と居住環境の創出	1.4	17.0	58.9	19.1	2.8	0.7	-0.05
相和地域の活性化	0.7	9.2	51.8	31.9	6.4	0.0	-0.34
広報活動・広聴活動	5.0	38.3	50.4	4.3	2.1	0.0	0.40
情報公開・情報開示	1.4	23.4	68.8	5.0	1.4	0.0	0.18
世代間交流事業	0.0	10.6	73.8	13.5	2.1	0.0	-0.07
自治会活動等への支援	2.1	20.6	71.6	4.3	0.7	0.7	0.19
人権擁護活動	2.1	10.6	82.3	5.0	0.0	0.0	0.10
男女平等参画社会の推進	1.4	11.3	74.5	10.6	2.1	0.0	-0.01
地球温暖化対策や自然環境の保全	2.1	30.5	61.0	5.7	0.0	0.7	0.29
大気・水質汚染の防止	2.8	20.6	70.9	4.3	0.0	1.4	0.22
不法投棄防止対策や美化活動への支援	2.1	27.7	61.0	7.8	0.0	1.4	0.24
ゴミの減量化やリサイクルの推進	2.8	33.3	52.5	8.5	0.7	2.1	0.30
公園・緑地の整備	0.7	7.8	52.5	32.6	5.0	1.4	-0.34
道路の整備	2.1	31.9	48.2	14.2	3.5	0.0	0.15
歩道の整備	2.1	14.9	41.8	36.2	5.0	0.0	-0.27
河川・水路の整備	1.4	24.8	65.2	6.4	0.7	1.4	0.20
水道事業	6.4	45.4	45.4	2.1	0.0	0.7	0.56
下水道事業	5.0	39.0	48.9	7.1	0.0	0.0	0.42
鉄道・バス路線網	0.7	3.5	28.4	44.7	22.0	0.7	-0.84
消防・救急体制の整備	3.5	43.4	45.4	5.7	1.4	0.7	0.42
防災体制と防災施設の整備	1.4	22.7	62.4	11.3	2.1	0.0	0.10
防犯対策	0.7	24.8	64.5	7.1	2.8	0.0	0.13
交通安全対策	0.7	27.7	61.7	7.1	2.8	0.0	0.16
消費者保護対策	0.0	9.2	83.7	4.3	2.8	0.0	-0.01
健康づくりの推進	0.7	22.0	67.4	8.5	1.4	0.0	0.12
地域医療体制の整備	0.7	12.8	66.0	17.0	3.5	0.0	-0.10
高齢者福祉	0.7	19.1	73.0	6.4	0.7	0.0	0.13
障がい者(児)福祉	0.7	11.3	79.4	6.4	2.1	0.0	0.02
子育て支援・児童福祉	0.7	18.4	61.7	13.5	4.3	1.4	-0.02
社会保障・勤労者福祉	1.4	8.5	81.6	6.4	0.7	1.4	0.04
農業振興	0.7	9.2	75.9	10.6	1.4	2.1	-0.03
商・工業の振興	0.7	12.1	70.2	14.9	1.4	0.7	-0.04
地域資源を活用した観光振興	0.0	5.7	60.3	29.8	2.8	1.4	-0.30
幼稚園教育	0.7	23.4	65.2	7.8	2.1	0.7	0.13
小・中学校教育	0.7	27.0	62.4	8.5	0.7	0.7	0.19
青少年の育成	0.7	19.9	70.9	7.8	0.0	0.7	0.14
生涯学習機会の提供	1.4	32.6	59.6	5.0	0.7	0.7	0.29
文化財の保護と活用	0.7	15.6	78.0	5.0	0.0	0.7	0.12
生涯スポーツ活動の支援と施設整備	0.7	27.7	62.4	7.1	1.4	0.7	0.19

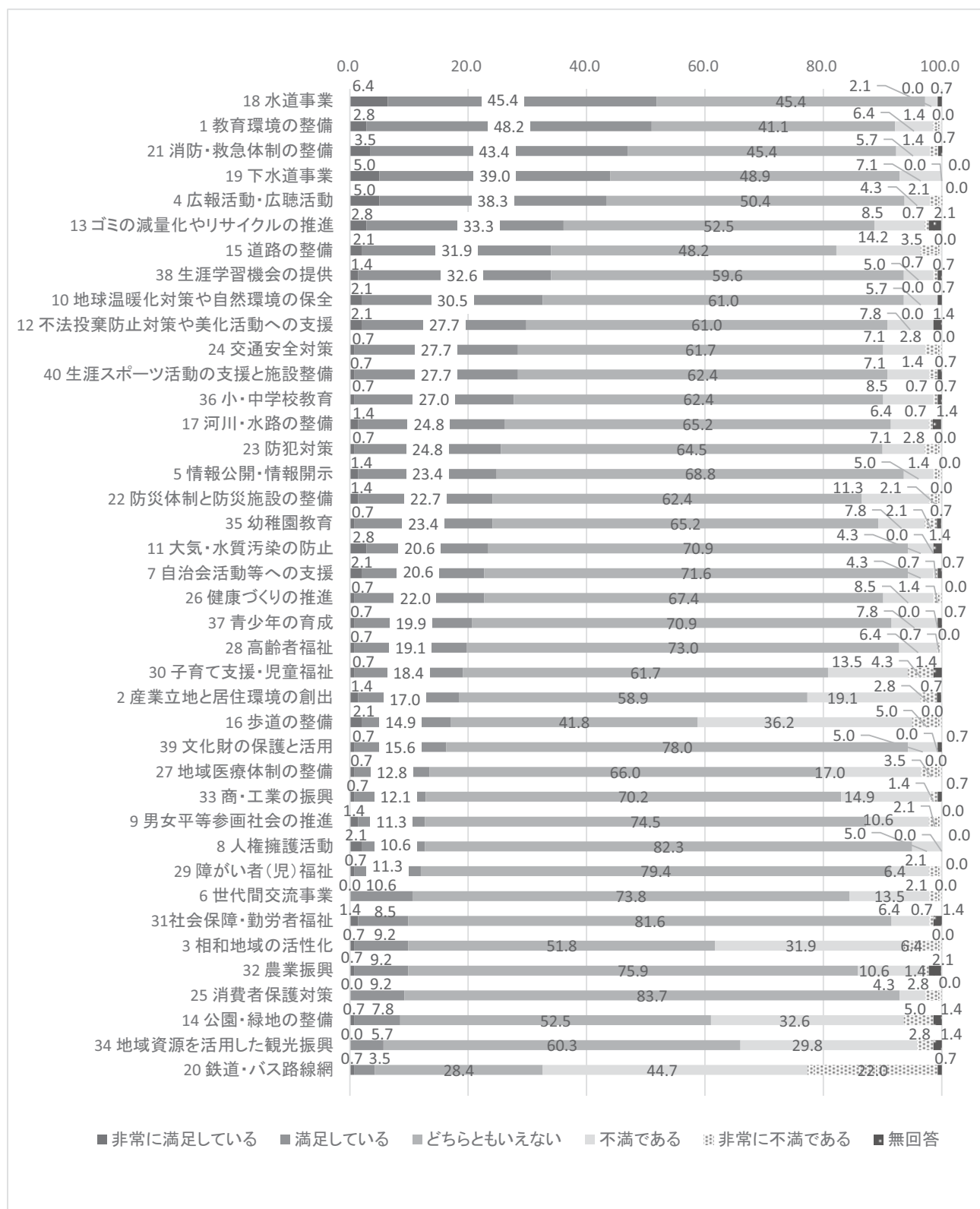
各種施策・事業に対する満足度(グラフ)

(満足度／町民)



各種施策・事業に対する満足度(グラフ)

(満足度／職員)



各種施策・事業に対する満足度について、町民アンケートにおいて“満足”（「非常に満足している」＋「満足している」）は「18 水道事業」（33.0%）、「4 広報活動・広聴活動」（32.3%）、「21 消防・救急体制の整備」（31.9%）、「1 教育環境の整備」（30.0%）、「19 下水道事業」（27.4%）などが高くなっている。

一方、「25 消費者保護対策」（9.6%）、「31 社会保障・勤労者福祉」（9.1%）、「9 男女平等参画社会の推進」（8.4%）、「32 農業振興」（8.0%）、「33 商・工業の振興」（7.2%）、「20 鉄道・バス路線網」（6.4%）、「34 地域資源を活用した観光振興」（5.4%）は“満足”が10%に満たない。

職員アンケートにおいては、“満足”は「18 水道事業」が51.8%と最も高く、次いで「1 教育環境の整備」（51.1%）、「21 消防・救急体制の整備」（46.8%）、「19 下水道事業」（44.0%）、「4 広報活動・広聴活動」（43.3%）と続いている。一方、「31 社会保障・勤労者福祉」（9.9%）、「32 農業振興」（9.9%）、「3 相和地域の活性化」（9.9%）、「25 消費者保護対策」（9.2%）、「14 公園・緑地の整備」（8.5%）、「34 地域資源を活用した観光振興」（5.7%）、「20 鉄道・バス路線図」（4.3%）は“満足”が10%に満たない。

町民アンケートと職員アンケートを比較すると、“満足”の上位5項目は町民と職員で共通している項目は多いが、概ね職員の“満足”のポイントが高い傾向が見られる。下位5項目についても大差はみられない。

各種施策・事業に対する重要度

(重要度／町民)

	特に 重要 である	少し 重要 である	どちらとも いえない	あまり 重要 ではない	全く 重要 ではない	無回答	相関 係数
教育環境の整備	20.7	33.5	26.5	3.2	0.4	15.6	0.84
産業立地と居住環境の創出	9.3	23.3	42.9	6.4	1.2	16.9	0.40
相和地域の活性化	9.0	25.2	35.4	10.8	4.3	15.4	0.28
広報活動・広聴活動	11.0	34.3	34.1	3.7	0.6	16.4	0.61
情報公開・情報開示	16.2	31.0	32.4	3.3	0.6	16.5	0.70
世代間交流事業	9.0	28.0	40.8	4.1	1.0	17.1	0.48
自治会活動等への支援	10.1	32.4	35.7	4.4	1.2	16.1	0.55
人権擁護活動	8.0	23.3	48.3	2.7	0.6	17.1	0.42
男女平等参画社会の推進	6.7	25.0	46.4	3.8	0.8	17.3	0.40
地球温暖化対策や自然環境の保全	27.4	31.9	21.8	1.6	0.5	16.7	1.01
大気・水質汚染の防止	27.2	32.8	21.5	1.5	0.4	16.6	1.02
不法投棄防止対策や美化活動への支援	29.1	35.5	18.3	1.3	0.4	15.5	1.08
ゴミの減量化やリサイクルの推進	27.0	36.0	20.0	0.9	0.5	15.6	1.04
公園・緑地の整備	23.8	35.6	21.8	2.6	1.0	15.4	0.93
道路の整備	21.0	37.5	22.3	2.4	0.6	16.2	0.91
歩道の整備	26.9	36.9	18.9	1.6	0.5	15.1	1.04
河川・水路の整備	17.0	34.9	29.4	2.3	0.5	15.9	0.78
水道事業	15.4	31.3	34.6	2.2	0.5	15.9	0.70
下水道事業	16.4	31.2	33.7	2.4	0.4	16.0	0.72
鉄道・バス路線網	30.3	33.0	20.7	1.9	0.5	13.6	1.05
消防・救急体制の整備	35.5	30.3	19.3	0.9	0.1	14.0	1.16
防災体制と防災施設の整備	31.6	31.4	21.9	1.0	0.1	14.0	1.09
防犯対策	30.4	32.5	21.7	0.9	0.1	14.4	1.08
交通安全対策	26.8	33.5	24.1	0.6	0.2	14.7	1.01
消費者保護対策	15.3	30.4	37.2	1.4	0.3	15.4	0.70
健康づくりの推進	16.1	35.6	30.1	1.4	0.5	16.3	0.78
地域医療体制の整備	26.6	34.6	21.8	1.0	0.4	15.7	1.02
高齢者福祉	24.3	35.8	24.5	0.6	0.3	14.4	0.97
障がい者(児)福祉	20.9	32.3	29.1	0.5	0.5	16.7	0.87
子育て支援・児童福祉	27.3	31.3	24.1	0.9	0.3	16.1	1.01
社会保障・勤労者福祉	18.5	32.3	31.5	0.9	0.4	16.5	0.81
農業振興	12.6	23.9	42.7	3.2	0.7	16.9	0.53
商・工業の振興	13.9	26.1	41.1	1.1	0.5	17.2	0.62
地域資源を活用した観光振興	13.8	27.9	35.7	4.9	1.9	15.7	0.55
幼稚園教育	25.0	27.0	29.2	0.4	0.5	17.9	0.92
小・中学校教育	32.5	24.9	25.1	0.3	0.3	16.9	1.07
青少年の育成	20.6	28.8	32.2	1.0	0.4	17.1	0.82
生涯学習機会の提供	10.2	28.6	40.8	2.6	0.6	17.2	0.55
文化財の保護と活用	7.6	24.6	47.3	2.4	0.9	17.3	0.43
生涯スポーツ活動の支援と施設整備	8.6	30.1	40.9	2.2	0.9	17.4	0.52

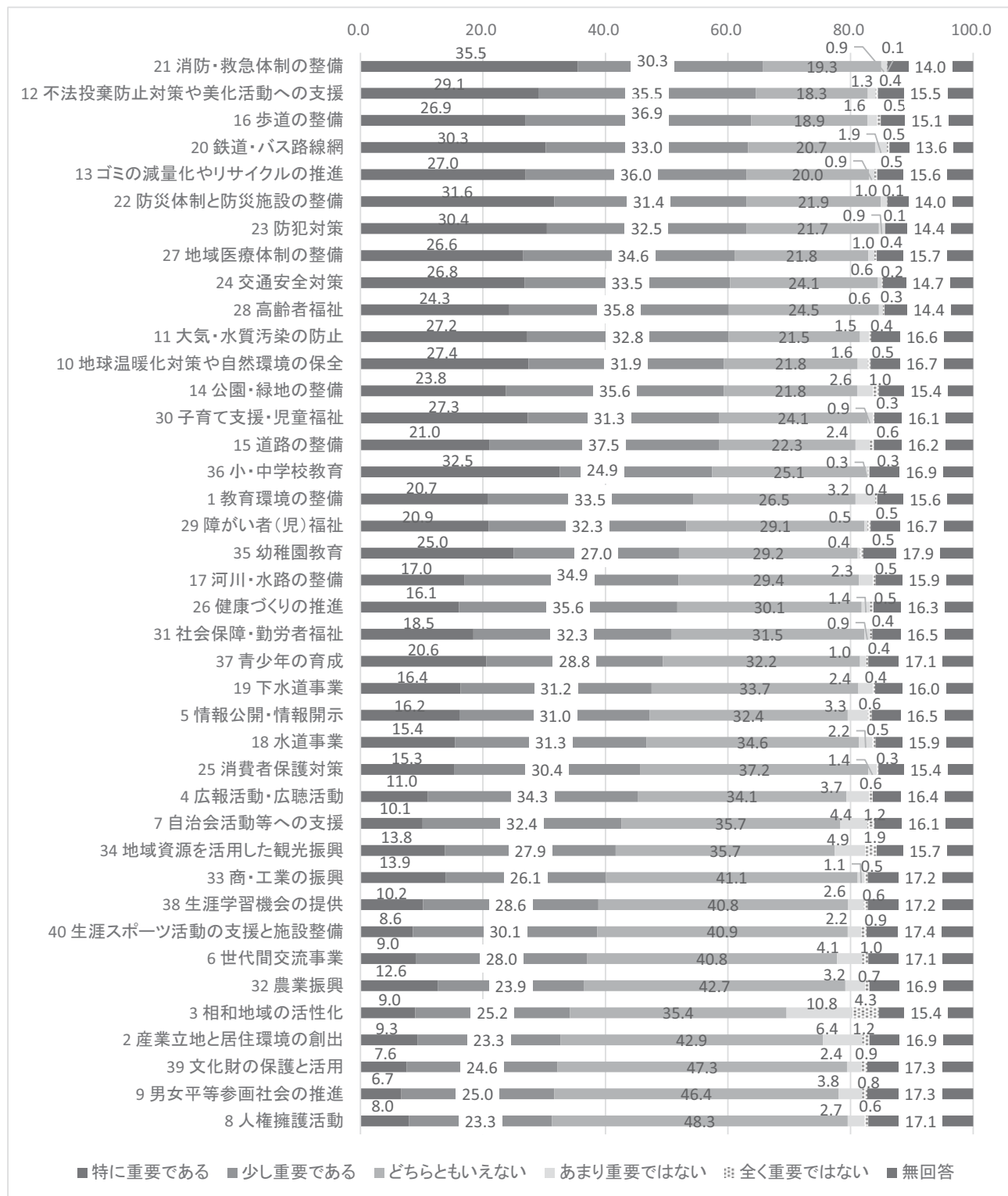
※相関係数の算出方法：下記配点と比率を乗じて計算している（無回答は除く）。「非常に満足している」：2点、「やや満足している」：1点、「どちらともいえない」：0点、「やや不満である」：-1点、「非常に不満である」：-2点
 ※各種施策・事業においてポイントが高い上位2項目を太字にて記載している。

(重要度／職員)

	特に 重要 である	少し 重要 である	どちらとも いえない	あまり 重要 ではない	全く 重要 ではない	無回答	相関 係数
教育環境の整備	27.0	48.9	17.7	2.8	0.7	2.8	1.01
産業立地と居住環境の創出	29.8	37.6	22.0	6.4	2.1	2.1	0.88
相和地域の活性化	15.6	44.0	25.5	9.2	3.5	2.1	0.60
広報活動・広聴活動	21.3	47.5	24.8	3.5	0.7	2.1	0.87
情報公開・情報開示	9.9	38.3	44.0	5.0	0.7	2.1	0.53
世代間交流事業	5.7	51.1	34.8	5.0	1.4	2.1	0.56
自治会活動等への支援	14.2	42.6	34.8	5.0	0.7	2.8	0.66
人権擁護活動	9.2	34.0	47.5	5.7	0.7	2.8	0.47
男女平等参画社会の推進	6.4	39.7	39.7	10.6	1.4	2.1	0.40
地球温暖化対策や自然環境の保全	27.7	48.2	19.9	0.7	0.7	2.8	1.04
大気・水質汚染の防止	19.9	48.9	26.2	2.1	0.7	2.1	0.87
不法投棄防止対策や美化活動への支援	17.7	61.0	17.7	0.7	0.7	2.1	0.96
ゴミの減量化やリサイクルの推進	21.3	61.7	13.5	0.0	0.7	2.8	1.06
公園・緑地の整備	21.3	53.2	19.1	2.8	0.7	2.8	0.94
道路の整備	17.7	48.2	29.1	2.1	0.0	2.8	0.84
歩道の整備	22.0	50.4	24.1	1.4	0.0	2.1	0.95
河川・水路の整備	14.2	42.6	40.4	0.7	0.0	2.1	0.72
水道事業	12.8	46.8	36.2	2.1	0.0	2.1	0.72
下水道事業	13.5	46.1	36.2	2.1	0.0	2.1	0.72
鉄道・バス路線網	40.4	37.6	15.6	3.5	0.7	2.1	1.16
消防・救急体制の整備	39.0	45.4	10.6	1.4	0.0	3.5	1.26
防災体制と防災施設の整備	43.3	39.7	13.5	0.7	0.0	2.8	1.29
防犯対策	19.1	51.1	24.1	3.5	0.0	2.1	0.88
交通安全対策	21.3	56.0	19.1	1.4	0.0	2.1	0.99
消費者保護対策	7.8	30.5	53.2	5.0	1.4	2.1	0.39
健康づくりの推進	19.9	49.6	25.5	2.8	0.0	2.1	0.88
地域医療体制の整備	26.2	47.5	23.4	0.7	0.0	2.1	1.01
高齢者福祉	19.1	52.5	25.5	0.0	0.0	2.8	0.93
障がい者(児)福祉	15.6	49.6	29.1	1.4	0.0	4.3	0.83
子育て支援・児童福祉	29.1	51.8	15.6	0.0	0.0	3.5	1.14
社会保障・勤労者福祉	14.2	41.8	36.2	4.3	0.0	3.5	0.68
農業振興	13.5	45.4	34.0	3.5	0.0	3.5	0.71
商・工業の振興	11.3	47.5	34.0	4.3	0.0	2.8	0.68
地域資源を活用した観光振興	16.3	44.0	26.2	7.1	2.8	3.5	0.66
幼稚園教育	31.9	36.9	24.8	1.4	0.7	4.3	1.02
小・中学校教育	41.8	32.6	21.3	0.0	0.0	4.3	1.21
青少年の育成	15.6	46.8	30.5	3.5	0.0	3.5	0.77
生涯学習機会の提供	5.7	48.2	36.2	5.7	0.0	4.3	0.56
文化財の保護と活用	2.1	31.2	51.1	10.6	0.7	4.3	0.24
生涯スポーツ活動の支援と施設整備	3.5	44.7	43.3	5.0	0.0	3.5	0.49

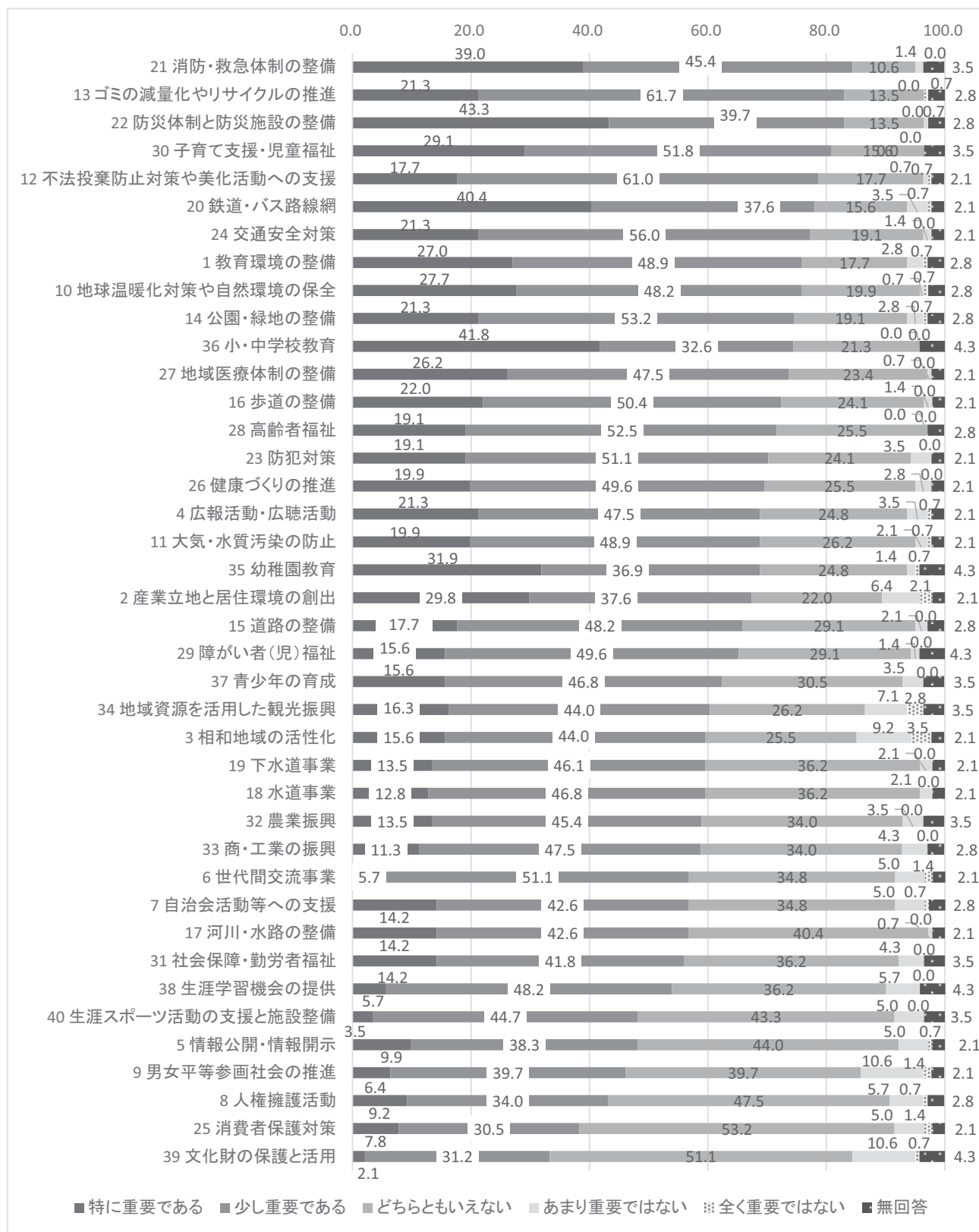
各種施策・事業に対する重要度(グラフ)

(重要度／町民)



各種施策・事業に対する重要度(グラフ)

(重要度／職員)

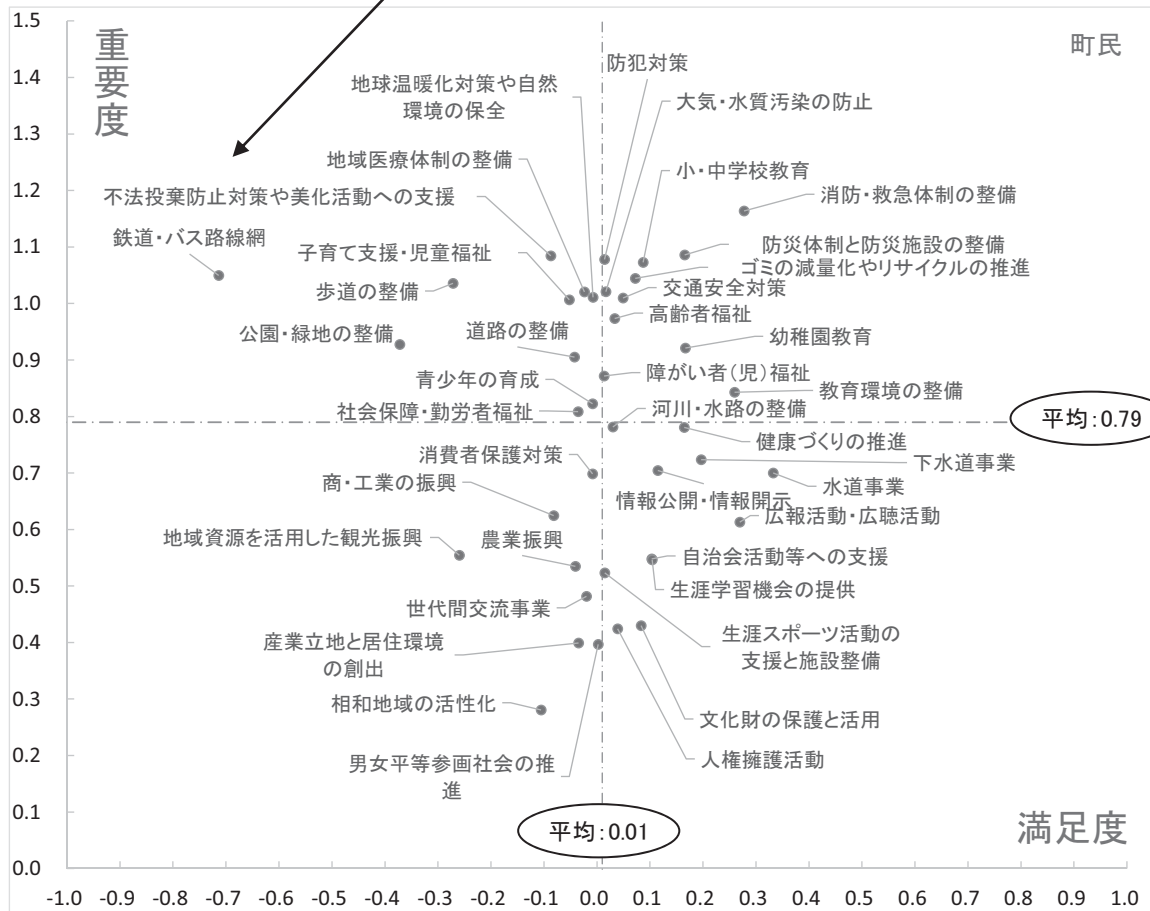


各種施策・事業に対する重要度について、町民アンケートでは“重要”（「特に重要である」＋「少し重要である」）は、「21 消防・救急体制の整備」が 65.7%と最も高く、次いで「12 不法投棄防止対策や美化活動への支援」（64.5%）、「16 歩道の整備」（63.8%）、「20 鉄道・バス路線図」（63.3%）、「13 ゴミの減量化やリサイクルの推進」「22 防災体制と防災施設の整備」（同率 63.0%）と続いている。一方、「3 相和地域の活性化」（34.2%）、「2 産業立地と居住環境の創出」（32.6%）、「39 文化財の保護と活用」（32.2%）、「9 男女平等参画社会の推進」（31.6%）、「8 人権擁護活動」（31.3%）は“重要”のポイントが低くなっている。

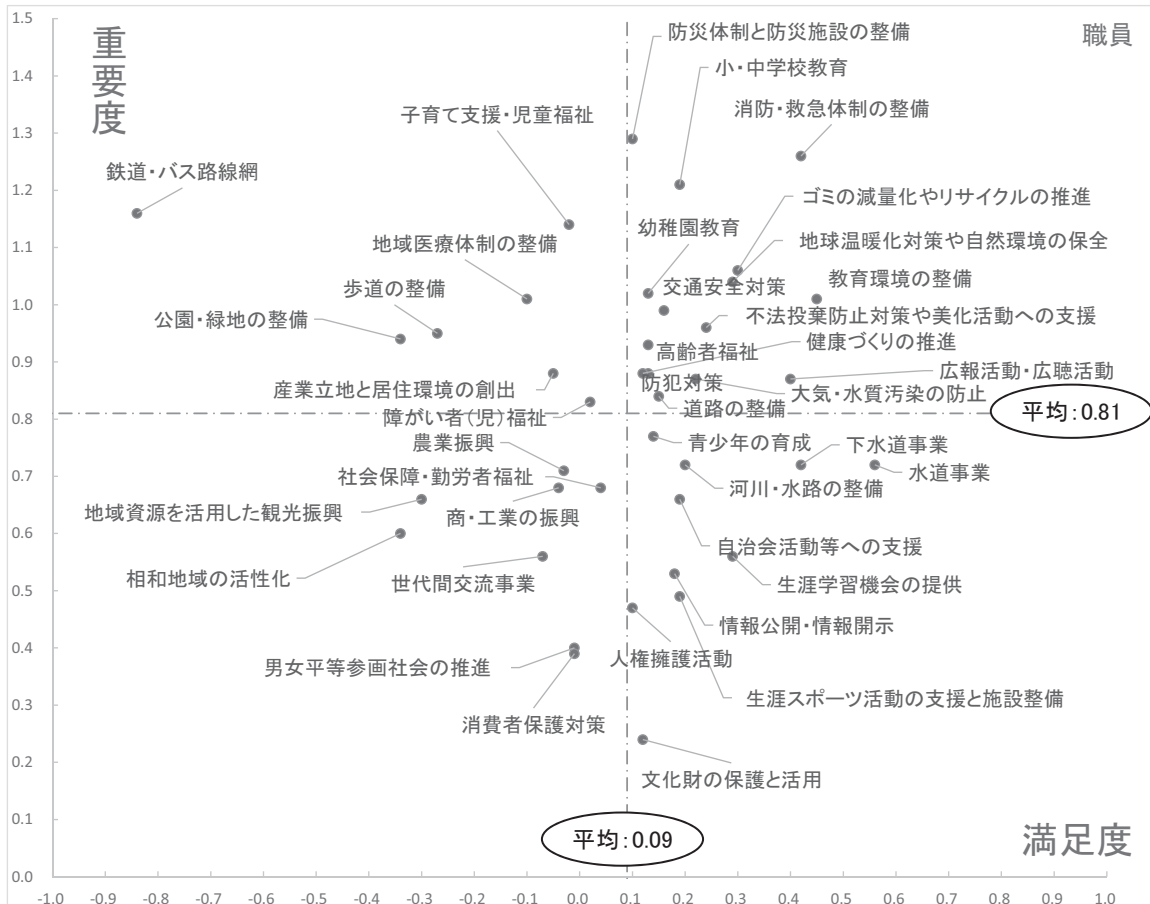
一方、職員アンケートにおいて“重要”は「21 消防・救急体制の整備」が 84.4%と最も高く、次いで「22 防災体制と防災施設の整備」（83.0%）、「13 ゴミの減量化やリサイクルの推進」（83.0%）、「30 子育て支援・児童福祉」（80.9%）、「20 鉄道・バス路線図」（78.0%）と続いている。また、「5 情報公開・情報開示」（48.2%）、「40 生涯スポーツ活動の支援と施設整備」（48.2%）、「9 男女平等参画社会の推進」（46.1%）、「8 人権擁護活動」（43.3%）、「25 消費者保護対策」（38.3%）、「39 文化財の保護と活用」（33.3%）は“重要”のポイントが低くなっている。

満足度と重要度の関係 (町民)

重要度は高いが、満足度が
低い事から課題性が高い



(職員)



施策・事業の満足度・重要度の関係について、町民アンケートでは図の左上（重要だが不満）において「10 地球温暖化対策や自然環境の保全」や「12 不法投棄防止対策や美化活動への支援」、「15 道路の整備」「16 歩道の整備」「20 鉄道・バス路線網」などの自然・生活環境に関する項目や都市基盤に関する項目が多く挙げられている。職員アンケートでも同様に都市基盤に関する項目が多く挙げられているが、その他「27 地域医療体制の整備」や「30 子育て支援・児童福祉」などの健康・福祉に関する項目も挙げられている。特に「20 鉄道・バス路線網」や「14 公園・緑地の整備」については町民と職員いずれも満足度が低く、重要度が高い項目となっている。

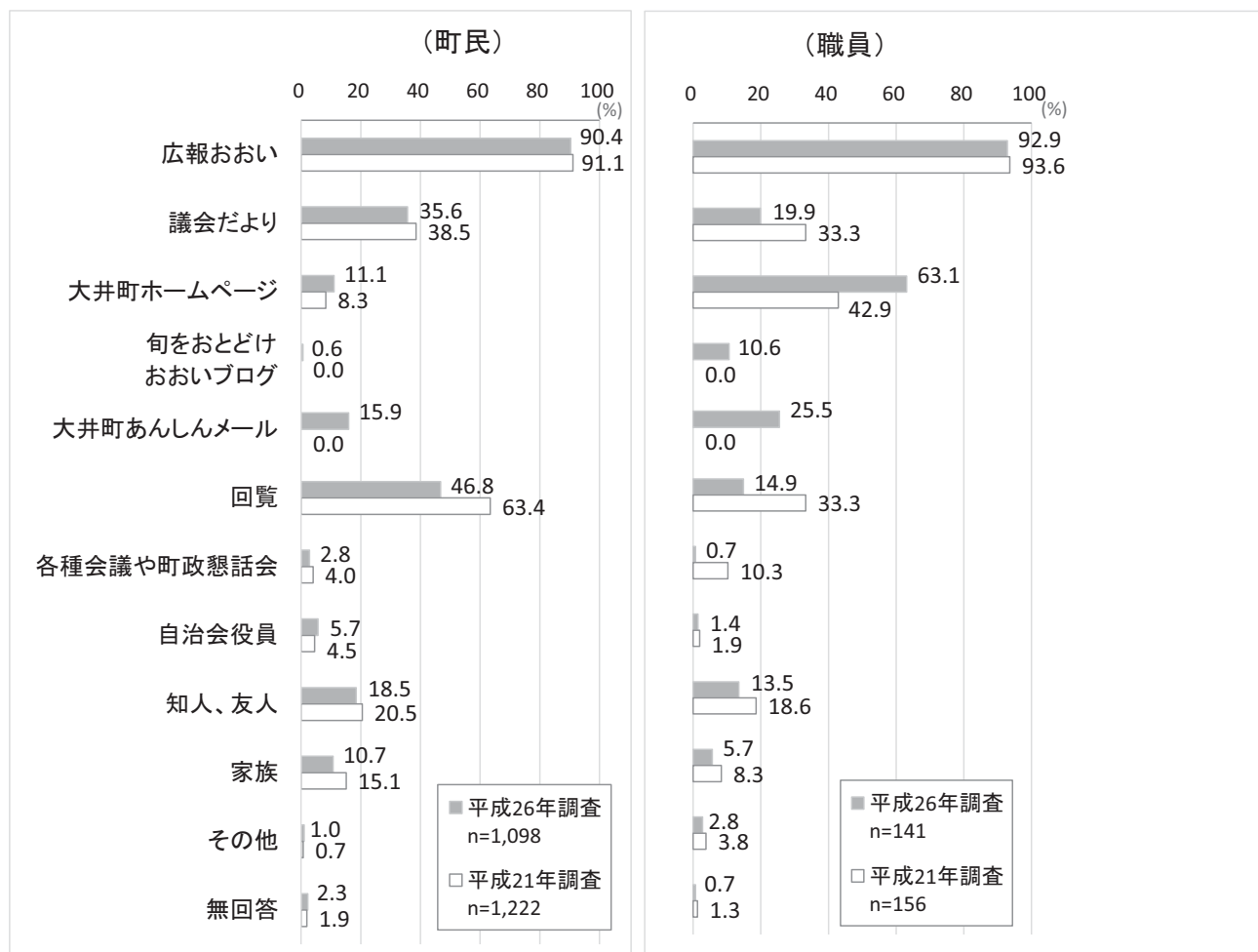
図の右上（重要であり満足）には、町民アンケートでは「21 消防・救急体制の整備」「22 防災体制と防災施設の整備」などの町民の安全・安心に関する項目や、「36 小・中学校教育」「35 幼稚園教育」などの学校教育に関する項目が多く挙げられている。職員アンケートでも同様の傾向が見られる。特に、「21 消防・救急体制の整備」や「22 防災体制と防災施設の設備」に関しては町民と職員いずれも重要度が高くなっている。

図の右下（重要ではないが満足）には、「18 水道事業」や「4 広報活動・広聴活動」「5 情報公開・情報開示」「38 生涯学習機会の提供」など協働のまちづくりや教育、都市基盤に関する項目が挙げられている。職員アンケートでも同様の傾向が見られる。特に「39 文化財の保護と活用」については満足度が比較的高く、重要度は低くなっている。

図の左下（不満だが重要ではない）には、町民アンケートでは「32 農業振興」「33 商・工業の振興」「34 地域資源を活用した観光振興」など、産業に関する項目や協働に関する項目が多く挙げられている。職員アンケートでも同様の傾向で、特に「3 相和地域の活性化」については町民と職員いずれも満足度及び重要度が低くなっている。

3.4 まちづくりへの参加と協力について

問 22 あなたは、町に関する情報を（窓口以外から）主にどのようにして得ていますか。



町に関する情報を入手する手段は、町民アンケートでは「広報おい」が 90.4%と最も高く、次いで「回覧」が 46.8%、「議会だより」が 35.6%となっている。平成 21 年の調査と比較すると、「回覧」(46.8%)が平成 21 年調査 (63.4%) に比べて大きく下回っていることや、「大井町あんしんメール」が 15.9% (前回未調査) となっているほかは、大きな変化は見られない。

職員アンケートにおいても、「広報おい」が 92.9%と最も高く、次いで「大井町ホームページ」が 63.1%、「大井町あんしんメール」が 25.5%、「議会だより」が 19.9%となっている。平成 21 年調査と比較すると、「大井町ホームページ」(63.1%)が平成 21 年調査 (42.9%) に比べて目立って高くなっている一方、「回覧」では平成 21 年調査時の 33.3%から 14.9%へと、「議会だより」では平成 21 年調査時の 33.3%から 19.9%へと目立って低くなっている。

【属性別】

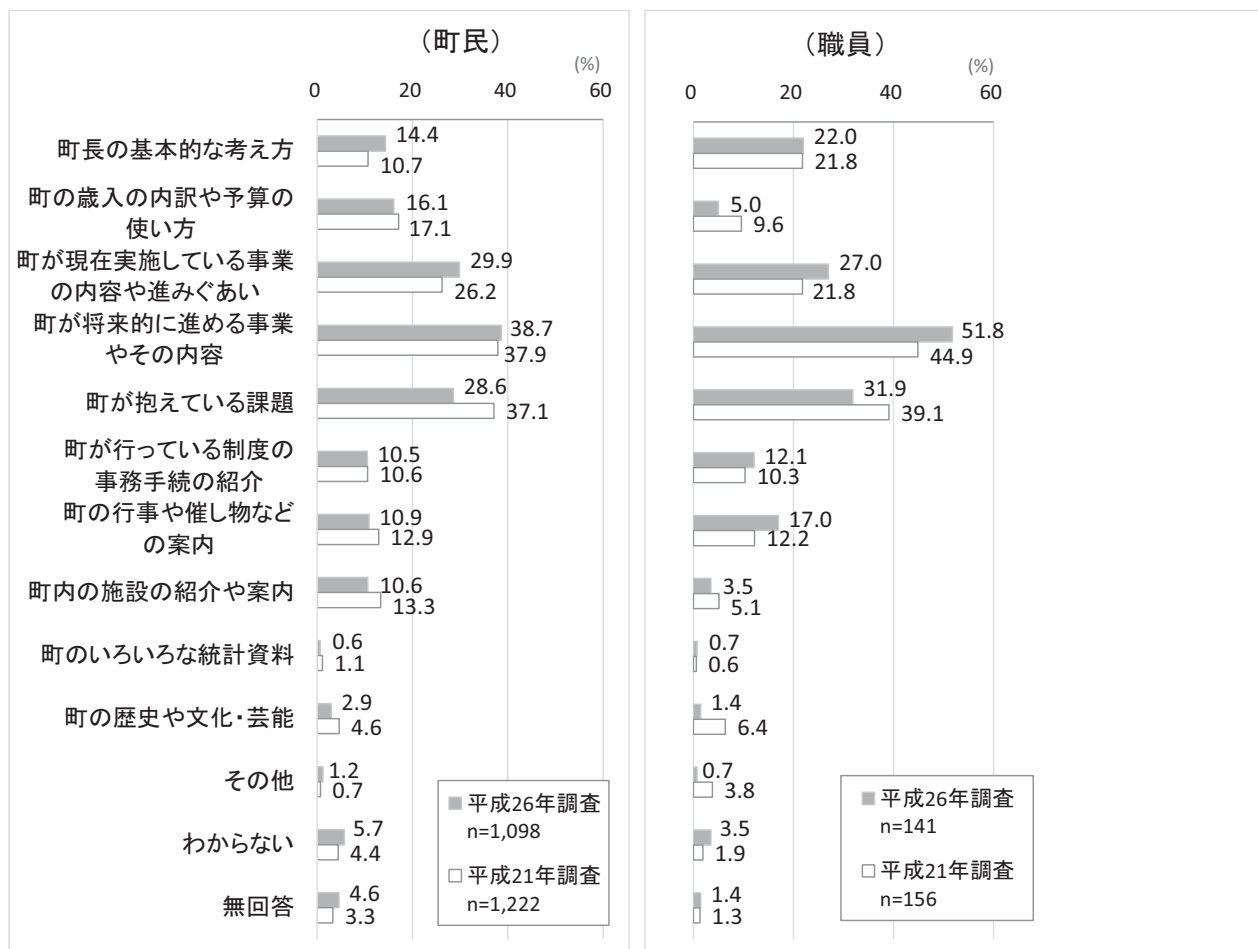
		全体	1位		2位		3位	
全体		n=1,098	広報おおい	90.4	回覧	46.8	議会だより	35.6
性別	男性	n=517	広報おおい	89.0	回覧	42.6	議会だより	38.0
	女性	n=566	広報おおい	91.7	回覧	50.5	議会だより	33.4
年齢別	16～19歳	n=29	広報おおい	72.4	家族	44.8	回覧	24.1
	20～29歳	n=56	広報おおい	82.1	家族	41.1	回覧	35.7
	30～39歳	n=129	広報おおい	84.5	回覧	32.6	議会だより	20.9
	40～49歳	n=166	広報おおい	92.2	回覧	41.0	議会だより	30.7
	50～59歳	n=155	広報おおい	94.2	回覧	49.7	議会だより	36.8
	60～69歳	n=272	広報おおい	92.3	回覧	51.1	議会だより	42.6
	70歳以上	n=286	広報おおい	92.3	回覧	55.1	議会だより	45.6
地区別	金田地区	n=716	広報おおい	91.8	回覧	46.5	議会だより	34.5
	曾我地区	n=261	広報おおい	89.6	回覧	50.0	議会だより	37.3
	相和地区	n=110	広報おおい	86.4	回覧	43.6	議会だより	39.1

性別にみると、大差は見られない。

年齢別に見ると、30歳以上では全体の傾向と同様だが、30歳未満では2位「家族」、3位「回覧」となっており、全体の傾向と順位や項目が異なっている。

地区別にみると、大差は見られない。

問 23 あなたが、大井町について特に知りたい情報は何か。



町について特に知りたい情報は、町民アンケートでは「町が将来的に進める事業やその内容」が38.7%と最も高く、次いで「町が現在実施している事業の内容や進みぐあい」が29.9%、「町が抱えている課題」が28.6%となっている。平成21年の調査と比較すると、「町が抱えている課題」(28.6%)では、平成21年調査時の37.1%に比べてやや低くなっている。

職員アンケートでは、「町が将来的に進める事業やその内容」が51.8%と最も高く、次いで「町が抱えている課題」が31.9%、「町が現在実施している事業の内容や進みぐあい」が27.0%となっている。平成21年調査と比較すると、「町が抱えている課題」が39.1%から31.9%にやや低くなっている。

町民アンケートと職員アンケートを比較してみると、「町が将来的に進める事業やその内容」(町民38.7%、職員51.8%)や「町長の基本的な考え方」(町民14.4%、職員22.0%)では、町民に比べて職員が高くなっている。その一方で「町の歳入の内訳や予算の使い方」(町民16.1%、職員5.0%)、「町内の施設の紹介や案内」(町民10.6%、職員3.5%)では、職員に比べて町民が高くなっている。

【属性別】

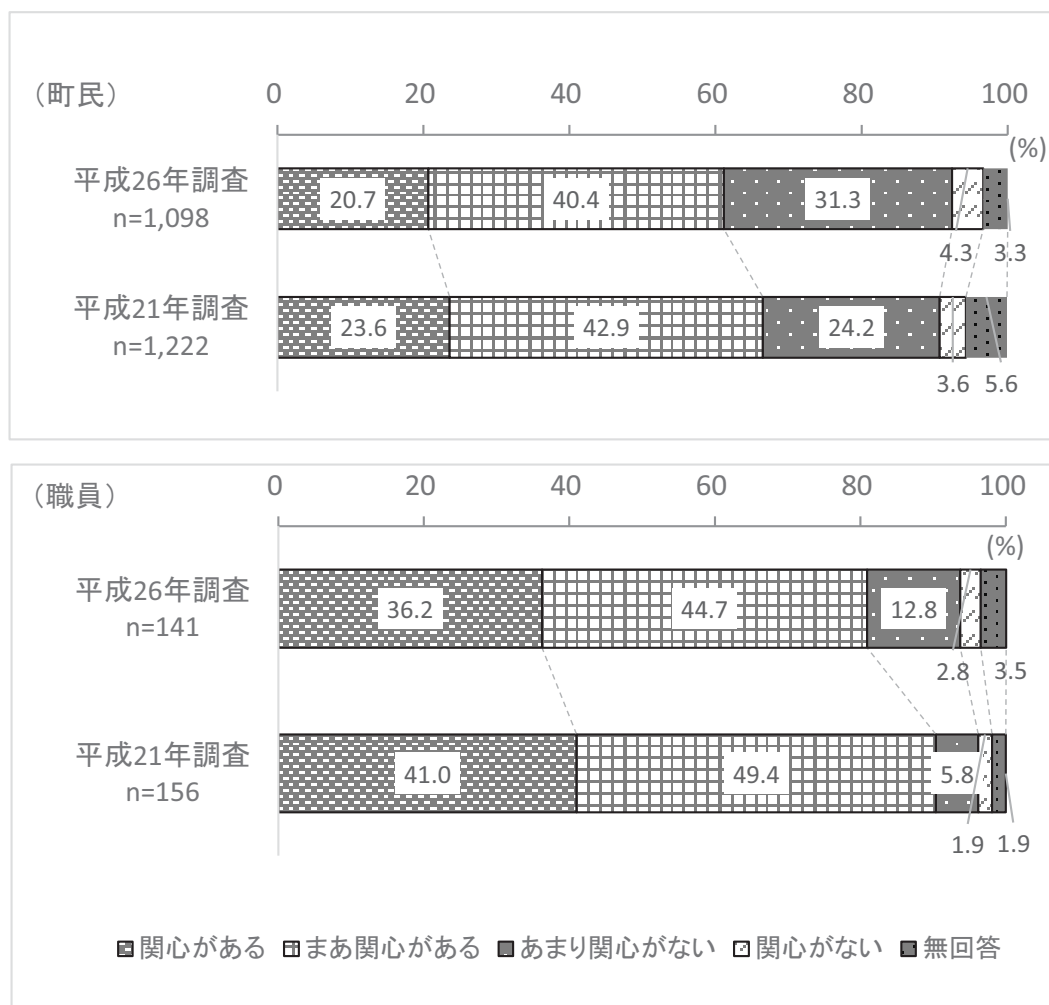
		全体	1位		2位		3位	
全体		n=1,098	町が将来的に進める事業やその内容	38.7	町が現在実施している事業の内容や進みぐあい	29.9	町が抱えている課題	28.6
性別	男性	n=517	町が将来的に進める事業やその内容	43.7	町が現在実施している事業の内容や進みぐあい	34.8	町が抱えている課題	29.8
	女性	n=566	町が将来的に進める事業やその内容	34.3	町が抱えている課題	27.6	町が現在実施している事業の内容や進みぐあい	25.0
年齢別	16～19歳	n=29	町が将来的に進める事業やその内容	27.6	町が抱えている課題	24.1	町内の施設の紹介や案内	20.7
	20～29歳	n=56	町が将来的に進める事業やその内容	35.7	町が現在実施している事業の内容や進みぐあい	33.9	町が抱えている課題	28.6
	30～39歳	n=129	町が将来的に進める事業やその内容	40.3	町が抱えている課題	29.5	町が現在実施している事業の内容や進みぐあい	25.6
	40～49歳	n=166	町が将来的に進める事業やその内容	37.3	町が現在実施している事業の内容や進みぐあい	31.3	町が抱えている課題	30.1
	50～59歳	n=155	町が将来的に進める事業やその内容	45.8	町が抱えている課題	31.0	町が現在実施している事業の内容や進みぐあい	29.7
	60～69歳	n=272	町が将来的に進める事業やその内容	39.1	町が現在実施している事業の内容や進みぐあい	31.4	町が抱えている課題	28.4
	70歳以上	n=286	町が将来的に進める事業やその内容	36.0	町が現在実施している事業の内容や進みぐあい	30.4	町が抱えている課題	26.6
地区別	金田地区	n=716	町が将来的に進める事業やその内容	37.4	町が現在実施している事業の内容や進みぐあい	31.0	町が抱えている課題	28.2
	曾我地区	n=261	町が将来的に進める事業やその内容	40.2	町が現在実施している事業の内容や進みぐあい	28.4	町が抱えている課題	28.4
	相和地区	n=110	町が将来的に進める事業やその内容	41.8	町が抱えている課題	30.9	町が現在実施している事業の内容や進みぐあい	25.5

性別にみると、女性は2位が「町が抱えている課題」(27.6%)、3位が「町が現在実施している事業のないようや進みぐあい」(25.0%)となっており、全体の傾向とは順位が異なっている。

年齢別にみると、20～29歳、40～49歳、60～69歳、70歳以上は全体と同じ傾向がある。16～19歳では、2位が「町が抱えている課題」(27.6%)、3位が「町内の施設の紹介や案内」(20.7%)と、全体とは項目や順位が異なっている。30～39歳では、2位が「町が抱えている課題」(29.5%)、3位が「町が現在実施している事業の内容や進みぐあい」(25.6%)と、全体とは項目や順位が異なっている。50～59歳では、2位が「町が抱えている課題」(31.0%)、3位が「町が現在実施している事業の内容や進みぐあい」(29.7%)と、全体とは項目や順位が異なっている。

地区別にみると、金田地区と曾我地区は全体と同じ傾向が見られる。相和地区では、2位が「町が抱えている課題」(30.9%)、3位が「町が現在実施している事業の内容や進みぐあい」(25.5%)となっており、全体とは順位が異なっている。

問 24 あなたは、地域づくりやまちづくり活動に関心がありますか。



地域づくりやまちづくり活動に対する関心は、町民アンケートでは「まあ関心がある」が 40.4%と最も高く、次いで「あまり関心がない」が 31.3%、「関心がある」が 20.7%となっている。平成 21 年調査と比較してみると、「関心がある」は前回 23.6%から 20.7%に、「まあ関心がある」が 42.9%から 40.4%に低くなる一方で、「あまり関心がない」が前回 24.2%から 31.3%にやや高くなっており、「関心がある」「まあ関心がある」から「あまり関心がない」に移動したと思われる。

職員アンケートでは、「まあ関心がある」が 44.7%と最も高く、次いで「関心がある」が 36.2%、「あまり関心がない」が 12.8%となっている。平成 21 年調査と比較してみると、「関心がある」は前回 41.0%から 36.2%に、「まあ関心がある」は前回 49.4%から 44.7%に低くなる一方で、「あまり関心がない」が前回 5.8%から 12.8%にやや高くなっており、「関心がある」「まあ関心がある」から「あまり関心がない」に移動したと思われる。

町民アンケートと職員アンケートを比較してみると、「関心がある」と「まあ関心がある」を合わせた割合は、職員の 80.9%に比べて町民は 61.1%と目立って低くなっている。その一方、「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた割合は、職員の 15.6%に比べて町民は 35.6%と目立って高くなっている。

【属性別】

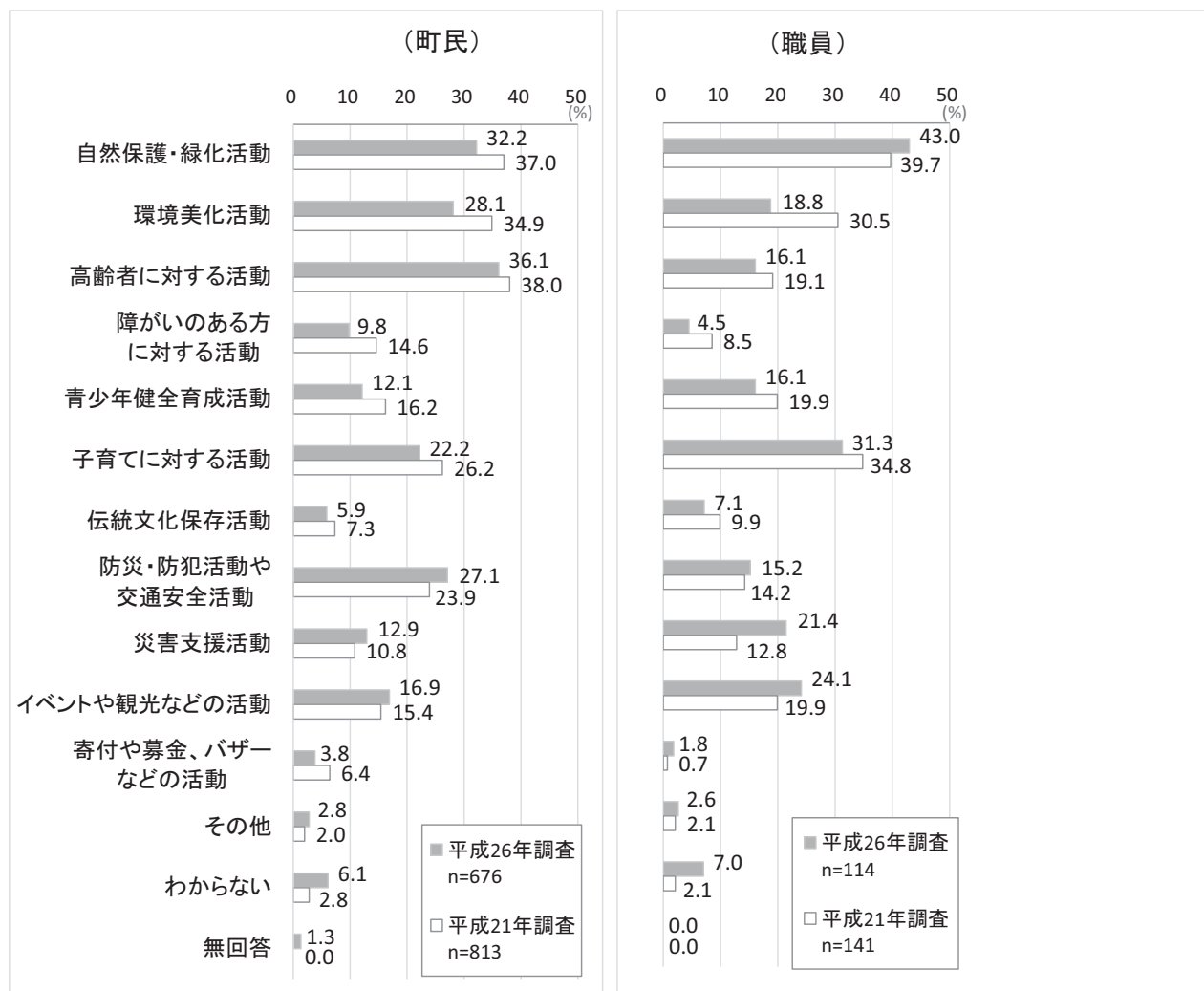
		全体	1位		2位		3位	
全体		n=1,098	まあ関心がある	40.4	あまり関心がない	31.3	関心がある	20.7
性別	男性	n=517	まあ関心がある	39.8	関心がある	26.7	あまり関心がない	25.3
	女性	n=566	まあ関心がある	42.2	あまり関心がない	35.5	関心がある	15.2
年齢別	16～19歳	n=29	あまり関心がない	34.5	まあ関心がある	31.0	関心がある・関心がない	17.2
	20～29歳	n=56	まあ関心がある	50.0	あまり関心がない	37.5	関心がない	7.1
	30～39歳	n=129	まあ関心がある	37.2	あまり関心がない	30.2	関心がある	22.5
	40～49歳	n=166	まあ関心がある	50.0	あまり関心がない	33.7	関心がある	13.3
	50～59歳	n=155	まあ関心がある	45.8	あまり関心がない	34.8	関心がある	14.2
	60～69歳	n=272	まあ関心がある	41.2	あまり関心がない	31.3	関心がある	21.3
	70歳以上	n=286	まあ関心がある	33.9	関心がある	29.7	あまり関心がない	24.8
地区別	金田地区	n=716	まあ関心がある	41.2	あまり関心がない	33.2	関心がある	18.4
	曽我地区	n=261	まあ関心がある	41.4	あまり関心がない	26.4	関心がある	23.0
	相和地区	n=110	まあ関心がある	38.2	関心がある	29.1	あまり関心がない	24.5

性別にみると、男性は2位「関心がある」(26.7%)、3位「あまり関心がない」(25.3%)と全体とは順位が異なっている。女性は全体の傾向と同様である。

年齢別にみると、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳では全体の傾向と同様である。16～19歳では1位が「あまり関心がない」(34.5%)、2位が「まあ関心がある」(31.0%)、3位が「関心がある」「関心がない」(同率17.2%)と全体と項目や順位が異なっている。20～29歳では1位・2位は全体の傾向と同様だが、3位「関心がない」(7.1%)が異なっている。70歳以上では、2位「関心がある」(29.7%)、3位「あまり関心がない」(24.8%)と全体と項目や順位が異なっている。

地区別にみると、金田地区及び曽我地区は全体の傾向と同様である。相和地区では2位「関心がある」(29.1%)、3位「あまり関心がない」(24.5%)と全体と順位が異なっている。

問 24-1 あなたが今後活動したいと思うものはどれですか。



今後の活動意向は、町民アンケートでは「高齢者に対する活動」が36.1%と最も高く、次いで「自然保護・緑化活動」(32.2%)、「環境美化活動」(28.1%)となっている。平成21年調査と比較してみると、「防災・防犯活動や交通安全活動」(27.1%、前回23.9%)や「災害支援活動」(12.9%、前回10.8%)、「イベントや観光などの活動」(16.9%、前回15.4%)において若干高くなっている一方、全体的には活動意向が数ポイントだけやや低くなっている。

職員アンケートでは、「自然保護・緑化活動」が42.1%と最も高く、次いで「子育てに対する活動」(30.7%)、「イベントや観光などの活動」(23.7%)となっている。平成21年調査と比較してみると、「環境美化活動」(17.5%)が平成21年調査30.5%から目立って低くなっている一方、「災害支援活動」(21.1%、前回12.8%)や「イベントや観光などの活動」(23.7%、前回19.9%)からやや高くなっている。

町民アンケートと職員アンケートを比較してみると、「防災・防犯活動や交通安全活動」(町民27.1%、職員14.0%)や「高齢者に対する活動」(町民36.1%、職員14.9%)、「環境美化活動」(町民28.1%、職員17.5%)では、職員に比べて町民が高くなっている一方で、「子育てに対する活動」(町民22.2%、職員30.7%)や「災害支援活動」(町民12.9%、職員21.1%)では町民に比べて職員高くなっている。

【属性別】

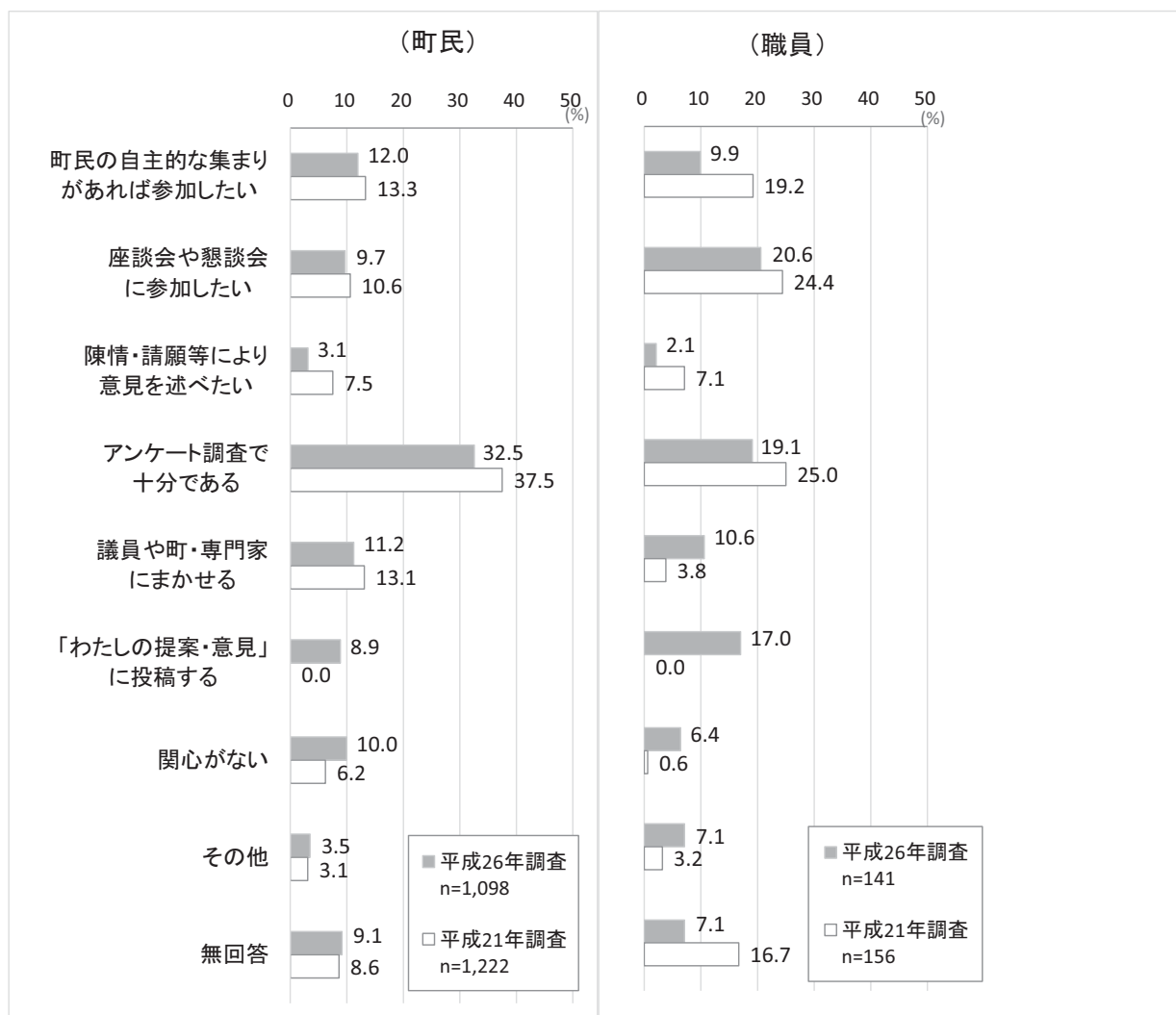
		全体	1位		2位		3位	
全体		n=676	高齢者に対する活動	36.1	自然保護・緑化活動	32.2	環境美化活動	28.1
性別	男性	n=344	自然保護・緑化活動	36.0	防災・防犯活動や交通安全活動	33.1	環境美化活動	31.7
	女性	n=325	高齢者に対する活動	41.2	自然保護・緑化活動	28.3	子育てに対する活動	28.0
年齢別	16～19歳	n=14	イベントや観光などの活動	50.0	青少年健全育成活動	28.6	自然保護・緑化活動/障がいのある方に対する活動	21.4
	20～29歳	n=31	自然保護・緑化活動	38.7	子育てに対する活動	29.0	イベントや観光などの活動	25.8
	30～39歳	n=77	子育てに対する活動	57.1	防災・防犯活動や交通安全活動	29.9	イベントや観光などの活動	24.7
	40～49歳	n=105	子育てに対する活動	34.3	防災・防犯活動や交通安全活動	31.4	自然保護・緑化活動	31.4
	50～59歳	n=93	自然保護・緑化活動	38.7	高齢者に対する活動	31.2	防災・防犯活動や交通安全活動/環境美化活動	26.9
	60～69歳	n=170	高齢者に対する活動	44.1	自然保護・緑化活動	35.3	環境美化活動	29.4
	70歳以上	n=182	高齢者に対する活動	50.0	環境美化活動	34.6	自然保護・緑化活動	29.7
地区別	金田地区	n=427	高齢者に対する活動	36.3	自然保護・緑化活動	33.3	防災・防犯活動や交通安全活動/環境美化活動	28.1
	曾我地区	n=168	高齢者に対する活動	39.3	自然保護・緑化活動	26.2	防災・防犯活動や交通安全活動	26.2
	相和地区	n=74	自然保護・緑化活動	37.8	環境美化活動	35.1	高齢者に対する活動	29.7

性別にみると、男性では1位に「自然保護・緑化活動」(36.0%)、2位に「防災・防犯活動や交通安全活動」(33.1%)が位置しており、全体とは傾向が異なっている。女性では1位、2位は全体と同様だが、3位は「子育てに対する活動」(28.0%)となっている。

年齢別にみると、16～19歳では、1位「イベントや観光などの活動」(50.0%)、2位「青少年健全育成活動」(28.6%)、3位「自然保護・緑化活動/障がいのある方に対する活動」(21.4%)となっており、全体とは傾向や項目・順位が異なっている。20～29歳、30～39歳、40～49歳の年代では、全体の傾向と異なり「子育てに対する活動」が1位や2位となっている。50歳以上の年代では「高齢者に対する活動」が1位や2位となっており、その他「自然保護・緑化活動」「環境美化活動」がそれぞれの年齢において全体とは異なる順位となっている。

地区別にみると、金田地区は全体とほぼ同じ傾向がみられる。曾我地区では3位「防災・防犯活動や交通安全活動」(26.2%)となっており、全体と順位が異なっている。相和地区では、1位が「自然保護・緑化活動」(37.8%)、2位が「環境美化活動」(35.1%)、3位が「高齢者に対する活動」(29.7%)となっており、全体と順位が異なっている。

問 25 あなたは、町に対してどのような方法で意見を伝えたいと考えていますか。



※平成 21 年の調査には「『わたしの提案・意見』に投稿する」という項目がない。

町に対する意見の伝え方は、町民アンケートでは「アンケート調査で十分である」が 32.5%と目立って高く、次いで「町民の自主的な集まりであれば参加したい」が 12.0%、「議員や町・専門家にまかせる」が 11.2%となっている。平成 21 年の調査と比較してみると、大きな変化は見られない。

職員アンケートでは、「座談会や懇談会に参加したい」が 20.6%と最も高く、次いで「アンケート調査で十分である」(19.1%)、「『わたしの提案・意見』に投稿する」(17.0%) となっている。平成 21 年の調査と比較してみると、「議員や町・専門家にまかせる」(10.6%、前回 3.8%) や「関心がない」(6.4%、前回 0.6%) がやや高くなっている一方、「町民の自主的な集まりであれば参加したい」(9.9%、前回 19.2%) はやや低くなっている。

【属性別】

		全体	1位		2位		3位	
全体		n=1,098	アンケート調査で十分である	32.5	町民の自主的な集まりがあれば参加したい	12.0	議員や町・専門家にまかせる	11.2
性別	男性	n=517	アンケート調査で十分である	28.6	座談会や懇談会に参加したい	14.5	町民の自主的な集まりがあれば参加したい	14.1
	女性	n=566	アンケート調査で十分である	35.3	議員や町・専門家にまかせる	11.5	関心がない	10.4
年齢別	16～19歳	n=29	アンケート調査で十分である	41.4	「わたしの提案・意見」に投稿する	20.7	関心がない	17.2
	20～29歳	n=56	アンケート調査で十分である	51.8	関心がない	14.3	町民の自主的な集まりがあれば参加したい	8.9
	30～39歳	n=129	アンケート調査で十分である	35.7	関心がない	17.8	「わたしの提案・意見」に投稿する	14.0
	40～49歳	n=166	アンケート調査で十分である	39.8	「わたしの提案・意見」に投稿する	15.7	関心がない、議員や町・専門家にまかせる	9.6
	50～59歳	n=155	アンケート調査で十分である	30.3	町民の自主的な集まりがあれば参加したい	12.9	座談会や懇談会に参加したい	11.6
	60～69歳	n=272	アンケート調査で十分である	25.7	町民の自主的な集まりがあれば参加したい	13.2	座談会や懇談会に参加したい	12.5
	70歳以上	n=286	アンケート調査で十分である	29.4	議員や町・専門家にまかせる	15.4	町民の自主的な集まりがあれば参加したい	14.3
地区別	金田地区	n=716	アンケート調査で十分である	32.5	町民の自主的な集まりがあれば参加したい	11.9	議員や町・専門家にまかせる	11.5
	曾我地区	n=261	アンケート調査で十分である	34.9	議員や町・専門家にまかせる	11.5	座談会や懇談会に参加したい・町民の自主的な集まりがあれば参加したい	11.1
	相和地区	n=110	アンケート調査で十分である	27.3	町民の自主的な集まりがあれば参加したい	12.7	「わたしの提案・意見」に投稿する・議員や町・専門家にまかせる・関心がない	10.0

性別、年齢別、地区別いずれの場合においても、1位は「アンケート調査で十分である」となっている。

性別にみると、男性では「座談会や懇談会に参加したい」（14.5%）、「町民の自主的な集まりがあれば参加したい」（14.1%）がそれぞれ2位・3位を占めている一方で、女性では「議員や町・専門家にまかせる」「関心がない」となっている。

年齢別にみると、16～19歳、20～29歳、30～39歳において「関心がない」が2位または3位に位置づけられている。また40～49歳では「『わたしの提案・意見』に投稿する」（2位、15.7%）のほか、50歳以上では「町民の自主的な集まりがあれば参加したい」「座談会や懇談会に参加したい」が2位または3位に位置している。50～59歳、60～69歳では1位、2位は全体と同じ傾向だが、3位に「座談会や懇談会に参加したい」が位置している。70歳以上では2位「議員や町・専門家にまかせる」（15.4%）、3位「町民の自主的な集まりがあれば参加したい」（14.3%）となっており、全体とは順位が異なっている。

地区別にみると、金田地区は全体と同じ傾向がみられる。曾我地区では2位「議員や町・専門家にまかせる」（11.5%）、3位「座談会や懇談会に参加したい」「町民の自主的な集まりがあれば参加したい」（同率11.1%）となっている。相和地区では2位「町民の自主的な集まりがあれば参加したい」（12.7%）、3位「『わたしの提案・意見』に投稿する」「議員や町・専門家にまかせる」「関心がない」（同率10.0%）となっている。

3.5 自由意見

問 26 大井町の発展や町民の皆さまの暮らしを豊かにするために、何かご意見やご提案（アイデア）、夢をお持ちでしたら、ご自由にお書きください。

まちづくりについての自由意見では、町民アンケートでは「まちづくり全体」「情報公開・開示」「環境共生」「生活環境」「ごみ」「都市整備」「公共交通」「安全・安心」「福祉健康」「産業振興」「教育文化」「行財政」「住民参加」に概ね分類される。主な意見は以下の通りである。

まちづくり全体	安心・安全なまちづくり、子育て世代／高齢者が住みやすいまちづくり、健康のまちづくり、緑の多いまちづくり、相和地区の活性化
情報公開・開示	情報公開、情報発信
環境共生	再エネ利用、メガソーラー
生活環境	防犯灯の設置、生活環境の充実
ごみ	ごみの出し方、ごみの捨て方、ごみの不法投棄
都市整備	公園・運動場の整備、道路・歩道の整備、交通標識（信号、カーブミラー）の整備、防犯灯の整備、公共施設・交流施設の充実、消防署の広域統合、第一生命跡地の利活用、そうわ会館の利活用、空き家活用
公共交通	鉄道・バスの路線増強、公共交通機関の連携、駅前広場の活用
安全・安心	防犯・防災対策、防災設備の整備
福祉健康	健康増進施設の充実、保育所の充実、子育て支援、小児医療の充実
産業振興	農業支援、農地・鉄道の観光活用、企業誘致、商業・娯楽施設の整備・誘致、太陽光発電の普及推進
教育文化	学校教育、学校誘致、ひょうたん祭り、花火大会
行財政	住民税、小児医療費、役場職員、合併、隣接自治体との連携
住民参加	ボランティア活動、交流イベント

職員アンケートでは「まちづくり全体」「環境共生」「都市整備」「公共交通」「安全・安心」「福祉健康」「産業振興」「教育文化」「行財政」「住民参加」に概ね分類される。主な意見は以下の通りである。

まちづくり全体	防災に強いまちづくり、災害が少ないまち、自然を活用したまちづくり、住みやすいまちづくり、自然を活用したまちづくり・移住促進、相和地区の活性化、四季の里・いこいの村周辺の活性化、第一生命跡地のまちづくり活用
環境共生	眺望
都市整備	公園・運動場の整備、道路・歩道の整備、河川敷の整備・公園活用、マイカー利用の低減促進、第一生命跡地の利活用、空き家活用
公共交通	鉄道・バスの路線増強、公共交通機関の連携、福祉バス・福祉タクシーの充実・展開、駅前広場の活用、遊休資源や隙間時間を活用したオンデマンドタクシーの導入
安全・安心	防災の強化
福祉健康	健康増進施設の充実、出産・育児後の就労支援
産業振興	農業支援、観光事業の強化、企業誘致、商業・娯楽施設の整備・誘致
教育文化	観光イベント（ご当地グルメ、ギネス挑戦等）、ひょうたん祭り、大学誘致、若者文化拠点づくり
行財政	役場職員の研修、行政の役割分担の明確化、隣接自治体との連携、ふるさと納税制度活用
住民参加	有償ボランティア育成、町内有能人材との連携、交流イベント

※ 町民・職員のまちづくりに関する自由意見は別途資料編に整理する。

4. 資料編

4. 資料編

4.1 町民アンケート

【自由意見】人口と開発との関係に関する意見(問 12)

地区	年代	意 見
新宿	10 代	相和地区の活性化→おおいゆめの里をもっと他の地域の方々に知ってもらえるようにする。今ある自然はできる限りそのままに。
	20 代	開発が進めば今いる人は離れないだろうが、開発のしすぎはどうかと思う。
	30 代	自然を大切にし、過剰なコンクリート開発はしない
	40 代	昔ながらの風情と自然が破壊されないような開発であれば良い
	50 代	少子化対策に取り組む。子育て環境を良くする。
	60 代	御殿場線の列車本数の増加による首都圏への利便性向上を図る
		町村合併の推進
		バランスよく推進する。当事者(地元)と行政(町、県)が対等で話し合いにつく。
		これとした魅力ない。
		平地の人口はこのままで相和地区の開発を。
河原	70 代	若年層の支援を強化して少子化対策する。
	30 代	福祉関係に力を入れてほしい。住民税をもっと低くしてほしい。(高すぎる)
	40 代	人口の増加ばかりに重きをおかず、町の良さを全面に出すような開発をすると良い。
		人口を増加させる為、開発よりも医療・福祉・行政サービスの充実！
		出産等の助成金がなく、町民税も高い。魅力的な事が見当たらない。
		開発の内容を充実させればおのずと人口は増加する
		若い層に必要な保育施設増、御殿場線ダイヤ増。
	50 代	人口は現状維持 開発は地域を限定して行う
	60 代	人口減少は大井町に限った事ではなくデリケートな対策が必要ではないでしょうか。
		特徴(魅力)ある町づくり→255線路上にコンビニだらけでいいのか？
		住人を増やす。
根岸上	40 代	病院の充実
	50 代	開発するのであれば計画的に行い、人口増加は特に望まない。
		生活環境の整備。高齢化を考慮したインフラ施設の整備と長寿命化対策。若い世代が定住したい町づくり。
	70 代	住みよい環境作り、自然との調和
根岸下	30 代	御殿場線 国府津～松田駅間を20～30分に1本の折り返し運転を実施するよう小田原市、松田町と連携を持ち、JR東海と協議する(その為の駅前開発等は財政相応の投資は認める)。
		子供が育てやすい環境作り
		低所得帯が住めるように助成することは出来ないか。とにかく人口を増やせる状態にしなければ衰退するのみだと思う。
	40 代	企業の誘致
		・医療機関の充実
		・御殿場線のダイヤ増
		・積極的な自然保護
		・動物に優しい街づくり
	50 代	人口増を図りつつも、自然環境を失うような開発はしない。
	60 代	すべての世代にとって、魅力のある町作りが必要
		工場・会社・働く場所
		若い人達が魅力を感じる施設等があれば良いのではないかな。
		若い人達も住みやすい医療や教育関係に関する手当も一緒にする。

地区	年代	意 見
根岸下	60 代	開発と人口増を直結して考えるべきではない。現状(自然環境)の中でも、公共交通機関の充足ができれば住む人も増えるのではないのでしょうか。バス路線もなくなり、御殿場線も本数が少なすぎます。
	70 代	税金を安くする(水道代)
市場	10 代	学生のための遊び場が少ない
	30 代	税金をもっと有効に使って下さい。開発の前に、税金を払っているのに、なんの恩恵もありません。開成町のようになれば人口は増えると思います。
		人口を増加させる方がよいが、開発の促進で可能になるとは思えない。
	40 代	若者に限定して増加を図るべきである。
	50 代	大井町だけではなく、企業をはじめ都市集中化をさせない
	60 代	市町村合併による開発を促進する。
		御殿場線の本数を増やす事
		子どもの生活環境を良くする。
坊村	40 代	開発はほどほどで人口が増加する方法を探る
	50 代	電車、バスの便数の不足。(自家用車を持っていない人は)交通の便が悪い。
馬場	30 代	子育てしやすい環境作り
	40 代	市町村合併
		人口の増減と町の開発に相関関係はないような気がします
	50 代	単に人口増加の為やみくもに開発するのではなく、自然との調和を考えつつ開発を進めるのが良いと思います。
宮地	30 代	開発とは？宅地のこと？商業施設？人口増加への方策は別のところにある。
		自然をなくさないでほしい。
	40 代	駅等への交通手段の便宜
		開発とは何を開発するのか意味がわからない
金手	30 代	合併もありかと思う。
	40 代	酒匂川周辺の農地がもったいない。道ができてあれでは…。
	50 代	子供達が働けるような職場作りをして欲しい。
		自然を極力守りながらの調和のとれた開発に限定すべき。
		子供達や家族が安心して遊べる公園を増せば、おのずと人口も増えると思います。
	60 代	何を開発するのかわからない！！
		大企業への誘致等
		乱開発は抑制し、自然と調和した開発を促進
		大井町の良さは、自然豊かな相和地域があり、住環境もそんなに悪くない。老後も安心して暮らせる。福祉施策を充実してほしい。
上大井	20 代	開発とは？宅地のこと？商業施設？人口増加への方策は別のところにある。
		自然をなくさないでほしい。
	30 代	駅等への交通手段の便宜
		開発とは何を開発するのか意味がわからない
	40 代	合併もありかと思う。
		酒匂川周辺の農地がもったいない。道ができてあれでは…。
		子供達が働けるような職場作りをして欲しい。
		自然を極力守りながらの調和のとれた開発に限定すべき。
	50 代	子供達や家族が安心して遊べる公園を増せば、おのずと人口も増えると思います。

地区	年代	意 見
上大井		交通がとにかく不便なので交通を整えて欲しい。それが少々良くなれば人も入って行って変わるかも。
		子育て世代にやさしい町づくり
		人口増加を目標にした開発には賛成できない。
		地の利を生かした町おこし(自然とのふれあい等)
	60 代	保育施設の増加(町立保育園)
	70 代	減少を現実ととらえ、30～50年を見据え対策を 問11に記した様に子供の楽しめる施設を多くして欲しい。
西大井	30 代	そもそもの人口減少は日本全国なので、人口増のための開発は効果に疑問。
		人口が増加しても自然をなくしてほしくない(田んぼ)
		人口を増加させるためにより住み良い町にする
		子育てしやすい環境づくりを促進させる
		開発の定義がわかりませんが、開発だけが増加の対策ではないと思います。
	50 代	開発でなく、見た目、田畑が多く、自然に恵まれているように見えるけれど、意外に小さい子供を遊ばせられるような公園がなかったりして、子供を育てにくいからだと思う。
		企業の受け入れ
		人口が増えるのも、善し悪しだと思います。悪い人達も増えると思います。
		人口が町の機能が保てるまでの減少は容認。富士山に見える環境を生かしつつ開発は必要調整区域を見直して欲しい。
	60 代	近隣町との合併を考えていく必要あり
	70 代	自然を守ることを前提とした開発をすれば住む人は増える
		人口を増加しても、それに見合った整備がなされなければなんにもならない
		開発＝人口増の考え方がおかしい。
柳	50 代	若い人が働きやすいようにする
高尾	40 代	近隣街を見習い観光客が来るような開発をやるべき。ひょうたんも菜の花もつまらない。
上山田	20 代	近隣の市町との合併
	50 代	都市部(いわゆる平地地域)は道路幅の拡張などを行い、人口が増えやすいようにする(JRの関連のトンネル道など)。山間部は土砂災害などがおきかないような最低限の整備をする(平地の増収分をあてる)。山間部は景観を観光収入にする。
		相和地区の人口減少をくいとめて。
	60 代	市街化調整区域をなくし家を建てやすくする
		福祉の充実、調整区域をはずす、子育て支援の充実
		・人口を増加する為、福祉施策を充実させる。 ・子育て環境を充実させる。
	70 代	相和地区の開発に基づく人口増が必要
中屋敷	50 代	十年先では無く、百年先の考えで開発するなら良いと思いますが…
		今ぐらいでいいと思う。
		人口を増加させるために、自然をいかしていく。
	60 代	浄化槽処理の一体化！！
下山田	40 代	人口と開発の調和を計る。
	60 代	子供手当や農業希望者の受け入れ等の政策の推進、乱開発の抑制。
(不明)	30 代	自然を残してほしいが、今の環境を維持するには人口減少による税収の減少も問題になる。けれども、あまり増加はしない方が良い(ほんの少しは増えた方が良い)。

【自由意見】地球環境問題に対して、大井町が重点的に取り組むべきこと(問15)

地区	年代	意 見
新宿	30 代	緑化・公園の充実
		リサイクル、自然エネルギーなどについて真に合理的かもう一度考える。
河原	40 代	分別ごみの収集日を増やしてしっかり分別させること
	50 代	自然エネルギーにする場合、初期費用が安ければ良い
根岸上	20 代	水路が多くあるため、小水力発電を取り入れるべきだと思う。
	70 代	木を増やす事。255道路に数は少なくても良いから並木を植える
根岸下	30 代	スモールタウン計画と大規模農業会社承認
		御殿場線、パスの本数を増やす。
	60 代	ゴミ問題(不法投棄)
		雨水が地下に沁みこむ道路舗装。
市場	50 代	発展と環境を両立させるなら、もっと里山を大事にしていくべき(境界の事)
	60 代	幼稚園児から交通ルールを教える。小中学生、高校生にもっと交通ルールと安全教育をしる。特に自転車左通行がわかってない。
坊村	20 代	自宅の前にゴミがたまっているのでは何とかすればいい
	40 代	255線・東名高速ICなどの道路交通インフラの充実さ
	50 代	大井町は他の町より税金など安いというイメージ
馬場	60 代	ゴミ処理で発生する熱源の利用、豊富な水の利用(含小規模ダム)、バイオマスなどの多角的なエネルギーを利用し、それを町民に還元。
		ゴミを捨てる行為に対し、例えば条例等を。
	70 代	家庭でゴミを燃やさない。
宮地	40 代	電力使用ピーク時の小売店休業制度の実施
金手	40 代	農地を高価買取り、環境近代化を目指す。
		小、中など公共機関でソーラー発電！
	50 代	公共施設全てにまず太陽光発電を
上大井	40 代	タバコ(歩行喫煙、ポイ捨てを禁止してほしい)
西大井	30 代	子供の遊び場(公園)の充実
	50 代	町の発展、町民を増やすこと、町が豊かになれば幸せになる
	70 代	首都圏近郊都市として発展させる為、企業誘致、道路網、通信網の整備等を強化する事。
下山田	40 代	都市基盤の整備。

【自由意見】大井町の発展や暮らしを豊かにするための意見・提案・夢(問 25)

地区	年代	意 見
吉原	50 代	幼児を遊ばせる公園や施設が無い。現在は小田原、開成、中井、泰野の公園まで行っているの で、大井町にあったらよい。
	60 代	・町内にパークゴルフ場が無いので土地の寄付を申し出ましたが(平地で現況は畑)その後、何 の進展もない。 ・国では今後、在宅により看護、介護を推進していく方向ですが、実際長期になると困難です。 他、市町と比較して老人福祉施設も無いので将来が心配。後継者、不在の為、数年後には田、 畑共廃墟地になるため、この様な施設についても土地の寄付をしたい。
	70 代	もう少し観光に力を入れ、長期計画を見据えて実行して欲しい。外から専門家の意見を取り入れ る事も必要ではないか。
新宿	10 代	老若男女問わず地域全体での美化活動を実行してほしい。
	10 代	学校で地域社会について学習しました。今、地域交流がなく、隣の家の人の顔を知らないという こと(地域)が多いそうです。しかし大井町は、地域交流があり、お互いに顔を知っています。この 間も雨が降ったときに近所の方が「雨が降ってきましたよ。」と伝えにきてくださり、洗濯物を雨に ぬらさずにすみました。本当に大井町は人々、地域のつながりが強いと思います。 もし可能であれば、開発を進めるといっても「都会化」にはしてほしくないと思います。 最近国道255線沿いにコンビニが増え、さらにコンビニの駐車場がかなり広すぎる気がします。 以前よりもトラックなど大型車が入れ、町に人の呼び込みができるのはよいと思いますが…。 もっと公園や自然なものを作ってほしいなと思います。 ゴミ拾いなど町をキレイにする活動をもっと増やしてもよいと思います。 今までなかなか参加できませんでしたが、これからは積極的に参加したいです。 また、田んぼや畑の風景が大井町の魅力だと思います。このままその風景が続いてほしいで す。 私は大井町に一生住み続けるつもりです。もし災害があったとき、私は町のために地域のために 人のために力を尽くしたいと思います。大井町で暮らせて幸せです。私は大井町が大好きです。
	10 代	ネット社会が日常になる今の世代。今後の為にもTwitterアカウントを作成し、警報、注意報等の 防災情報やイベント、観光施設のPRに活用して頂きたいと考えています。大井町の福祉バスを 毎日活用して頂きたいと考えています。大井町の福祉バスを毎日運航するもしくは、いったん福 祉バスを廃止にして富士急湘南バス(株)と協力してデマンドバスの運行を始めてみるといいと 思います。デマンドには約2億円と莫大な費用が発生すると聞いておりますが、福祉バスの費用 を捻出し、湘南バスからの補助をいただければ福祉バスの代替になると考えています。デマンド 用ワゴン湘南バスにありますので、もし、デマンドの運行が不可能であるならば、福祉バスを 平日毎日運航にした方がよいと思います。経費が町だけで賄えなくなった時は、2種免に変更or 80条バスにし、100円でも運賃を取った方がよいと考えます。住民の方の負担が大きくなってし まいますが、そこは住民の方の理解を得るべきです。そうでないと町だけが負担するだけでは限 界がありますよ。これから住み良く、相和地区のバスも利便性が向上することに期待していま す！！そして、外国人観光客の引き寄せもぜひ！！追記：近隣市内では防犯灯LED化が進ん でいます。交換費用はかかりますが、長持ちするので5年程度見込めばLEDの方が得では？
	20 代	最近道路の整備がされてとても車で走りやすくなった。元々大井松田ICが近く地方と都内へのア クセスがかなり良い。先ほどのアンケートの中で人口減少の件に触れたが、この件をアピールす る事で多少は人口が増えるのではないかなと思う。また、他の地域ではやっていない政策(他から 見てビックリするような)を作り進めていくのも面白いのではないかなと思う。
	30 代	転勤で大都市から地方都市、大井町と同規模の町にも住んだことがあります。 ①町民が集まる場所を作って下さい。立派なハコ物でなくても良いです。民間誘致でも良いで す。公園・浴場・道の駅・カフェなど周辺地区にもないので、大井町が目玉になると思います。 ②開成・新松田駅までコミュニティバスを！車社会になり高齢者が出にくくなっています。開成側 が開発しているので、対岸を整備する事で開成側の住人を取り込めるかと思っています。大井町は 大きなスーパー・モールなどあるので、商業地として力を入れて人を集めて豊かにする方がよい と思います。 ③酒匂川の清流を目玉に、スポーツや文化交流が出来るようくつろげる場を作れば、商業と休 憩のエリアとして鴨宮と同じくらいの人々の流入が見込めると思います。まだまだ開発の可能性が 多いと思いますので、町民一丸となって取り組みたいと思います。
	30 代	将来を担う子供達が良い環境で心身ともに成長できるよう願う。

地区	年代	意 見
新宿	30 代	現在実施している事業の内容や進み具合を小学生の子供にもわかるような(子供も気軽に知る事ができるような)紙面を作って欲しいです。
	30 代	御殿場線の本数を一時間にもう一本増えれば、便利になると感じています。
	30 代	子供も大人も遊べる公園を整備し、地場品を販売する場所を併設すれば、人も集まり、地域振興にも役立つのではないのでしょうか。
	30 代	保育園に入りづらいので働きにくい。
	40 代	引き続き住みやすい環境にして頂ければ後は何も望みません・・・。
	40 代	①歩道の無い道路・街灯の少ない路地が怖い。 ②せっかくある自然があまり生かされていないのは勿体ないと思う。 ③安心してウォーキングやジョギング等が出来る様、整備して欲しいです。
	40 代	温泉施設を作ってほしいです。私の一番の願いです。
	50 代	世代交代で残された土地を上手く使う方法はないのでしょうか？農家をする訳でもなく固定資産税を払い続けるのは、土地を継いだ者にとってとても負担になります。土地活用のアイデア等を町のホームページなどで紹介して頂けると嬉しいです。
	50 代	南足柄市のふるさと納税のような仕組みを勉強して、町の活性化への原資を得るなど工夫が必要。産業も発展していい。第一生命頼みはもうダメなのだから、町の収入源をどうするか考えましょう。住むことのメリットのある町にしないと人口は減るだけです。
	50 代	ひょうたん祭りや自治会の催し物など、とても保守的、閉鎖的すぎる。もう少しというか、もっといろいろな人が関われる様に窓口を広くした方が良い。
	50 代	少子化、高齢化が進む今、全国で最も安全で暮らしやすい子供の町を目指せば全国から評判が集まるのではないかと思います？人口の増加に貢献できるのでは。
	50 代	* 行政サービスの充実(平日お勤めの方は下記お休みして対応しています) ・納税のコンビニ対応(軽自動車税等)。 ・証明書類の発行時間の延長(小田原市と同等のサービス希望)。 * 子育て支援の拡大 ・第一子と第二子の保育園が違いうようでは困る。 ・出産時祝い金などの増設。 ・おむつ無償サービス他。
	50 代	・御殿場線、バスの本数が少な過ぎ。通勤、通学、高齢者の外出等非常に不便である。 ・交通が不便な為、最寄り駅(新松田駅)周辺がいつも渋滞している。
	50 代	市町村合併をして議員の数を減らして広域的な行政を進めてほしい。
	60 代	町会議員数の削減をお願いします。役場近くに「道の駅」のような物を造って欲しい。地の物や、飲食や休憩出来るスペース(出来れば足湯等)
	60 代	娯楽施設を作して下さい。麻雀がいいと思います。頭と手を使うので。
	60 代	・年金生活者の経済的負担の軽減をしてもらいたい。65歳になり介護保険料負担が加わりました。必要性は十分理解しているが、現状の介護状況(町の負担分)等がわからないため。 ・元気な高齢者の活用。専門的知識を持つ人が当町内に多くいるであろうと思いますので、ボランティア及び小遣い稼ぎができる仕事の斡旋も必要と思います。 ・消防署の広域統合は良かったと思う。住宅が増え、万一火災の際は地域消防団員の減少傾向では不安であった為。
	60 代	・私は毎日ウォーキングしていて感じることは、酒匂川堤防沿いにつくられた遊歩道はほとんどといっていいほど利用されていない。特にこの時期は草が伸びほうだいで、これでは利用できない。年に2回の草刈りが必要でないかと思う反面、税金のムダである。もっと必要な道路にまわすなど検討が必要だと思います。 ・大井町は、水仙、ひょうたんの町といわれるが、どこに水仙やひょうたんがあるのかよくわからない。これではおかしいと思う。提案として、酒匂川のひょうたん池のまわりに、もっと水仙やひょうたん(一カ所はあるが)を多くふやし、ここにいけば水仙、ひょうたんが見られるといわれるように、工夫改善が必要ではないかと思います。
	60 代	例えば、ボランティア活動(みまもり隊)等にポイント制を導入し、溜まったポイントを町の施設を使うときにあて、負担金の軽減を可能にする。役場と企業の連携で、ポイントを生かし、住民が得するような企画をする。「ポイント制」を中心に色々な事が考えられますね！ボランティア活動等への関心が高まり、住民参画事業が活発化するのでは！

地区	年代	意 見
新宿	60 代	・介護が必要な高齢者がどんどんふえているが、ホームへの入居やデイサービスを利用する事を嫌う人が、家に閉じこもり、家族の負担が大きい家庭を多く見ます。介護する家族の苦労は大変です。家庭訪問をしたり、高齢者が外出する気持ちが起こる様な事など考えられたら一人一人の生活が楽しく、豊かな物になるのになと思います。(アイデアは浮かびませんが)認知症になる前に楽しい生き方を経験しておかないと、発症してからでは困難だと思います。 ・田地がどんどんつぶされて家が建てられ、自然の景観がこわれて行く、建築規制してはどうでしょうか？
	60 代	町長を含め、職員全員が町民、住民目線で物事全てに対応してほしい。(行政指導の一言で対応してほしい)
	60 代	相和地区の開発。御殿場線が町の一部を二分している為、高架の道路がほしい。
	60 代	地区でゴミ当番を交代でしていますが、まだまだ分別されてなく出す人がいます。ペットボトルのキャップをしたまま大量に出される人、不燃物の出し方も50cm以上の物や分別が間違っている物が出ています。町の方からも正しいゴミの出し方のお知らせをお願いします。ラジオ体操を体育館で行うことに参加しました。正しいやり方ですると次の日体が痛くなりました。高齢者も多いのでぜひ1ヶ月に1回ぐらいラジオ体操をする日を計画していただきたいです。特に男性の高齢者は外に出ませんので。
	60 代	自然の豊かな生活しやすい半都会を維持していくことが大切だと思っています。
	70 代	町の発展の夢と言われても財源が必要であり財源を増すため、 1. 世の中の景気の向上をはかること。 (イ)中央が潤えば地方の負担金等が増す。 (ロ)国民のベアUPにより税収を得る。 2. 企業等を誘致して税収を得る。あとは、基本計画を推進するのみ。
	70 代	自転車専門道路を作ってください。
	70 代	残念ながら事業が中途半端で終わっている物が多すぎる。 ①菜の花まつり ②せせらぎ作り ③あやめの里 ①は駐車場、トイレまで作ったのに無様な形で終了。 ②は遊歩道まで作りながら雑草が生えて余りにもみっともない。 ③はトイレ、駐車場まで作りながら訪れる人もほとんどない。町がすべて主導して欲しいとは言わないが、ボランティアで強力な推進体制を作って来なかった(こない)責任は町にあると思う。
	70 代	育児し易い住環境の整備
	70 代	私の意見としては老人パークゴルフを作っていただきたい。上郡五町で大井町だけがないですよ。私たちににとって楽しみの一つです。町の菜の池水仙にしてもみんな見に来てほしいことじゃないと言って帰る人が多いです。大井町は中井、開成町などに負けまい早くパークゴルフ場を作ってください。
	70 代	総花的でない事。ないよりあった方が良い程度の施策、政策は思い切ってやめる勇氣が必要。中途半端なものはやめる。一点重点主義に徹底。周辺地域と比べ誇れるもの、差別化できるもの、わかりやすいものに集中させる。大井町の特徴はなんなのか？徹底する。(松田町や開成町はしっかりしている様には思います)
	70 代	途中から大井町に越してきた人に対してはなかなか受け入れてもらえない。友達もできにくい。周りの人も助け合いが無い。これからはもっと行事を取り入れて、皆が出て来て会話をする。そうすればもっと楽しみがあって良いと思います。
	70 代	各団体への補助金について。1回出したからいつまでも続けるのではなく、見直す必要がある所は考えるべきだと思いますが？例えば町民体育大会があるので自治体の運動会などに出す必要があるのか。やめてしまうと補助金がもらえなくなるからと云う話を聞いた事がある。大切な税金です。使い方を考えて。

地区	年代	意 見
新宿	70 代	大井町巡回バスについて。大井町巡回バスは役場から役場を走っています。誰が乗るのでしょうか。町民は足柄上病院、新松田駅、その他公共性のある場所に出かけていくのに不自由を感じています。上大井駅に停車するだけでなく、新松田駅に停車して欲しいです。30分に1本が走ればかなり便利になるでしょう。山北町のバスを新松田駅でよく見かけます。山北のバスは大勢の人が利用していて羨ましいと思います。今のままなら巡回バスは必要ないです。お金の無駄使いです。人の乗っていないバスを走らせてどうするのですか？秦野から来た友人が赤田からバスに乗りました。(たまたま来たのです)“新松田に止まりません、上大井駅には止まる”と云われ、上大井駅で降り秦野まで帰るのに大変な思いをしました。“どうして松田駅で止まらないのですか”と聞いたら、“松田駅は大井町ではないからです”と云われ、住民の便利や大井町に来る人の便利を考えないで、大井町の狭い中をグルグル回ってどうするのですか？こういう考えが町から人口を少なくしている一つの要因ですね。私も車の運転が出来なくなったら、大井町には住めないと考えています。住民の足を考えて下さい。
河原	10 代	無駄遣いをやめて欲しい。住みたい町にして欲しい。
	20 代	将来を担う子供たちの社会性の未熟さが目立ってきている。現在は、親を育てるよりも子供を育てる方が話が早い。子供を産んで育てる力が今の親には足りない。親を指導していく力も必要だが、小学生になる前までの養護や教育について見直して欲しい。
	20 代	ショッピングセンターなどの娯楽施設をもっと増やすべき。正直若者からしたら長く住みたいと思わないし、魅力を感じない。
	30 代	駅が小さい。本数が少なすぎる。モール系のショッピングが欲しい。
	30 代	・元々住んでいる人達の高齢化と若い夫婦の転入等で世代のギャップ、近所のつながりは希薄といえる。これは防犯にも良くないので、何か交流できるイベントがあると良いと思う。 ・ここ数年のバス路線の変更、ショッピングモール等での活性化により、小学生等の登下校時の安全の確保が必要と思われる。
	30 代	大井町のHPがわかりづらくもっと頻繁に更新してほしい。臨時給付金のことが載ってなくて困りました。
	30 代	もう一度、教育のあり方を見直していく必要があると思う。流行や過去だめだったからその場をしのぐようなやり方になっている気がする。子供達が落ちつき教育をうけられる町の仕組みにしてほしい。他市町村と比較して、全体的に落ち着きがないと思う。家庭教育が大切である。学校だけではなく、家庭での子育ての在り方をもう一度町として考えていく必要があると考える。
	30 代	まだ住んでみて少しなので分からない事が多いです。生活していて不便に感じた事。 ・保育園までの通園路、危険っ!!と思ったことがよくあるし、周りの人も言っている ・ごみの日、プラが隔週は不便 ・ごみ袋10Lのがあればいいなあ・・・と思っています。
	40 代	例えば、不妊治療の助成制度がなく大井町に長く住みたいとは思わない。他市町村に若い世代の方が出て行ってしまう傾向にあり、それも人口減少の1つの理由になっていると思います。また、町民税も他と比べて高額で住みにくい。私も早く大井町から出たいと検討しています。
	40 代	地元で長くからお住まいの方の結束が強く良い事と思いますが、地方・外よりこれから住まわれる方などの話をを入れて行った方がもっと良いアイデアが出るのではないのでしょうか。
	40 代	1. 室内プール、温泉等の総合スパができると良い。もっと平野部の開発施設増設に力を入れて下さい。ゆめの里は山の上で交通手段がないし、駐車場もない。遊びに魅力的な物がない。遊具がない。 2. 特産品のひょうたんもどうしたのか…。ひょうたんのしば漬けて今はどこで買えますか？道の駅とか作って見たら？お土産物屋さんの…。ひょうたんマラカス(鳴子)みたいなものを作って、ひょうたん踊り踊るとか、そして売る(ひょうたん両手によ踊るって言いながら持ってないし...)。ひょうたんキーホルダーとか、耳かきとか竹細工もいいですよ。ひょうたん達磨とか起き上がりこぼしとか活用しましょうよ！ひょうたん…。 3. 1時間単位で預かってくれる安い託児所があると良い！
	40 代	農地を住宅用に使っている所が有る様ですが誰も住んでいない住宅も少なくないと思います。使われていない農地も、使わない農地だから住宅用にするのは安直なのでは。使われてない住宅をまずどうするか？なのではないのでしょうか。(HPで紹介等、出来る事有りませんか？)
	40 代	自治会、子供会等参加者が少なすぎる。役員になる人がいつも同じ。負担が多すぎる。もっと、よりよい活動にするため、町としてアピールするか、強制加入させるか、いっそやめるか…。各自自治会に任せっぱなしにしないでほしい。
	40 代	子育て支援(中学生まで医療費無償化)、大型企業誘致、よろしくお願いします。

地区	年代	意 見
河原	40 代	ここ近年未成年者の喫煙している所を見かけます。特に“中学生”学校側等もパトロールをしていると思いますが、もう少しパトロールを強化して頂きたいです。
	40 代	子どもが遊べる場所(公園など)が少ないと思う。できれば小さい体育館のような雨天でも集まって遊べる施設があるとよいのではないかな。大きいものでなくてよいと思うので、町内のあちこちにあるとゲームセンターなどに入りびたりになることなく友だちと遊べると思う。
	50 代	道路をこれ以上増やす必要はなく、既存道路の保全に力を入れるべきと考える。 公共の交通網が劣っている。車を所有している人には大井町は便利なものの、私の周りの若い人達(20～30才)は車を持たない者が多い。こういう人達が大井町を便利と思うか？である。せっかくの商店を活かしきれていない。 例えば、モール循環バスを導入するとか、工夫・アイデアを広く募るとか。柔軟且つフレキシブルな民間発想が必要と思う。
	50 代	モラルの低い人が多いと感じます。以前は上郡内で小田高進学率が一番高かったと聞いています。大井小も公立のエリート校として週刊誌に載った事もありました。第一生命が移転した現在は湘光中が上郡一の問題校となった時期もあり、大井町で子育てをしようと思う人はいなくなってしまうのではないのでしょうか。今後は宅地の分譲面積を50坪以下の物は作らない様な開発をして、ある程度知識レベルと経済力を持った人達を集めないとスラム化の一途をたどることになるのではないのでしょうか。現在の親世代はなんとかやっていますが、子供達はアルバイト的な人ばかりで、歳を取ったら生活保護をもらえばいいやと考えている様です。役場周辺の開発が成功して、少しでも大井町のレベルが上がってくれる事を祈っております。
	50 代	仕事で美味しいものを提供し、お客様の笑顔を増やす事、交通安全教育に取り組み、啓発活動に尽力する事。
	50 代	このアンケートは良いのですが、もう少し言葉をわかりやすくしてもらえたらと思います。例えば問21～成長戦略とか、問19とかもっと砕いた言い方はないのか？わかりにくい。
	50 代	若者の意見や存在感が少なく、地元の人達(特に70代位の人)の手によって全てが運営されている様に思われる。ひょうたん祭りも年々つまらなくなってコンテスト化して町民全体が参加するには“ちょっと”と思われるので、もっと誰でも気軽に、をコンセプトとして参加できる盆踊りにしたらどうか(魅力ある町づくり)。町民税の引き下げと町長の給料削減。
	50 代	5町中、良い立地の太井町ではあるが、これに甘える事無き様、未来(明るい)が見える(“形にする”)進んでほしい！！ →町民がうれしいのは、 ・道路…便利になったよ、とか(声) ・施設…助かるよ、とか(声) etc形にする(分かりやすい)→関心に繋がる(現状では自主的に町民は動きません)
	50 代	足柄平野、富士山などがとてもキレイなので、山田グランドあたりに、お茶でも飲める所があるといいですね。信号で車が止まっても、車のすれちがいができない所がある。なんとかならないかな。町に紙クズなど、あまり落ちていない様です。皆様の努力のおかげだと思いますが、ある近くの町は、いつも役場の囲いなどゴミだらけで、なさけなくなります。太井町はよかったです！！良い町にしていきましょう。
	60 代	横浜の外国語学校に行っていた時、周囲から「どこに住んでいるの」と良く聞かれる事があった。「太井町」というと「東京の？」と必ず返ってくる。いや「小田原の近くの大井町だよ」と言うと、皆ピンとこない様子。「第一生命があったところ」と言うと、一応に納得してもらえたようであった。当地を表現するにあたり、環境であれ、文化であれ、経済であれ“そこに誇れる何かを持てるといいな”と考える。私の友人で湯河原町に住んでいる者がいるが、彼の誇りは近所に有名な芸能人が住んでいることらしい。また、大磯町に住む作家さんは、文化保存・継続のため町と戦っているとの話を聞いた。皆、それぞれ異なった感覚で自分の住んでいる町を表現し誇りにしている様子。私自身も自分の居住地を表現できるよう、また町も引き続きこのような町民の意見を吸収して発展させることを希望致します。勝手な事を申し上げてすみませんでした。その他、具体的な意見は各々の質問欄をご参考下さい。
	60 代	アンケート時に、太井町成長戦略等の内容のPRを行い、町民に知らせていく活動も必須と考えます。
	60 代	①大規模災害に対する備えを検証するために、現在の防災訓練以外に抜き打ち的な訓練を行い、不足な点の洗い出しと対応を考えると良いのではないかな。 ②住民の健康増進のためにスポーツ(誰でも参加できるチームスポーツでないもの)の普及を計ると良い。(例えばウォーキング・ジョギング等)健康保険費用の低減にも役立つと思う。

地区	年代	意 見
河原	60 代	ひょうたん池の周りの整備。
	60 代	「ひょうたん」(若い人は興味ない)だけでなく、JR御殿場線2駅のさらなる活用 ① イベント列車を走らせる。 ② 沿線の道路・サイクリング・公園・PR・整備
	60 代	大きい本屋。電車の本数を増やしてほしい(御殿場線)。スイカ、パスモ等を使えるようにしてほしい。
	60 代	友達にも年金生活の人がいて、年金が入ってきても、引かれるものが多くなって、生活して行く事が大変だそうですので、それが心配です！
	60 代	・町が主催となり、各自治会がブロックごとに参加する“フリーマーケット”はどうでしょうか？ひょうたん祭りに続くイベントとしてスタートする事により、他町からも人が訪れる回数が増え、町の活性化にも繋がるのではないのでしょうか？役割分担は各自治会で。時期は春、秋の過ごし易い時に。模擬店や休憩所を設けて。疲れ倍増かも知れませんが、参加する楽しみも味わえるのではないのでしょうか？ ・カルチャー教室の充実。高齢者の参加も出来るよう、移動の軽減。“おーい！元気か”のように場所は各自治会館で。以前、指のリハビリとしてパンフラワーを習っていましたが、先生が引っ越しされた為、立ち消えになってしまいました。他市のカルチャー教室も考えましたが、出来れば近場であればいい。
	60 代	アンケート調査に参加できて良かったです。
	60 代	大井町は自然環境に恵まれているので子供の教育に生かして欲しい。空地を子供達のために有効に活用できるように地主さんと交渉して頂きたいと思います。
	60 代	他町に比べ町の文化活動が低いと思う
	60 代	役場へのアクセスが不便です。高齢になり、車の運転ができなくなると困ります。運賃を支払う形で良いので町内を回るコミュニティバスが欲しい。今のバスの運行では(巡回福祉バス)少ないと思います。
	70 代	町からの放送がよく聞こえない。設置を増やして欲しい。
	70 代	私自身は老齢ですが、今後の大井町の発展の為に住民の細かい意見・要望等が通り易い町づくりに期待します。
	70 代	スイミングプール、フィットネス、ヨガ等が出来る総合施設を是非作って下さい。他市施設などは元氣な年寄りでいっぱいです！
	70 代	・高齢者等の健康保持のための施設の充実や体操などの導入、又は器具を使う体操、指導などの充実 ・健康食のイベントを多く開催して欲しい。 ・下水道料金が高額だと思うので、設備の充実を。 ・ソーラーなど自然資源の活用に対する補助を
根岸上	20 代	・大井町内にある水路を利用した小水力発電所の設置。太陽光発電所の設置案の話を聞いた事があるが、設置にあたり緑や山をけずり設置するのは反対です。今ある物件を使い、再生可能エネルギーの中から今、町内にある物でそのままの形で利用できる物を選んだ方がいいと思う。 ・大井松田インター・246号線方面に255号線を横断できるように、横断歩道・歩道橋など設置してもらいたい。
	30 代	・子供が安心できる遊び場を増やして欲しい。 ・255号線での交通安全を町でも協力して欲しい。子供が安心し、信号を渡れるように。※青で255号線を渡っていたら、車2台にプープーと鳴らされ1人で渡ることができなくなった。 ・防災について、町民と協力できるのでは？※災害の時、町民が出来る事があると思います。 ・自然を保護しながらも町民の憩いの場を作りたい。
	30 代	・小田急線へのアクセスを良くしてほしい。
	30 代	・公園や歩道を増やしてほしい。

地区	年代	意 見
根岸上	30 代	・幼稚園はバス代もとらず、3年教育を行っているのにはとても助かります。ただ保育時間が短いのと、4月の慣らし保育は働きたい親にとっては負担です。年少児の4・5月のおくり迎えも、その間仕事を休まないといけないため、家計も苦しいです。保育園に預けることもできず、もう少し時間を考慮していただくと女性の社会進出は増えると思います。(希望)保育時間9時～15時(バス送迎含まず)。4月は長くて2週間までの慣らし保育。年少児は保護者の送り迎えではなく年中・長とともにバス通園(この方が早く園に慣れると思う)。 ・現在大井町は保護者・子供たちの交流する場がないと思う。そのためにも気軽に遊べたり、集ったりする公園などの整備を行った方がいいと思います。大井町に対する情報交換も行えます。
	50 代	町役場の社員のあいさつが明るくなく、対応が悪い。公務員にあぐらをかいている。
	50 代	農地がどんどん消え、開発され、住宅が建設されています。周辺の道路は開発する業者まかせなのか…と思われるほど統一性が無い。また、そこに住む人たちにとっても、子供達の遊び場が無いなど、何となく住みにくさを感じるのでは…。小さな公園が点在するよりも、もう少し広く、スポーツなどの拠点となるような広場、公園のようなものがあると良い。今残っている緑地を活用する方法をもっと考えないと“自然豊かな町”の姿が無くなっていってしまう。そのために、町の全体の姿をもっと真剣に考える必要があり、また、町民への働きかけの方法も考えるべき。町民のみんなが「おいきらめきプラン」を理解しているわけではないと思うので、アンケートをとる際に、その点を考慮しないと伝わらないまま終わってしまうような気がする。”こんな町づくりを推進しています”ということをもっともっとアピールしてってください。
	50 代	相和地区の活性化を町の成長戦略にしているようだが、例えば旧小松製作所方面の道路沿いのごみ等から早期に対応できないのか。あれを見て観光の展開を考えているとは考えにくい。
	60 代	第一生命本社の土地は現在ブルックスコーヒーが所有しているが全く活用されていない。神奈川県がブルックスから土地を購入し、県が霊園として管理していくのが超高齢社会において望ましいと思う。大井町がこの事業を県へ推進するよう働きかけて欲しい。 ※アンケート結果は広報おいにて発表して下さい。
	60 代	町には病院が3～5か所ありますが、医者のアルバイトが多い。特に佐藤病院・大井町クリニック、責任ある治療がされていない。薬々で報酬の治療である。治療が責任有る病院が多いと新住民が多くなる。町の管理は出来ないのか！
	60 代	大井町の平地での農業発展は見込めないと思っています。早く区画整理した方が良いのでは？
	60 代	①町民に「私のスローライフ生活」あるいは「私の健康生活」といったテーマで広報に投稿してもらい、様々な生き方について事例をあげ町民の生き方の参考としてもらったらどうでしょうか。 ②町内を回遊するコースを数か所設け、所要時間、消費カロリー、総歩数等を記載し、スタンプ形式として1年で全箇所を回ったら、商品を進呈するような企画があったらと思います。
	70 代	①企業の誘致: 税収・雇用、両面から企業や工場の誘致。 ②遊具などない広場を作る: サッカー・野球・バレーなど子供達が自由に使用出来る広場が現在ない。又遊び場もない。 ③市場JR踏切道の拡幅と歩道の設置: 通学路でもあり、是非とも取り組んで欲しい。歩道も無く交通量も多く安全面からも。
	70 代	少子高齢化に伴い、若者達の結婚率が低い。又、離婚する人が多い。私の近辺ではそんな状況です。社会環境が原因なのか私にはわかりませんが、若い人たちが希望を持って結婚できる機会になる様願っています。行政として応援する施策を期待します。
根岸下	70 代	・外国では(主にアメリカ)夕食後の時間帯に町の活動を行う例が多々あります。座談会や懇談会、健康のための無料体操など、仕事を持っている人々が集まれる夕方、7時～9時頃まで、を使うと良いかと思います。 ・早朝も夏季などには、活用できるのではないのでしょうか。
	10 代	・SNSでの活動で、情報の公開をする。 ・小中学校の教員の意志を変える、又は教員をいれかえ、生徒の破壊活動を止めてほしい。
	20 代	①交通の便が悪い。電車の本数が少なすぎ。小田急線をひいて欲しい。 ②これから家を持つ人、他の町から人を移住してもらおう為にも土地代を安くして。 ③遊ぶところがない。(ボーリングとか若い人が遊べない) ④買い物する所もない。
	30 代	①中学生まで医療費を無料にして欲しい。 ②町会議員を減らして欲しい。 ③水路にふたをして道路を広くして欲しい。

地区	年代	意 見
根岸下	30 代	・まずは鉄道インフラを整備し、新松田、国府津へのアクセス向上を計らねばベッドタウンとしての人口増はまったく期待できない。開成町と小田急の取り組みは全てとは言わずとも参考として行動すべきである。 ・久しくして実家に戻ってきたが、ひょうたん祭りの現存の取り組み状況とその過程を知ったが見事である。なかなかあそこまでの祭りを行っている所はない。1つの資源として大事に育てて行てほしい。 ・あと、湘光中学校がとても荒れていると耳にする。現状何が起きているのか。どのように取り組みを行っているのかとても興味がある。苦労等も伝えて頂き、皆で何ができるか一考したい気持ちがある。
	30 代	子供を持つ家庭を優遇してほしい。免税など。
	30 代	大きな公園が少ないと思う。小田原の上府中公園、きらり広場、しらさぎ公園のような公園が無いような・・・。
	30 代	ゴミを焼却した熱を利用して温水プールを作り、一年中子供も大人も楽しめる施設を作る。大井町のマークをひょうたん形にする。けやき通りをひょうたん通りにする。ひょうたんを全面に押し出して行くなら全てひょうたんに絡めていく。幼稚園児の水筒はひょうたん形にして無償で入園式の時プレゼント。1家族に一つひょうたんの苗をくばる。
	30 代	子どもの医療費を周辺自治体同様、中学卒業までとして下さい。バス、御殿場線の本数を増やして下さい。
	30 代	緊急車両が通れない(入れない)ところに住んでいて、その住民で役場に道を広げるようお願いしたのに、何も行動していただけていません。とても大切なことだと思うのですが、どう思われますか？老人の介護施設なども必要だとは思いますが、もっと子供の医療費など子供のいる世帯のことを考えたものを作ってほしいと思う。
	40 代	・他所から越してきて感じた事は、ゴミのポイ捨てが多い。犬の散歩などで糞の始末をしない。道が狭いのどこにでも車を駐車してしまう等、モラルの欠如としかとれない行動の多さにびっくりしました。遊びに来て上記の旨を見た友人等は田舎だからしょうがないと言っています。信号待ちにて横断歩道手前で待っていると、歩行者信号は赤なのに車が来ないことを確認して道路を渡っている大人がいました。私の近くに小学生の集団がいて、こう言っていました。大人たちは子供に色々なルールを守れと言うけれど、その大人たちが守っていないじゃん。子供達の教育も大切ですが、大人たちの教育にも力を入れるべきでは？ ・たまに役場に行って思う事がありました。先ず人(職員)が多い。楽しそうに職員どうしが話している。民間では合理化や徹底したカスタマーサービスが当たり前ですが、役場は別ですか？
	40 代	紫水大橋からのR255への道路整備を早く実施して頂きたい。
	50 代	自家用車があればとても住環境が良いと思う。欠点は公共の便が悪い事。例えば鉄道(御殿場線)、バス。単位時間当たりもう少し(2本/時間)位あればと思う。
	60 代	60才以上の人達が、楽しく自由に過ごせる場所を作って頂きたいです。例えば、利用料を頂いたりして・・・
	60 代	1、大井町が発展して豊かにするためには若者が住み良い町にすることです。 ①鉄道・バスの公共交通機関と連絡を密に取り便利にする事。 ②街の公園を整備して利用しやすい事。 ③会社の誘致に積極的に取り組む事。 ④住宅地を整備して農業地との区別を明確にする事。 2、年寄りと未来を託す子供が利用しやすい環境を作る ①社会的な風潮や古いしきたりの慣習があり、継続する事も大事だが強制する事は望まない。町長・議員の方々には歳費を引き下げても、これをやり遂げるとの意気込みを多く望み期待いたします。
	60 代	町長の給料を下げたらどうですか。税金なども高すぎだと思います。健康保険などは特に毎回毎回上げないでください。「カラス」を何とかして下さい。枯葉・草・稲の後など燃やさないで「ゼンソク」で「セキ」が止まらず困っております。何とかして下さい。

地区	年代	意 見
根岸下	60 代	・大井町はまだ農地等が沢山あるのに、緑地、公園、子供達が安心して遊べる場所、施設等がない。 ・相和地区と金子地区と比べると相和小学校の児童は、こちらから「おはよう」「おかえりなさい」と声をかけても挨拶が返ってこない。これは町ではなく、学校の先生方への要望になってしまうが。 ・高齢者も家に閉じこもらないで、外に出て、色々な方々と交流できる場所を是非作ってほしいと思います。
	60 代	自治会理念の見直し。大井町は自治会の中で、農業や祭、神社の修繕といった事が執り行われているが、これらはこのままでよいのですか。自治会費の中から勝手に神社の修繕代を支出してよいのでしょうか。本来は寄附で負うべきでしょう。また、祭等は実行委員会等で独立し行うべきでしょう。そもそも自治会への公金支出を行っている町は、特定の宗教に対して支出が行われている自治会への公金支出理由は正しいのですか。政教分離、信教分離は他の自治体ではすでに終わっています。この町は昔ながらの自治会のままではないでしょうか。そういった事が住民の自治会離れにもなっているのではないのでしょうか。住民のコミュニティを良くするには、身近なことから整理を行って下さい。
	70 代	中井町・開成町のように企業誘致を積極的に行い、税収アップをし、町民の働く場所を増やして下さい。
	70 代	アンケートをしてだんだんとまた箱ものを作りたいのだと感じた。各地でみんな努力し道の駅とか温泉、B級グランプリとかテレビで取り上げられています、お客の取り合いでよそから来た人が潤いサーと引き上げていきます。国は何故しないのかといつも思います。保育園を作ればお母さんも働けるので若い人も来るし、終の住家の安くて入れるホームをなぜ国は増やさないのでしょうか。人のまねをしない事。
市場	10 代	映画館やカラオケBOXを作って欲しい。遊び場が少なく公園などで複数人で遊んでいると通報されて移動しろなどと警察から言われたこともあるが、そんなことを繰り返していたら遊ぶ場所が無くなってしまふ。対応して下さい。
	20 代	御殿場線、バス等かなり不便、電車がバスどちらか本数増やしてほしい。御殿場線Suica使えないのが困る。道路が全体的にせまい、危険、とくに交差点、信号をつけた方がいい所たくさんある。
	30 代	とにかく公園が汚く、遊具も古く、町内で子供を遊ばせる所がなく困っている。公園へ行くのにわざわざ車で行かなくてはならず大変。散歩がてら公園に行き、子供を遊ばせながら地域の人とコミュニケーションがとれたら、地域がもっと好きになると思うし、子育てが楽になり、余裕ができると思う。公園の整備宜しくをお願いします。
	30 代	・ブルックス等企业との協賛イベントを行い、他県、他市よりお金を落してもらう。 ・街路灯のLED化(費用対効果により)
	30 代	大井町外へ勤務していますが、給料から税金を天引きされていますが、税金が有効に使用されているか、疑問です。大井町長も長年同じなので、今後の町の将来に不安があります。開成町のように、小田急の開成駅開発が、大井町では出来るのでしょうか？御殿場線の相模金子や上大井を見ていると、年々悪化していると思います。人口が増加する駅ではありません。町外から来る人の玄関口の、交通機関がこのような状態では、意味が無いと思います。御殿場線にSLを走らせるなどの新たな観光の立案や、古い考えの人は良くはなりません。イノベーションを起こして下さい。
	40 代	大井町住民のマナーの悪さが目に付く。ゴミだしルールが守られていない。(特に高齢者)ポイ捨てが多い。(ゴミ・タバコ)犬のふんの始末が出来ていない。汚すぎです！！
	40 代	郡税など、物価が高くて困ります。
	40 代	小児医療費助成が10月から適用されることになったのは大変ありがたい。大井町は住みやすい町だと感じているが、子育てしやすい町かと聞かれると多少の不安がある。子供達が安心、安全に生活できる町になって欲しい。

地区	年代	意 見
市場	40 代	大井町に引っ越しをしてきた者なので昔から住んでいたわけではないので、昔の町の様子はわからないが、子供の遊び場所がなくなっていると思う。自分が住んでいる所は分譲地で、住居者のみの使う生活道路があり、又行き止まりの為、その生活道路でボール遊び、自転車走行、人の敷地内に入っの追いかけて等・・・計り知れず毎日繰り返される。自然が豊かで静かな土地だと思って購入したマイホームだが、一時手放そうかとまで思った程辛かった。子供が遊べる広い場所や、レクリエーション施設があればいいと思う。この頃新しい家の建築が目立つが、益々子供の遊び場所が無くなっている。
	40 代	①個人商店がまったくと言っていいほど増えていない。大資本の店舗は255沿いに存在しているが、質がいいわけでもなく、どこにでもあるようなファミリー向けの店ばかりで、大井町に来る理由がない。継続的に人が来るようにするために、専門店の出店を後押しすべきである。信用金庫や士業その他コンサルタントなどの協力をあおぎ、廃業店舗の活用を促進するなどして、若者が出店する意義を打ち出すとよい。 ②御殿場線の駅が町内に2つもあるにも関わらず、町との関わりが極めて薄い。残っているホームや駅舎、駅前広場をもっと賑わったものにして、人が集まる空間を作り出すとよい。御殿場線を単なる通勤通学的手段としてだけでなく、それ自体を楽しめるものとするべきだ。 ③第一生命・湘光園がなくなったことにより、中学生の学力が低下した。一流企業の誘致を絶えず行い、社員の定住化を図ることが、根本的な学力向上とつながっていると考えられる。親が一流大卒でなければ、子も勉強しないのだろう。
	40 代	男性が男性らしくいることが、女性を女性らしくすることで、逆も真だと思ふ。子供が子供らしくいることは、大人が大人らしく見守ることが大切。大井町に限らず、学校教育の質が最悪。学力の低下のみならず、人間力の低下が将来の見通しを暗くする。地域の子供と一人でも多く会話し、見守り続けていくことが、私の一つの社会貢献と考えている。大きなことはできません。小さなことからコツコツと。
	50 代	駅を中心にした商業施設の発展。デパートの開業による衣食住の充実。
	50 代	私は市場に住んでいるが、よくアパートに住んでいる方が一軒家を持つ時「同じ市場に住みたい」と耳にする。市場は夏祭り、運動会、秋祭り・・・など、色々と活発に自治会運動をしている。子供の時の楽しい思い出作りは、大人になっても地域に魅力を感じる。人口を減らさない為にも、魅力ある町にしてみたい。
	50 代	孫がいるせいか、小田原わんぱくランド、秦野市営プール、中井の公園によく行きます。大井にもこのような施設があれば良いと思います。
	60 代	市町村合併。議員のボランティア化。
	60 代	数十年間、JRの本数が増えていない。JRの本数が増えない限り首都圏への交通が不便であり、人口増加は期待できないと思う。
	60 代	月に一度配布される、広報おいより町の情報を得ています。町民の関心度も高いので、広報おいよりをより充実させていく事がまちづくりへの参加にもつながると思います。
	60 代	・孫が年に数回県外から遊びに来ます。都会育ちの子供に思いっきり体を使った遊びができる様な公園があるといいなと思います。 ・体力作りの為ウォーキングをしていますが、最近細い道もコンクリートになってしまい、土の道が減ってきています。足に優しい土の道をもっと残してほしいです。 ・高齢者の集まりに参加すると、大井町で生まれた人と、他市から移り住んだ人との壁がまだまだあるような気がします。
	60 代	春から散歩しています。田に水が張られ、苗が植えられ、そして今は稲がたわわに実っています。酒匂川の土手を歩くのは大変気持ちのいいものです。紫水大橋が出来て、開成町を近くに感じられます。サイクリングコースを歩くことが多いのですが、土手の草が道をふさぐようになってきました。大井町側はある日一斉に草を刈って下さいました。景色が広がり野鳥もよく見えます。ボランティアの方々でしょうか感謝しています。土手に植えられた松の大木の枝を眺めたり、富士山が姿をあらわした日は一日気持ちよく過ごせます。未病の為にも、もっと散歩道を整備し、花を植えたり(花菖蒲園はきれいでした)して、行政だけでなく利用する私たちも何かお手伝いできたらと思っています。酒匂川のサイクリングコース隣接の小田原市開成町大井町松田町共同で散策道を整備して頂きたいと思っています。

地区	年代	意 見
市場	60 代	大井町は自然が多くある町なので、それを生かしてもっと外に向かってアピールできて多くの人がおとずれる所を考えた方が良いと思う。四季の里の直売所などはとても良い例だと思う。もっと自然とのふれあいをカンタンに利用できるイベントなどを外に向かって発信したらどうか？又、若い人が子供づれで遊べる所をアピールすると良いと思う。そうすれば、若い人にもっと住んでもらえるのではないのでしょうか？
	60 代	教育特区(英語力強化・英語力特区)、英語だけの語学だけで生活する特別区域を作り、大井町留学を進める。
	60 代	住んでいて安心出来る町であってほしいです。近所でも道路が一つ違っただけで住む人(若い人)なのですが、覚えられないのか分からない人、見知らぬ人が多いです。何か知り合える事があると良いのにと思います。
	60 代	大井町の住環境はいいと思いますが、時々目に余る子供が多いと思います。それは道徳が少ないのではなかろうか。例えば、ゴミの片付け、公園でのサッカー駅前禁止のはずです。歩行者の右側通行。自転車の左側通行(小学生、中学生、高校生)右側も左側も知らないと思います。自転車の二人乗り、無灯火(小学生高学年、中学生、高校生)などが多いです。自転車も左側通行が右側通行。この間は大井町小学校の前の信号待ちの時に自転車の赤信号通行がありました。あと交差点です。子供の飛び出しも見ました。もう少しルール作りの勉強会が必要だと思います。このままでは、子供の死亡事故が起きますよ。私の小学生、中学生の頃は警察の方が来てくれて、年に1回は全員で交通指導は行っていました。 ◎自分が車を運転するので気を付けて運転していますが、子供の交通ルール違反が多いので、自分の事故がこわいです。
	70 代	①他自治会の活動内容が不明であり情報が無く、参考にする資料も無い。 ②自治会を脱退したいとの話を聞く事があり、それを食い止める為の資料もなく、広がりつつある。 ③地方議員の資質が問われておりその責任は町民にもあるが、日常の議員の活動が分かりにくいのも町民として判断しにくいので、議員だよりだけではなく他に方法があれば提示して欲しい。
	70 代	JRの電車本数を最低でも1時間に2本以上に運転するようにJR東海に沿線住民全員で申し込んで欲しい。
	70 代	役場・学習センター体育館など、もっと町民が参加しやすい行事・利用方法を考えてほしい。大井町独自の行政、町作りを開成町、南足柄市にまけない施策を考えてほしい。例えば、上郡にひとつもない美術館、日帰り入浴施設を作ったらどうでしょうか。
	70 代	全国的に人口減少局面に入り、東京への一極集中が加速する中で人口増加を望むことは容易なことではないと思われる。30年前の高度成長には黙っていても人口が増え続け、日本経済発展してきました。同時に大井町も発展をいたしました。大井町の発展は、小田原市を始め周辺の市や町と一体となった企業の誘致がなにより必要だと考えられます。その上に立っての総合プランづくりであると考えられます。
坊村	10 代	①金手踏切の相模金子側から電車が来る時に少し待ち時間が長いと感じています。 ②旧第一生命グラウンドは是非復活して欲しい(開放など)自分が子供の頃、あのグラウンドでサッカーだったり遊んだり出来たのは良い思い出で、あれほど環境の良い施設はこの辺りでもそう無かったと思う。運営費がかかるとは思いますが、これからの子供の為にも検討して頂きたいです。 ③これから一生大井町で・・・ということには自分ではならなそうですけど、ふと帰ってきた時にとても居心地のいい町であって欲しいです。よろしくお願いします。
	10 代	図書館の規模が大きくなると嬉しい。
	20 代	私は、車での移動が多い事もあり、高速道路のICが近いこの街に引っ越してきました。まだまだ開発できる土地が沢山あり、ASHIGARAMALLのような場所をもっと建てていただきたい。また、現在大きい道路が255しかないので、土日や夕方の混雑がすごい。事故の可能性もあがるのではないだろうか。道路の増設を希望する。さらに言うと、御殿場線の本数が増えたらとても嬉しいです。
	30 代	防災無線が聞き取りづらいので、出来れば防災無線も大井町あんしんメールで送ってもらえると助かります。
	30 代	・プールを作ったり、バスケットコート(外)を作ったりしてほしい。 ・障害者雇用に力を入れてほしい。
	30 代	何も期待できない。町役場の職員の対応(住民に対する)がひどすぎる。
	30 代	坊村地区は、新築の家も増えて、子供が多くなっているのに公園がありません。近くに公園ができたらいいと思います。

地区	年代	意 見
坊村	30 代	昔から住んでいる人の意見が強すぎて新しい人がいてもいなくても関係ない。大井町を変える意思がない。
	40 代	隣接する開成町と大井町の人口増加率の大きな違いは、鉄道インフラの現状が非常に大きく関連していると考えております。 各駅停車とはいえ、1時間に4本程度の電車が停車する小田急線の開成駅と1時間に多くても2本のJR東海御殿場線の差はあまりにも大きすぎます。 第一生命が去った以上、少なくとも基礎の交通インフラである鉄道が首都圏とは思えない運行間隔では、いくら金子吉原地区再開発を立ち上げても、そもそも開発ディベロッパーの投資を促しても全く安値でしか開発してもらえない状況になるでしょう。少なくとも県西部の大雄山線、小田急線と同様の運行間隔に松田～国府津駅間だけでも運行してもらえるよう、JR東海まかせではなく県と関係市町村で補助を行い本数を増やすなどの一石を投じる必要があると思います。また富士急バスも御殿場線とバッチングしない時間に運行するなど工夫すべきではないでしょうか？ また、折角紫水大橋が開通したにも関わらず、大井町側の道路は概ね田園風景のみで商店はすべて足柄大橋側に片寄っているのも問題だと思います。ひょうたん池・しょうぶ園あたりの町有地に平日にも買い物客が開成町からも来店したくなる、野菜・肉・魚の販売所を作るなど工夫すべきだと思います。 要するに財政を安定させる為の人口増加と商業施設の誘致を行い町を豊かにする施策を実行して頂きたいです。
	40 代	①若い世代が転入したい、居続けたいと思う町づくり。 ②車の無い家族が住みやすい都市基盤の確立。
	40 代	核家族・共働き家族が増えてきていることから、学童の対象を小学6年までにするなど若い父母が働きやすい環境を整備して欲しい。
	40 代	人口を増やすためには分譲地を作る。ゆめの里付近にキャンプ場、コテージなどの宿泊できる施設を作る。また、バーベキューなどをできるようにする。山里を活かしたアスレチックや遊具を設置して、観光客を増やす。もちろん利用料は安く。
	40 代	山北町のさくらの湯とか久野の大きなレジャーがある公園みたいな町民や近くの市や町から来られるような場所を作ってほしいです。
	50 代	匿名希望だと相手にしてくれないと言われた時は、なぜ！！と思いました。近所に何を燃やしているかわかりませんが、窓が開いていると燃やしている煙が室内に入り、もう大変！！でも近所の人ややっている事なので名指しで言えるわけないでしょー！！匿名希望でできないのなら、何も言えない！近所でもめ事は嫌だから！！これは近所の人本当に嫌な思いしています！！とにかく燃やすな！！と言えないのでしょーか！！もっと広報に大きく問題にしてほしい！！本当に困っています！
	60 代	町からの興味ある発信がなさすぎます。他の上郡の町より凄くおくれをとった様な気がします。大井町は努力が足りない様にいつも思っています。※体育館前にある大きい時計直して頂けたか？あれをあてにして外出しているから不便だと御夫人に伺った事があります。あんな小さな事にもすぐ修理という対処が出来ない大井町、とても心配です。白い紙貼ってごまかす。全てにですが。
	60 代	緑のある大きい公園や町民プールが欲しいと思います。
	60 代	自然と調和した町になったら良いと思う。
	60 代	大井町発展のビジョンと、長期にわたる発展ステップをもっとわかりやすく提示してほしい。
	60 代	街路樹や公園を造ってほしい。木漏れ日の下で置いてあるベンチに散歩の途中に座って近所の人達が会話をする姿は住んでみたい魅力ある町のひとつだと思います。
	60 代	空いている土地活用や太陽光などを利用し、高齢化した農業ではなく共同で若い力も導入した大井町ならではの農産物が作れたらと思います。障がいのある方もその方にあった仕事をその中で見つけて一緒に働けたらと思います。街づくりは老人も若い人も障がいのある方も皆一緒にしていかなければ本当の街づくりにならないと思います。その中で人への思いやりも産れて来ると思います。
	60 代	しょうぶ園、ひょうたん池、菜の花畑、みんな中途半端に思います。紫水大橋が開通し、この一帯風光明媚な所なのでレベルの高い産婦人科を誘致したらどうでしょうか。そして英才教育の保育園、幼稚園等も誘致し、若い人に大井町に関心をもってもらい、住んでもらえたら良いと思います。相模金子駅に、車の乗降の場所がほしいと思います。

地区	年代	意 見
坊村	70 代	・私の認識不足かも知れませんが、町内の雨水の排水対策が心配です。公共下水道の整備促進で污水対策が促進され感謝しておりますが、雨水対策の計画が不明である？ ・町内の金田地区には法部川がなく(酒匂川は除く)酒匂堰系統が排水の主流と思います。 ・今後開発には画水流出量が増大し、水害の危険度が増加します。(大規模開発は遊水地の設置義務があるが、小規模開発はない) ・画水対策は、流域(近隣市町も含む)内で一体的に計画するものであり、広域行政の観点に立ち、推進して欲しいです。(陸～海) ・すでに計画が策定されていれば着実に推進して下さい。 ・全国的に多発している水害状況を鑑みますと、計画規模の見直し(mm/n対応)も必要である。(国の方針もあるが?)乱文、乱筆で失礼します。
	70 代	水質はとても良いが水道料金が少し高いのではないのでしょうか 裏道になると街灯が少なく、防犯の意味で多くあると良いと思う
馬場	20 代	大きくなくても良いので公園を増やして欲しいです。すべり台・ブランコなど小さくていいので。幼稚園の保育時間が14時までとかだと外で働く事が出来ると思う。(15時だとおさら良い)保育園に入園したくても仕事が決まっていなくて入りにくいのはおかしい。仕事が決まっても保育園に入れるか分からないと仕事も全然決まらない。
	20 代	とにかく交通の便が悪いので不安です。道が狭いの、ミラーがついていない所がありとても危険です。切実です。助けて下さい。本当に、よろしくお願いします。
	30 代	役場職員の不親切な態度を改めて欲しい。
	30 代	子供が遊ぶところが少ない。
	30 代	御殿場線の本数をもっと増やして欲しい。せめて1時間に4～5本は欲しい。
	30 代	公園の整備。温浴施設やプールなどの場を作ってほしいです。
	40 代	先日、上大井駅に自転車を朝停めて夕方取りに行った所、放置自転車の方に追いやられていました。ボロボロ?の自転車でも大事に乗っているのに、子供はすごいショックをうけた。放置自転車扱いするのであれば、きっちり何日位放置で放置自転車としてみなすなり、紙でも貼って欲しい。そんな風な扱いをしていると自転車置き場にも安心して置くことが出来ない。
	40 代	・空き家バンクの設立、運営。 ・婚活に関しての町介入。 ・市町村合併に関する住民投票。
	40 代	何か新しい店ができるなと思っていてきてみればコンビニばかりである。もっと町の中で娯楽的に足を運べる、例えばカラオケやボーリングなどそういった店があっても良いのではないかな。
	40 代	山田地区の発展。高齢化している地区の生活圏の発展の為、バス、鉄道、交通機関の見直しをしてもらいたい。
	40 代	子供達が思いっきり遊べる広い公園が欲しい。大井町は公園が少ないので、子供達が安心して遊べる所が余りないような気がします。
	50 代	この辺の住民はほとんど小田原方面へ出向くことが多いと思う。大井町でもヤオマサ等主なショッピングモールはあるが、小田原・辻堂等の魅力には勝てないと思う。 その一方で、大井町ならではの素朴さがある。歳をとるとホッとする環境でゆっくり買い物等したいと思う。セブンイレブンや流行っているのは品物が限られていても、これだけおいしい・買いやすい・レジ係りの対応が良い、ここだから安心できるという利点だと思う。他の地区と対抗し同じように・・・と考えるよりも、いまある物を大事にしていく事で他の地区と格差ができ“安心して住み良い町”になると思う。 年寄りばかり・・・少子化が止まらない・・・と課題が多いとは思いますが、地道に少しずつ発展していけば良いのではないかな。住んでみて初めて良さが分かるのが大井町だと思う。 施設や公共事業を増やし、税金が上がるよりも人を育て住民を大事にする町づくりをし、それをアピールしたらどうか・・・。何をやるにも“お金”が“予算”が先だと思うが、町が破産しない程度に頑張ってもらいたい。
	50 代	大井町は都会ではなく、しかしすぐく田舎でもありません。東名インターチェンジはありますが、車は通過してしまう事が多そうですね。人口が少ない事は悪い事でしょうか？子育ても老後の生活もスローライフ的な大井町、とても良い町だと感じていました。ですが、今は人口を増やしたい、公共事業として調整区画を宅地へと進めています、地価の低い小さな区画を多く売るとなると集まってくる人はどうしても収入が抑えられた人口となります。これは人口が増えても税収は少なく、福祉等支出が増えてしまうと思います。私は今のまま自然を残し、農地を残し、町民が少しずつ税を負担して心豊かな大井町であって欲しいと祈っています。

地区	年代	意 見
馬場	50 代	他町は町長以下職員の給与(退職金)を下げていますと聞きましたが、大井町はなぜ下げないのでしょうか。
	60 代	①総合病院が近くに欲しい。 ②買い物難民になりたくない。 ③公共交通の充実。
	60 代	町民税が高い。他の市町村よりも高いと思う。
	60 代	農業をしています(主人が)が、田んぼのまわりや、町役場の特に外側があまりきれいではありません。ゴミや瓶など、畑や田んぼに投げ込まれ大変困っています。植木の枯れ葉や枝も水路に詰まったり、役場の内(建物)の掃除は良いのかもしれませんが、あまりにもひどすぎませんか？ゴミだらけなので、子供達が遊んでいても汚しても良いのかと考えてしまうのではないですか？ひょうたん祭りにお金をかけても、枝の片づけや、手入れもしてほしいです。役場の回りに気を配ってください。ちょっとみっともない気がします。
	60 代	イベント、観光などの行事が全てに対して中途半端な感じです。
	60 代	子供たちが自由に安心して遊べる公園がほしいです。
	60 代	広い公園で自由に歩けるような場所を作り、老若男女がいつでも出入り出来る環境がほしい。
	60 代	・60歳以上の健康な方が活躍できるような場の提供。 ・休耕地や相和地区の土地を利用し、町全体で特産物を作り、全国に販売(有名)できたら良い。 (例)大根栽培(相和地区) ・休耕地は、コメの生産を企業化し、一手に行う。 ・相和地区の雑種地・山林の開拓を行い、大根(何でも良いです)(一種類の生産)を作り、全国一の大根畑にできると良い。また、ゆめの里をもっと有効利用し、特産物ばかりでなく、地域の力の協力をもとに美味しい食事ができるお店を作りたい。また、そこには趣味の手作り製品の販売、リサイクルショップなどを販売し、もっと住民が訪れやすくする。
	60 代	スポーツの町にする。施設は改正や松田と合わせて、同時に大会ができる体制をつくり、ゆくゆくは合併(上郡の分離合併)も想定しておく…長野で行われているパターゴルフ場を金手、上大井、西大井、山田(旧第一生命)篠窪、柳、高尾の四か所に設置し、町で常に競い合い、長野の連盟に加入し、全国大会へ代表を派遣する。この競技をメイン町民の結束と健康維持に向けた体制の整備をする。又、他の市町からの人が気軽に來ることができるスポーツ公園として、町役場を終点とし、大井小から湘光中までの線路沿いをスポーツ公園として、特にランニングコース、ジョギングコース、サイクルコース、散歩コース、遊歩道などをつくり、それぞれ別々にコースを設置し専用とする。そしてその公園内に、現存の体育館を生かし、サッカーコートなどを造り、常に多数の人が、自由に使用参加できるスポーツテーマ公園とする。山田運動場も旧第一生命の建物を利用し宿泊のできる常に大会が誘致できるシステム造りをする。当然、赤田の「いこいの村」もその中に組み込む。健康作りでは、現在ある福祉協議会を独立させ、NPO“お～い元気会”のようなシステムで予防に力を入れる事が必要。役場の主導ではダメ、意欲の有る若者にNPOの運営をまかせ、スポーツの町健康の町をリードさせていく。
	60 代	広域行政を推進していく時期になっている。限界である。
	60 代	公園の計画もある様なのでうれしい。安全に運営できる様お願いしたい。地域、町民の憩いの場になると思う。非公害型企業の誘致を税減免等を含め長いスパンで良いので考えて行くべきと思う。
	60 代	発展しそうと思えない
	60 代	紫水大橋がせっかくできたのにR255やバス路線から行くのに歩道がなかったり道幅が狭かったりとたいへん不便です。早急に歩道だけでも造って欲しい。酒匂川の両サイドにある道路ですが、車が通るので散歩していても気が気でない。下の方(川近く)には歩道がところどころにあるが、草がいっぱいでどうも歩ける道ではありません。せめて車輛を通行止めにして楽しみながらゆっくり歩ける道をつくってください。企業があればそこで働く人、家族など人口が増えると思うのですが…。

地区	年代	意 見
馬場	70 代	これからますます高齢化社会に突入していきます。(80才以上90才以上)その方々が元氣楽しく過ごせるよう(食生活・運動・精神面)でのケアをより一層考えて、お年寄りが楽しく過ごせる様、今でも町として色々としていらっしゃる様ですが今まで以上に高齢化が進んでいます。そして長生きになっています。どう支えて行くか？健康寿命を今まで以上に考えていかなければならないのではと思います。核家族化が進む中、どう対処していけばいいのか考えさせられます。うわべだけの押し付けでなく、お年寄りがどうしたいのか聞いてあげる声かけをしてあげる。それに対してどうしてあげるか？楽しく過ごしていられるかが大切なのではと思います。個人差は色々あります。世代間の違いもあります。皆が健康で楽しく過ごせる様願っています。
	70 代	本日農協へ預金に行きましたところ、グリーンカーテンのゴーヤを一本70円で買う事が出来ました。新鮮で形はともあれ感動しました。ゴーヤに限らずすぐに現金化で来て互いに好ましい事です。
	70 代	現在子供達の遊ぶ(各種スポーツ等含む)場所が無く道路や家の空地等で遊んでおり、非常に危険で騒がしく注意すると場所が無いとのこと。学校の校庭等開放してもらうとか、遊園広場をそこそこに設けるとか一考して欲しい。大井町はそのような広場がほとんどない。
宮地	10 代	もっと神奈川県内で存在感を示せるような、特色を出していけると良いと思います。
	20 代	高校～大学、社会人の方は鉄道をよく利用します。それについてとても不便だと感じています。見直して頂きたいです。
	30 代	今のままで良いです。ずっとこのまま住みやすい所でいて欲しいです。
	30 代	コミュニティバスなど、お年寄りの病院循環バス。(ミニバス)お店や病院などを循環するバスが1回100円ぐらいであったら、妊婦さん、足が悪い人、お年寄りなどみんなが利用できたらいいのでは？！
	40 代	回覧の量が多すぎ。特にゴルフコンペ回覧など広報で十分である。
	40 代	防災等の放送が聞きにくいので、放送した文章も「放送内容」として大井町あんしんメールで配信してほしい。
	40 代	子どもがいるはずなのに、遊んでいる姿(場)を見ない。家でゲームばかりなのか、外へ出たがらないのか…それとも外に魅力がないのか。せっかく自然があるので、町民が足を運びやすい公園を作り、色んな年代の人と交流できる場があるとよいのではないかなと思う。
	40 代	中井中央公園のように、場所が悪くとも駐車場を整備し、広場、遊具をそろえることで、多くの親子連れが集まります。当町の公園は、駐車場がない、遊具が無い等何かが欠けていて地元のお年寄りしか集まらないものとなっています。またあれダメ、これダメとなると、近年の多忙な子供達には全く魅力を感じないスペースとなっています。改善を望みます。ブルックス所有の山林を何らかの形で、集客施設とできないでしょうか。グラウンドも豊かな自然も飼いきれずの状態となっており残念です。
	50 代	町議員の人数をもっと削減して良いのでは？多いと思う。
60 代	50 代	高齢になったら車の運転はやめるべきとずっと思っています。しかし、大井町の現状は車なしではとても生活しにくい。たまに見かける無料巡回バス(?)はいつもガラガラ。そのようなバスにあてる予算プラスαをバスや電車の無料券にして、もっとバスや電車の利用をすすめてほしい。今のままでは大井町に住み続けるのはむずかしい…。
	60 代	問17関連で。都会から1時間足らずで東名インターもありアクセス抜群。この地を使わないのが勿体ない！(農作物や果物も豊富。梨狩り・ブルーベリー狩り等)現在ブルックス会社の社屋に入浴施設があれば、富士・箱根を眺めながら日帰り可能。アサヒビールもありそれぞれが活性化すると人の交流もあり楽しい。元氣な高齢者運営のサロンを作り医者通りの老人をサロンに集め機能訓練で向上させてみる。
	60 代	大きな川あり、ほっとする里山あり、更に富士の絶景を活かした大井町ならではの町民の憩える広々とした公園があると良い(休耕地利用)。桜の植えられたおおいゆめの里もあるが、元氣のよいハイカーや車利用者が多いと思われ、足腰の弱い町民や観光客をも呼び込めるような特長のある植栽をし(例、開成のあじさい、松田山の河津桜など)、いつときでもひょうたん祭りに匹敵する活性化を図ると良いと思う。ブルックスの丘の観光利用は会社所有のためできないのでしょうか。イチヨウ並木は素敵だし、現存するプールやグラウンドも広くて大変もったいないと思う。ブルックスの働きかけてはどうでしょうか。町内の小中学校のグラウンドをニュージーランドのように芝を全面に張るのは無理でしょうか。費用は膨大と思うが大自然に囲まれた大井町の学校らしくなると思う(寄付を募る。ふるさと納税やインターネット利用)。

地区	年代	意 見
宮地	60代	現在は、親の看護等で忙しい毎日を送っています。高齢になった時を考えると…。食に関して不安を感じます。買い物・食事作り等です。どのような手段を選ぶのか、それを誰に相談したらよいのか、普段からきっちり勉強しておかなければならないと思っています。近所づきあいも大切な事ですね。自分達が今出来る事を、若い人達に見せておく事も大切な事でしょう。今はボランティア等は出来ない状況ではありますが、そういった活動に参加したいと思っています。中学の裏側の道を散歩していると、裏庭の草がうっそうとしている姿に残念でたまりません。「教育」の時間が足りないから草とりが出来ないのでしょうか。ガーデニングとかいう特味の“力”を持った先生が欲しいですね。部活動(中学)で旧第一生命(ブルックス)の方にランニングしている姿にはちょっとうれい感じもしています。教育現場もたいへんでしょうが、若い人が大井町で(すこやかに)生きる(生活)出来る事を希望しています。以上ムダ話でした。
	60代	御殿場線を利用している人は、通勤、通学、お出掛け、観光などJR東海だけでなく、国府津で乗り換えて、JR東日本を使って遠くから、毎日、数しれない多勢の人達が大井町の中を通り抜けています。その人たちの目に触れて感じ取って(大井に行ってみたい。知人に話したい)もらえるようなPRの仕方を皆で案を出し合ってみてはいかがでしょうか。たとえば延線などに一目で分かる看板。同じ様に255沿い、東名インターの出入り口付近。
	70代	観光施設を充実にして観光客を呼び寄せる。
	70代	私は歳を取りました。今は外出する事は出来ません。若い方々には町の行事に出来るだけ出席、参加し教養を身につけ、善悪のわかる人間になる事が大切だと思っています。
	70代	ひょうたん池の再検討を！農業経験者のボランティアを募り他市町村に誇れる施設にしてほしい。
	70代	・大井サポート事業、生涯学習のチャンスさをさらに充実して欲しい。色々な機会をとらえて、もっと勉強したいという町民の方々もいるので。 ・固定資産税の額への説明がほしい。(なぜこのくらいの税負担になるのかの理由なく家屋の税金が決められるのは不満) ・スポーツ大会でも高齢者同士だけでできる参加種目があればよい。バドミントン、ソフトバレー、卓球など、地域の団体ではなく、個人でも高齢者(60歳以上)でも自由に参加できる大会があると老人にははげみになる。
	70代	大井町に於いては、他の地区から呼び込む様な所はなく静かな町である。何か物足りない・・・年配者が増えている中、健康面を維持する様な所も必要と思います。スポーツ等出来るような所が何もない。今流行になっているパークゴルフ場も年配者には良い遊び場だと思います。
	70代	せまい路地が多すぎる。防犯灯が少ない。自治会費で飲み食いが多い。
	70代	①自然環境がいいので、町の観光資源を開発すべきである。 ②ハイキングコースの整備、ジョギングコースの整備。 ③上大井駅に観光案内所などの整備。
	70代	車で行かなければならない様な公園ではなく、自転車もしくは徒歩で行けるような緑のある公園がほしい。福祉バスは本当に助かっているがもう少し本数があるといい。
金手	10代	もっと分かりやすい情報開示をすべき。(もしくは幼いころから町政などに興味を持たせるようにすべき)自主的に大井町の事を考えて行動しようとする人は少ないのではないかなと思う。(歳が若くなればなるほど)その原因は町について知る機会が少ないからではないかなと思う。私の家では「大井町だより」は私と祖母しか読んでいません。(タウンニュースや新聞は他の家族も読んでいのに・・・)町の行事(?)も子供会や湘光中学生時代にすすめられたものには参加したが、高校生になって以降は地区での祭りくらいにしか参加していません。年に1、2回でいいから、半強制的にでも全町民を町の行事に参加させて、大井町に今以上の興味を持ってもらうのがよいと思う。
	10代	民家に隣接する歩道を作る際に、背の高いフェンスや塀を作るべき。歩道から家中を見られてしまうのは不快。
	30代	学生からのアイデアを。町の発展に参考になると思うので、小・中・高(大井町)と連携組んでは。大井町の商店などB級グルメ的な目玉商品考えているかと思いますが・・・町の建物・設備的な事は終わりはありませんが、新しい橋から255道路への開通にあたり何かアイデアが出ると良いが・・・とりあえず、ひょうたんを上大井だけでなく大井町全体に拡大。大井町にしょうぶなど花はあるが量が少なく、一つの花を大々的に拡大、これからは社会福祉に力を入れて、若い人が転入しやすい大井町作り、議員などのアドバイスを参考にしながら、大井町の発展を期待しています。
	30代	子供の遊び場である公園や学校以外のプールが少ないので増やして欲しい。

地区	年代	意 見
金手	30 代	目玉になる観光スポット、祭りなど人が集まるものが欲しい。車も来なく、歩行者、自転車、子供だけで安全に歩いたり、走ったり自然に触れ合える様な遊歩道が欲しい。
	30 代	就職を希望しているのに、子供を預けられる場所がない。人口を増加させたいのならば、まず、子育て中の母親の意見を聞いて、もっと保育園などの施設を増やすべき。町長の給料が他の市町村と比べると高いのは納得できない。町長や議員の給料を大幅に減らせば、福祉関連の予算にもっと余裕ができるはず。子供の医療費の助成を中学生まで上げるべき。他の市町村はできているのに、何故大井町はできないのかが疑問。
	30 代	・現在大井町は商業区域と生活区域、森林区域、と分割できていると思う。しかし、それらを結ぶ利用バスが少ない。更にそれらをどのように「発展利用するか」が明確でない。地域、町が1つになる行事が「ひょうたん祭」だが規模が小さい。いろいろと諸問題があると思うが、地域のお祭り（自治会レベル）をすべて集めて（山車）会場にあつめるとか、全地域が参加するとおもしろい。 ・また、数年前中学校が「大変あれている」と耳にしました。私はその一部の生徒と知り合いましたが、今ではそれなりの大人になっております。教育方針には少し不安です。2校は必ず作り競い合いは必要です。（部活動、勉学、教員）刺激合いが必要と思います。 ・企業を誘致することは地域の反対は発生しますが、税収を町民負担では限界もあり、また人口増加につながりません。私が以前住んでいた東京都羽村市は小さい区域ながら市のスポーツセンター2つ、児童館3つ（テーマ別）、動物園などとにかく行政サービスがすごかったです。（職員がつくるテレビ番組もケーブルテレビで放映）、その工業団地の税収、横田基地の関係で、国からの補償を町民にしっかり行政サービスとして還元してくれました。これも高い税収がすべてだと思います。「税収を伸ばすためにも企業を使わないといけないうい」これを町民全体が理解しなくては行政サービスの向上は難しいと思います。
	30 代	道の駅、朝ドレみたいな場所があったら毎日でも通いたいです。
	30 代	アンケートもよい方法だと思います。問21、わからないことも多くむずかしいです。
	30 代	暮らしやすい、また大井町に他市町村から移ってきやすくするために、スーパーや身のまわりの品を買えるところを増やしてほしい。人が集まるようなイベントを多数行ってもらいたい。
	30 代	生活環境の充実。今住んでいる場所が子供（大人）が安心して歩けないので、水路を道路に整備し直してほしい。松田町と隣接している道路だから難しいのでしょうか。だとした自治体で協力し合って一日も早く道路拡張をお願いします。
	30 代	・遊べる施設があると良いと思います。カラオケやスポーツできる施設 若者も大井町を利用することが多くなる。スーパー銭湯とか！！ ・夜道暗い所が多いので街灯をふやせば安心です。 ・交通については少し不便なのでバスを多くしたり？ 第一生命の方面とか行きにくい。
	40 代	神奈川県でもこれだけの子供の多い町は少ないと思います。1世帯での子供の人数が多い家も数多く、もっと子育てに優しい町になって欲しいと何年も前から思っています。この秋やっと子供の医療費も小学校6年生まで無料となりますが、もっと早くしてほしい。私は何年も前から一律料金でもいいから改善してほしいと議員さん等に呼びかけてきましたが、なかなか実現してもらえなかったのが残念で仕方ありません。子供は産むときより育てる過程でたくさんのお金がかかります！特に中学生からは頭を悩ませるくらいです。出産祝い金というより、ある程度年齢が過ぎてから受け取れる補助金があると助かります。子供は未来の大井町を担う大切な存在です。子育ての手助けになる事業を増やしてほしいと思います。
	40 代	議員の経費は全額領収書添付にして下さい。
	40 代	防犯灯がまだまだ少なく、暗い道が多いので防犯灯を増設してほしいです。また、球切れしてもナンバープレートが樹木などで隠れていたり、高い所に取り付けられていて自治会名、ナンバーが確認し難い防犯灯があるので、プレートの改善をお願いします。
	40 代	子供や老人の医療費無料、もしくは援助がほしい。他地域では15歳まで無料のところもある。それを知っていればここに家を建てる事はなかった。
	40 代	人々が利用する鉄道の駅前に生活施設を増やしていく。

地区	年代	意 見
金手	40 代	やはり、農地を維持していると税金安いという気持ちが農家の人々が多いと思います。そこを町が負担して農地を売りどんどん大きな会社が入って来られる町にしないと、ど田舎まで行かない中途半端な町だと思う。強制農地を辞めましょう。せっかくあんな良い道出来たのですから。秦野の人は小田原方面にはあまり行かないと聞いています。厚木だと聞きます。厚木みたくしましょう。保守的な親、保守的な町は夢が持てないです。255もコンビニ通りになっています。今のままじゃ、どんどん他県や他市町に働きに出て、人が減少してしまうでしょう。20年前ぐらいから、つまらない町になってしまいましたね。こんなアンケート作らなくても分かるでしょ！「町がつまらない」
	40 代	商工業や雇用安定、支援施策を充実できるように観光協会やまちづくりの協力などにわかものが参加出来るイベントや事業の評価の区分を理由で表示し、手法改善も多く取り上げる事、専門家とのコミュニケーションをひろげるなどの活躍を要するのではないのでしょうか。
	40 代	・ホームページの公園の場所が違っていた。 ・路上駐車がが多い。(特に生活道路、レオパレスなど出入りのはげしいアパート付近) ・ごみ置き場が汚い。(特にレオパレスやアパート)アパート住民がごみ置き場の説明をうけていないことがある。 ・子育て、小中教育の充実を望んでいます。小児科医(専門医)おくやま先生も転医されるので、小児医療の充実も望みます。
	40 代	町全体での活動が増えていくとよい。いろいろな世代の人たちが集まり、話し合える機会があればよいと思う。自然災害も増えてきているので、その点での訓練やシミュレーションなどを町全体で行えるとよい。今の町のイベントは、子供、高齢者対象のものが多くような気がする。開催日が平日ばかりでは働いている人は参加できず、子供の、高齢者の、だけでは参加する気もおこらない。
	40 代	将来、子供達が住み続けられる(他の自治体に出て行かない)町作りを期待したい。
	40 代	・ミスドから共同墓地までの水路にふたをして歩道確保してほしい。 ・働く主婦が預けている保育園児よりも専業主婦やパートなどの子が行く公立幼稚園児のほうが兄弟が多い。子育て支援策は、幼稚園児のいる母の子をひろってはいかがでしょうか？国も兼業主婦への支援ばかりなので。
	50 代	1)人口が減少している中での ①高齢者対応(総合福祉) ②農業対応(農地→宅地・商業化への転用) ③財政の確保(人口増・会社誘致での増税収入) 2)魅力ある大井町にするためには保守的ではなく、大胆に無駄なく改革して下さい。
	50 代	子供の元気で生きていく生命力と老人の生活の知恵をうまく合体した時間と場所が欲しい。
	50 代	特にありませんが、役場の職員数が多く、もう少し減らす工夫が必要と思います。
	50 代	1. この一年で数回所用にて庁舎に行きましたが、窓口の対応がとても事務的且つ、聞いた事のみでの回答で町民に寄り添う意識が見受けられないのが残念でした。このような大きな視点で中長期的に町をどうしていくかという事も大切ですが、今すぐできる事で、町民が安心して相談出来る庁舎の窓口担当を育成する事も私たちの暮らしを豊かにする一歩だと感じます。もう少し笑顔が欲しいです(東北の被害地での市や町での行政担当の意識を見習うべきです)。 2. 災害時に効果を発揮するのは隣近所の「共助」の意識です。独居老人、障害者の住まいなど、日ごろから親交を深め、互いに助け合う連帯感の醸成を自治会の仕組みを活用してシステムとして作っていくことが課題ではないのでしょうか。そのような事も将来不安を多少でも減らしてお金をかけずに「豊かさ」を提供できる事と思います。町民の他の人への「優しさ」を表に引き出す仕組みを検討して下さい。
	50 代	①全体的に街路灯が少なく、夜になると真っ暗な道路が多いと思います。全ての街路灯に太陽光(ソーラー)を使用し、LEDタイプに変えていただきたいです。 ②道路交通法が変り、自転車車が車道を通行に関して、自転車が走行しやすい通行帯を整備してほしい。自動車、自転車、歩行者が安心して通行出来るような道路を整備してほしいです。 ③東名I. C出口(足柄大橋側)の松田入口交差点付近での追突事故が多いため「信号機あり速度おとせ」など電光標示をしてほしいです。
	50 代	足柄上郡という圏域での交流を十分図り、管内でのサービスの相互利用等、町を越えたものになると、更に生活しやすくなるように思います。大井町のメリットとしては、小田原市に隣接しているところかもしれません。

地区	年代	意 見
金手	50 代	開成町の発展と比べ、大井町は高層マンションもなし、都心部からの移転にもっと力を入れたらよいと思う。
	60 代	・生活保護者や独居老人に集団グループ単位の労働と(道路清掃、雑草除去、市営地清掃、管理など)賃金(日給、時間給支給)支払いで都市機能の維持。 ・家持生活困難者に住家屋担保による生活諸費の貸付(上限生保規定付)の平均寿命期間貸付、死去後清算、残務親族支払で…。直契は当人と市名義、代行はJAか？
	60 代	人が沢山集まるイベントを現在よりも数回増やしてほしい。予算面(経済的)で大変ですので出来る限りお金のかからない方法で企画して頂くと大変有り難いです。例:町民体育大会はスポーツ部門ですが、春に町で生産された食材を使用して食の祭典など。
	60 代	1. 企業誘致 ・中途半端なイベントはやめる(例:菜の花まつり)。規模が小さい、貧弱→他の地域の人から馬鹿にされている話を聞いた。
	60 代	高齢者と若い方、独身者が一つの大きな建物で一緒に生活する。若い方とは(大学生とかOLである)。朝、出かける時に高齢者の方から買い物のメモを預かり、学校帰りとか仕事帰りに買って来る。又、車を持っている人は(若い方で)休日に一緒に出かけたりする。体調不良の時はお互いに助け合う。又学生が試験の時は高齢者の方が夜食を作ったり…。以前北海道で実際に有る建物で生活している人の事を放送していました。ぜひこの様な施設が有ると、自立している、一人で生活している高齢の方にはとても良い事だと思う。又、独身の方でも色々プラスになるのでは…と。
	60 代	①大型の道路に無駄な税金を使わず、子育て支援、老人や障害者、幼児、登校に必要な生活道路の整備に日常気を配って整備して欲しい。 ②自治会の活動は、住んでいる住民の意見を尊重し、住民の望む楽しい、有意義な自治会活動に参加できる様にしてほしい。 イ、自治会が高い ロ、自治会館の利用料が高くて気楽に近所で利用しにくい。 ハ、学習センターの利用については、住民ならば、手続き簡単に利用できる様にしてほしい。利用料も高すぎる。 ニ、公園の数は多少増えたけど、利用する子供の姿があまりない。遊具の設置、点検をまめにしてほしい。 ホ、自治会を中心にした夏祭りなどの会費徴収や、一部の役員のための飲食など、ちょっと目に余る所もあり。信頼を失いかねない実態もあり。気を付けて欲しい。自治会の運営(会計事業内容など、きちんと明確にし、納得できる自治会の在り方を望みたい。最近、地域によっては自治会を抜ける人、入らない人が増えているみたい。 ③来年からの介護(デイサービス、訪問介護など町の運営になると自己負担が増えそう。満足できるサービスを配慮して下さい。
	60 代	農家の協力をいただき、田んぼ一面に芝桜を植え、観光の目玉にする。
	60 代	自然と住宅地との良いバランスを取って、住民の生活をサポートして欲しい。税金の使い方を精査し、収入に合った行政にして欲しい。
	60 代	東名や新幹線その他アクセスにも条件が良く、恵まれているにもかかわらず、大井町以外から人が集まって来る魅力も無くてむなしさを感じます。他町は大井町より予算が無くても努力している様に感じています。
	70 代	①現在平和に過ごしていますので、今の状態が続けられれば充分です。 ②先日、用事で役場に行きましたが、男女ともに(職員の)対応が冷たく嫌な気分でした。数年前と随分変わっていてガッカリしました。
	70 代	大井町は保険料が高すぎる。他の町の方が安い。町長の人件費が他の町より高すぎる。町は町民の事をもっと考えるべきです。介護保険料の決め方がおかしい。町民税の有り無しで基準を作るのは変。本人の収入で決めるべき。
	70 代	酒匂川沿いに今のうちに都市計画公園を整備すべき。
	70 代	夢ですけど、大井町に温浴施設が出来たらいいね。子供達に幸あれ。

地区	年代	意 見
金手	70 代	町民皆が勝手に要求しても無理、痛みも引き受ける事。町はタダで何でもやるのではなく利益者負担を考えたら。国からの指導が多くて町の自治部分が少ない様に感じられるので、現状維持で結構です。
上大井	10 代	御殿場線の増便。SuicaやPASMO等のICカードの導入
	20 代	とりあえず、たまに来る暴走族が夜うるさいから何とかして欲しい。
	20 代	私のようにまだ若い者だと、正直7P8Pのアンケートは「情報をネットから得る」人種にとっては全て「3」になります。逆説で言えばそういったタイプの人達は、ある意味個人にとっては無駄でも「町にとっては有益な情報や和識」をもっているかもしれません。であれば町の方で同年代の同窓会的なものをひらいてあげれば旧交を深めつつ、テーマとして「町のここを直したらいいか？」みたいなことをちょこっと話し合っていけば雑談の中からおもしろいアイデアがでたりするかもしれません。街(町?)コンのかわりにもなるかもしれませんね。←つまらない冗談はおいて、アンケート型返送率がひくいかなと思います。だったら会って話を聞くのがベストです。文字と電話ほどニュアンスが伝わらないものはありません。「座談会」なんて本当にかたいものでないモノがいいのかな？と考えます。
	20 代	朝、仕事に早く行かないといけない時の交通の不便さを感じる 車通勤をやめたくてもバスがないので困る 長く住めるところではない。他の市町村より税金が高い。大井町に住みたいと思うところがまったくない 友人にもすすめられない。大井町のいいところがない
	30 代	①第一生命さんのご好意で長年使用させて頂いてきた湘光園(公園)がグランドだけになり、町として大きな公園を作って欲しいと願っております。 ②児童医療手当が他市町村と比べて年数が少ない為、小田原市等と同様中3までにして頂けると有難いです。 ③バス・御殿場線ともに朝夕でも30分おき、日中は1時間おき、夜遅くはバスは無くなってしまう為、通勤・通学の利便性を上げるべきだと願っております。将来的な人口増加へもつながると思います。 ④ひょうたん踊りも良いですが、昔ながらの盆踊りも楽しみたい・・・という気持ちを持っている方、多いのでは？と思います。 ⑤経費を減らして町税を減らして欲しいです。
	30 代	①研修にかこつけての旅行など、無駄なものは減らすべきだ。 ②古い体質を変えて欲しい。 ③役場の従業員は率先して挨拶すべきだ。 ④町全体の危険箇所等を見回り、優先順位を考えて補修などをして欲しい。 ⑤子供達が安全に遊べる公園などを考えて欲しい。
	30 代	大井町役場の職員の対応が悪い。聞いた事に対してすぐに答えられなかったり、分からない人が多い。何の為にいるの？って思うし、もっと勉強した方がいいと思う。ただ座っているだけで給料をもらってて羨ましいと思った。同じことを言っていたり感じる人が自分以外にもいるので、しっかりもっと対応してもらいたい。あと、公園を増やして欲しい。子供達が遊ぶ場所がなさすぎ。
	30 代	地域での活動を行っている際に(公民館清掃等)担当の方と話し合いの場があるとFace to Faceで一方通行の話にならずにより良い意見が出ると思われます。
	30 代	・医療費の無料化にするのではなく、回数を決めたり、一部負担するなどの方法もある。タダだからとすぐに病院へ連れて行ったりする。子供を産みたくても産めない人にとっては税金の無駄使いとしか思わない(静岡は4回まで500円、その後タダ)。 ・子育て中の親を守ることも大切だが、障害のある方、高齢の方を守るための催し物、行事など沢山あると良いと思う。 ・公園の草むしりなどシルバー人材事業は良いと思うが、自治会で草むしりがあるのに草むしりをされてしまう事があり残念。 ・大井町は人が出会う機会が多くある(ひょうたん祭りなどの催し物)とても良いと思う。 ・保育園がもう1つあると良いと思う。 ・ファミリーサポートをもっと利用しやすくしてみたらどうか。
	30 代	とても住みよい町です。子供の今後が心配です。小学生高学年になり、中学生になり・・・悪い事をしたら注意できるような環境になって欲しいです。町民全員が知り合いみたいな今後にして欲しいです。
	30 代	住民同士の交流やお互い気持ちよく挨拶、会話がしやすい町づくりが必要！！いじめ、大人は大人らしく考えを持ち、お互い注意し合い「ありがとう」の気持ちを一人一人がしっかり見つめなおす気持ちが必要！！明るい環境にし、無駄な税金は使わないで下さい。

地区	年代	意 見
上大井	30 代	各種イベントがいつ訪れても大変な盛り上がりで、町職員の方々の頑張りの成果だと思います。おつかれさまです。外から人を呼び込む立地ではないと思うので、今住んでいる人たちの安心・安全、若い世代が他地域で就業しても定住し続ける環境整備をして頂けると嬉しいです。公共交通機関が充実してくれると良いです。(湘南富士急バス、御殿場線)
	30 代	住民が多く利用する交通網の整備(区画整理の促進)。山奥の道などは後回しで差支えないと思う。
	30 代	防犯灯の明るさをもっと明るくして欲しいです。夜、暗いです。(三嶋神社あたり)
	30 代	税金など安くしてほしい。子ども、お年寄りにもっと親切的な町にしてほしいです。
	40 代	①公園が少ないので増やして欲しい。 ②保育園が少なく、空き待ちしている人が多いので家庭ママ制度を充実して欲しい。ファミリーサポートは時間賃金が高すぎて利用する・される方も負担が大きい。また、ファミサポの存在も知らない人も多いので多くの教育施設に周知させて欲しい。 ③学童保育もせめて四年生までにして欲しい。
	40 代	高齢者が住みやすい町づくりをして欲しい。
	40 代	①大井町町道の整備をお願いしたい。車椅子では散歩に出られなく(歩道が歩きにくい)整備されていれば外に出る機会が増え、イベントをしても増えると思う。
	40 代	大井町は自然環境も多く暮らしやすい所と思うが、これといって特色もないように思う。しかし、良い所もたくさんありそれらをうまく活用できればもっと活性化していくと思われる。例えば、あぜ道を整備して誰もが回遊できるようにするとか、酒匂川沿いにBBQ広場・キャンプ場を作るとか、ハコモノだけではすたれるだろうから、町民ボランティアの募集そして運用するのも良いと思います。また全町で禁煙を進めるといっても健康的な町づくりにインパクトがあるのではないのでしょうか。多くの人がいて、色々な意見があるとは思いますが特色を出すには、少し極端な政策・施策を取って行くべきと考えます。最近では田んぼがどんどん宅地化されているように思いますが、宅地ばかりになると大井町らしさも少なくなる感じがします。田んぼもやってみたい人はいると思います。町が仲介して田畑を残すという動きもあって良いのではないのでしょうか。(既にあるとすれば知らないだけかもしれませんが)自分たちの町であり、より良くしたいと強く思います。
	40 代	・何年か前、1年間位大井町中の道路を子供と一緒に道路のゴミ拾いをしたことがありますが、缶、ペットボトル、たばこの吸い殻がとても多く、自分たちが出した物ではないので拾うのがばかばかしくなってしまうやめてしまいました。拾っても拾っても次の日に必ずまた落ちていました。子供達と町中が汚いのをととても落胆して、色々と話したりしました。タバコの吸い殻や歩行喫煙などマナーの悪い人が多く、町の道路も禁止区域等作る等して欲しいです(癌になったら困るので)。 ・湘光中学校に通う子供がいるのでお話をさせていただきます。使っている備品が古いので何とかならないですか？部活で使っている物(うちは吹奏楽部ですが)楽器が古く錆びついていて、ひょうたん祭り等で見えていてかわいそうでした。今、校舎の改修工事をしているのは大変有り難い事ですが、備品も新しい物を少し用意して頂けたらいいと思いました。
	40 代	電車の数が少ない。10～20分に1本はほしい。バスの数と時間があわずのれない。町で運行するバスの時刻表など、かんたんに見たい。ショッピングモールが小さいので、もうすこし色々な施設が入ったものがあるといい(スポーツジムなども少なすぎる)。
	40 代	図書館の閲覧コーナーが居心地悪すぎる。他の図書館の様な背もたれ付の長時間座れるソファが欲しい。映画を上映してほしい。子ども会の参加人数が年々減っている理由は親が役員をする負担なので、町の職員で担当するのはどうだろうか。子ども会はとても思い出のできる会なので。
	40 代	すぐ出来そうな改善・対策ばかりでなく、中期的に考えて欲しい。もっと住民の生の声を多く聞き入れるべきだ。大井町に住みたくない、引越しの際小田原市や松田を選ばれる理由をもっと知るべきであり、改善・対策すべきである。また、お金の使い方が、仕事の行い方、考え方が良くない。もっと民間的になった方が良い。費用をかけなくても、出来る事がある事に気づくべきだ。

地区	年代	意 見
上大井	40 代	ミマスモールや足柄モールが出来た事で大井町で用が足りる様になったと思います。町外の人 も大井町に立ち寄る人が増えていると思います。まだまだ、小田原市の様に大きなデパートがな いためにそこらへんは小田原まで行かなくては行けない現状です。御殿場線の本数も少ないの で、大井町に来る人は少ないでしょう。交通機関がもっと使いやすく本数を増やし大きな施設を 造れば又、違うと思います。唯一、ひょうたん祭りは、大井のアピールポイントだと思うので、花火 大会など+してみたら、来場者数は増えると思います。ただ、発展ばかり考えてしまうと、今の田 んぼ、畑などが少なくなると淋しい気持ちです。酒匂川をもっときれいにし、泰野の水無し川の 様に歩けるようにするとかもいいと思います。大井は、水もおいしく、まだまだ自然がたくさんある 所がうまくアピールしてこれからも子供達がのびのび過ごせるような大井町にして頂きたいと思 います。後、相和地区の子供が減少しているみたいなので、上大井小、大井小などへ行けるよう にしてあげてもいいかなと思います。
	40 代	・湘光園跡地が「あしがらモール」や「ミマスモール」のように活気にあふれる場所になってほしい です。 ・大井町のキャラクター(ゆるキャラ)を作って町のアピールをどんどんしてほしいです。
	50 代	高齢化しているのがわかっているのに受け入れている施設が少ない。あっても汚いし臭い。充実 した施設を作って欲しい。汚くて臭い所には働いている人たちにも問題があります。ちゃんと見て いますか？上に立つ人たちの事、よそにある施設はきれいです。
	50 代	①例えばアメリカのシリコンバレーのような特色のある町を目指して欲しい。大井町に人が集ま る仕組みが無い。その仕組みを作る。例えば、空き家に起業家を紹介する。シリコンバレーも最 初はガレージからのスタート。町もその支援する。 ②相和地区の社会資源を活用する。相和地区にはカートランド・乗馬クラブ・射撃場・宿泊施設et cがある。それを有効活用する。 ③例えばラグビーの菅平のような町にする。少年サッカーの合宿地にする。大会も実施。徐々に 大きくする。ブルックスのグラウンドはヨーロッパのトップチーム並のグラウンド。
	50 代	自然環境を維持できる大手企業誘致・推進。
	50 代	生活の足として自家用車が欠かせない老年期になり、運転ができなくなるとここでどの程度の生 活ができるのか、ある程度制限されたものを想像します。コミュニティバスの運行は検討して頂き たい。また、大井町は教育関係についていた方も多いのでそのような方々のお力を借りて、小中 学校または高校生への教育支援活動を行ってもらえないだろうか。また、上大井駅の旧駅舎を 有人化して治安維持に対処できないだろうか。
	50 代	・リサイクルできるものを、もっと明確に分別するべき。(たとえば、プラスチック製品等)現在の その他プラの回収は毎週にして欲しい。 ・中学校からプールがなくなってしまったが、町民全員が利用できるプールが欲しい。 ・町民大育大会の開催はそろそろ考えるべき。
	50 代	・企業や学校への誘致。 ・交通機関の整備。 ・小田急線の引き込み。
	50 代	鉄道、最終が早く駅が無人で暗く券売機も無くスイカも使えず不便。小田急を利用するのに駐車 場をかり、松田も時間外も暗いベンチしかなく柏山から歩いて帰ってきた。車は多少東名利用も できて良いが、皆通過するだけ仕事も無いので外にでるしかなく。運転出来なくなれば駅に近く に(小田急等)住みたい。第一生命の丘は富士山が美しい場所でした。自然エネルギー利用の 健康や福祉施設等ができれば良い。他県の方も東名利用で箱根、ゴルフ、伊豆に出かける時、 あのビルは見ている様子なので、町のシンボリックな物ができると人が集まるかな。劇場とかアリ ーナ的な物ができれば交通も人も集まるし。店とか。自然環境が壊れるのはダメですが！！農 作物も町で運営すれば(個人の維持できず(高齢など))この町の一番はなんですか？畑をグル ープホームの仕事にしながらとか建物だけが雇用を生むとは限らない。ゆっくり町内一周できる 様なサイクルロード、散歩コース(小田原ソーデーマーチの様な)
	50 代	三人の子育てをしてきて、大井町は子育てにやさしくない街だと思う事が多々ありました。車での 移動が出来たので小田原市、南足柄市まで、子供が遊べる所へ、小さい頃は良く連れて行きま した。車の運転が出来ない人はどうしていたんだろう？と振り返ると考えてしまう事があります。 子育て世代の人達が住みやすい街でないと、人口は増加せず高齢者だけになると思います。空 き家が多く見られているので防災、防犯も、今後重要になると考えています。うまく利用方法が見 つかると良いのですが。

地区	年代	意 見
上大井	50 代	問19について。利用者負担を増やさなければサービスの維持(向上)は難しいですか？まずは全てのサービスで無駄を省くことをして欲しいです。その上での負担増は仕方ないと思います。設問にはそういう意味も含まれているのかもしれませんが、読み取るのはちょっと難しいです。
	50 代	・最近全国的に自然災害が発生していますが、本町はその対策が十分に行われているのでしょうか。 ・大規模地震が発生した時に、防災対策は万全ですか？
	50 代	小田原市との合併を希望します。
	60 代	背伸びせず、住み良い町。
	60 代	60才半ばまでは、知人・友人達とまちづくりへ関心を持ち積極的に活動して参りましたが、70才を目前にすると、中心となり活動することへの不安(体力・知力)が増し、個人で出来る活動を少しずつ行うようになってきました。40～50才の方々がもっと積極的に活動できる様な方法(取り組んでいく事業や内容)をアピールし、まちづくりへ参加・努力していただけたら良いと思います。
	60 代	現在、生涯学習センターで毎年行われている神奈川フィルの演奏会のような催し物を広げて、他の分野(演劇など)も招待講演したらどうでしょう。又、前回行った講演会の様に著名人を招いての講演会を定期的に開催して頂きたい。又、そのための組織作りを推進してもらいたい。
	60 代	町の予算にも限りがあるでしょうが、育児をしている若い世代が安心して子育てできる町にして下さい。町の発展には小さな(若い世代)子供が大切だと思います。
	60 代	企業の誘致
	60 代	第一生命跡地(現ブルックス)は、良くも悪くも大井町の顔のひとつです。これをどのように利用するか大きな課題です。再生可能エネルギーの場としての利用、又、屋外芸術の展示等を含め芸術家の創作の場として活用したらどうでしょうか。
	60 代	これから、高齢者の社会になり、今のままでは行き詰ると思う。早期の高齢者社会への対応を望む。
	60 代	大井町全体的に元気が無い気がします。どうすれば良いか？・・・解りませんが・・・この町を愛しています。
	60 代	・大井町が他の交通機関とつながって対外的に広がる様にしなければ田舎の町、的な存在ではない。 ・天災に対する対策が重要である。 ・新しい道路が大井町住民にとって不便であり利用されていない。(道路につながる道が不便)
	70 代	①市町村合併の得失について真剣に検討し、メリットが大きければ積極的に推進すべきである。 ②防災について、最も厳しい被害想定にもとづき、実践的な訓練を実施すべきである。自助・共助の面についても、町がもっと主導して住民の意識を高める必要がある。丸投げでは不可。 ③教育の改善。中学校の歴史教科書は長年にわたり自虐的な教科書が採択されているが、教育委員会は現場任せにするのではなく、より良い教科書を自ら選ぶべきである。教育委員の選定に当たっては真に適格な人材を選ぶべきである。
	70 代	町内隅々の方の道路など見てまわって欲しい。
	70 代	アンケート調査の結果を具体的に知りたいです。
	70 代	町をアピールする目玉として「ひょうたん」以外のものを探して強力に推進する。働き場所をもっと町内に増やす施策を取るべき。
	70 代	新規企業の導入等で町をもっと活性化してほしい。ひょうたん祭りや産業まつり等、もう少し規模を大きくしてもっと他の市町からも人が集まる様、企画してはどうか？まつりが毎年だんだん縮小されていくような気がしてつまらなくなっている気がする。予算優先で小さな祭りでは今に池之町民とも飽きられるのではないかと？もっと積極的に企業の導入や、とにかく人を増やす事を考えるべきだと思う。

地区	年代	意 見
上大井	70 代	現在痛切に感じていること。地域をもっと楽に移動したいので。町内循環バスの運行・改善(拡大・充実)について、高齢者にとって家にこもらず、外と交流すること、外出の機会を増やすことが「寝たきり」や「認知症」等を予防するのに効果的だとわかっているのですが足の弱くなった高齢者にとっては、これを実践するのに様々な条件が複合的に重なり、町内を散策することが困難となりつい出かけるのに車にたよりたくなります。今までは町内外を移動するのに富士急バスの運行数が一時間に必ず一本ていどあったのですが(これが他市町との交流にもよかった)現状は上大井地区(新松田～小田原間)の運行は朝夕を除き1時間に1本どころか2時間、中には3時間に1本といったところですよ。仕方なくJR御殿場線を利用していますが、これまた若い時には感じなかった駅までの歩行が苦痛です。スーパーへの買物もR255をわたるのが高齢者にとっては億劫ですし、買いものも多量ですと帰り荷物が多く重く辛いものです。そのためタクシーや宅配をつかっていますが年金暮らしには経済的にも負担大です。要は一人歩きできる高齢者に少しでも外出が楽になりますよう町内循環バスの拡大充実(路線の拡大・運行時間の増幅)細かいところまでのご配慮を希望します。
	70 代	町長が無投票で4期もされているのに、何の改革もされていないと感じる。
	70 代	町自治会の役員の仕事多く手数料が少ない。町会議員の定数を少なくして其の分を自治会の役員に支払うべきだと思います。
	70 代	高齢者の安心できる社会を。
	70 代	私有地宅地の放置、管理用地整備管理徹底。
	70 代	・町長の基本的な考えが末端まで浸透していない様に感じる。長期にわたって町権を握っている為か？
	70 代	1、防災対策について 町長→議員団の視察を希望します。上大井駅前から菊川迄の水路が少ない現状の倍必要。以前御殿場線が高い為、水捌けが悪く家が水没大被害を受けた経緯がある。上流の開発に対し上田から下流(いこいの村に抜ける道路下から)の対策がされていない。常に崖崩れが発生し菊川に大落石で流れを止めている。国府津⇄松田線御殿場線のガード下が氾濫寸前の状態を町は確認できているのか？倒木でガード下の流れをせき止めた時、上大井駅前全体は水没する。(別水路が必要)早く恒久対策が必要。(暫定対策的が多い。その場しのぎの対策) 2、経費の有効活用 下期組長手当(助成金)は飲み食い。又は組長手当として配布(約60万円前後)組長は順番制又はボランティア的な業務であり、有効活用できないか小田原市は組長手当3000円？2000円？であり、3000円として9万円で足りる。50万円の削減が出来る。このお金を福祉に使ったらどうか、反対する人はいないと思う。組長で問題提起したら、雰囲気的には賛成していたが、町からの助成金で自治会では話し合い出来ないで終わった。自治会長から町に上ったか？
	70 代	河川の整備、台風による洪水のおそれ有り。(ソーラー事業等の影響が大と思われる)
	70 代	身近な事について。(話題から) ・町民の意見、要望等についてお願いすると、提出書類、順位、担当(課)(係)、管理は出来ない、縦割、横のつながり等分かり易く話して欲しい。 ・防火水槽、防火栓、防災倉庫などの色の統一を「赤が目立つ」使用法の指導をとうに中高年男女に教えて欲しい。 ・交通標識や歩道の確保、白線が消えかかっています。速度制限、道路に部分段差も欲しい。(スピード、あんぜんを守る) ・町のバス(町民サービスカー)をもっと町全体や観光客にも活かせたらと思い、再考をお願いします。 ・ひょうたんの町、町の花、鳥など町民に？一部の人達より町全体、一人一人が参加できる環境美化へと勤労を加味した活動をお願いします。
	70 代	もっと巡回バスを増やしてほしいです。
西大井	10 代	少し偏った意見かもしれませんが、ここ最近コンビニばかり増え同じような店が軒を連ね非常につまらないと思います。コンビニやスーパーなどがいつもすぐ近くにあるのはとても便利かもしれませんが、それよりももっと娯楽施設や子供の遊び場など、ほぼ皆無に等しい状況である施設があることを頭に入れておいて欲しいです。
	10 代	無駄にコンビニが多い。小田原コロナワールドのような施設を作って欲しい。御殿場線は線路が1つしかないのだから本数が少ない。なのでもう1つ線路を増やして欲しい。
	10 代	上大井駅周辺の歩きタバコを無くして頂きたいです。5時、6時頃に帰る学生に迷惑です。

地区	年代	意 見
西大井	20 代	現町長の考えか？農業地域であり、そこに重きをおき多くのお金を使いすぎている。※次世代の子供達にもっとより多くのお金を使うべき！ ※高齢化社会に対してもっともっと今から対策をとるべき。子供も障害者も高齢者も住みやすい街作り、やさしい街作りをお願いします。住宅だけがどんどん増え、町の人間に対すること、子育てだけなど他町の方がとてもやさしく思える。
	30 代	大井町は自然があつてとても良い所なのに、近頃は田んぼなどが少なくなって建物が増えてきているような気がします。自然を残してほしいです(自然を減らさないで下さい)。大井町の町民が健康になるように、運動公園があると良いと思います。子供達が遊ぶ姿(外で)も減っているの、子供達が思いっきり遊べる公園も作って欲しいです。無理なら旧大井幼稚園の開放をして下さい。歩道が狭い所やガタガタの所があり、ベビーカーは道路に降りないと押せなくてとても危ないです(老人の方が使用しているカートも同様です)。旧第一生命を大井町が買い取って、健康ランドやホテル(プール付)、運動公園などにすれば大井町に人が集まってくると思います(東名高速道路も近いので)。
	30 代	国道と県道を中心に商業施設を充実させて人の流れを作った方が良い(企業誘致→町の収益増→交通機関と福祉施設の発展)。開成町がどんどん大きくなっていくので同じように大井町も発展してほしい。
	30 代	我が家には、3人の子供がいるのですが、3人共喘息持ちであり予防的に内服薬の継続必要です。医療費の負担が大きいので、近隣の市町のように中学生までの小児医療費控除拡大を早急におねがいします。
	30 代	学校・地域・保護者の繋がりを強くし、より活発な教育・防災・防犯活動を行う。具体的には、東日本大震災で見られた参加型で炊き出しや仮設テント・トイレの設営を行なってみる等。
	30 代	小児医療費を中3まで無料にしてほしい。土曜日に小学校へ行ったら、月曜日は休みにしてほしい。代休のない土曜通学は疲れる。あいさつ運動は+oneなしで良い。あいさつだけで充分。家庭訪問や面談を相互希望制にしてほしい。
	30 代	①高齢者社会が必ず進むと思われることから、高齢者が住みやすい町にしてほしい。 ②大井町として自信をもって他の町にくらべて良いものを考えてほしい。
	40 代	・酒匂川花火大会とひょうたん祭りが毎年同じ日に行われている。日をずらしてもらいたい。 ・コストコを誘致してほしい。 ・公園等子供が安心して遊べる場所を整備してほしい。 ・町民プールの設立。
	40 代	暮らしやすい町づくり。やはり安心安全に通学、通勤が出来ると良いと思いますので信号機の下 の矢印を出すようにしてもらいたいです。また、カーブミラーに標識が映り込んでいて、車が来ている かどうかが見えにくい場所があります。その標識の位置をずらすか、何かして見やすくしてほしい です。信号機の矢印は特に255の陸橋の所。事故がなければそれで良いというものではないと 思います。やはり、未然に防がなくては。また、利用者が少ないと言っても、バスを小型にすると かして、なんとかバスの時刻を増やしてほしいです。またはタクシーを利用する場合、朝の配送 手配の時間ももっと早い時間から大丈夫なようにしてほしいです。バスはない、タクシーも頼めな いという時間帯は大変不便があると思います(町で病院をまわるバスがありますが、やはり時間 帯に利用するのが不便な方もいるのではないのでしょうか！?)。※もっと大きな老人ホーム、病院 との併設。
	40 代	町の発展に重要なのは企業誘致、子育て世代がどれだけ大井町に住みたいと思うかだと感 じます。今回小児医療費の助成が拡大されましたが、それも他の市に比べずいぶん遅い のではないかと思います。はっきり言って子育てに向いている町だとは思いません。
	40 代	医療費控除(子供)他の市町村のように中学生までOK等。町に大きな公園や運動出来るような 場所を作る。
	50 代	・酒匂川流域や相和地区など自然が豊かで、気候も温暖で住みやすい土地である。東名イン ターも近く、道路事情も良いが、鉄道はJRしかなく電車は少し不便だと思う。紫水大橋が開通し、 開成駅へのアクセスが良くなったので、ロマンスカーや急行の停車となり、また、駅前やバスな どの整備ができると便利になると思う。 ・東名高速から箱根へアクセスできる道路ができれば大井町の観光地としての価値が上がる。 ・高齢化社会の中で、高齢者の健康の維持、病気にならない為の教育、高齢者のボランティアの 育成が重要だと思います。 ・公共事業の入札について、大井町に貢献度が高くても、入札だけで業者が決定してしまう。正し い対応だとしても残念な気持ちです。

地区	年代	意 見
西大井	50 代	・「その他ブラ」のゴミ回収を毎週行ってほしい。 ・小さい巡回バスを設定してほしい。 ・企業誘致、山の広い土地に巨大なショッピングセンターまたはアウトレット。
	50 代	町の発展を考えるなら、もっと金手、西大井地区の開発を行うべきだ。開成町の発展をまのあたりにして、なんとちんけな町政なのかと感じる。人を増やせば町が栄え、さらにさまざまな方向に発展できると考える。山の地区ばかりに目を向けずに平地の開発を最優先で考えてもらいたい。無意味な歩道をつくらず、開成駅を近づけたのだから、それを利用した町の発展を推進してほしい。平地がますます栄え人が増えることで山の地区も発展できるのではないか。今の大井町は通過点であって、人をためる政策を行っていない。
	50 代	都心からのアクセスの良さを利用した施設等。ブルックスと協力して、体育館やグラウンドを利用して、合宿に来てもらうとかいいの村と協力して、農業体験とか、ネイチャーツアーとかここに来ないと食べられない物とか。自然環境を活かした町になればと思います。
	50 代	挨拶の放送とか不必要。私道への駐車、その他の物を置く事への注意。近所への車の騒音等への注意が必要。
	50 代	東名高速道路とも通じていて、近くの県外地域からも、大井町に人が来るような何かを造って欲しいです。例えば、安全なキャンプ場、畑等できる小さい別荘(畑付の別荘)貸し出し。あとは「コストコ」を誘致する。万葉の湯のようなお風呂施設誘致する。(食べ放題ランチバイキングも付ける)～浜名湖のホテルウェルシーゾンのバイキングはとても良いです！！
	50 代	1、大井町はほぼどこでも富士山が望め、特に旧第一生命ビル周辺は最高 2、東名インターもあり首都圏からのアクセスが良い。また伊豆、箱根という観光地に近い 3、大井町には全国的に知られている物産品や観光資源がない 以上のことを認識して新しい雇用を生むような産業の育成を行う。 例1 農地のオーナー側(農地を貸し出してオーナーの希望の作物を共用で作成する) 例2 酒匂川周辺のサイクリング大会等のイベント(マラソン大会のイベントは多いが自転車は比較的多くなく話題性があり、それに伴い環境整備も行う) 例3 老人ボランティアの活用。労働人口の減少を補う一つ的手段として老人ボランティア(有料)をすすめる必要あり。そのことで老人のやりがいも増して医療費等の社会保障費も削減の可能性あり。
	50 代	結婚して大井町に住み、20年が経ちます。この20年で、町はずいぶん発展したと思います。でも、交通面が不十分です。バスが無い。私は西大井地区なので、紫水大橋ができたことにより、開成まで歩きます。自宅から、20分です。健康のためには歩きは良いのかもしれません。でも、これから(今もそうですが...)年を重ねるにしたがい歩く事がおっくうになってしまった時、どうなるか不安でいっぱいです。せめてショッピングモールが近くにあれば良いのになあとと思います。西大井の酒匂川沿いは調整区なのでそれは無理なのかしらね！大井町から、抜け出したい気持ちでいっぱいです。相和地区なんか最低！山だし見せないし、バスないし...意見というより、愚痴になっちゃいましたが、少しでも高齢者にやさしい街になってくれる事を願います。少しでも私の気持ちをくみとって下さる事を願います。
	50 代	・町内循環バス(高齢者対策) ・農業の会社化(後継者不足対策)
	60 代	すみません。ご意見・ご提案などまだ大それた事は考えていません。大井町が少しでも良くなればと日々思っております。ただ一つお願いがあります。粗大ゴミなどの収集について、もっと簡素化と回数を増やしてほしい。
	60 代	・自然環境を活かした地域振興(具体的には農産物の積極的な販売支援)。 ・町の活性化、雇用の確保のため積極的な企業誘致等。 ・相和地区の過疎化対策。
	60 代	公共サービスの基本は(face to face)であると思う。業務の効率化、人件費の削減化を図るため、人員の減を進めるのは再考の必要があると考える。特に、高齢化社会の到来に伴い、サービスの質が問われる時代となるので、慎重に施策を推進して頂きたい。
	60 代	大井町には公園がありません。公園があったとしても子供を遊ばせる遊具等が設置してありません。そのような配慮をお願いしたいと思います。
	60 代	酒匂川の流れ、緑豊かな里山、そして美しい富士山。都会より戻ると特にその良さをを感じる事が出来ます。自然豊かなこの土地をより住みやすい住環境にして欲しいです。
	60 代	学童保育…身頃な年寄りの集まり場と学童保育の場を同じにし、昔の遊びや将棋等々おしえたり年老をたいせつにする心を学ばせたりする場を作してほしい。
	60 代	個人情報保護法より。福祉、児童のさまたげが残念です。

地区	年代	意 見
西大井	60 代	公園が少ない。ドッグランの設置。
	60 代	西大井地区は、調整区域の為、無耕作地帯が多発しており、有害鳥獣も年々増え他地域より、環境美化も大分遅れているように思います。もっと、土地有効利用が出来るよう、力添えをお願いしたいと思います。現状のままでは、農業をやっている者にとってますますきびしい状況になってゆく様な気がしてなりません。
	70 代	犯罪の少ない、思いやりがある人が多くいて欲しい。
	70 代	①自転車で安心して走れる町づくり。老後が安心して生活できる町づくり。お年寄りの一人暮らしや老夫婦の家庭が多くなって来ているので、お年寄りの集合住宅・町営住宅のようなお年寄り向け施設の中に食堂もあり、健康管理もして下さるような方がいつも常駐しているような・・・施設。宅老所の施設・幼稚園などが近くに隣接。老後健康ですごせるために体操教室のようなものを作って欲しい。
	70 代	地震・噴火etc自然災害の脅威が予測される中、行政・町民共に少し無防備ではないか。
	70 代	長期的に見て今後更に税収の落込みが予想される中で、東京から近く、アクセスも良く、景観にも優れている条件を生かし、企業や公的機関の積極的誘致を推進すべきである。地産販売や小規模観光では潤沢な税収は期待できない。また農地や山林を塩漬けにしたままでの景観保護政策も町の発展には足かせになるだけで却ってマイナスである。環境、景観を含めたハイテクタウン的な長期的な町づくりが計画されるべきである。
	70 代	いつもお世話になっております。我が大井町は環境的には素晴らしい町と思っています。ひょうたんの町、水仙の町として、町内外にアピールしていると聞いていますが、印象度が薄い感じがします。ひょうたんをどこに行けば大々的に見られるのか、上大井駅と湘光中のテニスコート脇位で、何んとも寂しいと思います。水仙にしても、水仙の里に行ってもそれらしい物は見当たらないと思います。菜の花まつり、せせらぎの郷菖蒲園にしても、中途半端ではないでしょうか。人を呼べる環境にないと思っています。最近足柄紫水大橋が開通し、車の流れが変りつつあります。そこで水仙の町大井町をアピールする。一つの方法として、紫水大橋の大井町の堤防斜面を利用し水仙を植付けしたらどうでしょうか(大橋を中心にして最低上・下流100m位)。相和地域にある、四季の里の建物、周辺の整備も何だか物たりない感じがします。四季の里内にある野菜直売所も、品数少なく、量も少ない気がします。集落できる方法を考えて下さい。
	70 代	今の西大井町の環境維持できる設計をして下さい。
	70 代	このたび、アンケート調査に参加出来まして、ありがとうございました。この年齢で仲間入りできてびっくりしました。今まで、町の広報や議会だより、回覧位で知っていることしかなかったの、④町づくりへの参加と協力についてのお尋ねは、少し難しかったです。もっと見聞しなければとつくづく思いました。
篠窪	70 代	①開発事業や企業誘致も必要ではあると思うが出来てからの公害問題。先読みする危険予知を充分にやってからの実施。(絶対に公害を出さない)※低周波騒音で現在も生活に支障あり ②大井町は小さな有限会社が特に多い。駐車場に産業廃棄物やゴミの山積み。※リフォーム、工務店、土建等。法にふれないから良いという考えの人間が大井町住民は多い。(自己中心型)市より町の法令が甘くなっている為、法も守れない(守らない)事業者が集まってくるため、有限会社の内外がゴミで汚れているから全体的に見て、大井町のイメージが「悪い」になる。 ③町道のアスファルトの砂利がはがれていたり、ひび割れ等にある町道多い(割れ目はふさがないと水が地中に流れ込んで空洞を作り陥没する大きな事故につながるため、補習修理をやってほしい。(旧第一生命跡住宅地の西側の道路)
	70 代	・町発展の為に御殿線の観光活用 ・古い事にこだわらない、町民意識改善 ・地域のコミュニケーションが大切
	10 代	バスが無いのは、とても不便です。高校生以上の人達にもバスにかわる交通手段を提供して欲しい。病気等で、車の運転が出来ない時に不安を感じる。福祉バスの利用も、老人の方だけでなく、誰もが利用できる様にしたい。また、福祉バスの運行も平日は毎日してほしい。篠窪へのバスがなくなる事の説明が、小・中学生の親にしかなく、全員に知らせたいという要望を出した後に回覧で知らされた。バスが無くなる前に、事前に知らせたいと思った。この決定を聞いて、なぜ赤田の意見が優先され、聞き入れられたのかを知りたかった。大井町を豊かにさせたり、暮らしを豊かにするためには、報告をきちんとしたり、意見を聞く必要があるのではないかと思います。
	20 代	アンケートをしてみて自分が住んでいる町のことを何も知らない事に気づきました。町民の意見が活かされるのであれば、意見交換の場や、町からの提案を町民(議員ではない)で話し合う場があったらと思います。

地区	年代	意 見
篠窪	40 代	① 町内においての地域格差を意識せねばならない状況にあることが散見されます。何の意味か理解しづらいと。本来のあるべき姿を探究して行く事が第一目標になり、現状のヒヤリングでは十分な基礎造りにつなげられる案件設定が見つけにくいと感じます。建て前的なアンケートは、町民になんのインパクトや意識改革につながらないと感じました。町外の人々が、大井町に魅力を感じる体制作りを建てるにあたり、根本的に見直すべき優先順位を決めるべきでしょう。仕組みを理解できていない町役場！公務員である立場であり、認識不足を解消してもらいたい事は、町民の多くが持っているご意見かと。 ②単純な暮らしを豊かにするための基本理念を持ってもらいたい。 ③様々なご意見を頂いた上で多くの課題を整理してから着目点をしっかり見つけて下さい。期待しています。
	60 代	この年齢になると夢などなくいきっていくに精一杯です 通帳からの引落しは税金が多い 年金も減少していく これから生活等が不安です。これからの社会 人口減少・高齢化が進みこの地区で心配なのは空き家 理に見うけられます 上記の事を考えると医療体制 空き家対策(他の県、町で実施している所があるのでよく調べていただいて職員の尽力を期待しています)が最も必要だと考えます。
	70 代	住環境を悪くしている私有地への廃棄物の堆積(不法投棄)に対する対策のため町の条例をつくるべきである。町の無策が問われている。
柳	40 代	大井町は県西地域の観光、産業の中心になれるのではないのでしょうか？行政、街づくりに関わっている方々のアイデアに期待します。
	50 代	生活環境は一応満足していますが、自分が来るまで移動できなくなった時、バスがありません。相和地区での交通手段を今のマイクロだけでなくもっと公共の交通機関があればと思います。(不安です)都心から東名を使えば1時間しないて来られる町それもインターがあるという利点を活用し、他の地域から人が来られる方法はないのでしょうか？
高尾	30 代	大井町は特に自然が豊かというわけでもありませんし、都会の様に便利というわけでもありません。近くの小田原や秦野であったり、大井松田ICを使えば御殿場アウトレットで買い物は出来ますし、山北や南足柄に行けば自然が豊かな所にも行けます。少し交通(バスや電車)は不便ではありますが、住むには程良い町だと思います。なので、住みやすい町にしたいだけと人も集まって町も豊かになるんじゃないのでしょうか。
	40 代	現在、ブルックスになっている所、第一生命の時と地域交流・対応が、まったく変わってしまっていて不便です。もう少し以前のように、グラント・芝の使用が出来れば良いのと思っています。
	50 代	相和の人口を増やす。何をすべきか本当に考える。人口増加につながる案をまず練り出す。何が障害なのか調査する。
	60 代	・福祉に甘えている人間は排除すべき。 ・自立、自活する施策を望む。
	70 代	大井町全体が十分な発展する事を望みます。
赤田	10 代	もう少し相和地区を発展させてほしい。
	40 代	篠窪、高尾、赤田方面の交通の便が悪いので、みんなが利用しやすい乗り物があれば良いと思います。また、コンビニなどあればわざわざ交通の便を使ってスーパー等に行かなくても済みます。
	40 代	・コストコやららぽーと等、集客力のあるお店を誘致し、町内の商店が希望すればテナントとして入店できるようにすると良いと思う。 ・小田原市のように海外に姉妹都市を持ち、子供達のグローバル教育に力を入れると良いと思う。 ・メガソーラーを持つ町として、もっと個人の住宅、畑にも太陽光発電が普及するよう、コスト面のサポートがあると良いと思う。
	60 代	相和地区の活性化。
上山田	20 代	・上大井駅や相模金子駅の駅や駅前の整備。 ・相和地区へコンビニをつくって欲しい。また相和地区へバスの本数を増して欲しい(相和地区開発)。道の駅など設置。 ・旧第一生命ビル(現ブルックス)土地、ビルをもっと何かに有効立ててもらいたい。(松田山のハーブガーデンのように)

地区	年代	意 見
上山田	30 代	私自身、相和地区に住んでいますが、おおいゆめの里を中心とした観光は限界があります。どここの市町村も何かしら観光に力を入れている中で、突出した観光資源がないと今後の発展は難しいと思います。(あそこに行くくらいなら、他に似たような所があるのでわざわざ行かない)そんな事よりも、相和地区に企業誘致をした方が課題となっている人口減少や税収減が解消できるのではないのでしょうか。大井町の中でも、相和地区は高齢化が目に見えて顕著であり近い将来、地区が消滅してしまうのではと不安を感じています。相和地区は丘陵部・山間部が多く、昔から交通の便が悪く、買い物をするのも一苦労です。高齢者には生活しづらい環境と言えそうです。しかしながら、豊かな自然・静かな住環境(夜は暗いが・・・)は地域ならではの良い所があるので、良い所を活かしつつもう少し地区に活気が出る様に人間の動きがあるように企業誘致それに伴う交通網の整備、企業の人間がお金を使う様なコンビニ・スーパー等の出店を積極的に進めていただきたいと思います。個人的な意見として、コストコ・IKEAなど郊外的大型ショッピングセンターの誘致がいいと思います。東名や西湘バイパス・小田原厚木道路など車の便はいいので、実現可能ではないのでしょうか。よろしくお願い致します。
	50 代	毎日富士山を見ながらのんびりと別荘地のように時々都市部の便利さを利用する暮らし。
	50 代	町長、議員の皆様の有言実行を望む。
	50 代	・相和地区での交通事故が多いです。篠窪地区の道路整備が進んでいますが、一部のことで、住宅地以外のバイパス道路がもっと必要だと思います。 ・相和地区は高齢化が進み、子どもも減少しています。市街化調整区域をなくし、住宅を増やして欲しい。又、自治会・子ども会に未加入されている方もいるそうで、これから先が不安です。
	60 代	(大切な事) 1. 郵便ポストをそうわ会館へ是非おいてほしい。最近そうわ会館の利用者が増えている。赤田、高尾、柳方面の人にとっても通りがかりに利用価値が非常に高い。 2. そうわ会館で切手など売ってくれればもっと助かるのではないかなと思う。 3. 第一生命の郵便局がなくなって相和地区の人は不便を非常に感じている。 4. 郵便局と町との相談で是非お願いします(大切なことなので)。
	70 代	相和小学校の生徒の減少は特に原因があると考えられる。これは農地法の改正がなければ住居の増設は困難であるが、ブルックスの丘陵地の活用の仕方では変わってくると考えられる。思い切ってこの地を住宅地と考えて行くな相和地域は変わってくると考えられる。今の政策では環境主流の事業推進で、これでは相和地域の活性化は望めない。又、観光事業として農業の活性化を図っているが、これでは人口は増加しない。小手先の施策でなく、思い切った土地政策の立案を望みたい。
	70 代	町道4号線を抜本的に改修すべきである。現在上山田から下山田赤坂から上大井に抜ける道路を県道篠窪入口から昭和女子大学の入口を通り獅子窪を通りエバラの道路と結び、笹の窪を抜けてブルックスの道路とつなぐ事を検討されたし。将来県道秦野線が開通すると町道4号線は衰退すると思いますよ。県と協議し県道としてこの路線を考えるべきだと思います。
	70 代	山田地区のバスの運営を望む。
	70 代	下水道直接放流化の事
	70 代	人口減少や超高齢化、少子化が進むなか、地域のコミュニティ機能を維持するためにも各地域の特性を活かした産業誘致や荒廃地を整備するなどをし宅地開発を進め、若い世代の移住・定住をさせる方策を策定し、少しでも人口減少をくいとめる。地域に新たな活力を生み出し少しでも人口減少を食い止める対策を。
中屋敷	20 代	御殿場線をもっと有効に活用した方がいいのではないかと思います。
	30 代	合併浄化槽の補助金を出していただきとても助かります。メンテナンスは現在4回しておりますが、3回までに減らし補助金額を下げてはどうかと思います。メンテナンス業者さんは補助金額ギリギリの設定をしています。4回メンテナンスしていただけるのは非常に助かりますが、一軒分の金額を少しでも安くし、他の部分に予算を回していただいたら良いかと思っております。
	40 代	他県で見かけた町営の町内だけ回る100円バスみたいな(ワゴン車・小回り効く車)のがあれば便利だと思う。独居者が今後どんどん増えるだろうし、独居者でも気安く参加できるコミュニティを希望する。
	40 代	松田町の松田山みたいな人を呼べる場所を作って欲しい。
	50 代	人口の増加、税収の増加が発展と考えるなら、発展しない方が良い。又、今後上記の様な発展はありえない。それよりも、今の相和町のまを維持する方向で考えた方が、予算のムダ使いもしないのでは？何も、交通が便利、人口が多い、ショッピングセンター等々があるのが決して良いとは思えません。

地区	年代	意 見
中屋敷	60 代	1. 首都圏内である事を有意義に今後ますます休耕となって行く田畑をスポーツのテーマに(パーク&ジム)に展開する。 2. 休耕田畑を→大手ビジネス社にPRし、人口増加に(豊かに明るく・細く永く)つなげ、経済を発展と課し巡回する事を望みます。
	60 代	※町作りのアンケートに意見の自由覧をもうけてほしい (例) ・議員年金の廃止(ボランティア活動にすべき) ・保管お自治体に比べて町長の年俸(特にボーナス)が高すぎ。下げるべきだ。という様に意見を述べたい！！ 議員や、町長、助役等の年俸をへらし少しでも町の財源にすべきだ！！
下山田	40 代	中学校卒業まで医療費を無料にして欲しい。
	40 代	実際に「わたしの提案・意見」に御殿場線踏切について、他の路線に比べ遮断機のおりている時間が異常に長く交通渋滞等があると意見メールを送信しました。返事は、同様の意見は多く町もJRに要望するとの内容でした。数年経過したがまったく変化がない。また町議会の音声又は画像をホームページで公開してほしい意見も出したがこれは返事もない。このような状況では町は形だけで本気がないと思われて当然だと思う。どの問題も即解決するものはない。しっかり時間をかけ、経過をふまえて公開しつつ取り組んでもらいたい。
	50 代	相和の自然を破壊せずに土地などを利用して欲しいです。スポーツの力はすごいと思います。大会会場に出来る様な会場をつくと必ず人は集まります。子供のスポーツならなおの事！！親も応援に必ずくるので、その周りに関連した店を出せば活性化すると思います。
	60 代	御殿場線運転本数の増設。
	70 代	職員が多すぎます。委託できる課はどんどん委託するべきである。
	70 代	もっと大井町を良くしてもらいたい。あかさかを歩く道を広げてもらいたい。外灯の電気を増やしてもらいたい。
	70 代	農地への見直し、区画整備等もっと推進してほしいと思います。
(不明)	20 代	スポーツジムを増やして欲しい。
	30 代	大井町に住み約7年経ちます。今年4月に子供が生まれ、今後引き続き大井町で暮らす事になりますが、小さい子供が遊べる所が大井町にあまりないことがとても残念です。大井町に長く住むにあたって、子供がのびのびと遊べる場所、学ぶ場所が増えたらとても嬉しく思います。
	30 代	私はまだ大井町に住んで1年程です。今までに神奈川でも3つの市に住んでいた経験がありますが、大井町に来てとても目や手の行き届いた環境に感心しています。多分、市のように大きくなってしまおうとはいかないなと感じています。ただ1つ残念なのは、広報を(ペーパー)手に入れるににくい事です。私は、自治会には参加していません。つまり、回覧も見ることがなく、市外で働いているので役場に情報を取りに行く事もできません。人口減少とありましたが、もう少しでも増加を、しかも税金を納める年齢を希望するのであれば若い人にこの町をアピールできるようにする事も大切だと思います。建売のチラシが入ってきますが、大井町には永住しやすい環境が整っている様に感じるので、今住んでいる若い人向けの広報のやり方がある様に思っています(ちなみに海老名市は自治会に入らなくても広報が届きました。他の市は届きませんでした)。治安も悪くなく(火災がやけに多いですが)道路の整備もされていて、水もキレイで、緑豊かで、買物や交通にあまり不便もなく、お年寄りが気軽に若い人や子供達に声をかけてくれるこの土地を守って欲しいと思います。
	-	子供、御年寄りなど皆さんが安心してくつろげる公園があるといいなと思います。温泉施設があると将来楽しみがもてます。

4.2 職員アンケート

【自由意見】人口と開発との関係に関する意見(問10)

人口を少しずつ増加させるため、開発を促進した方が良いが、相和地区に重点を置くべき
日本の人口が減少しているなか、「開発＝人口増加」と考えるのはいかなものでしょうか。 今住んでいる町民に住み続けてもらう施設が必要だと思います。
地域を魅力あるものに育て、住みよい町にしてい
人口を現状維持する
住環境を充実させる
交通の便をよくする、住環境をよくする(公園など)
人口を増加させるため、質の高い開発を促進する
自然環境を活かした開発・とりくみをアピールする
人口を増加させる必要はない
人口規模ではなく、バランスよく様々な年齢層が暮らせる街づくり
開発することが必ずしも人口増加となとは言えないと思います。 福祉・子育て・教育のサービスを充実させることが大切だと思います。
現存のものを活かす
人口を増やす目的とせず、住みよい環境づくりをし、その結果として人口については合わせる
企業誘致により定住を促進する
交通機関の充実と町のイベントなど企画を充実させる
人口を維持するために必要な開発を行う
現在住んでいる若い世代が転出しないように、交通の便や子育てに必要な住環境を中心に開発を進める
開発を促進する手法は？問の意味がわからない
開発も大事だが、自然を守り活用すべき
開発とは関係なく人口増加の施策を講じる。

【自由意見】地球環境問題に対して、大井町が重点的に取組むべきこと(問13)

生涯学習としてメガソーラーの見学兼環境学習講座を開催する
全公共施設への太陽光パネルの導入等、より分かりやすい形の取り組み
将来の社会保障

【自由意見】ここ数年の間で、良くなったと思われる施策・事業(問24)

施策・事業	理 由
1 教育環境の整備	湘光中改修。成長戦略の具現化だから
	校舎が良くなっている。
	湘光中耐震工事は、防災対策上教育上有効であった(る?)
	教育環境の整備は、大井町の未来を担う子どもの育成のため大事である。
	小学校のトイレ改修、中学校の改修等を行って学校環境が良くなったと思う
	整備、耐震化が進んでいる
	子どもたちが安心・安全に教育を受けることができるから。
	防災対策としても重要だから。
	着実に改修できている
	教育環境が良くなり子ども達の健やかな育成につながっている
2 産業立地と居住環境の創出	湘光中学改修
	長年の懸念事項が地元説明会を繰り返し行い、賛同されるまであと一歩となった。 課題はまだあるが、企業誘致に全力を注いでもらいたい

施策・事業	理 由
2 産業立地と居住環境の創出	金子吉原地区の区画整理が動き出したことは、人口減少が進んでいる本町にとって大きな対策になっている 成長戦略の具現化だから 区画整理事業に向けて着実に進んでいる トーヨーボール跡地が再開発されたこと (国道沿いであることから、景観上の問題があったこと 防犯上の懸念が解決した)
3 相和地域の活性化	四季の里をはじめとするイベントなどで町内外から多くの人々が来ている おいゆめの里の四季の里は有用な施設と思う(相和活性化を別にしても) 四季の里でいろいろなイベントが開催されるようになった。 おい夢の里事業の展開によりまだまだ手さぐりではあるが相和活性化を含めて町全体の活性化につながる可能性ができた 〇〇祭りなど新しい取り組みが行われるようになったこと。 成長戦略の具現化だから
4 広報活動・広聴活動	町の情報が HP・広報誌でとても見やすくなり情報量も多くなった ブログの開設等、町民から見ても見やすいホームページになったと思う 賞をとり、高い評価を得ている HP を使用した広報活動が以前より充実した ホームページやブログが充実してきたと思う。町の新しい情報がわかりやすくなった。 広報紙における特集ページの取り組みや毎日更新される「おいブログ」等の積極的な対応がみられる
5 情報公開・情報開示	広報やホームページの充実
10 地球温暖化対策や自然環境の保全	自然エネルギー開発などに積極的な姿勢がみられるから メガソーラーについては環境面からすればよい事案と思われる。土地利用という面からも良い事案だと思う。 メガソーラーや水源林の確保 メガソーラーの整備 メガソーラーの早期着手 メガソーラー等自然エネルギーの整備が進んでいるため 再生可能エネルギーを活用した取り組みが徹底している メガソーラー等 ソーラー施設や電磁気自動車の充電施設ができたため メガソーラー施設の設置(県内最大級という言葉は魅力的→うまく観光面とつなげられれば、より良いと思います) メガソーラー設置や EMS への取り組みなど積極的な対応がみられる メガソーラーの誘致は子供にもわかりやすい町意思表示だったと思う。 自然環境を考え、太陽光パネルの設置などを行っているから。 「おい自然園」は年々内容を充実させ、進化が見られる メガソーラー誘致
12 不法投棄防止対策や美化活動への支援	商業施設の誘致。 長年の課題だったトーヨーボール跡地に商業施設が出店したことで、石綿や不法投棄、不法侵入など、住環境の悪化を改善することができた。
13 ゴミの減量化やリサイクルの推進	・道路や公園にポイ捨てされているゴミが少なくなっている。 ・ゴミステーションに放置されているゴミも少ないように感じられ、町民に分別の意識があるように思われる。 〔ゴミの分別〕 職場でも自宅でも徹底するようになった。 ゴミの分別等で、町民の意識が出てきているように思える。資源ゴミが増えているように感じる。 仕分け方法や出し方の啓発が浸透し、ゴミ処理場が減っていると伺っている。
15 道路の整備	紫水大橋が開通し、南足柄 開成方面への交通がスムーズになった。 県道 711 号と足柄紫水大橋が完成したことにより地域交通網が整備された。

施策・事業	理 由
15 道路の整備	足柄紫水大橋の開通により足柄大橋の渋滞解除と開成、南足柄までの移動がとてもスムーズになりました。 足柄紫水大橋の開通 紫水大橋開通し、他道路渋滞緩和 紫水大橋の開通 今後、道路の延伸もあり期待感がある 紫水大橋の開通
17 河川・水路の整備	整備が進み、危険箇所が改善されていると思う
19 下水道事業	(目には見えづらいが)重要な基盤整備であり、限られた予算の中で着実に推進している。
21 消防・救急体制の整備	消防・救急体制が広域化により、より迅速な動きがとれるようになり充実した町民サービスとなった 消防の広域化により、消防・救急体制が強化された 消防広域化により救急・消防体制の強化充実に繋がった 県西地域の消防広域化 小田原市消防と合併し、効率が良くなった 小田原消防となった 小田原消防となったことで、より効率化した・・・？ 足柄上地区と小田原市が一緒に行動することにより出動等が迅速になった様に思われる。 広域化により、住民サービスの向上につながった 消防の広域化により、防災及び被害の軽減が図られる 小田原消防と合併したことは良かったと思う。 消防の広域化により、町内においては、旧小田原市消防の一部の消防・救急車がかけてくれるため、広域化前よりも手厚くなっていると思う。
22 防災体制と防災施設の整備	あんしんメールや防災無線等で情報がすぐに入る。
23 防犯対策	事案が少なくなった様に思われる あんしんメールや街灯の色を青にするなど力を入れていると感じるから あんしんメールの情報発信により被害防止、町民の安全・安心に繋がった
26 健康づくりの推進	高齢者むけ健康づくり講座の開催は、内容自体が健康につながるだけでなく、参加した町民の交流のきっかけになると思うため。
27 地域医療体制の整備	町内に医療機関が増えたと思います
28 高齢者福祉	介護保険制度の安定的な運営
30 子育て支援・児童福祉	・児童コミュニティクラブが上大井にも増えたこと ・小児医療の対象者の拡大 国の施策が充実してきた 小児医療費助成の年齢拡大は、先立って近隣市町が実施しており、子育て世代からすれば、どうしてもサービスレベルが低いとみられてしまうことから、当町も拡大したのは良かったと思う。ただし、医療費が無料というのは手厚すぎて、制度そのものには反対である。 小児医療制度の対象者拡大 小児医療費助成制度の拡大 小児医療保障制度 小児医療費の対象年齢の拡大 小児医療の対象拡大など 子育て支援で取り組んでいる事業が定着してきていると思う
32 農業振興	四季の里の活用(直売所で、新鮮な野菜の見分け方や、レシピなどの情報をもらえるのが魅力的)
33 商・工業の振興	国道 255 線沿いの環境。ショッピングセンター・コンビニができて、活気づいている。

施策・事業	理 由
33 商・工業の振興	大型商業施設の進出
	小田原や秦野まで行かなくても、町内で買い物や外食へ行けるようになった。
	商業施設が増えて、生活がしやすくなった。
	旧トーヨーボール跡地を「あしがらモール」として誘致したことは、環境面からも「暮らし」の利便さにとっても大きな収穫であったと思う。
	にこにこパトロール隊の発足により、自分たちの町は自分たちで守る精神が根付いている。また、「大井町あんしんメール」の配信により、注意を喚起している。
	パチンコ店やボーリング場跡地の商業施設誘致により活気がでている
	トーヨーボール跡地解決
34 地域資源を活用した観光振興	四季の里を利用したイベントが多くなり、いいと思います
	農業体験施設ができたから かしこもてあましていいと思います。
37 青少年の育成	広報でもさまざまな取り組みが紹介されているが、特に小学生向けの体験型の生涯学習の企画はおもしろそうだと思う。
38 生涯学習機会の提供	様々な観察会や展示会等が開催されているため。
	大井自然園は町内の自然を身をもって体験し考えることのできる素晴らしい事業だと思う。事業を通して自然の大切さを楽しみながら学ぶことができる。
	大井自然園のイベント・HP が出来たこと
	自然観察会など、大井町の自然を活かした生涯学習機会はとても興味深い。
その他	徴収体制の強化。差し押さえ、公売等の積極的な対応がみられる

【自由意見】今後注力または改善すべき施策・事業(問 25)

施策・事業	理 由
1 教育環境の整備	教育環境の整備を計画的に推進する。
	湘光中以外の各学校などの老朽化も心配される。早急に対処するべきである。
	中学校だけでなく、幼・小の整備・改修
	大井町に限った話ではありませんが、教育が昔に比べて難しくなっていると感じます
2 産業立地と居住環境の創出	財源確保のために優良企業の誘致が必要
	就労産業企業が少なく、人口も減少している為
	今後の町の活性化のためには、「金子・吉原地区」土地区画整理事業と和田河原・開成・大井錦の国道 255 号までの延長は必須である。
	企業誘致をすることで、就業者(生産年齢)人口を増やすことにつながるから
	人口問題や、町の中心の発展には不可欠だと思う。
	人口増につながる
	金子吉原地区」土地区画整理事業は町庁舎に近く町の中心的な場所なので、土地利用のしかたによっては大きな変化が生じる。
	人口増と企業誘致による税収の増に期待。
	かつて企業城下町であったように、企業があつてそこに勤める人が定着し、交通網も発達するようになればよいと思います。職が安定している人の定住は、文化水準が高く、住みやすいまちづくりにかせないと思います。
	将来の町づくりを考えると、欠くことのできないプロジェクト。
	早期着手(事業認可)～完了までをいかに短くするかがカギとなるのでは？
	大変難しいとは思いますが、定住者獲得、人口減少歯止めのためにも、力を入れるべきだと思う。
	町外の方に家を購入してもらい人口増加が期待できるため
	区画整理事業の実施による人口増
	行政の負担が大きすぎる計画を見直すべき
3 相和地域の活性化	未だに全体像がみえない 集客を求めているのか

施策・事業	理 由
3 相和地域の活性化	せつかく作った施設なのに、人の入りが芳しくないように思います。 旅行会社などとも提携し、町内外から人を呼べるような工夫を。 大井町の自然を生かした集客につなげられる。 交流人口、定住促進、自然環境保全 ・相和地域の人口減少 ・荒廃農地の増大 大井町の強みの一つに、豊かな自然環境と景観が良いところがある。 おおいゆめの里だけでなく、いこいの村等の施設も含めた一丸となった活性化事業が必要と思う。 相和地域で何か事業をやることはない。相和地域は静かな環境、豊かな自然がウリであるので、その環境を維持、改善していくことがより価値を生み出していくと思う。 相和地域の人々は発展などのぞんでいないと思う。 相和地域の活性化は目に見えておらず、施策・事業は不十分である。 集客をするネタが沢山ある。
5 情報公開・情報開示	住民への情報が少ないので、「何かしたい」という思いのある団体がうまく機能していない。 「協働」について認知度を上げる広報、講演が必要。かつ参加しやすい工夫も。
6 世代間交流事業	子どもの頃から、いろいろな世代と交流し、知恵や道徳を学ぶことは大切。 核家庭、両親から学ぶことの難しい文化や風習、考え方など、事業を通して学べるとよい。事業が活性化すると良い。
7 自治会活動等への支援	地域住民の自主的な活動を促進する。 地縁組織だけではなく、NPO 等による「子育て」、「福祉」といった分野別の組織による地域横断的な取り組みが必要と感じる
8 人権擁護活動	パワハラ、セクハラ
9 男女平等参画社会の推進	パワハラ、セクハラ
10 地球温暖化対策や自然環境の保全	大井町の良さとして「自然の豊かさ」を挙げられる事が多いが、一般的に見て必ずしも豊かな生態系や地理地形が身近にあるとは言えない。 里山や田園風景といった人工的な自然環境の保全と同時に手つかずの自然の大切さも目を向ける必要がある。 メガソーラーを設置したが町のメリットは何なのか？見えてこない。町民から、メガソーラーは誰のために、何のために、設置したのか？という声を良く聞く。 メガソーラーへの遊歩道の整備など、誰もが（車いすでも）見学できるようにすべきである。
14 公園・緑地の整備	子どもたちが遊べる公園が少ない。外遊びをして身体を動かせるような環境が必要なのではないか。 町内には公園がなく、子どもが遊べる場が少ない。子どもの体力低下が増加しているため、戸外遊びができる場が大事。 子どもが遊べる公園が少ないので子どもがのびのび遊べる公園があるといいと思います。 もっと公園を増やすことが子育て支援につながると感じるから。 子供たちが外で伸び伸びと遊べる場所が少ない。家にこもってゲームばかりの生活をさせてはいけない。 平地の比較的利用しやすい場所に公園整備を願う声をよく耳にする。具体的に役場周辺を望む方が多い。大井町に足りないもの No1 だと思う。 公園が少なく、子どもの遊び場がない。 子育て世代は、子どもを遊ばせるため、中井や小田原の公園などを利用している。町内に遊具の充実した公園があるとよい。高齢者の集いの場も含めた公園設備の検討。 広い公園がなく、遊ぶ場所が少ないように思う 町内に子どもの遊べる公園がなく、子育て中の家族にとってはいい住環境とはいえないと思う。

施策・事業	理 由
14 公園・緑地の整備	幼児、子どもから大人、お年寄りまでが集う公園整備を図ることにより住みやすい住環境をつくる。子育て世代の要望が多く、人口減少対策に繋がる。 遊具の充実した大規模な公園がないため。 このままだと若い世帯はどんどん大井町をはなれるから。 公園が少ない 子どもの遊び場の確保
15 道路の整備	定住促進の要点 相和地区(山田)のメインの通り カーブが多く 道もほそく 事故が多いので 都市計画道路金子開成和田河原線整備 道路がせまい 道路の整備 カーブミラーや歩道の確保(スピードを出す車が多く、横断できないことが多い) 道路の老朽化が目立つ。改修を積極的に取り組んでもらいたい。 平地は道が狭く、自動車が通りづらいので、道路拡幅を重視すべきと思う。また、土地が密集しすぎているし、道も複雑。 すれ違えない狭小道路が多い。歩道がなく危険。幹線が整備されていない。
16 歩道の整備	狭い細い道を車と歩行者がすれ違う際、危ない道がある。 高齢者がこれから多くなっていくことが見込まれるので、歩道や街灯の整備等によって、歩行者が安全に通行できるようにすべきであると考えから 定住促進の要点 歩道がなく危険な道が多い 水路兼歩道の段差、そのせまい上を歩く小学生などを見ると少しずつでも減していきたい光景と思う。 児童・園児が多く利用する道路にもかかわらず、歩道がしっかり整備されていないところがある。 すれ違えない狭小道路が多い。歩道がなく危険。幹線が整備されていない。
20 鉄道・バス路線網	このままだと若い世帯はどんどん大井町をはなれるから。 鉄道を強化することで、住みよい町となる 鉄道、バスが少なく、利用者も少なく感じる 大都市圏に近く、近隣に商業施設もそれなりに立地している当町において人が集まるかは、公共交通機関の充実に最も左右されると思う。 特に鉄道(御殿場線)については、町が大幅に補助してでも国府津松田間の本数を大幅に増やすべきだと思う。 通学・通勤 年をとって車が運転できなくなったときのことを考えると交通の便のよいところに住みたいから 御殿場線の IC カード導入 無人でもスタンドくらいは立てられるはず。 高齢化が進む中で、専ら交通手段が車というのは交通事故等のリスクが高い。また、自動改札等、公共交通機関の利便性を図る必要がある。 町の発展のためには、御殿場線の整備が必要不可欠であると考えます 国道や県道、高速のインター、酒匂川の二号橋など交通の利便性は向上しているが、車等がない町民の移動手段が弱い。 特に鉄道は基本となるものだが、本数の少なさが使い勝手の悪さにつながっている。 交通の便が良くなると新たに大井町に住む人が増えると思われるから 車以外の交通の便が悪いこと 公共交通の不便さが当町のネックになっている 車を運転できない町民にとっては、役場すらも行きにくいと思う せめてもう少しバス等公共交通網を充実させることができれば・・・と思うから 定住促進の要点 高齢化社会に伴い交通弱者が増加すると思うので。 JR の本数が少ない。パスモが使えない。

施策・事業	理 由
21 消防・救急体制の整備	消防団員が不足している中、昔ながらのやりかたでは今後一層不足することが懸念される。時代の変化に応じて消防団内部の雰囲気、体制が変わらなければ、なかなか若者は入団してこない。 また、団員報酬がきちんと各団員に行き渡り、自由に使えているかの確認も必要。
22 防災体制と防災施設の整備	十分すぎるくらいの備えがあってよいと思うから 近い将来起きるとされているいくつかの地震に対して東日本大震災のような未曾有の自 体となり得ることも想定して対策を講じる必要がある。 今回、防災訓練を行った中で、グループワークをしてみて、改めて具体的なことがイメ ジできていないことが分かった。計画をたてることで終了となってしまうがちなので実践訓 練など行いながら大成を整えていくべきと思った 防災に対しての町の取り組みが良くない。特に防災訓練など、毎年同じ様な内容で今取 り組まなければならないことが出来ていない。 今後、大規模災害発生の可能性があるので、さらなる準備が必要 現在実施している職員の防災訓練の内容では、実際に災害が発生した場合にほとんど 役に立たないと思われる。避難所を設置したり、各関係機関と連携するなど、行動が伴う 訓練でなければ身につかない。また、実際に災害が発生した地域の実情、課題に関する 情報が提供されないため、職員自身にイメージが湧いてこない。 永遠の課題だが、先を見越し一つずつ積み上げていく。 大地農に対する備えは必要 生命に係わるもの、防災対策の中でも、より具体的な地震対策を進めていただきたい。
24 交通安全対策	カーブミラーなどの設備が不十分。自動車運転マナーが悪すぎて危険
26 健康づくりの推進	高齢になっても健康であることが大事であるから 町民全体が参加しやすい事業を
27 地域医療体制の整備	診療時間の延長の要望 夜間・休日診療所の充実を図ってほしい。現在は小田原市を利用している(保健センター 内) 安心して病院にかかれる体制 小児医療費助成制度について。
28 高齢者福祉	介護。需要の高まり 今後、ますます超高齢化が進むため 高齢者が増加していくので、もっと力を入れるべき 今後来たるべき超高齢化社会に対応するため
30 子育て支援・児童福 祉	子育て支援が充実していれば、大井町は子供をあずけて働きやすいという理由で人が集 まりやすくなる。 小児医療費の拡大 このままだと若い世帯はどんどん大井町をはなれるから。 幼稚園の預かり時間の延長または幼保一体化 同じ幼児教育、保育の場である、幼稚園と保育園の環境(施設、遊具、予算など)に差が ある。 これまで違い、これからの子育て世代は共働き家庭が前提となってきた。特に他地 域から移り住む人にとっては頼れる親族もいないため、保育所をはじめ、子育て支援策 の充実度合いが重要となってくる。 子育てに悩む親をサポートすることで支援につながると思うから
32 農業振興	町の基幹産業である農業の衰退は、土地の荒廃化を招き、進行すると、手がつけられな くなる。生活環境に悪影響を及ぼす。 荒れ地が増え、住環境の悪化につながるので、これ以上農業を衰退させてはダメだと思 う。 相和地区の観光に力をいれるよりも、農業をやりたい人に空き家を紹介したり土地の貸 し出しをして自然を守り生産に力をいれた方がいいと思う。

施策・事業	理 由
32 農業振興	産業の弱い自治体は体力もない。農業は何もしなければ衰退の一途となるが、国民の食だけに固執せず、グローバルな見方をすれば、爆発的なポテンシャルを秘めていると思う。 鳥獣被害対策
33 商・工業の振興	企業や、商業施設の誘致。 大きなスーパーができるのは良いが小売店の伸びが・・・ また、大きな工業が町に来て盛りたててほしい。 商業が少し消極的ではないか。 商業施設を建てることで、大井町の知名度があがる(人も呼べる)
34 地域資源を活用した観光振興	小さなイベントを複数実施するのではなくそれらをまとめた形で、複数の部署にて合同で行えるイベントにするべき 四季の里の集客を増やすため活性化が必要 四季の里をもっと活用するべき せっかく「四季の里」を整備したのに、来場者は少ないように感じる。また「四季の里」の存在すら知らない町民もいる。「四季の里」へ多くの町民が行けるような PR や“イベント”をさらに充実すべきである。 中途半端的な事業の統廃合 ひょうたん池、菜の花畑、すいせんの里…など観光地としてもっと手を入れると素敵な観光地になるのではないかな。今のままでは中途半端でもったいない 大井町を PR しながら他の事業でも活用できそうなので。 町内には、町外の観光客を呼び込めるような魅力的な場所がないため。 PR 不足 観光にもっと力を入れていくことで町の発展につながると思うから 近隣の市長は目玉となる観光スポットがあるので、それらのスポットとあわせて楽しめるような大井町ならではの強みがあるとよい。 観光の取組みで、まだしなければならないことがあるため。(HPの更新充実など) 色々取り組んではいるが1つ1つが単発でそれだけでは集客が見込めない。観光ゾーンにスポットを集めたり観光スポットを周遊できるバスを走らせる等して1日遊べる所をつくった方がいい。
35 幼稚園教育	きちんと子どもの実態に合わせて、職員の数を増やして配置してほしい。 教諭の確保が必要だと思う 集団行動がとれない子どもなど 育児支援がまだ必要な状況で幼稚園に入っていたりするようなので保育体制を強化していくべきだと思う
36 小・中学校教育	ICT 教育の充実 特色のある学校教育をすべき これからの将来を担う世代の教育が非常に大事だと思います。 大井町は教員、教育委員会で対応を努力されていると思うが、ネットの普及やコミュニケーションが苦手な子どもの増加などいじめなど問題が生じるリスクは高いと思われる。地域交流を強化していくべきではと思う。
37 青少年の育成	中学生などの青少年の中には、素行の悪い者が見受けられるため
40 生涯スポーツ活動の支援と施設整備	スポーツ活動を通じ、成人病予防などを行うことで医療費削減につながると思うので。
35 幼稚園教育	次世代の育成を重点的に！その為には、20～30 代の支援も大切になってくるかと。
36 小・中学校教育	人員の強化 教育施設の有効活用
38 生涯学習機会の提供	「そうわ会館」の利用者が少ないと思う。ごくわずかな特定の団体にしか利用されていないと思う。自然を活用した事業を開催するなど、誰もが利用しやすい会館にすべきであると思う。

大井町の発展や豊かな暮らしを実現するために取組むべき、新たな施策・事業に関する意見・提案(問26)

大井町の課題や強み		課題に対する新たな施策・事業／強みを活かした新たな施策・事業
分類	課題／強み	
まちづくり全体	インターが近い	インターが近いので都心からも何かしら来やすいと思います
	大井松田インターがある	都心より1時間、圏央道開通により更に県外の人々が来やすくなったことを利用し、交流人口を増やす。
	高速道路のインターがあること	都心や静岡方面に車通勤する人をターゲットに移住促進事業を実施する。高速料金の補助(所得に応じて＝町に住民税を納める能力などに応じて)を行う。
	生活環境のアンバランス	スーパーやコンビニが R255 に集中し、住宅地には店がないという地区が多い。車の運転ができないお年よりは日常の買い物に苦労している現状を知って欲しい。
	大井町の核(中心地)づくり	金子吉原地区土地区画整理事業により、大井町の核となるものにしてほしい。
	四季の里・いこいの村周辺の活性化	四季の里での体験製作、朝市、いこいの村の温泉等、単品では良いと思うが点ではなく線でつながると良いと思う。来客があってもお金を使う場所がない。いつ行っても買い物ができる店(野菜に限らず)やまた来たいと思わせるような目玉の自然展望場所などがあったらどうか
	国道 255 号線沿いに商業が発展している	国道 255 号線からもう少し大井町の中で商業を発展させる
	極端ではなく、普通であること	鎌倉市などは観光地としては有名ですが、その分開発等に規制が多く、必ずしも住みやすい町ではないとの声をよく耳にしました。
	ブルックス	ブルックスの施設を町で使えるようにする。芝生の広場が使えると、かなりの人が使うのではないかな。
	公共交通機関がない	駅やバスは望めない為、徒歩、自転車、車での生活になる。衣住食をある程度町内で完結させるか、車でショッピングし、町内は住環境に特化した町にする施策。
	空き家が増えている	空き家賃貸などの仲介手段を！ 有効活用を
	町民どうしが支え、助けあって生活していく地域環境づくり	防災時やお年寄りの見守りなど人が支え助けあうことはとても重要な役割となる ボランティアや地域交流などの育成、取組と活発にする施策の必要と考える
	温暖な住環境、災害が少ないという強み	人口減少対策として、町の強みを関連づけた取組みを強化推進する
	まちづくり	分散ではなく、集中。セールスポイントや特色は少ないほうが、プラス効果がある。
	豊かな自然	豊かな自然を活用し、他町に誇れる事業の展開
	自然環境を生かした定住者の確保	自然環境を売りにして、定住者を呼ぶ。空き家を有効利用できないか。
	自然に囲まれた町である。	自然と遊技場やショッピングセンター(アウトレットなど)の複合施設を相和地区あたりに・・・
	地形の学術的価値	大井町は日本でも類を見ない活断層の集合地域であり、災害時は大変危険な事態になる。東日本大震災等、国中で防災意識が高まっている中、研究者にとっては大井町の地理地形は大変貴重なサンプルとなると思う。自然災害と寄りそいつつ、決してあきらめない強かな町づくりは、全国でもモデルケースとなりうるのではないかなと思う。
	相和地域	相和は今のままでよい
	相和地域の自然等を活かした観光客の誘致及び交通網の整備	相和地域に元々ある花木を群生地化し、観に訪れたいくなる様な場所作りをする。また、その場所へ訪れやすい交通網の整備を行う。
	相和地区の過疎化	・優良田園住宅制度の研究 ・相和幼稚園を保育園に。 ・相和小学校が小規模特認校に適しているか研究をしたい

まちづくり全体	課題 交通の便が悪い 相和地区の活性化	・相和地区(四季の里・ブルックス含)を拠点としたイベントの開催。ご当地キャラクターによるイベント。B 級グルメを開発し、グランプリを開催する。 ・そうわ会館を温泉入浴施設併用とする。または、閉館とする。今のままでは、維持費や人件費だけかかりムダな施設である。 ・小田急線の乗り入れ・新駅設置(大井町駅)役場そば
	相和地域の活性化	・スマートインターチェンジを活用し、農産物の流通や企業誘致など・乗馬クラブや射撃場・いこいの村など民間を巻き込んだ、子供から大人まで楽しめるイベントなど
環境共生	富士山の眺望	大井町から見る富士山は素晴らしいものです。 平地から障害物がない状態で見られる環境を整える為、電線埋設化を計画的に実施する。
都市整備	自然と未利用地が多い	・都会では絶対に得られない住宅環境の創造 庭付き、農地付き ・空屋対策→東京に近い利点
	大型公園の設置	子ども達が自然豊かな環境で、遊べる場所が必要だと思う。 また大人もくつろげる環境として、大型公園を設置し、他市町への公園へ行くのではなく、他市町から人が来るようになる魅力ある街づくりをした方が良いと思われる。
	紫水大橋が開通	これから発展ができる。 橋を中心に住宅を増やせ、人をたくさん呼ぶための可能性を十分秘めている。
	強み 自然環境に恵まれている	大規模な公園の整備。ブルックス敷地の有効活用。相和地区への「アウトレット」誘致など。メガソーラー遊歩道整備
	都市計画道路の 255 号線に接続することで周辺地域の土地利用が活性化する。	金子開成和田河原線の都市計画道路と金子吉原土地区画整理事業とをリンクさせ新たな交通網や施設の創造を図る(相模金子駅の移転も視野に取り組む)
	人口減少への課題	定住人口の確保(都市施設の整備、働く場所の確保)
	狭あいな道路環境	以前より、歩道の整備や道路の拡幅を望む声が多い。裏を返せば自動車の交通量が多いともいえる。意識啓発や店舗における駐車場抑制等によりマイカー利用の低減を図ることで快適な道路環境を創出する。また、このことにより、公共交通の利用が増えたとともに、自動車・ガソリン購入等により地域外に流出しているお金を地域内へと振り替えていくことも期待される。今後の超高齢化社会を見据え、人の移動のあり方について長期的に検討・取り組んでいく必要がある。
	酒匂川河川敷の整備	他の自治体が河川敷を整備してスポーツ施設などに活用しているが、大井町はほとんど手付かずの状況となっている。ひょうたん池周辺に駐車場などを整備したのだが、年間を通してほとんど使われていないため、河川敷に運動ができる環境を整えることで、町民の健康増進の促進とともに駐車場などの有効活用にもつながる。
	公園	大きな遊具や水辺のある公園を作って欲しい
	海にも山にも近く、自然にも優れている環境に有りながら、「近くに大きな公園がほしい」と言う住民のニーズ(本音)は、すぐわかりやすい要望だと思う。	庁舎周りに公園的スペースが有っても良くないか? 例えば庁舎南側の中途半端な駐車スペースをフラットにし、遊具や芝植えにするだけでも休日の親子の遊び場にはなるのでは? 駐車場もトイレも有るし、結構広い庭になるかと。住民のニーズに大きな答えを出すことも重要ではあるが、こういった現実的な小さな答えを出してあげるのもとても重要だと思います。
	ブルックス所有地への提言	広大な敷地を有するブルックスへの町民の関心は高い。都市計画上の用途地域変更も含め企業へ提言していきたい。
	豊かな自然を活かした観光事業や施設	・公園、広場等の施設づくり ・祭りやイベントの内容検討
	公園施設が物足りない。	公園といいつつ植木が少しある程度や今にも壊れそうな遊具があるといった公園が多い。 防災施設を入れる又は遊具を置くなど非常時に安心できる、又は休日行きたくなるような公園にする。
都		

市 整 備	観光事業は行わない	・きれいな町なみは必要だが、菖蒲園(しょうぶえん)やひょうたん池はいらない ・町民がいやされる場所があればよい。小さい公園でも、花や緑でいっぱいの公園とか町民中心でよい。
	道路(特に国県道高速)がアクセスしやすく、他市町村に行きやすい	鉄道が御殿場線のみ、バスも少ない為、車を利用する世帯がターゲットとなるのではないかな。
	紫水大橋の活用	開成町は更に発展すると思うが紫水大橋を利用した田園住宅地造成・交通網整備など、開成の整備に伴う利点の有効活用
公 共 交 通	御殿場線	大井町のシンボルであるひょうたんは、御殿場線上大井駅があつてこそのもので、滋賀県長浜市や岐阜県養老町のように同じひょうたんをシンボルとする町よりも歴史的な背景がうすい。多少不便であっても、御殿場線の利用客を増やす施策をし、沿線の町と文化を共有し、全国に発信していくべきだと思う。
	御殿場線を利用した、交通網	御殿場線を利用した、交通網利用すると、東海道線、小田急ともに利用しやすく、横浜・品川方面も下北沢・新宿方面に行きやすい。また東海地方(静岡)方面にもいけるので、宿泊施設を増やすことで観光客(宿泊客)増加が見込める。
	御殿場線でスイカ・パスモが使えない	御殿場線の活性化を推進するため JR 東海との協議を今まで以上に進めたい。
	御殿場線が不便であること	町を初めて訪れる知人が車で来るか電車で来るかで町に対する評価が180° 異なります。 国道 255 号は間違いなく町の強みだと思うので交通網がうまくつながると人の流れも活発になるのではないのでしょうか
	課題: 公共交通機関の充実	—
	紫水大橋から国道 255 号までの都市計画道路の早期実現	相模金子駅(JR)ー開成駅(小田急)ー和田河原駅(大雄山)を結ぶバス路線の新設 松田や小田原を経由することなく、短時間で開成町南足柄市に行くことができる。相模金子駅及び御殿場線の活性化につながる。
	交通の不便さ	交通の便がよい所と悪い所があるように感じる。福祉バスが運行しているが、曜日が週 3 日なので、もっと増やしてみてもいいが燃料費維持費がかなりかかる。そこで、福祉タクシーにして曜日を増やし、回数を増やして、利用客を増やす。
	公共交通網の有機的な連結	県西地域外からの人口流入を望むのであれば通勤・通学のための公共交通の充実は欠かせない。さいわいなことに県西地域には御殿場線、小田急線、大雄山線と南北に3路線が営業している。紫水大橋の開通を受け、東西の移動を円滑に行えるようバス路線等が充実すれば、既存3路線の利便性が増すのではないかな。また、御殿場線を増便するためにも、直接支援又は、沿線自治体やディベロッパーを巻き込んだ三セク化等を検討してはどうか。
	比較的都市近郊に位置し、里山の風景が残る自然を前面に出し、観光客を呼び込む	・観光資源が乏しい(特産品など)・公共交通機関が使いづらく不便 [提案]町をあげて観光客の呼びこみに取り組む。町民一人ひとりが「おもてなし」の精神をもち、大井町を訪れた方にいい気持ちになって帰ってもらう。「また来たい」という気持ちになってもらう。
安 全 ・ 安 心	買い物が便利	日用品を買い物できる場所がたくさんあるのは強みだと思う。(コンビニ、スーパー、ドラッグストア等) (コンビニ・スーパー)と運送会社、役場で提携を組んで、お年寄り、体の不自由な方に対してデリバリーを行う。
	交通網がない	デイサービスや幼稚園バス等の空き時間空き運転手さんくるまの活用をしてオンデマンドタクシー的なシステムづくり。
	活断層が町中央を縦断している	防災の強化
福 祉	景観に恵まれた土地の有効利用	山歩きがブームとなっている今「おおいゆめの里」と富士見塚ハイキングコースを上手に利用し、観光に役立てられないかな？

健康	総合体育館でフットサルができない	体育館でフットサルを利用可にする。
	公園の整備	運動公園をしっかりとしたものを作れば、他市町から人が訪れると思う。芝生の公園、アスレチック施設の設備、設置がのぞましい。また、中途半端なものではなく、しっかりと金をかけて作る。
産業振興	ブルックスホールディングスのビルがある	首都に比較的近く、東名で一直線の本町には、ランドマークたるブルックスホールディングスのビルがあり、「大井町」を知らなくても、あのビルを知っている人が全国に多い。コーヒーの強み等を活かし、アフリカ系の大使館を誘致するなど特徴を持たす
	農業の衰退	・大井町の農地状況の中で採算の取れる農業の創出 ⇒内からは湧いてこないで外部の力を借りる。
	東名のインターが近い	巨大ショッピングモール(湘南テラスモールのような) コストコ
	富士山が見えるなどの景観のよさ	金子から西大井(NEC)方面への通りに道の駅を作る 農産物だけでなく温泉施設など併設
	東名インターが近い	巨大ショッピングモールを作る。
	東名のインターが近いことを活かす	コストコ・テラスモールなどの大きなショッピングセンターを作る
	大井松田インターチェンジ	高速道路のインターチェンジがあるので、県外の人を取込める環境は整っている。半日や一日遊べるイベントをたくさん開催し、観光収入を得る。または、この周辺にはない企業(コストコやラーメン博物館、大きな公園の運営・管理会社等)を誘致する ☆イベントや企業の誘致場所は相和地区とし、相和地区の活性化にも努める
	人口増加へのとりくみと税収の確保	企業の誘致と交通機関の整備
	企業誘致のための規制緩和	就業の場をふやし、若者や子育て世代の人口流出をとめる。
	産業振興	〔間伐材の販売事業〕 県の補助金を利用して森林の再生を行っている。落葉樹は薪ストーブで使用され、かなりの需要があると思われる。できるだけコストをかけずに搬出して、販売ルートを確認する。
	環境に恵まれた土地の有効利用	根岸山(現ブルックスの土地)や相和地区の土地を有効に利用してほしい。税収が少なくなり、財政が厳しくなっている。税収のある大型店舗や遊園施設、企業への誘致など前向きな検討を。高速道路 IC があるのは強みだと思う！
	大きな企業や商業施設の誘致	町の商工会が拒むのはわかるが地域の活性化につながらず、人や金が集まらない。小さなイベントを数回行わず、大きなイベント1つにすべき。
	農業振興	農産物をブランド化して、もっとPRしていく。
	自然環境との共存	豊かな自然環境に恵まれていることが強みであると思う。大井松田インターも近いことから、自然との共生型アウトドアパークなどの自然環境との共存を主としたもの(例:小田原市 フォレストアドベンチャー)
	農作物の充実	美味しいものはたくさんあり、スイーツなどの工夫もあるのだが、アピールが少ない。最寄り駅などに観光客が少ないせいだろうか。他の市町村や駅の道などへの進出はできないか。
	商業施設が多い	・大型商業施設などに大井町産のモノを置くコーナーなどを作り、自治会に入っていないさそうな近年越してきた方々に大井町をPRしていく。
	観光の強化と町の税収について	観光事業の強化をすることで町の活性化が期待される。町の企画力が薄いと感じる。新たな事業展開が必要。各地で行われている事業をよく検討して実行していく体勢が必要。税収もふるさと納税など町をPR することが大事だと考えます。
	観光の核は自然を生かした観光と農業体験。まず、大井町といえど〇〇というものをつくる。	ひょうたんならば、町民の協力を得て、町内のいたる所でひょうたんがみられるようにする。花も、しょうぶや菜の花など植えているが、規模が小さく、目玉となっていない。一つにしぼり、広大な用地に植樹し、観光スポットを人工的に創出する。さらに農業体験や企業(メガソーラー)などを組み込み、新たな観光の取り組みとして始めたらよいのではないかと思います。

産業振興	六次産業化を進めること	せっかく四季の里等“農業”をうりにする事業が行われているのに、十分なPRができていないと思います。農作物の直売を四季の里だけでなく、役場やスーパーなどでも行ってみたいかがでしょうか？
	人口の減少	・町外に転出しなくても済むよう、町内への企業誘致(就職先の増加) ・出産・育児後の復帰先を作るなど 少子化対策、人口減少対策が必要だと思います。
	企業誘致	税優遇によって企業の進出を促す。税制に工夫が足りない。
教育文化	ひょうたん祭	伝統ある祭りを今後も継続し、祭の内容も所属や組織を越えてさまざまな団体と協働していくべきと考える。
	ひょうたん、菜の花畑、しょうぶ園など、中途半端になっていて、もったいないのではないか	活かせるように力を入れる
	ブルックス敷地利用	・大学誘致 教育人規模の若者が毎日大井町に来る・大井町への転入増・富士通湘南バスの増便・商業施設の活性化・JR 増便？等の経済効果が期待できる
	町の目玉づくり	観光、特産品、催し物、事業で大井町として特化したものが無いと思う。他にない独自の事業をしたらどうか
	知名度のアップ	地方に行って、大井町と言ってもほとんど知られてないないので、B 級ご当地グルメを開発し、全国に発信すれば少しは知名度のアップに繋がるのではないのでしょうか。
	これといったものがない	名産、特産品でメジャーなものがないのでギネスに挑戦したり、何か売り出すもので知名度を上げるチャンスがある。(世界一の記録をもつ町)
	食事処が充実している。	食のレポートやおすすめの一品などで大井町の食事処を強みに変える。
	小・中一貫教育により大井小と上大井小の統合(相和小も相和地区の合意があれば一緒に)	小中一貫教育により学力向上、健全育成を目指す。統合することにより現在の小学校跡地に公園などの設備整備を図ることにより、子育て世代のニーズに応えることができる。
	富士山の眺望	〔ライブカメラの設置〕 ゆめの里からの富士山は絶景であり、テレビ局でお天気カメラにしてもらおう。当然町のPRもする。大井町の認知度が高まる。高まるように仕掛ける 初期投資が必要。季節ごとの花などの映像も必要。
	若者が集まらない	若者の拠点づくり 生涯学習センターを若者文化(音楽・演劇)の拠点に解放
行財政	足柄地域へのゲートであること。観光名所などに乏しいこと。	近隣市町と協力し、足柄地域又は県西地域としての発展・観光に力を入れるべきである。小さな町どうし、又中程度の市と張りあっても仕方ない。(競合して伸ばすべき部分は別として)それぞれの強みを活かし、合併せず大井町らしさを残したまま、他行政と協働できることを考えていくべきであると考え。
	自治会結成の強化	自治会の自立。できることは行い、協働を進める。
	行政の役割分担の明確化	自治会活動支援や農商工業の振興に対する町の取り組みがやや過剰に感じる。あくまで主役は町民であり、町が前面に出ることで、かえって地域や事業者の自主性等が阻害されているように感じる。 町は制度上、財政上どうしても必要な時に支援をし、人的支援を控えるほうが本当の意味での地域活性化につながると思う。
	ふるさと納税制度の活用	税収が伸び悩む中で近年注目されているふるさと納税に関して検討すら行われていない状況と思われる。 突出した特産品、資源がない中で、検討を進めるうちに新たな商品の開発等につなげ、実際にふるさと納税制度を活用できれば雇用の創出にもつながるのではないかと。
	職員が行政能力をつけることが課題ではないか	職員研修を充実させる必要がある。新たな事業を考えられる職員を育てていくために、行政能力をつける研修、民間で学ぶ研修など、実務を通した研修を。
住民参	有償ボランティアの養成、活用	ひまな人(高齢者も若者も)を有償ボランティアとして活用する。職につけない、知識も資格もなくてもできることをしてもらう。ちょっとしたことで困っていることはたくさんあるから。

加	対外的な事業(町民以外にも参加させる)	金のかからない、四季の里等を利用したイベント
	少子高齢化と世帯構造の変化(単身や少人数世帯の増加)	高齢人口は増えてつづけているが、以前に比べ前期高齢者層は活動的で能力のある方が多い。 高齢者の健康づくりにもつながるような役割をもっとつくる働きかけをしてはどうか。 ex)グリーンカーテンづくり、管理は園芸を得意としている人をお願いする
	交流促進	事業や懇話会等の参加者数を増やす工夫、改善
	有力な人材の活用	大井町には様々な知識や経験を持つ優れた人材が多く存在する。そういった人材を登用して、事業展開することにより、職人の技術向上や効果的な運用につながるのではないかなと思う。 すでに実践している分野もあるが、ある程度長期的(数年)に考えられるとよい。(例えば教育のサポート 観光やイベントの企画など)
その他		事業に取り組む際、表向きだけで内容がぜんぜん決まっていけないのに立ちあげようとするため中途半端
	大井町の強みが何なのかということ。	大井町の強みというものがなんなのかということが、具体的にぱっと出てきません。 町民の方にも(このアンケートを回答した方から)大井町の強みってなんなんだろうと言われました。町民の方も悩んでいます。 自然豊か、とかありますが、では、他の自然豊かなところとどう違うのか、富士山が見えるのかもありますが他でも見られます。 大井町らしさとは何か、強みが何かをはっきりとしていないところが課題だと思います。

4.3 調査票

大 井 町 まちづくりアンケート調査

～あなたもまちづくりの計画に参加してください～

日頃から町政の推進にご理解、ご協力いただき、心から感謝申し上げます。

本町では、第5次総合計画「おいきらめきプラン」（計画期間：平成23～32年度）に基づき、計画的なまちづくりを推進しています。

このたび、平成23年度から平成27年度までの計画である「前期基本計画」を見直し、平成28年度から平成32年度の大井町の基本的な方向を示す「後期基本計画」について、町民の皆さんにご参加いただきながら策定することとしています。

そこで、「前期基本計画」に基づき取り組んできた施策に対して、皆さんの満足度や、「後期基本計画」に対する皆さんのご意見を反映させるため、このアンケート調査を行うこととしました。

アンケートは、多くの方からご意見をいただくため、町内在住の16歳以上の方の中から無作為に3,000名を選ばせていただきました。

大井町の将来を決める大切なアンケートです。お忙しいところ大変恐縮ですが、これからのまちづくりのため、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成26年8月

大井町長 間宮 恒行

記入上のお願い

- 1 このアンケートは、年齢・男女別などにより集計を行いますので、宛名のご本人がご回答ください。
 - 2 回答は、用意された項目の中から「○は1つだけ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがって、その番号を○印で囲んでください。
 - 3 回答が「その他」の場合は、番号に○印をつけ、（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
 - 4 回答がわかるものであれば、ご記入いただく筆記用具の種類や色は問いません。
- ◆ 記入後は、返信用の封筒に入れ、切手を貼らずに 8月29日（金）までにポストに入れてくださるようお願いします。
 - ◆ このアンケートには、氏名をご記入いただく必要はありません。集計結果は、統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた皆さんにご迷惑をおかけすることはありません。
 - ◆ このアンケートは、8月1日現在の状況でご回答をお願いします。

【お問い合わせ】 大井町役場 企画財政課 総合計画担当

TEL 85-5003（直通） FAX 82-9965

E-mail kikaku@town.oi.kanagawa.jp

【1 あなた自身のことについておたずねします】

問1 あなたの性別を教えてください。（どちらかに○）

1 男性	2 女性
------	------

問2 あなたの年齢を教えてください。（○は1つだけ）

1 16～19 歳	4 40～49 歳	7 70 歳以上
2 20～29 歳	5 50～59 歳	
3 30～39 歳	6 60～69 歳	

問3 あなたのお住まいの自治会（地区）は次のうちどれですか。（○は1つだけ）

1 吉原	8 馬場	15 高尾
2 新宿	9 宮地	16 赤田
3 河原	10 金手	17 上山田
4 根岸上	11 上大井	18 中屋敷
5 根岸下	12 西大井	19 下山田
6 市場	13 篠窪	
7 坊村	14 柳	

問4 あなたのご職業を教えてください。兼業の方は主な職業についてのみお答えください。（○は1つだけ）

1 農 業	
2 自営業（家族従業者を含む）・会社経営・団体役員	
3 会社・工場・商店・官公庁などの勤め人	
4 パート・アルバイト	
5 学 生	
6 専業主婦・主夫（家事・育児だけに従事の方）⇒ <u>問5へ</u>	
7 無 職 ⇒ <u>問5へ</u>	
8 その他（具体的に：	）

問4-1、問4-2へ

【問4で1～5、8とお答えの方におたずねします】

問4-1 あなたの勤務地・通学地を教えてください。（○は1つだけ）

1 大井町内	7 1～6以外の神奈川県内
2 大井町以外の足柄上郡内	8 東京都内
3 小田原市	9 静岡県内
4 南足柄市	10 その他
5 秦野市	（具体的に：
6 横浜市	）

【問4で1～5、8とお答えの方におたずねします】

問4-2 主な通勤・通学の交通手段は何ですか。（○は1つだけ）

1 徒歩	4 鉄道	7 その他
2 自転車	5 バス	(具体的に:)
3 バイク	6 自家用車	

問5 通勤・通学以外での買物、通院など日常の生活圏は、どの範囲ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1 町内のみ	4 山北町	7 小田原市
2 中井町	5 開成町	8 秦野市
3 松田町	6 南足柄市	9 その他
(具体的に:)		

問6 あなたの日常生活における主な交通手段は何ですか。（○は1つだけ）

1 徒歩	4 鉄道	7 その他
2 自転車	5 バス	(具体的に:)
3 バイク	6 自家用車	

問7 あなたは大井町に住んで、どれくらいになりますか。（○は1つだけ）

1 生まれてからずっと
2 大井町に生まれたが、一時町外に住み、戻ってきた
3 大井町に住んでから20年以上
4 大井町に住んでから10～19年
5 大井町に住んでから10年未満

問8へ

【問7で2～5とお答えの方におたずねします】

問8 あなたが大井町に住み始めた理由は何ですか。（○は最大3つまで）

1 まちに愛着があったから	10 町の発展に期待できたから
2 買い物が便利だから	11 友人や知り合いがいたから
3 交通の便が良かったから	12 仕事や学校の事情
4 生活環境が良かったから	13 家庭の事情
5 教育環境が良かったから	14 親がいる又は持ち家があったから
6 医療体制が充実していたから	15 探していた条件に合った住宅が見つ
7 福祉サービスが充実していたから	かったから
8 自然が多かったから	16 大井町民と結婚したから
9 行政サービスが充実していたから	17 その他
(具体的に: □)	

問9 あなたにとって大井町は、住みよいところですか。（○は1つだけ）

1 住みよい	4 やや住みにくい
2 まあ住みよい	5 住みにくい
3 ふつう	6 わからない

問 10 あなたは、大井町に引き続き住みたいですか。（○は1つだけ）

- | |
|------------------|
| 1 住み続けたい |
| 2 住み続けてもよい |
| 3 できれば他自治体に転居したい |
| 4 他自治体に転居したい |
| 5 わからない |

問 10-1 へ

【問 10 で 1 または 2 と答えた方におたずねします。】

問 10-1 「住み続けたい」、「住み続けてもよい」とした理由は何ですか。
（○は最大3つまで）

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1 まちに愛着があるから | 10 町の発展に期待できるから |
| 2 買い物が便利だから | 11 友人や知り合いがいるから |
| 3 交通の便が良いから | 12 仕事や学校の事情 |
| 4 生活環境が良いから | 13 家庭の事情 |
| 5 教育環境が良いから | 14 親がいる又は持ち家があるから |
| 6 医療体制が充実しているから | 15 探していた条件に合った住宅に住んでいるから |
| 7 福祉サービスが充実しているから | 16 大井町民と結婚したから |
| 8 自然が多いから | 17 その他 |
| 9 行政サービスが充実しているから | |

（具体的に： □ ）

【2 大井町の将来像や今後のまちづくりについておたずねします】

問 11 あなたは、大井町と他の自治体とを比べたときの「大井町の強み」や「大井町の資源」は何だと思えますか。例を参考に3つ以内でお書きください。

— 例 —

- ・ 酒匂川の清流
- ・ ひょうたん祭
- ・ 住環境が良い
- ・ 買い物や外食が便利
- ・ 交通の便が良い
- ・ 地域での人間関係がよい、等

問 12 大井町の人口は近年、減少傾向にあります。これからの人口と開発との関係についてあなたの考えに最も近いものは何ですか。（○は1つまで）

- | |
|--------------------------|
| 1 人口を増加させるため、開発を促進する |
| 2 人口を少しずつ増加させるため、開発を促進する |
| 3 人口が増加しないよう、開発を抑制する |
| 4 人口も開発も成り行きにまかせてよい |
| 5 その他（具体的に： □ ） |
| 6 わからない |

問 13 男女の地位が平等で、あらゆる分野において参画する社会（男女共同参画社会）を実現するために、あなたはどのようなことが必要だと思われますか。
（○は最大2つまで）

1	女性が経済的に自立すること	
2	女性が政策や方針決定の場に参画すること	
3	女性（男性）が社会生活や家庭生活で男性（女性）に依存しないこと	
4	女性がもっと社会情勢に関心を持つこと	
5	男性が女性の社会的地位の向上に関して理解し協力すること	
6	男性が家事や育児に積極的に参画すること	
7	社会的な風潮や、古いしきたりに基づく慣習を見直すこと	
8	子どもの時から家庭や学校で男女平等教育を積極的に推進すること	
9	その他（具体的に：_____）	
10	わからない	

問 14 あなたは、男女平等がどの程度実現されていると思いますか。次の（１）～（８）について、それぞれあてはまる番号１つに○印をおつけください。

	優 男 遇 性 さ の れ 方 て が い る	優 男 遇 性 さ の れ 方 て が い る ど ち ら か と い え ば	平 等	優 女 遇 性 さ の れ 方 て が い る ど ち ら か と い え ば	優 女 遇 性 さ の れ 方 て が い る	わ か ら な い
（１）家庭生活の中で	1	2	3	4	5	6
（２）学校生活の中で	1	2	3	4	5	6
（３）職場の中で	1	2	3	4	5	6
（４）地域活動の中で	1	2	3	4	5	6
（５）法律や制度の中で	1	2	3	4	5	6
（６）社会の慣行や習慣の中で	1	2	3	4	5	6
（７）政治の場で	1	2	3	4	5	6
（８）社会全体で	1	2	3	4	5	6

問 15 あなたは、地球環境問題に対し、今後、大井町ではどのようなことを重点的に取り組んでいくべきだと思いますか。（○は最大2つまで）

- | | |
|---|--|
| 1 | リサイクルの推進などゴミの減量化 |
| 2 | 太陽光や風力など自然エネルギー等の有効活用 |
| 3 | 小・中学校における環境教育の充実 |
| 4 | 自然環境・生態系の保全・保護 |
| 5 | 自転車や公共交通機関など環境にやさしい交通の利用促進 |
| 6 | 公共下水道・合併処理浄化槽 ^(※) 設置の推進による水質汚濁の防止 |
| 7 | 雨水などの有効活用 |
| 8 | その他（具体的に： _____） |
| 9 | わからない |

（※）合併処理浄化槽…単独処理浄化槽（し尿処理のみ）とは異なり、台所やお風呂の生活雑排水をトイレの排水とあわせて処理できる浄化槽のこと。

問 16 次にあげる施設で、あなたが今後、特に整備して欲しいと思われるのはどれですか。（○は最大3つまで）

- | | | | |
|---|-------------------|----|---------------|
| 1 | 信号・カーブミラー等の交通安全施設 | 9 | 公共下水道 |
| 2 | 街路樹 | 10 | 水路 |
| 3 | 防犯灯 | 11 | 公園 |
| 4 | 防火水槽・消火栓 | 12 | 緑地 |
| 5 | 駐車場 | 13 | 子どもの遊び場 |
| 6 | 駐輪場 | 14 | スポーツ |
| 7 | 家のまわりの生活道路 | | （具体的に： _____） |
| 8 | 国道・県道などの幹線道路 | 15 | その他 |
| | | | （具体的に： _____） |

問 17 今後の生活等において、健康増進のための施設として必要と思われるのはどれですか。（○は最大3つまで）

- | | | | |
|---|---------------|----|------------------|
| 1 | 温浴施設 | 7 | テニスコート |
| 2 | スポーツクラブ、ジム | 8 | ゲートボール場 |
| 3 | プール・水泳教室 | 9 | パークゴルフ場 |
| 4 | 体育館 | 10 | 公園、芝生広場 |
| 5 | 武道場（柔道、剣道など） | 11 | ランニング・ジョギングコース |
| 6 | 球技場（サッカー、野球等） | 12 | その他（具体的に： _____） |

問 18 あなたは、現状では支障がないものの、今後の生活等において不安を感じることはありますか。（○は最大3つまで）

- | | | | |
|---|------------------------|---|-------------------------|
| 1 | 住まいのことで不安を感じる | 5 | 家族の世話・介護（老老介護など）に不安を感じる |
| 2 | 健康のことで不安を感じる | 6 | 不安を感じない |
| 3 | 収入やローンの返済などの経済面で不安を感じる | 7 | 今後の生活のことはまだ考えたことがない |
| 4 | 知人・近所とのつきあいに不安を感じる | 8 | その他（具体的に： _____） |

問 19 地方分権が進展するなか、地域住民の自己決定・自己責任が求められています。
このような時代を迎えるにあたり、あなたは、下記の公共サービスに関する今後の方向性について、どのようなお考えをお持ちですか。

問 19-1～3 それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○印をおつけください。

問 19-1 今後の福祉サービスの方向性

- | | |
|---|--|
| 1 | 他のサービスを減らしても福祉サービス水準を維持（向上）するべき |
| 2 | 福祉サービス利用者の負担が増えても、福祉サービス水準を維持（向上）するべき |
| 3 | 他のサービスや利用者負担を上げずに、福祉サービス水準を下げるべき
（または、他のサービスに予算を配分するべき） |
| 4 | その他（具体的に： _____） |

問 19-2 今後の都市基盤^(※)整備関連サービスの方向性

- | | |
|---|--|
| 1 | 他のサービスを減らしても都市基盤関連サービス水準を維持（向上）するべき |
| 2 | 都市基盤整備関連サービス利用者の負担が増えても、都市基盤整備関連サービス水準を維持（向上）するべき |
| 3 | 他のサービスや利用者負担を上げずに、都市基盤整備関連サービス水準を下げるべき
（または、他のサービスに予算を配分するべき） |
| 4 | その他（具体的に： _____） |

(※) 都市基盤…道路、水路、上・下水道、公園等のこと

問 19-3 今後の公共施設^(※)関連サービスの方向性

- | | |
|---|--|
| 1 | 他のサービスを減らしても公共施設関連サービス水準を維持（向上）するべき |
| 2 | 公共施設関連サービス利用者の負担が増えても、公共施設関連サービス水準を維持（向上）するべき |
| 3 | 他サービスや利用者負担を上げずに公共施設関連サービス水準を下げるべき
（または、他のサービスに予算を配分するべき） |
| 4 | その他（具体的に： _____） |

(※) 公共施設…庁舎、生涯学習センター、そうわ会館、保育園、学校等のこと

問 20 あなたは、地方分権や行財政改革を進めるために、どのようなことを重点的に取り組むべきだと思いますか。（○は最大3つまで）

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 行政組織の簡素・効率化 |
| 2 | 行政業務の一部民営化など民間活力の導入 |
| 3 | 民間企業などからの人材の登用 |
| 4 | 積極的でわかりやすい情報公開 |
| 5 | 利用（受益）者負担の適正化 |
| 6 | ボランティア団体やNPO ^(※) など、住民との協働 |
| 7 | 専門的知識や能力をもった職員の育成・確保 |
| 8 | 市町村合併などを視野に入れた広域的な行政の推進 |
| 9 | その他（具体的に： _____） |

(※) NPO…福祉や医療、環境保護やリサイクル、災害復旧など広範な分野で公益実現のために活動する、私的利益を目的としない民間非営利組織のこと。

【3 行政の施策や事業への取り組みについておたずねします】

問 21 回答例にならって、これまで進めてきた大井町のまちづくりの取り組みについての「満足度」と、これからの取り組みを進める上での「重要度」のそれぞれについて、今のお気持ちに最も近い番号を1つずつ選び、回答欄に○印をおつけ下さい。

	満足度					重要度（必要度）				
	非常に満足している	満足している	どちらともいえない	不満である	非常に不満である	特に重要である	少し重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	全く重要ではない
回答例 ○○の推進 ○	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
大井町成長戦略										
1 教育環境の整備 (湘光中学校等の整備・改修)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 産業立地と居住環境の創出 (「金子吉原地区」土地区画整理事業や企業誘致)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 相和地域の活性化 (「おおいゆめの里」を中心とした観光の展開)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
I 協働										
① 協働のまちづくり										
4 広報活動・広聴活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 情報公開・情報開示	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 世代間交流事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 協働のまちづくり										
7 自治会活動等への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8 人権擁護活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9 男女共同参画社会の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
II 環境共生										
① 自然・生活環境										
10 地球温暖化対策や自然環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11 大気・水質汚染の防止	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12 不法投棄防止対策や美化活動への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13 ゴミの減量化やリサイクルの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14 公園・緑地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 都市基盤										
15 道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16 歩道の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17 河川・水路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18 水道事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19 下水道事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20 鉄道・バス路線網	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	満足度					重要度（必要度）				
	非常に満足している	満足している	どちらともいえない	不満である	非常に不満である	特に重要である	少し重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	全く重要ではない
Ⅲ 安全										
① 町民の安全・安心										
21 消防・救急体制の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22 防災体制と防災施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23 防犯対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24 交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25 消費者保護対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
Ⅳ 健康・福祉										
① 健康										
26 健康づくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27 地域医療体制の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 福祉										
28 高齢者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
29 障がい者（児）福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
30 子育て支援・児童福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31 社会保障・勤労者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
Ⅴ 産業										
① 農業										
32 農業振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 商業・工業										
33 商・工業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 観光										
34 地域資源を活用した観光振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
Ⅵ 教育										
④ 学校教育										
35 幼稚園教育	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
36 小・中学校教育	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 社会教育										
37 青少年の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
38 生涯学習機会の提供	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
39 文化財の保護と活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
40 生涯スポーツ活動の支援と施設整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【4 まちづくりへの参加と協力についておたずねします】

問 22 あなたは、町に関する情報を（窓口以外から）主にどのようにして得ていますか。（○は最大3つまで）

1 広報おい	7 各種会議や町政懇話会
2 議会だより	8 自治会役員
3 大井町ホームページ	9 知人、友人
4 旬をおとどけ おおいブログ	10 家族
5 大井町あんしんメール	11 その他
6 回覧	（具体的に： _____）

問 23 あなたが、大井町について特に知りたい情報は何ですか。（○は最大2つまで）

1 町長の基本的な考え方
2 町の歳入の内訳や予算の使い方
3 町が現在実施している事業の内容や進みぐあい
4 町が将来的に進める事業やその内容
5 町が抱えている課題
6 町が行っている制度の事務手続の紹介
7 町の行事や催し物などの案内
8 町内の施設の紹介や案内
9 町のいろいろな統計資料
10 町の歴史や文化・芸能
11 その他（具体的に： _____）
12 わからない

問 24 あなたは、地域づくりやまちづくり活動に関心がありますか。（○は1つだけ）

	1 関心がある
	2 まあ関心がある
	3 あまり関心がない
	4 関心がない

問 24－1へ

【問 24 で 1 または 2 と答えた方におたずねします。】

問 24－1 あなたが今後活動したいと思うものはどれですか。（○は最大3つまで）

1 自然保護・緑化活動	8 防災・防犯活動や交通安全活動
2 環境美化活動	9 災害支援活動
3 高齢者に対する活動	10 イベントや観光などの活動
4 障がいのある方に対する活動	11 寄付や募金、バザーなどの活動
5 青少年健全育成活動	12 その他
6 子育てに対する活動	（具体的に： _____）
7 伝統文化保存活動	13 わからない

問 25 あなたは、町に対してどのような方法で意見を伝えたいと考えていますか。
(○は1つだけ)

- 1 町民の自主的な集まりがあれば参加したい
- 2 座談会や懇談会に参加したい
- 3 陳情・請願等により意見を述べたい
- 4 アンケート調査で十分である
- 5 議員や町・専門家にまかせる
- 6 「わたしの提案・意見」に投稿する
- 7 関心がない
- 8 その他（具体的に：

問 26 大井町の発展や町民の皆さまの暮らしを豊かにするために、何かご意見やご提案（アイデア）、夢をお持ちでしたら、ご自由にお書きください。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is a solid black vertical margin line on the left side. The paper appears to be from a notebook or a standard writing template.

◎お忙しいところご記入いただきましてありがとうございました。

ご記入いただいた用紙は同封の返信用封筒に入れて 8 月 29 日（金）までにご投函下さい

大井町 職員アンケート調査

～あなたも総合計画の策定に参加してください～

本町では、第5次総合計画「おいきらめきプラン」（計画期間：平成23～32年度）に基づき、計画的なまちづくりを推進しています。

このたび、平成23年度から平成27年度までの計画である「前期基本計画」を見直し、平成28年度から平成32年度の大井町の基本的な方向を示す「後期基本計画」について、策定に着手したところです。

そこで、「後期基本計画」の策定にあたっては、全ての職員が一丸となって策定を行えるよう機会を設けることとし、その一環として、このアンケート調査を実施することとしました。

なお、同様のアンケート調査を町内在住の16歳以上の方、3,000名にもお願いしているところです。この結果により、町民と職員との意識の相違を把握することもあわせて目的としております。

お忙しいところとは存じますが、調査の趣旨をご理解の上、全職員が回答くださるようお願いいたします。

平成26年9月

大井町長 間宮 恒行

記入上のお願い

- 1 回答は、町職員として普段感じていること、考えていることについてご回答ください。
 - 2 回答は、用意された項目の中から「○は1つだけ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがって、その番号を○印で囲んでください。
 - 3 回答が「その他」の場合は、番号に○印をつけ、（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
 - 4 回答がわかるものであれば、ご記入いただく筆記用具の種類や色は問いません。
- ◆ 記入後は、所属ごとにとりまとめて、9月11日（木）までに企画財政課あてご提出ください。
 - ◆ このアンケートには、氏名をご記入いただく必要はありません。集計結果は、統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた皆さんにご迷惑をおかけすることはありません。
 - ◆ このアンケートは、8月1日現在の状況でご回答をお願いします。

【1 あなた自身のことについておたずねします】

問1 あなたの性別を教えてください。（どちらかに○）

1 男性

2 女性

問2 あなたの年齢を教えてください。（○は1つだけ）

1 20～29 歳

3 40～49 歳

2 30～39 歳

4 50 歳以上

問3 あなたのお住まいは次のうちどれですか。（○は1つだけ）

1 大井町内

2 大井町外

問4 主な通勤・通学の交通手段は何ですか。（○は1つだけ）

1 徒歩

4 鉄道

7 その他

2 自転車

5 バス

（具体的に：

）

3 バイク

6 自家用車

問5 あなたは今のところに住んで、どれくらいになりますか。（○は1つだけ）

1 生まれてからずっと

2 今のところで生まれたが、一時別の市町村に住み、戻ってきた

3 今のところに住んでから 20 年以上

4 今のところに住んでから 10～19 年

5 今のところに住んでから 10 年未満

問6へ

【問5で2～5とお答えの方におたずねします】

問6 あなたが今のところに住み始めた理由は何ですか。（○は最大3つまで）

1 まちに愛着があったから

10 町の発展に期待できたから

2 買い物が便利だから

11 友人や知り合いがいたから

3 交通の便が良かったから

12 仕事や学校の事情

4 生活環境が良かったから

13 家庭の事情

5 教育環境が良かったから

14 親がいる又は持ち家があったから

6 医療体制が充実していたから

15 探していた条件に合った住宅が見つかったから

7 福祉サービスが充実していたから

16 大井町民と結婚したから

8 自然が多かったから

17 その他

9 行政サービスが充実していたから

（具体的に：

□

）

問7 あなたにとって今住んでいるところは、住みよいところですか。（○は1つだけ）

1 住みよい

4 やや住みにくい

2 まあ住みよい

5 住みにくい

3 ふつう

6 わからない

問 8 あなたは、今住んでいるところに引き続き住みたいですか。（○は1つだけ）

- 1 住み続けたい
2 住み続けてもよい
3 できれば他自治体に転居したい
4 他自治体に転居したい
5 わからない

問 8－1へ

【問 8 で 1 または 2 と答えた方におたずねします。】

問 8－1 「住み続けたい」、「住み続けてもよい」とした理由は何ですか。
（○は最大3つまで）

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1 まちに愛着があるから | 10 町の発展に期待できるから |
| 2 買い物が便利だから | 11 友人や知り合いがいるから |
| 3 交通の便が良いから | 12 仕事や学校の事情 |
| 4 生活環境が良いから | 13 家庭の事情 |
| 5 教育環境が良いから | 14 親がいる又は持ち家があるから |
| 6 医療体制が充実しているから | 15 探していた条件に合った住宅に住んでいるから |
| 7 福祉サービスが充実しているから | 16 住んでいるところの人と結婚したから |
| 8 自然が多いから | 17 その他 |
| 9 行政サービスが充実しているから | |

（具体的に： □ ）

【2 大井町の将来像や今後のまちづくりについておたずねします】

問 9 あなたは、大井町と他の自治体とを比べたときの「大井町の強み」や「大井町の資源」は何だと思えますか。例を参考に3つ以内でお書きください。

— 例 —

- ・ 酒匂川の清流
- ・ ひょうたん祭
- ・ 住環境が良い
- ・ 買い物や外食が便利
- ・ 交通の便が良い
- ・ 地域での人間関係がよい、等

問 10 大井町の人口は近年、減少傾向にあります。これからの人口と開発との関係についてあなたの考えに最も近いものは何ですか。（○は1つまで）

- | |
|--------------------------|
| 1 人口を増加させるため、開発を促進する |
| 2 人口を少しずつ増加させるため、開発を促進する |
| 3 人口が増加しないよう、開発を抑制する |
| 4 人口も開発も成り行きにまかせてよい |
| 5 その他（具体的に： □ ） |
| 6 わからない |

問 11 男女の地位が平等で、あらゆる分野において参画する社会（男女共同参画社会）を実現するために、あなたはどのようなことが必要だと思われますか。
（○は最大2つまで）

1	女性が経済的に自立すること
2	女性が政策や方針決定の場に参画すること
3	女性（男性）が社会生活や家庭生活で男性（女性）に依存しないこと
4	女性がもっと社会情勢に関心を持つこと
5	男性が女性の社会的地位の向上に関して理解し協力すること
6	男性が家事や育児に積極的に参画すること
7	社会的な風潮や、古いしきたりに基づく慣習を見直すこと
8	子どもの時から家庭や学校で男女平等教育を積極的に推進すること
9	その他（具体的に： _____）
10	わからない

問 12 あなたは、男女平等がどの程度実現されていると思いますか。次の（１）～（８）について、それぞれあてはまる番号１つに○印をおつけください。

	男性の方が 優遇されている	男性の方が 優遇されている どちらかといえば	平 等	女性の方が 優遇されている どちらかといえば	女性の方が 優遇されている	わ か ら な い
（１）家庭生活の中で	1	2	3	4	5	6
（２）学校生活の中で	1	2	3	4	5	6
（３）職場の中で	1	2	3	4	5	6
（４）地域活動の中で	1	2	3	4	5	6
（５）法律や制度の中で	1	2	3	4	5	6
（６）社会の慣行や習慣の中で	1	2	3	4	5	6
（７）政治の場で	1	2	3	4	5	6
（８）社会全体で	1	2	3	4	5	6

問 13 あなたは、地球環境問題に対し、今後、大井町ではどのようなことを重点的に取り組んでいくべきだと思いますか。（○は最大2つまで）

- | | |
|---|--|
| 1 | リサイクルの推進などゴミの減量化 |
| 2 | 太陽光や風力など自然エネルギー等の有効活用 |
| 3 | 小・中学校における環境教育の充実 |
| 4 | 自然環境・生態系の保全・保護 |
| 5 | 自転車や公共交通機関など環境にやさしい交通の利用促進 |
| 6 | 公共下水道・合併処理浄化槽 ^(※) 設置の推進による水質汚濁の防止 |
| 7 | 雨水などの有効活用 |
| 8 | その他（具体的に： _____） |
| 9 | わからない |

（※）合併処理浄化槽…単独処理浄化槽（し尿処理のみ）とは異なり、台所やお風呂の生活雑排水をトイレの排水とあわせて処理できる浄化槽のこと。

問 14 次にあげる施設で、あなたが今後、特に整備して欲しいと思われるのはどれですか。（○は最大3つまで）

- | | | | |
|---|-------------------|----|---------------|
| 1 | 信号・カーブミラー等の交通安全施設 | 9 | 公共下水道 |
| 2 | 街路樹 | 10 | 水路 |
| 3 | 防犯灯 | 11 | 公園 |
| 4 | 防火水槽・消火栓 | 12 | 緑地 |
| 5 | 駐車場 | 13 | 子どもの遊び場 |
| 6 | 駐輪場 | 14 | スポーツ施設 |
| 7 | 家のまわりの生活道路 | | （具体的に： _____） |
| 8 | 国道・県道などの幹線道路 | 15 | その他 |
| | | | （具体的に： _____） |

問 15 今後の生活等において、健康増進のための施設として必要と思われるのはどれですか。（○は最大3つまで）

- | | | | |
|---|---------------|----|------------------|
| 1 | 温浴施設 | 7 | テニスコート |
| 2 | スポーツクラブ、ジム | 8 | ゲートボール場 |
| 3 | プール・水泳教室 | 9 | パークゴルフ場 |
| 4 | 体育館 | 10 | 公園、芝生広場 |
| 5 | 武道場（柔道、剣道など） | 11 | ランニング・ジョギングコース |
| 6 | 球技場（サッカー、野球等） | 12 | その他（具体的に： _____） |

問 16 あなたは、現状では支障がないものの、今後の生活等において不安を感じることはありますか。（○は最大3つまで）

- | | | | |
|---|------------------------|---|-------------------------|
| 1 | 住まいのことで不安を感じる | 5 | 家族の世話・介護（老老介護など）に不安を感じる |
| 2 | 健康のことで不安を感じる | 6 | 不安を感じない |
| 3 | 収入やローンの返済などの経済面で不安を感じる | 7 | 今後の生活のことはまだ考えたことがない |
| 4 | 知人・近所とのつきあいに不安を感じる | 8 | その他（具体的に： _____） |

問 17 地方分権が進展するなか、地域住民の自己決定・自己責任が求められています。
このような時代を迎えるにあたり、あなたは、下記の公共サービスに関する今後の方向性について、どのようなお考えをお持ちですか。

問 17-1～3 それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○印をおつけください。

問 17-1 今後の福祉サービスの方向性

- | | |
|---|--|
| 1 | 他のサービスを減らしても福祉サービス水準を維持（向上）するべき |
| 2 | 福祉サービス利用者の負担が増えても、福祉サービス水準を維持（向上）するべき |
| 3 | 他のサービスや利用者負担を上げずに、福祉サービス水準を下げるべき
（または、他のサービスに予算を配分するべき） |
| 4 | その他（具体的に： _____） |

問 17-2 今後の都市基盤^(※)整備関連サービスの方向性

- | | |
|---|--|
| 1 | 他のサービスを減らしても都市基盤関連サービス水準を維持（向上）するべき |
| 2 | 都市基盤整備関連サービス利用者の負担が増えても、都市基盤整備関連サービス水準を維持（向上）するべき |
| 3 | 他のサービスや利用者負担を上げずに、都市基盤整備関連サービス水準を下げるべき
（または、他のサービスに予算を配分するべき） |
| 4 | その他（具体的に： _____） |

(※) 都市基盤…道路、水路、上・下水道、公園等のこと

問 17-3 今後の公共施設^(※)関連サービスの方向性

- | | |
|---|--|
| 1 | 他のサービスを減らしても公共施設関連サービス水準を維持（向上）するべき |
| 2 | 公共施設関連サービス利用者の負担が増えても、公共施設関連サービス水準を維持（向上）するべき |
| 3 | 他サービスや利用者負担を上げずに公共施設関連サービス水準を下げるべき
（または、他のサービスに予算を配分するべき） |
| 4 | その他（具体的に： _____） |

(※) 公共施設…庁舎、生涯学習センター、そうわ会館、保育園、学校等のこと

問 18 あなたは、地方分権や行財政改革を進めるために、どのようなことを重点的に取り組むべきだと思いますか。（○は最大3つまで）

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 行政組織の簡素・効率化 |
| 2 | 行政業務の一部民営化など民間活力の導入 |
| 3 | 民間企業などからの人材の登用 |
| 4 | 積極的でわかりやすい情報公開 |
| 5 | 利用（受益）者負担の適正化 |
| 6 | ボランティア団体やNPO ^(※) など、住民との協働 |
| 7 | 専門的知識や能力をもった職員の育成・確保 |
| 8 | 市町村合併などを視野に入れた広域的な行政の推進 |
| 9 | その他（具体的に： _____） |

(※) NPO…福祉や医療、環境保護やリサイクル、災害復旧など広範な分野で公益実現のために活動する、私的利益を目的としない民間非営利組織のこと。

【3 行政の施策や事業への取り組みについておたずねします】

問 19 回答例にならって、これまで進めてきた大井町のまちづくりの取り組みについての「満足度」と、これからの取り組みを進める上での「重要度」のそれぞれについて、今のお気持ちに最も近い番号を1つずつ選び、回答欄に○印をおつけ下さい。

	満足度					重要度（必要度）				
	非常に満足している	満足している	どちらともいえない	不満である	非常に不満である	特に重要である	少し重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	全く重要ではない
回答例 ○○の推進 ○	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
大井町成長戦略										
1 教育環境の整備 （湘光中学校等の整備・改修）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 産業立地と居住環境の創出 （「金子吉原地区」土地区画整理事業や企業誘致）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 相和地域の活性化 （「おおいゆめの里」を中心とした観光の展開）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
I 協働										
① 協働のまちづくり										
4 広報活動・広聴活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 情報公開・情報開示	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 世代間交流事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 協働のまちづくり										
7 自治会活動等への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8 人権擁護活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9 男女共同参画社会の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
II 環境共生										
① 自然・生活環境										
10 地球温暖化対策や自然環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11 大気・水質汚染の防止	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12 不法投棄防止対策や美化活動への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13 ゴミの減量化やリサイクルの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14 公園・緑地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 都市基盤										
15 道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16 歩道の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17 河川・水路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18 水道事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19 下水道事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20 鉄道・バス路線網	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	満足度					重要度（必要度）				
	非常に満足している	満足している	どちらともいえない	不満である	非常に不満である	特に重要である	少し重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	全く重要ではない
Ⅲ 安全										
① 町民の安全・安心										
21 消防・救急体制の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22 防災体制と防災施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23 防犯対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24 交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25 消費者保護対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
Ⅳ 健康・福祉										
① 健康										
26 健康づくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27 地域医療体制の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 福祉										
28 高齢者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
29 障がい者（児）福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
30 子育て支援・児童福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31 社会保障・勤労者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
Ⅴ 産業										
① 農業										
32 農業振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 商業・工業										
33 商・工業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 観光										
34 地域資源を活用した観光振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
Ⅵ 教育										
④ 学校教育										
35 幼稚園教育	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
36 小・中学校教育	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 社会教育										
37 青少年の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
38 生涯学習機会の提供	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
39 文化財の保護と活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
40 生涯スポーツ活動の支援と施設整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【4 まちづくりへの参加と協力についておたずねします】

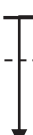
問 20 あなたは、町に関する情報を（窓口以外から）主にどのようにして得ていますか。
（○は最大3つまで）

1 広報おい	7 各種会議や町政懇話会
2 議会だより	8 自治会役員
3 大井町ホームページ	9 知人、友人
4 旬をおとどけ おおいブログ	10 家族
5 大井町あんしんメール	11 その他
6 回覧	（具体的に： _____）

問 21 あなたが、大井町について特に知りたい情報は何か。（○は最大2つまで）

1 町長の基本的な考え方
2 町の歳入の内訳や予算の使い方
3 町が現在実施している事業の内容や進みぐあい
4 町が将来的に進める事業やその内容
5 町が抱えている課題
6 町が行っている制度の事務手続の紹介
7 町の行事や催し物などの案内
8 町内の施設の紹介や案内
9 町のいろいろな統計資料
10 町の歴史や文化・芸能
11 その他（具体的に： _____）
12 わからない

問 22 あなたは、地域づくりやまちづくり活動に関心がありますか。（○は1つだけ）

	1 関心がある
	2 まあ関心がある
	3 あまり関心がない
	4 関心がない

問 22－1へ

【問 22 で 1 または 2 と答えた方におたずねします。】

問 22－1 あなたが今後活動したいと思うものはどれですか。（○は最大3つまで）

1 自然保護・緑化活動	8 防災・防犯活動や交通安全活動
2 環境美化活動	9 災害支援活動
3 高齢者に対する活動	10 イベントや観光などの活動
4 障がいのある方に対する活動	11 寄付や募金、バザーなどの活動
5 青少年健全育成活動	12 その他
6 子育てに対する活動	（具体的に： _____）
7 伝統文化保存活動	13 わからない

問 23 あなたは、町に対してどのような方法で意見を伝えたいと考えていますか。
(○は1つだけ)

1	町民の自主的な集まりがあれば参加したい
2	座談会や懇談会に参加したい
3	陳情・請願等により意見を述べたい
4	アンケート調査で十分である
5	議員や町・専門家にまかせる
6	「わたしの提案・意見」に投稿する
7	関心がない
8	その他（具体的に： _____）

問 24 ここ数年の間で、良くなったと思われる施策・事業は何ですか。その理由と併せてお書きください。

施策・事業名 (問 19 の番号を記入)	理 由

問 25 今後、特に力を入れるべき、または、改善すべきである施策・事業は何ですか。その理由と併せてお書きください。

施策・事業名 (問 19 の番号を記入)	理 由

問 26 前問の他に、大井町の発展や豊かな暮らしを実現するために取り組むべき、新たな施策・事業に関する意見・提案（アイデア）をお書きください。

	項 目	回 答 欄
1	大井町の課題や強み	
	意見・提案 （大井町の強みを活かした新たな施策・事業 または 大井町の課題に対する 新たな施策・事業）	
2	大井町の課題や強み	
	意見・提案 （大井町の強みを活かした新たな施策・事業 または 大井町の課題に対する 新たな施策・事業）	
3	大井町の課題や強み	
	意見・提案 （大井町の強みを活かした新たな施策・事業 または 大井町の課題に対する 新たな施策・事業）	

◎お忙しいところご記入いただきましてありがとうございました。

＜第 2 編 町外住民意向調査＞

1. 調査の概要

1. 調査の概要

1.1 調査の目的

町外の住民に対して、住民が挙げる地域資源・魅力を提示し、「知名度」や「期待」「関心」等を把握することで、住民が感じている町の魅力と町外住民が感じる町の魅力を比較し、今後 PR すべき魅力を再発見する。

1.2 調査対象

- 性別：男性／女性
- 年代：30 代以下／40～50 代／60 代以上
- 対象エリア
 - ◇ 近郊都市エリア（小田原市、秦野市、平塚市、伊勢原市、厚木市）
 - ◇ 県内大都市エリア（横浜市、川崎市、鎌倉市）
 - ◇ 巨大消費エリア（杉並区、中野区、世田谷区、目黒区、品川区、大田区）

1.3 サンプル数

- 上記対象エリア毎に 150 名のモニター向けアンケート調査を実施した。

対象エリア	サンプル数	備考
近郊都市エリア	150	※各エリアにて、年代(3 区分)毎に 50 票 ずつ配布
県内大都市エリア	150	
巨大消費エリア	150	
全体	450	

1.4 調査方法

インターネットアンケート調査会社（株式会社クロス・マーケティング）のアンケートモニター内から、対象居住地に合致する対象者に、インターネット上でアンケートを実施した。

1.5 調査期間

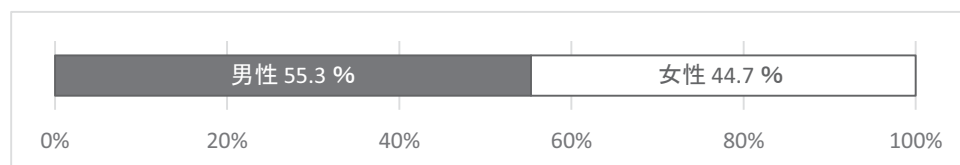
平成 27 年 1 月 31 日（土）～平成 27 年 2 月 1 日（日）

2. 調査結果

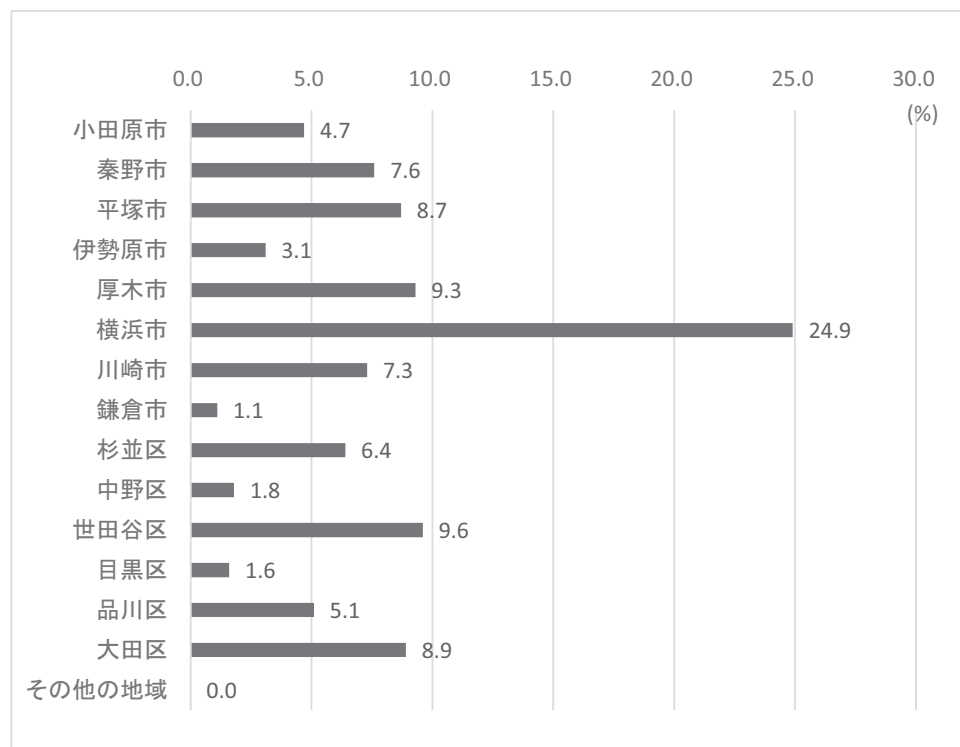
2. 調査結果

2.1 回答者の属性

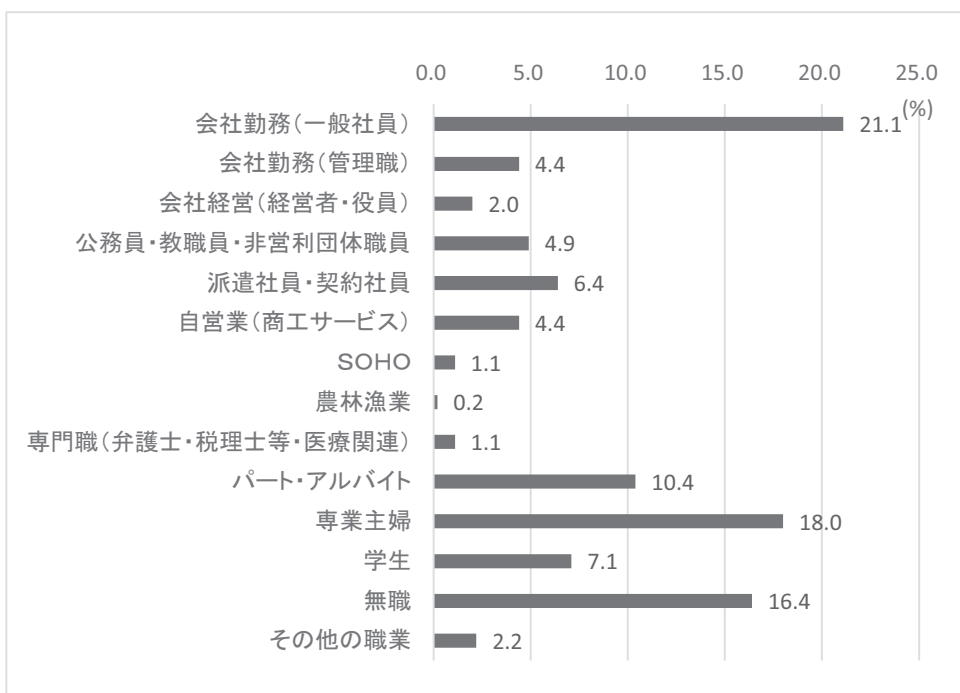
《性別》



《住まい》

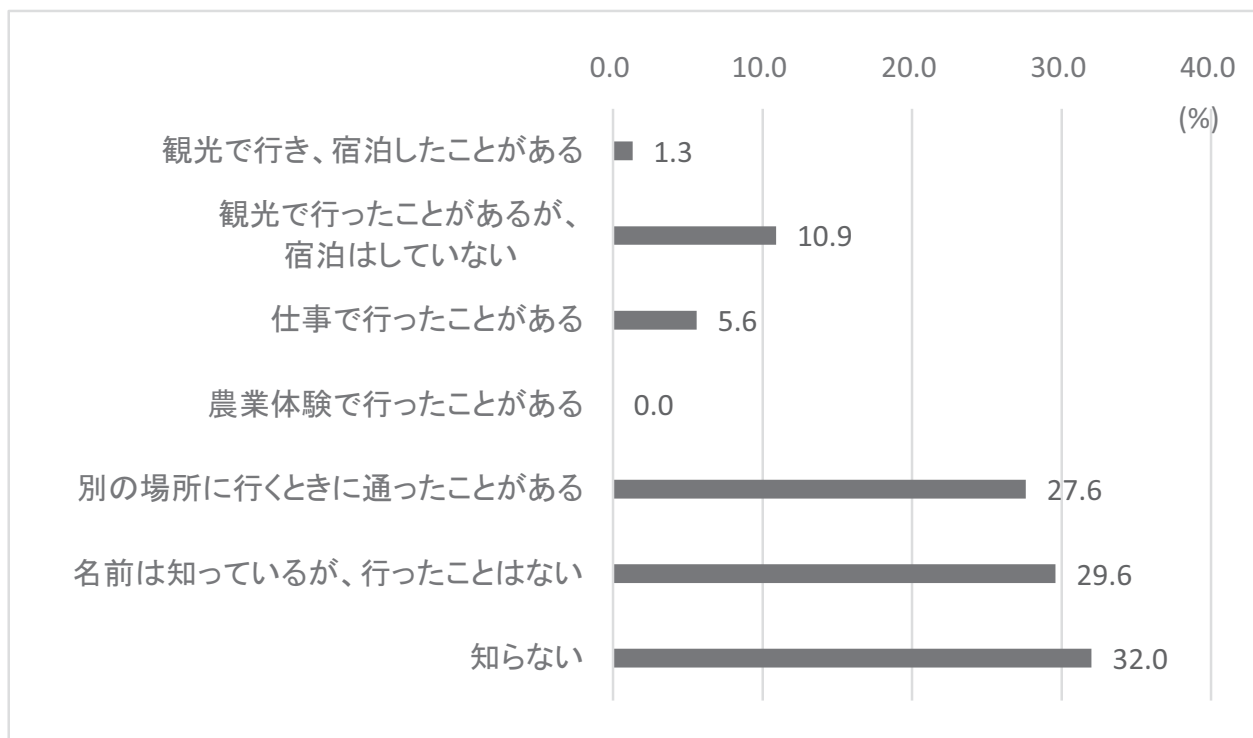


《職業》



2.2 回答結果

1. 神奈川県大井町のことを知っていますか。(1つ選択)



大井町のことについては最も高かった項目は「知らない」(32.0%)であり、次いで「名前は知っているが、行ったことはない」が 29.6%、「別の場所に行くときに通ったことがある」が 27.6%となった。

【Q1:属性別集計】

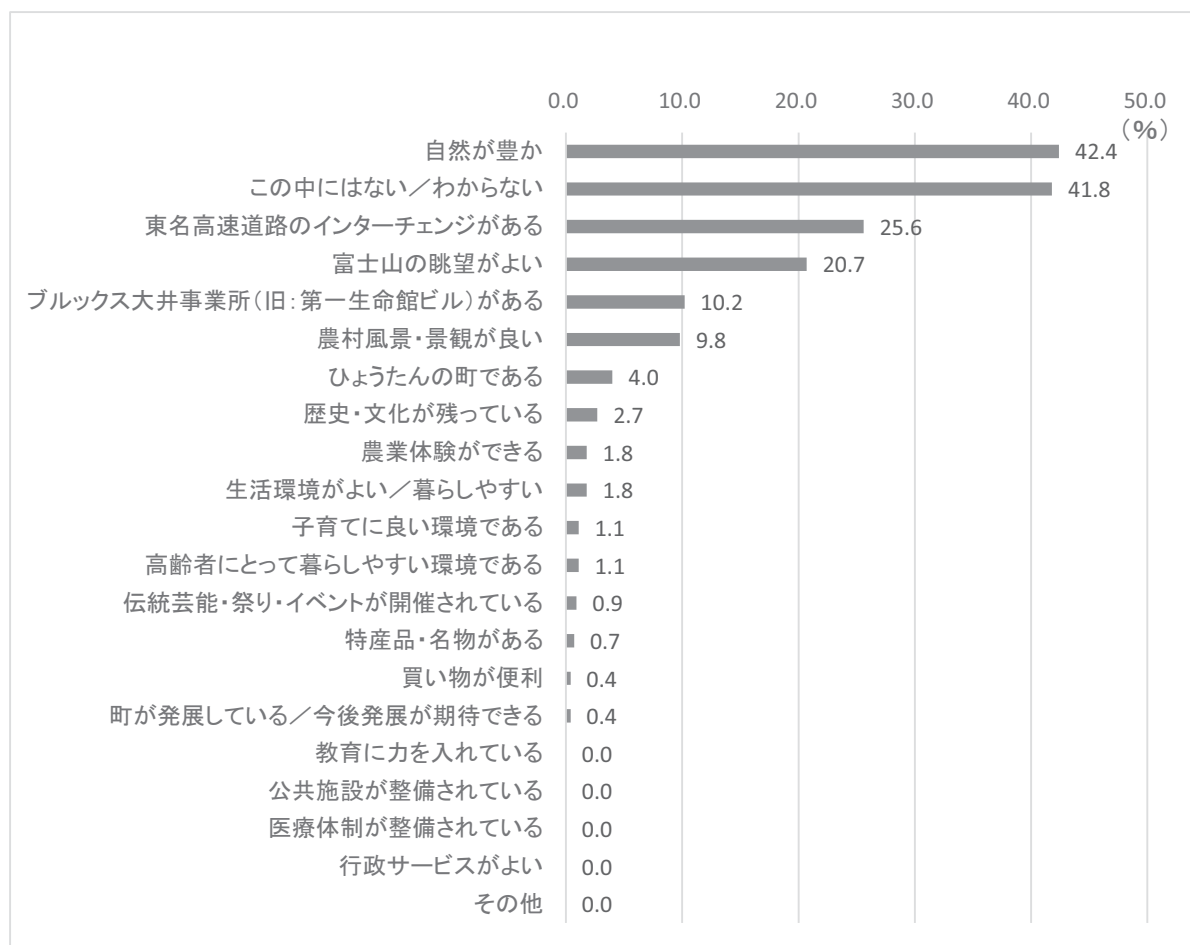
属性別		全体	1位		2位		3位	
総計		N=450	知らない	32.0	名前は知っているが、行ったことはない	29.6	別の場所に行くときに通ったことがある	27.6
性別	男性	N=249	別の場所に行くときに通ったことがある	32.1	名前は知っているが、行ったことはない	28.1	知らない	27.7
	女性	N=201	知らない	37.3	名前は知っているが、行ったことはない	31.3	別の場所に行くときに通ったことがある	21.9
年齢	30代未満	N=150	知らない	50.0	名前は知っているが、行ったことはない	25.3	別の場所に行くときに通ったことがある	18.0
	40～50代	N=150	別の場所に行くときに通ったことがある	34.0	名前は知っているが、行ったことはない	28.0	知らない	26.0
	60代以上	N=150	名前は知っているが、行ったことはない	35.3	別の場所に行くときに通ったことがある	30.7	知らない	20.0
エリア	近郊都市エリア	N=150	別の場所に行くときに通ったことがある	49.3	名前は知っているが、行ったことはない	20.0	知らない	14.0
	県内大都市エリア	N=150	名前は知っているが、行ったことはない	42.7	知らない	33.3	別の場所に行くときに通ったことがある	16.0
	巨大消費エリア	N=150	知らない	48.7	名前は知っているが、行ったことはない	26.0	別の場所に行くときに通ったことがある	17.3

性別に見ると、女性は全体の傾向と変わらないが、男性では「別の場所に行くときに通ったことがある」32.1%が1位となっている。

年齢に見ると、30代以下では全体の傾向と変わらないが、40～50代では「別の場所に行くときに通ったことがある」が34.0%と高く、60代以上では「名前は知っているが、行ったことはない」が1位（35.3%）となっている。

エリア別に見ると、巨大消費エリアは全体の傾向と同様である。近郊都市エリアでは「別の場所に行くときに通ったことがある」が49.3%であり、2位「名前は知っているが行ったことはない」より約30ポイント高い値となった。県内大都市エリアでは「名前は知っているが、行ったことはない」が42.7%となっている。

2. 神奈川県大井町のイメージで最も近いものはどれですか。(3つまで選択)



大井町のイメージとして最も近いものとして「自然が豊か」が42.4%と最も高く、次いで「この中にはない／わからない」が41.8%であり、これら2項目が全回答の約8割を占めている。次いで、「東名高速道路のインターチェンジがある」が25.6%、「富士山の眺望がよい」が20.7%となった。

【Q2:属性別集計】

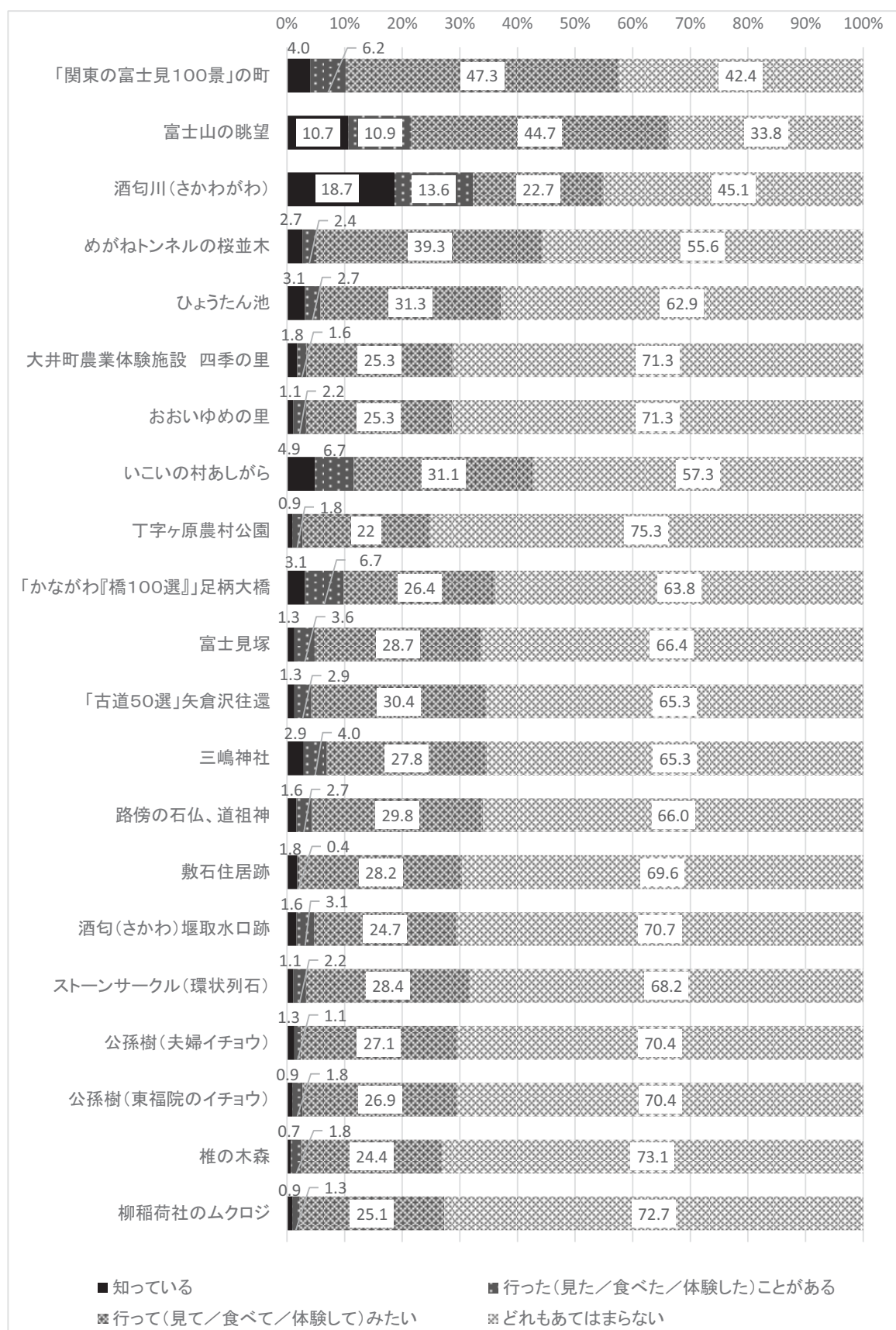
属性別		全体	1位		2位		3位	
総計		N=450	自然が豊か	42.4	この中にはない／ わからない	41.8	東名高速道路の インターチェンジがある	25.6
性別	男性	N=249	自然が豊か	42.2	この中にはない／ わからない	39.0	東名高速道路の インターチェンジがある	32.5
	女性	N=201	この中にはない／ わからない	45.3	自然が豊か	42.8	富士山の眺望がよい	19.4
年齢	30代未満	N=150	この中にはない／ わからない	58.0	自然が豊か	28.7	東名高速道路の インターチェンジがある	11.3
	40～50代	N=150	自然が豊か	48.7	東名高速道路の インターチェンジがある	33.3	この中にはない／ わからない	31.3
	60代以上	N=150	自然が豊か	50.0	この中にはない／ わからない	36.0	東名高速道路の インターチェンジがある	32.0
エリア	近郊都市 エリア	N=150	自然が豊か	54.7	東名高速道路の インターチェンジがある	42.7	富士山の眺望がよい	30.0
	県内大都市 エリア	N=150	この中にはない／ わからない	47.3	自然が豊か	43.3	富士山の眺望がよい／ 東名高速道路の インターチェンジがある	16.0
	巨大消費 エリア	N=150	この中にはない／ わからない	58.7	自然が豊か	29.3	東名高速道路の インターチェンジがある	18.0

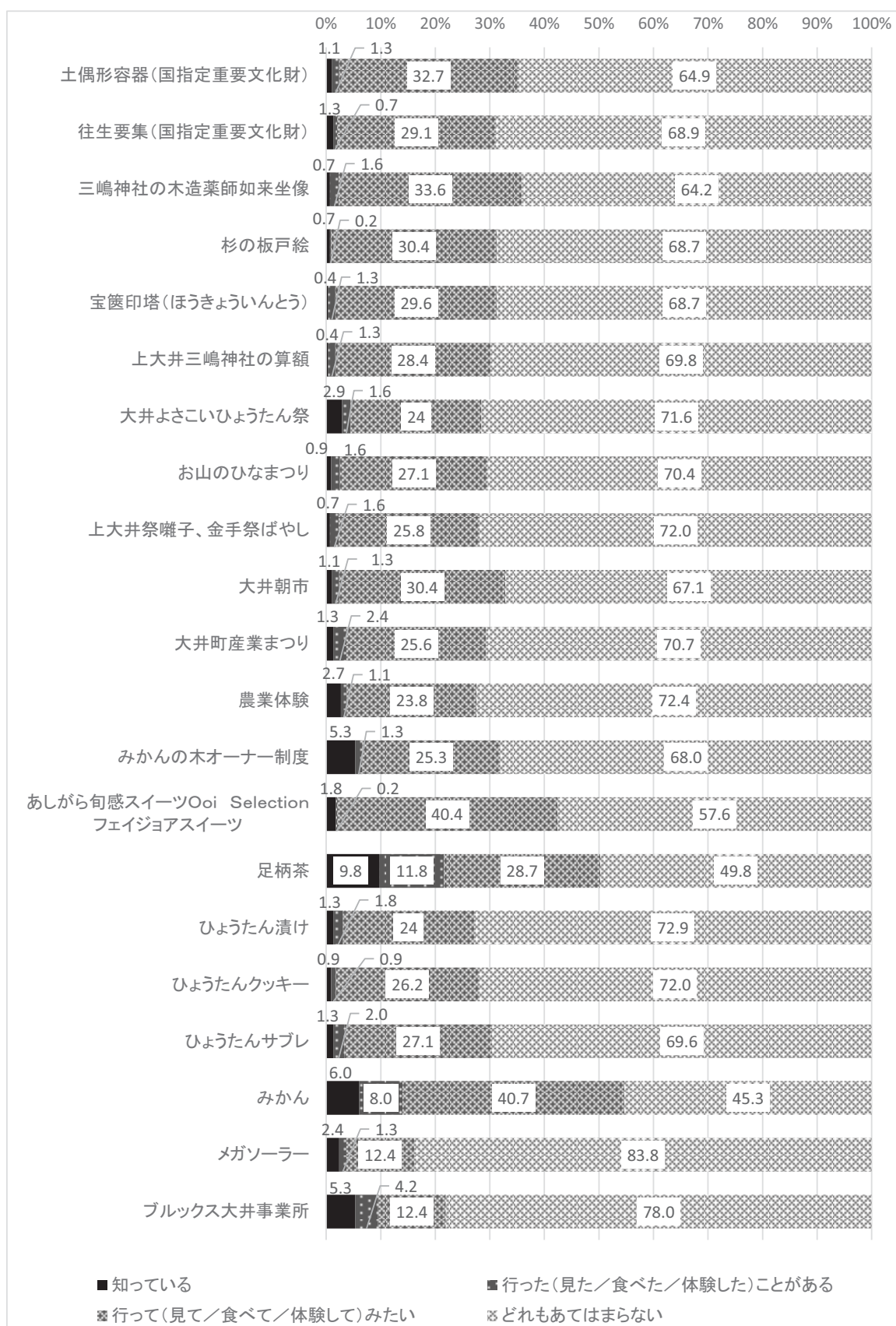
属性別にみた大井町のイメージについては、性別に見ると男性は全体の傾向と同様であるものの、女性では「この中にはない／わからない」が一位（45.3%）となっている。

年齢別に見ると、30代以下では、「この中にはない／わからない」が58.0%と高く、2位「自然が豊か」28.7%とは約30ポイント高くなっている。40～50代では、2位に「東名高速道路のインターチェンジがある」が33.3%となっている。60代以上では全体の傾向と同様である。

エリア別に見ると、近郊都市エリアでは「自然が豊か」（54.7%）、「東名高速道路のインターチェンジがある」（42.7%）、「富士山の眺望がよい」（30.0%）となっている。県内大都市エリア及び巨大消費エリアでは「この中にはない／わからない」がいずれも1位となっている。特に巨大消費エリアについては「この中にはない／わからない」（58.7%）が1位であり、2位「自然が豊か」（29.3%）とは約30ポイント高くなっている。

3. 下記の神奈川県大井町の観光資源について、あなたご自身にあてはまるものをお選びください。
(神奈川県大井町のことを知らない方もご回答ください)(各項目にて1つ選択)





大井町の観光資源に関するアンケート調査結果概要は下記の通りである。

大井町の観光資源について「知っている」と回答した項目については、「酒匂川」が18.7%と最も高く、次いで「富士山の眺望」10.7%、「足柄茶」9.8%となっている。

大井町の観光資源に対して行動（行った／見た／食べた／体験）したことがあるかどうかについては、「酒匂川」が13.6%と最も高く、次いで「足柄茶」11.8%、「富士山の眺望」10.9%となっている。

大井町の観光資源に対する興味関心（行って／見て／食べて／体験して）みたいかどうかについては、『「関東の富士見100景」の町』が47.3%と最も高く、次いで「富士山の眺望」44.7%、「みかん」40.7%、「あしがら旬感スイーツ」40.4%と続いている。

【Q3:属性別集計】※網掛け部分:同一属性内にて最もポイントが高い選択肢

大井町のそれぞれの観光資源に対する属性別の集計結果は下記の通りである。

※属性別の総数

性別（男性：N=249、女性：N=201）

年齢（30代以下：N=150、40～50代：N=150、60代以上：N=150）

エリア（近郊都市エリア：N=150、県内大都市エリア：N=150、巨大消費エリア：N=150）

※各属性において最もポイントが高い項目を網掛けしている。

■ Q3_1 「関東の富士見100景」の町

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		4.0	6.2	47.3	42.4
性別	男性	5.2	7.6	42.2	45.0
	女性	2.5	4.5	53.7	39.3
年齢	30代以下	2.0	2.0	40.7	55.3
	40～50代	5.3	6.7	45.3	42.7
	60代以上	4.7	10.0	56.0	29.3
エリア	近郊都市エリア	6.7	13.3	39.3	40.7
	県内大都市エリア	3.3	2.7	56.0	38.0
	巨大消費エリア	2.0	2.7	46.7	48.7

■ Q3_2 富士山の眺望

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		10.7	10.9	44.7	33.8
性別	男性	11.6	13.3	38.6	36.5
	女性	9.5	8.0	52.2	30.3
年齢	30代以下	2.0	4.7	46.0	47.3
	40～50代	11.3	12.7	40.7	35.3
	60代以上	18.7	15.3	47.3	18.7
エリア	近郊都市エリア	19.3	20.7	30.0	30.0
	県内大都市エリア	6.7	7.3	52.7	33.3
	巨大消費エリア	6.0	4.7	51.3	38.0

■ Q3_3 酒匂川(さかわがわ)

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		18.7	13.6	22.7	45.1
性別	男性	17.3	16.1	22.5	44.2
	女性	20.4	10.4	22.9	46.3
年齢	30代以下	6.0	7.3	23.3	63.3
	40～50代	20.7	18.7	22.0	38.7
	60代以上	29.3	14.7	22.7	33.3
エリア	近郊都市エリア	26.0	26.7	15.3	32.0
	県内大都市エリア	16.7	11.3	28.7	43.3
	巨大消費エリア	13.3	2.7	24.0	60.0

■ Q3_4 めがねトンネルの桜並木

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		2.7	2.4	39.3	55.6
性別	男性	2.0	3.2	37.3	57.4
	女性	3.5	1.5	41.8	53.2
年齢	30代以下	0.7	2.7	30.7	66.0
	40～50代	3.3	2.7	38.7	55.3
	60代以上	4.0	2.0	48.7	45.3
エリア	近郊都市エリア	4.0	4.7	38.7	52.7
	県内大都市エリア	2.0	1.3	42.0	54.7
	巨大消費エリア	2.0	1.3	37.3	59.3

■ Q3_5 ひょうたん池

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		3.1	2.7	31.3	62.9
性別	男性	2.0	3.6	32.1	62.2
	女性	4.5	1.5	30.3	63.7
年齢	30代以下	2.0	1.3	28.0	68.7
	40～50代	4.7	4.0	28.0	63.3
	60代以上	2.7	2.7	38.0	56.7
エリア	近郊都市エリア	6.0	4.7	30.0	59.3
	県内大都市エリア	2.0	1.3	36.7	60.0
	巨大消費エリア	1.3	2.0	27.3	69.3

■ Q3_6 大井町農業体験施設 四季の里

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		1.8	1.6	25.3	71.3
性別	男性	2.4	2.0	24.5	71.1
	女性	1.0	1.0	26.4	71.6
年齢	30代以下	1.3	0.7	26.0	72.0
	40～50代	2.0	2.0	24.7	71.3
	60代以上	2.0	2.0	25.3	70.7
エリア	近郊都市エリア	4.0	3.3	22.0	70.7
	県内大都市エリア	1.3	1.3	30.0	67.3
	巨大消費エリア	0.0	0.0	24.0	76.0

■ Q3_7 おおいゆめの里

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		1.1	2.2	25.3	71.3
性別	男性	1.2	3.2	25.7	69.9
	女性	1.0	1.0	24.9	73.1
年齢	30代以下	0.0	2.0	26.0	72.0
	40～50代	2.0	2.7	24.7	70.7
	60代以上	1.3	2.0	25.3	71.3
エリア	近郊都市エリア	1.3	4.0	23.3	71.3
	県内大都市エリア	1.3	1.3	29.3	68.0
	巨大消費エリア	0.7	1.3	23.3	74.7

■ Q3_8 いこいの村あしがら

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		4.9	6.7	31.1	57.3
性別	男性	5.6	8.4	29.3	56.6
	女性	4.0	4.5	33.3	58.2
年齢	30代以下	2.0	1.3	30.7	66.0
	40～50代	5.3	9.3	29.3	56.0
	60代以上	7.3	9.3	33.3	50.0
エリア	近郊都市エリア	12.0	14.7	28.7	44.7
	県内大都市エリア	2.0	3.3	36.0	58.7
	巨大消費エリア	0.7	2.0	28.7	68.7

■ Q3_9 丁字ヶ原農村公園

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		0.9	1.8	22.0	75.3
性別	男性	0.8	2.4	20.9	75.9
	女性	1.0	1.0	23.4	74.6
年齢	30代以下	0.0	0.7	28.7	70.7
	40～50代	1.3	2.7	18.0	78.0
	60代以上	1.3	2.0	19.3	77.3
エリア	近郊都市エリア	1.3	3.3	16.7	78.7
	県内大都市エリア	0.7	0.7	28.7	70.0
	巨大消費エリア	0.7	1.3	20.7	77.3

■ Q3_10 「かながわ『橋100選』足柄大橋

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		3.1	6.7	26.4	63.8
性別	男性	4.4	9.2	26.1	60.2
	女性	1.5	3.5	26.9	68.2
年齢	30代以下	0.7	4.0	26.7	68.7
	40～50代	4.0	8.0	25.3	62.7
	60代以上	4.7	8.0	27.3	60.0
エリア	近郊都市エリア	6.0	16.0	24.0	54.0
	県内大都市エリア	2.0	2.7	30.7	64.7
	巨大消費エリア	1.3	1.3	24.7	72.7

■ Q3_11 富士見塚

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		1.3	3.6	28.7	66.4
性別	男性	1.6	5.2	28.5	64.7
	女性	1.0	1.5	28.9	68.7
年齢	30代以下	0.0	1.3	26.0	72.7
	40～50代	2.7	4.0	24.7	68.7
	60代以上	1.3	5.3	35.3	58.0
エリア	近郊都市エリア	0.7	6.7	27.3	65.3
	県内大都市エリア	2.0	1.3	32.7	64.0
	巨大消費エリア	1.3	2.7	26.0	70.0

■ Q3_12 「古道50選」矢倉沢往還

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		1.3	2.9	30.4	65.3
性別	男性	2.4	4.0	30.5	63.1
	女性	0.0	1.5	30.3	68.2
年齢	30代以下	0.0	2.0	24.7	73.3
	40～50代	1.3	3.3	26.0	69.3
	60代以上	2.7	3.3	40.7	53.3
エリア	近郊都市エリア	2.0	6.0	28.7	63.3
	県内大都市エリア	0.7	2.0	32.0	65.3
	巨大消費エリア	1.3	0.7	30.7	67.3

■ Q3_13 三嶋神社

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		2.9	4.0	27.8	65.3
性別	男性	3.2	4.8	26.9	65.1
	女性	2.5	3.0	28.9	65.7
年齢	30 代以下	1.3	0.7	27.3	70.7
	40～50 代	4.7	3.3	28.7	63.3
	60 代以上	2.7	8.0	27.3	62.0
エリア	近郊都市エリア	2.7	6.0	24.0	67.3
	県内大都市エリア	2.7	2.0	31.3	64.0
	巨大消費エリア	3.3	4.0	28.0	64.7

■ Q3_14 路傍の石仏、道祖神

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		1.6	2.7	29.8	66.0
性別	男性	2.4	2.4	29.7	65.5
	女性	0.5	3.0	29.9	66.7
年齢	30 代以下	0.7	0.7	26.7	72.0
	40～50 代	2.0	4.0	26.7	67.3
	60 代以上	2.0	3.3	36.0	58.7
エリア	近郊都市エリア	2.0	6.0	27.3	64.7
	県内大都市エリア	1.3	0.0	32.0	66.7
	巨大消費エリア	1.3	2.0	30.0	66.7

■ Q3_15 敷石住居跡

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		1.8	0.4	28.2	69.6
性別	男性	2.4	0.4	29.3	67.9
	女性	1.0	0.5	26.9	71.6
年齢	30 代以下	2.7	0.0	22.7	74.7
	40～50 代	2.7	1.3	27.3	68.7
	60 代以上	0.0	0.0	34.7	65.3
エリア	近郊都市エリア	2.7	1.3	28.0	68.0
	県内大都市エリア	2.0	0.0	27.3	70.7
	巨大消費エリア	0.7	0.0	29.3	70.0

■ Q3_16 酒匂(さかわ)堰取水口跡

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		1.6	3.1	24.7	70.7
性別	男性	2.0	3.6	26.1	68.3
	女性	1.0	2.5	22.9	73.6
年齢	30 代以下	0.0	2.7	21.3	76.0
	40～50 代	3.3	4.7	21.3	70.7
	60 代以上	1.3	2.0	31.3	65.3
エリア	近郊都市エリア	2.7	5.3	22.7	69.3
	県内大都市エリア	0.7	2.0	27.3	70.0
	巨大消費エリア	1.3	2.0	24.0	72.7

■ Q3_17 ストーンサークル(環状列石)

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		1.1	2.2	28.4	68.2
性別	男性	1.2	3.2	29.7	65.9
	女性	1.0	1.0	26.9	71.1
年齢	30 代以下	0.7	0.7	26.0	72.7
	40～50 代	2.7	4.0	24.7	68.7
	60 代以上	0.0	2.0	34.7	63.3
エリア	近郊都市エリア	2.0	3.3	26.0	68.7
	県内大都市エリア	0.7	0.0	33.3	66.0
	巨大消費エリア	0.7	3.3	26.0	70.0

■ Q3_18 公孫樹(夫婦イチヨウ)

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		1.3	1.1	27.1	70.4
性別	男性	1.6	1.2	27.3	69.9
	女性	1.0	1.0	26.9	71.1
年齢	30 代以下	1.3	0.7	28.7	69.3
	40～50 代	2.7	2.0	23.3	72.0
	60 代以上	0.0	0.7	29.3	70.0
エリア	近郊都市エリア	1.3	2.7	22.0	74.0
	県内大都市エリア	2.0	0.0	32.0	66.0
	巨大消費エリア	0.7	0.7	27.3	71.3

■ Q3_19 公孫樹(東福院のイチヨウ)

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		0.9	1.8	26.9	70.4
性別	男性	1.2	2.0	27.7	69.1
	女性	0.5	1.5	25.9	72.1
年齢	30代以下	0.0	2.7	26.7	70.7
	40～50代	2.7	2.0	22.7	72.7
	60代以上	0.0	0.7	31.3	68.0
エリア	近郊都市エリア	1.3	3.3	22.7	72.7
	県内大都市エリア	0.7	1.3	30.0	68.0
	巨大消費エリア	0.7	0.7	28.0	70.7

■ Q3_20 椎の木森

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		0.7	1.8	24.4	73.1
性別	男性	0.8	2.4	23.7	73.1
	女性	0.5	1.0	25.4	73.1
年齢	30代以下	0.0	2.0	25.3	72.7
	40～50代	2.0	2.0	21.3	74.7
	60代以上	0.0	1.3	26.7	72.0
エリア	近郊都市エリア	1.3	2.7	22.0	74.0
	県内大都市エリア	0.7	0.7	29.3	69.3
	巨大消費エリア	0.0	2.0	22.0	76.0

■ Q3_21 柳稲荷社のムクロジ

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		0.9	1.3	25.1	72.7
性別	男性	1.2	1.2	25.3	72.3
	女性	0.5	1.5	24.9	73.1
年齢	30代以下	0.7	2.0	25.3	72.0
	40～50代	2.0	2.0	22.0	74.0
	60代以上	0.0	0.0	28.0	72.0
エリア	近郊都市エリア	1.3	2.7	22.7	73.3
	県内大都市エリア	1.3	1.3	26.7	70.7
	巨大消費エリア	0.0	0.0	26.0	74.0

■ Q3_22 土偶形容器(国指定重要文化財)

属性別		知っている	見たことがある	見てみたい	どれもあてはまらない
総計		1.1	1.3	32.7	64.9
性別	男性	1.2	2.4	33.3	63.1
	女性	1.0	0.0	31.8	67.2
年齢	30代以下	1.3	2.7	25.3	70.7
	40～50代	2.0	0.7	31.3	66.0
	60代以上	0.0	0.7	41.3	58.0
エリア	近郊都市エリア	1.3	2.0	29.3	67.3
	県内大都市エリア	2.0	0.7	36.7	60.7
	巨大消費エリア	0.0	1.3	32.0	66.7

■ Q3_23 往生要集(国指定重要文化財)

属性別		知っている	見たことがある	見てみたい	どれもあてはまらない
総計		1.3	0.7	29.1	68.9
性別	男性	2.0	0.8	30.1	67.1
	女性	0.5	0.5	27.9	71.1
年齢	30代以下	0.7	1.3	23.3	74.7
	40～50代	2.0	0.0	27.3	70.7
	60代以上	1.3	0.7	36.7	61.3
エリア	近郊都市エリア	2.0	1.3	26.7	70.0
	県内大都市エリア	1.3	0.7	33.3	64.7
	巨大消費エリア	0.7	0.0	27.3	72.0

■ Q3_24 三嶋神社の木造薬師如来坐像

属性別		知っている	見たことがある	見てみたい	どれもあてはまらない
総計		0.7	1.6	33.6	64.2
性別	男性	0.4	2.0	34.1	63.5
	女性	1.0	1.0	32.8	65.2
年齢	30代以下	0.0	1.3	28.0	70.7
	40～50代	1.3	2.0	32.7	64.0
	60代以上	0.7	1.3	40.0	58.0
エリア	近郊都市エリア	0.7	3.3	25.3	70.7
	県内大都市エリア	0.7	0.7	42.0	56.7
	巨大消費エリア	0.7	0.7	33.3	65.3

■ Q3_25 杉の板戸絵

属性別		知っている	見たことがある	見てみたい	どれもあてはまらない
総計		0.7	0.2	30.4	68.7
性別	男性	0.8	0.0	30.9	68.3
	女性	0.5	0.5	29.9	69.2
年齢	30代以下	0.7	0.0	25.3	74.0
	40～50代	1.3	0.7	30.0	68.0
	60代以上	0.0	0.0	36.0	64.0
エリア	近郊都市エリア	1.3	0.0	27.3	71.3
	県内大都市エリア	0.7	0.0	34.0	65.3
	巨大消費エリア	0.0	0.7	30.0	69.3

■ Q3_26 宝篋印塔(ほうきょういんとう)

属性別		知っている	見たことがある	見てみたい	どれもあてはまらない
総計		0.4	1.3	29.6	68.7
性別	男性	0.4	2.4	29.7	67.5
	女性	0.5	0.0	29.4	70.1
年齢	30代以下	0.0	2.7	24.7	72.7
	40～50代	1.3	0.7	29.3	68.7
	60代以上	0.0	0.7	34.7	64.7
エリア	近郊都市エリア	0.7	1.3	26.0	72.0
	県内大都市エリア	0.7	1.3	32.7	65.3
	巨大消費エリア	0.0	1.3	30.0	68.7

■ Q3_27 上大井三嶋神社の算額

属性別		知っている	見たことがある	見てみたい	どれもあてはまらない
総計		0.4	1.3	28.4	69.8
性別	男性	0.8	1.6	28.9	68.7
	女性	0.0	1.0	27.9	71.1
年齢	30代以下	0.7	2.0	22.7	74.7
	40～50代	0.7	0.7	30.0	68.7
	60代以上	0.0	1.3	32.7	66.0
エリア	近郊都市エリア	0.0	2.7	26.0	71.3
	県内大都市エリア	1.3	0.7	32.7	65.3
	巨大消費エリア	0.0	0.7	26.7	72.7

■ Q3_28 大井よさこいひょうたん祭

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		2.9	1.6	24.0	71.6
性別	男性	3.6	2.0	24.9	69.5
	女性	2.0	1.0	22.9	74.1
年齢	30代以下	2.0	0.7	24.0	73.3
	40～50代	4.0	2.7	20.7	72.7
	60代以上	2.7	1.3	27.3	68.7
エリア	近郊都市エリア	6.0	4.0	22.0	68.0
	県内大都市エリア	2.0	0.7	26.0	71.3
	巨大消費エリア	0.7	0.0	24.0	75.3

■ Q3_29 お山のひなまつり

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		0.9	1.6	27.1	70.4
性別	男性	1.2	2.0	25.3	71.5
	女性	0.5	1.0	29.4	69.2
年齢	30代以下	0.0	1.3	26.7	72.0
	40～50代	2.0	2.0	26.7	69.3
	60代以上	0.7	1.3	28.0	70.0
エリア	近郊都市エリア	2.0	2.7	25.3	70.0
	県内大都市エリア	0.7	0.7	28.0	70.7
	巨大消費エリア	0.0	1.3	28.0	70.7

■ Q3_30 上大井祭囃子、金手祭ばやし

属性別		知っている	見たことがある	見てみたい	どれもあてはまらない
総計		0.7	1.6	25.8	72.0
性別	男性	0.8	1.6	25.7	71.9
	女性	0.5	1.5	25.9	72.1
年齢	30代以下	0.0	3.3	22.7	74.0
	40～50代	2.0	0.7	27.3	70.0
	60代以上	0.0	0.7	27.3	72.0
エリア	近郊都市エリア	1.3	2.0	26.7	70.0
	県内大都市エリア	0.7	2.0	24.7	72.7
	巨大消費エリア	0.0	0.7	26.0	73.3

■ Q3.31 大井朝市

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		1.1	1.3	30.4	67.1
性別	男性	1.6	1.2	31.7	65.5
	女性	0.5	1.5	28.9	69.2
年齢	30代以下	0.7	0.7	28.0	70.7
	40～50代	2.7	2.7	30.0	64.7
	60代以上	0.0	0.7	33.3	66.0
エリア	近郊都市エリア	2.0	2.0	26.7	69.3
	県内大都市エリア	1.3	0.7	36.7	61.3
	巨大消費エリア	0.0	1.3	28.0	70.7

■ Q3.32 大井町産業まつり

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		1.3	2.4	25.6	70.7
性別	男性	2.0	2.8	28.1	67.1
	女性	0.5	2.0	22.4	75.1
年齢	30代以下	0.7	2.0	21.3	76.0
	40～50代	2.7	4.0	25.3	68.0
	60代以上	0.7	1.3	30.0	68.0
エリア	近郊都市エリア	2.0	4.0	24.0	70.0
	県内大都市エリア	2.0	1.3	28.7	68.0
	巨大消費エリア	0.0	2.0	24.0	74.0

■ Q3.33 農業体験

属性別		知っている	体験したことがある	体験したい	どれもあてはまらない
総計		2.7	1.1	23.8	72.4
性別	男性	2.8	1.6	21.7	73.9
	女性	2.5	0.5	26.4	70.6
年齢	30代以下	2.0	2.0	28.7	67.3
	40～50代	3.3	1.3	29.3	66.0
	60代以上	2.7	0.0	13.3	84.0
エリア	近郊都市エリア	5.3	0.7	20.0	74.0
	県内大都市エリア	2.0	2.0	30.7	65.3
	巨大消費エリア	0.7	0.7	20.7	78.0

■ Q3_34 みかんの木オーナー制度

属性別		知っている	体験したことがある	体験したい	どれもあてはまらない
総計		5.3	1.3	25.3	68.0
性別	男性	5.6	1.6	24.9	67.9
	女性	5.0	1.0	25.9	68.2
年齢	30代以下	1.3	2.0	24.0	72.7
	40～50代	8.0	0.7	27.3	64.0
	60代以上	6.7	1.3	24.7	67.3
エリア	近郊都市エリア	10.7	2.0	24.7	62.7
	県内大都市エリア	4.0	2.0	28.0	66.0
	巨大消費エリア	1.3	0.0	23.3	75.3

■ Q3_35 あしがら旬感スイーツOoi Selection、フェイスジョアスイーツ

属性別		知っている	買ったことがある	買ってみたい	どれもあてはまらない
総計		1.8	0.2	40.4	57.6
性別	男性	2.0	0.4	32.9	64.7
	女性	1.5	0.0	49.8	48.8
年齢	30代以下	2.7	0.7	41.3	55.3
	40～50代	2.0	0.0	42.0	56.0
	60代以上	0.7	0.0	38.0	61.3
エリア	近郊都市エリア	2.7	0.7	40.0	56.7
	県内大都市エリア	2.7	0.0	43.3	54.0
	巨大消費エリア	0.0	0.0	38.0	62.0

■ Q3_36 足柄茶

属性別		知っている	買ったことがある	買ってみたい	どれもあてはまらない
総計		9.8	11.8	28.7	49.8
性別	男性	10.8	12.4	26.9	49.8
	女性	8.5	10.9	30.8	49.8
年齢	30代以下	4.7	6.0	30.0	59.3
	40～50代	13.3	12.0	24.0	50.7
	60代以上	11.3	17.3	32.0	39.3
エリア	近郊都市エリア	20.0	23.3	23.3	33.3
	県内大都市エリア	6.7	8.7	33.3	51.3
	巨大消費エリア	2.7	3.3	29.3	64.7

■ Q3.37 ひょうたん漬け

属性別		知っている	買ったことがある	買ってみたい	どれもあてはまらない
総計		1.3	1.8	24.0	72.9
性別	男性	1.2	2.4	23.3	73.1
	女性	1.5	1.0	24.9	72.6
年齢	30 代以下	0.7	0.7	24.0	74.7
	40～50 代	2.7	3.3	22.0	72.0
	60 代以上	0.7	1.3	26.0	72.0
エリア	近郊都市エリア	3.3	2.7	23.3	70.7
	県内大都市エリア	0.7	1.3	27.3	70.7
	巨大消費エリア	0.0	1.3	21.3	77.3

■ Q3.38 ひょうたんクッキー

属性別		知っている	買ったことがある	買ってみたい	どれもあてはまらない
総計		0.9	0.9	26.2	72.0
性別	男性	0.8	0.8	22.5	75.9
	女性	1.0	1.0	30.8	67.2
年齢	30 代以下	0.7	0.0	32.0	67.3
	40～50 代	2.0	2.0	25.3	70.7
	60 代以上	0.0	0.7	21.3	78.0
エリア	近郊都市エリア	2.0	2.0	28.7	67.3
	県内大都市エリア	0.7	0.0	26.7	72.7
	巨大消費エリア	0.0	0.7	23.3	76.0

■ Q3.39 ひょうたんサブレ

属性別		知っている	買ったことがある	買ってみたい	どれもあてはまらない
総計		1.3	2.0	27.1	69.6
性別	男性	1.6	2.8	22.9	72.7
	女性	1.0	1.0	32.3	65.7
年齢	30 代以下	0.0	2.7	31.3	66.0
	40～50 代	4.0	2.0	27.3	66.7
	60 代以上	0.0	1.3	22.7	76.0
エリア	近郊都市エリア	2.7	3.3	28.0	66.0
	県内大都市エリア	1.3	1.3	28.0	69.3
	巨大消費エリア	0.0	1.3	25.3	73.3

■ Q3_40 みかん

属性別		知っている	買ったことがある	買ってみたい	どれもあてはまらない
総計		6.0	8.0	40.7	45.3
性別	男性	7.2	9.6	34.1	49.0
	女性	4.5	6.0	48.8	40.8
年齢	30代以下	2.0	2.7	44.7	50.7
	40～50代	8.7	11.3	35.3	44.7
	60代以上	7.3	10.0	42.0	40.7
エリア	近郊都市エリア	11.3	15.3	33.3	40.0
	県内大都市エリア	4.7	5.3	45.3	44.7
	巨大消費エリア	2.0	3.3	43.3	51.3

■ Q3_41 メガソーラー

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		2.4	1.3	12.4	83.8
性別	男性	3.2	1.6	15.3	79.9
	女性	1.5	1.0	9.0	88.6
年齢	30代以下	0.0	2.0	14.0	84.0
	40～50代	4.7	2.0	13.3	80.0
	60代以上	2.7	0.0	10.0	87.3
エリア	近郊都市エリア	2.0	2.0	13.3	82.7
	県内大都市エリア	4.0	1.3	11.3	83.3
	巨大消費エリア	1.3	0.7	12.7	85.3

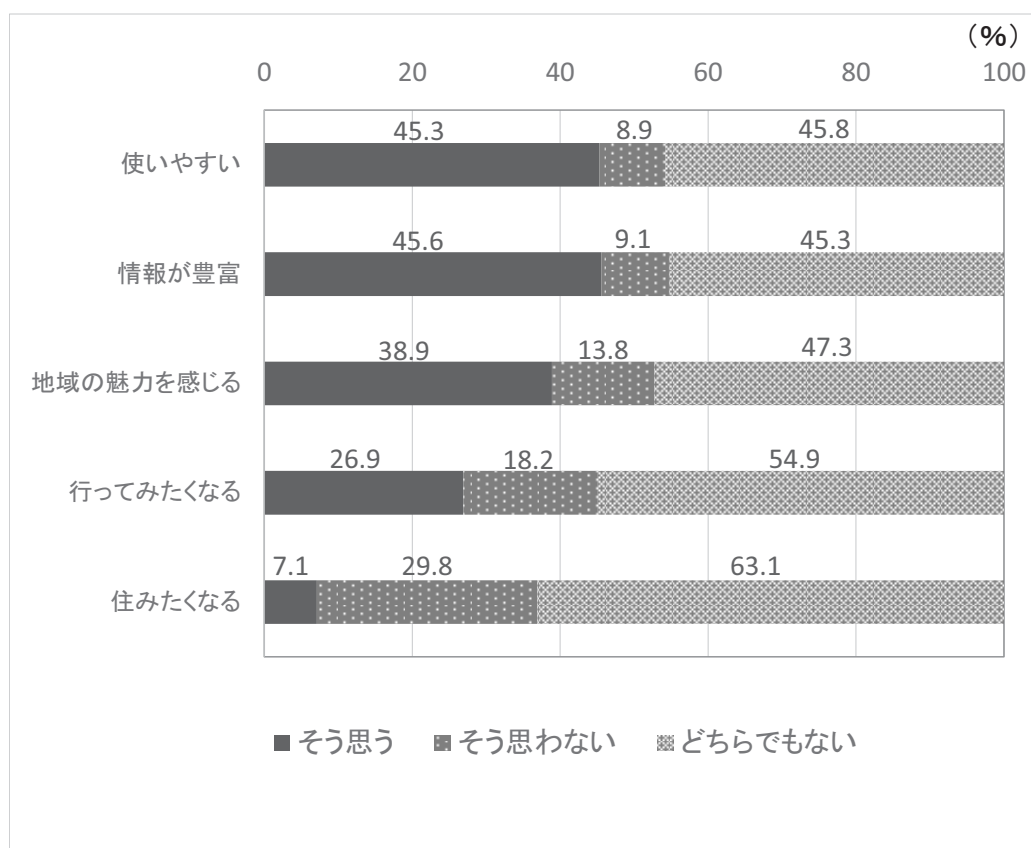
■ Q3_42 ブルックス大井事業所

属性別		知っている	行ったことがある	行ってみたい	どれもあてはまらない
総計		5.3	4.2	12.4	78.0
性別	男性	7.6	4.8	12.9	74.7
	女性	2.5	3.5	11.9	82.1
年齢	30代以下	3.3	4.0	15.3	77.3
	40～50代	7.3	3.3	13.3	76.0
	60代以上	5.3	5.3	8.7	80.7
エリア	近郊都市エリア	14.0	11.3	13.3	61.3
	県内大都市エリア	2.0	0.7	11.3	86.0
	巨大消費エリア	0.0	0.7	12.7	86.7

4. 神奈川県大井町のホームページを見てお答えください。

大井町 HP: <http://www.town.oi.kanagawa.jp/index.html>

ホームページを見た感想を教えてください。(各項目に対して1つ選択)



Q4では、「使いやすい」「情報が豊富」ではいずれも「そう思う」が40ポイント以上と高い値を示している。

反対に「そうは思わない」との回答が多かった項目は「住みたくなる」29.8%、「行ってみたくなる」18.2%であった。

【Q4: 属性別集計】※網掛け部分: 同一属性内にて最もポイントが高い選択肢

大井町のホームページを閲覧した上での感想に関する属性別の集計結果は下記の通りである。

■ 使いやすい

属性別		全体	そう思う	そう思わない	どちらでもない
総計		N=450	45.3	8.9	45.8
性別	男性	N=249	45.0	10.8	44.2
	女性	N=201	45.8	6.5	47.8
年齢	30代以下	N=150	44.0	13.3	42.7
	40～50代	N=150	45.3	8.0	46.7
	60代以上	N=150	46.7	5.3	48.0
エリア	近郊都市エリア	N=150	48.0	9.3	42.7
	県内大都市エリア	N=150	46.7	8.0	45.3
	巨大消費エリア	N=150	41.3	9.3	49.3

ホームページの使いやすさについては、性別で見ると女性は全体の傾向と変わらないが、男性では「そう思う」が45.0%と最も高かった。年齢別に見ると、40代以上では全体の傾向と変わらないが、30代以下では「そう思う」が44.0%と最も高かった。エリア別に見ると、近郊都市エリア及び県内大都市エリアでは全体の傾向と異なり「そう思う」の回答が最も多く、巨大消費エリアについては全体の傾向と変わらなかった。

■ 情報が豊富

属性別		全体	そう思う	そう思わない	どちらでもない
総計		N=450	45.6	9.1	45.3
性別	男性	N=249	43.8	9.6	46.6
	女性	N=201	47.8	8.5	43.8
年齢	30代以下	N=150	44.0	10.7	45.3
	40～50代	N=150	48.0	9.3	42.7
	60代以上	N=150	44.7	7.3	48.0
エリア	近郊都市エリア	N=150	42.0	10.0	48.0
	県内大都市エリア	N=150	45.3	8.7	46.0
	巨大消費エリア	N=150	49.3	8.7	42.0

ホームページの情報量については、性別で見ると女性は全体の傾向と変わらないが、男性では「どちらでもない」が46.6%と最も高かった。年齢別に見ると、30代以下及び60代以上では全体の傾向と異なり「どちらでもない」が最も高く、40～50代は全体の傾向と変わらなかった。エリア別に見ると、巨大消費エリアは全体の傾向と変わらないが、近郊都市エリア及び県内大都市エリアでは「どちらでもない」が最も高い。

■ 地域の魅力を感じる

属性別		全体	そう思う	そう思わない	どちらでもない
総計		N=450	38.9	13.8	47.3
性別	男性	N=249	37.3	16.9	45.8
	女性	N=201	40.8	10.0	49.3
年齢	30代以下	N=150	36.0	19.3	44.7
	40～50代	N=150	39.3	12.0	48.7
	60代以上	N=150	41.3	10.0	48.7
エリア	近郊都市エリア	N=150	34.7	15.3	50.0
	県内大都市エリア	N=150	44.0	12.0	44.0
	巨大消費エリア	N=150	38.0	14.0	48.0

ホームページを通じて地域の魅力を感じるかどうかについては、性別及び年齢別いずれも全体の傾向とほぼ同じであったが、男性では「そう思わない」がやや高いポイント（全体 13.8% に対して 16.9%）であり、年齢では30代以下も「そう思わない」がやや高いポイント（全体 13.8% に対して 19.3%）となっている。エリア別に見ると、近郊都市エリア及び巨大消費エリアは全体の傾向とほぼ同じであったが、県内大都市エリアについては「そう思う」が 44.0%と最も高くなっている。

■ 行ってみたくなる

属性別		全体	そう思う	そう思わない	どちらでもない
総計		N=450	26.9	18.2	54.9
性別	男性	N=249	26.9	21.7	51.4
	女性	N=201	26.9	13.9	59.2
年齢	30代以下	N=150	25.3	24.0	50.7
	40～50代	N=150	24.7	16.0	59.3
	60代以上	N=150	30.7	14.7	54.7
エリア	近郊都市エリア	N=150	24.0	14.0	62.0
	県内大都市エリア	N=150	31.3	16.7	52.0
	巨大消費エリア	N=150	25.3	24.0	50.7

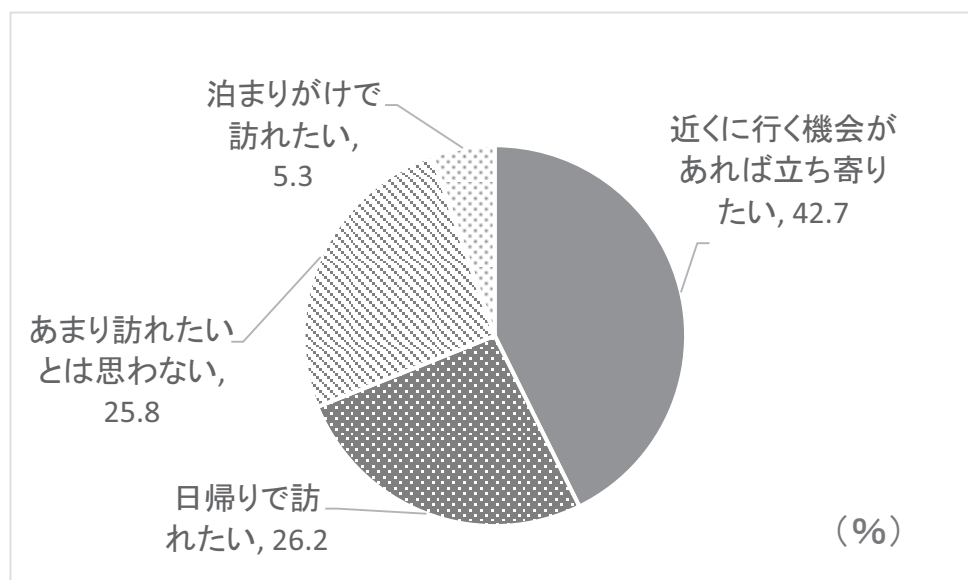
ホームページを見たことで大井町に行ってみたくなるかどうかについては、性別・年齢別・エリア別いずれも全体の傾向とほぼ同じ傾向が見られる。「そう思わない」との回答については、全体が 18.2%に対して、30代以下では 24.0%、巨大消費エリアでは 24.0%とやや高いポイントとなっている。

■ 住みたくなる

属性別		全体	そう思う	そう思わない	どちらでもない
総計		N=450	7.1	29.8	63.1
性別	男性	N=249	7.2	32.1	60.6
	女性	N=201	7.0	26.9	66.2
年齢	30代以下	N=150	9.3	34.0	56.7
	40～50代	N=150	6.7	25.3	68.0
	60代以上	N=150	5.3	30.0	64.7
エリア	近郊都市エリア	N=150	8.0	23.3	68.7
	県内大都市エリア	N=150	10.7	31.3	58.0
	巨大消費エリア	N=150	2.7	34.7	62.7

ホームページを見て大井町に住みたくなるかどうかについては、性別・年齢別・エリア別いずれも全体の傾向とほぼ同じであった。巨大消費エリアについては、「そう思う」が全体では7.1%に対して2.7%と他の属性別と比較するとやや低いポイントとなっている。

5. あなたは、神奈川県大井町を訪れてみたい(また訪れたい)と思いますか。(神奈川県大井町のことを知らない方もご回答ください)(1つ選択)



大井町を訪れてみたい(また訪れたい)と思うかという質問に対しては、「近くに行く機会があれば立ち寄りたい」が42.7%と多く、次いで「日帰りで訪れたい」26.2%となっている。「泊りがけで訪れたい」5.3%を含めると、ポジティブな回答が全体の74.2%となった。

【Q5: 属性別集計】※網掛け部分: 同一属性内にて最もポイントが高い選択肢

属性別		全体	泊まりがけで訪れたい	日帰りで訪れたい	近くに行く機会があれば立ち寄りたい	あまり訪れたいとは思わない
総計		N=450	5.3	26.2	42.7	25.8
性別	男性	N=249	4.4	28.5	41.0	26.1
	女性	N=201	6.5	23.4	44.8	25.4
年齢	30代以下	N=150	5.3	25.3	36.0	33.3
	40～50代	N=150	6.0	24.7	45.3	24.0
	60代以上	N=150	4.7	28.7	46.7	20.0
エリア	近郊都市エリア	N=150	2.0	32.0	47.3	18.7
	県内大都市エリア	N=150	8.7	24.7	40.0	26.7
	巨大消費エリア	N=150	5.3	22.0	40.7	32.0

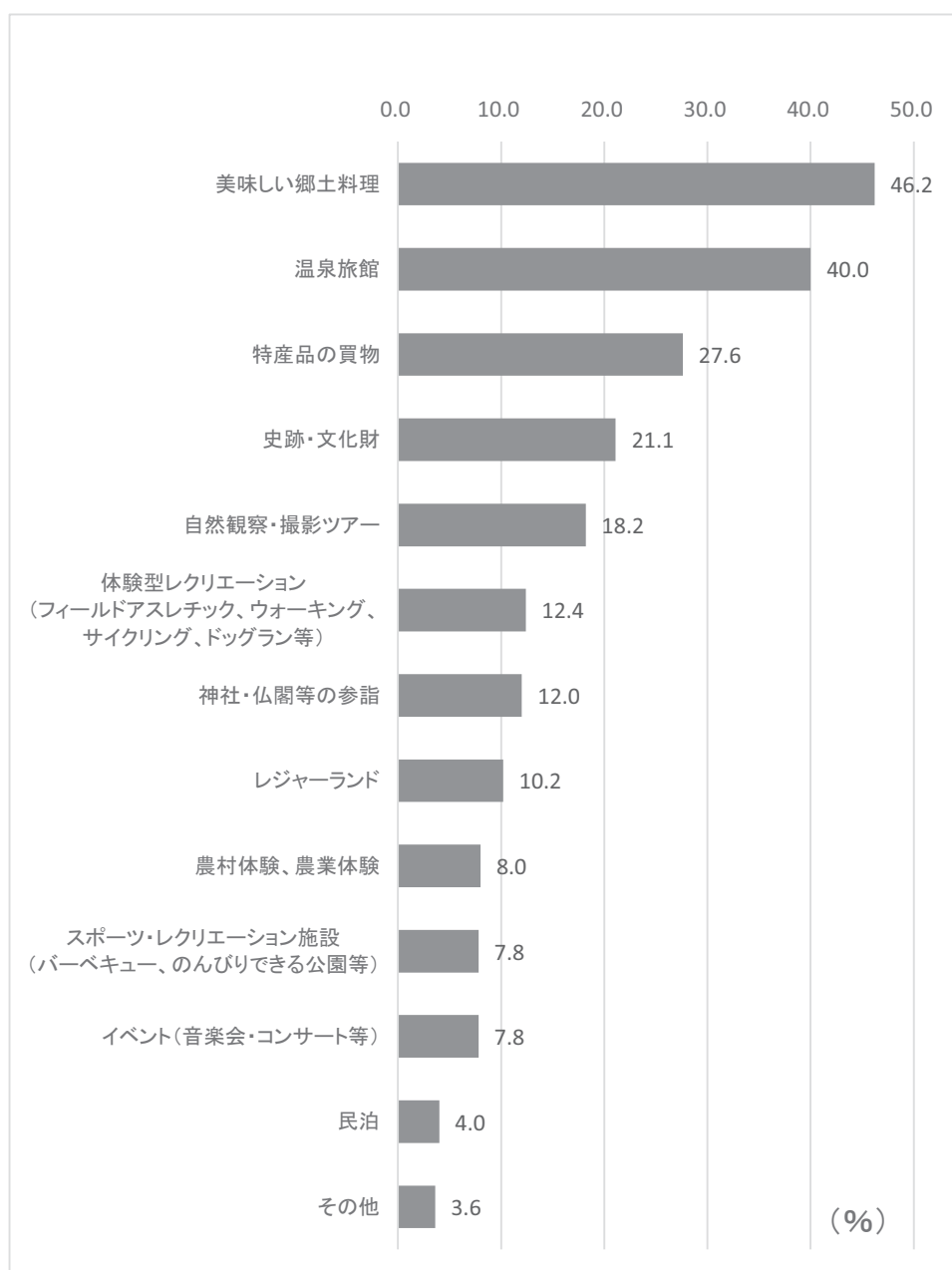
大井町を訪れたいと思うかどうかについては、性別・年齢別・エリア別いずれも全体の傾向とほぼ同じであった。近郊都市エリアについては、「泊りがけで訪れたい」が全体では5.3%に対して2.0%と他の属性別と比較するとやや低いポイントとなっている。

6. 神奈川県大井町は神奈川県西部に位置し、東名高速道路(大井松田 IC)や国道 255 号が通り、都心から車で約 70 分、電車も小田急電鉄(新松田駅)や JR 東海御殿場線(上大井駅、相模金子駅)が通り、アクセスに優れています。

(交通アクセス URL: <http://www.town.oi.kanagawa.jp/kanko/acsess/>)

あなたが余暇を過ごすときに、何(施設、資源、イベント等)があれば大井町に訪れたいと思いますか。

(該当するものを下記の中から3つまで選択)



大井町にあれば訪れてみたいと思う観光資源等については、「美味しい郷土料理」が 46.2%と最も高く、次いで「温泉旅館」40.0%、「特産品の買い物」27.6%と続いている。

【Q5:属性別集計】※網掛け部分:網掛けの濃度が高いほど同一属性内にて最もポイントが高い

属性別／選択肢	総計	性別		年齢			エリア		
		男性	女性	30代未満	40～50代	60代以上	近郊都市エリア	県内大都市エリア	巨大消費エリア
全体	N=450	N=450	N=249	N=201	N=150	N=150	N=150	N=150	N=150
美味しい郷土料理	46.2	43.8	49.3	45.3	48.7	44.7	44.7	52.0	42.0
特産品の買物	27.6	18.9	38.3	23.3	27.3	32.0	27.3	31.3	24.0
農村体験、農業体験	8.0	8.8	7.0	8.0	10.7	5.3	6.7	10.0	7.3
民泊	4.0	4.4	3.5	3.3	2.0	6.7	4.7	5.3	2.0
自然観察・撮影ツアー	18.2	18.9	17.4	13.3	17.3	24.0	16.7	18.0	20.0
史跡・文化財	21.1	25.3	15.9	9.3	18.0	36.0	18.0	18.7	26.7
神社・仏閣等の参詣	12.0	10.8	13.4	10.7	10.0	15.3	11.3	13.3	11.3
体験型レクリエーション	12.4	12.9	11.9	18.0	13.3	6.0	16.7	10.0	10.7
スポーツ・レクリエーション施設	7.8	9.2	6.0	10.7	7.3	5.3	9.3	4.0	10.0
イベント(音楽会・コンサート等)	7.8	5.2	10.9	14.0	4.0	5.3	10.0	7.3	6.0
温泉旅館	40.0	41.8	37.8	34.7	42.0	43.3	35.3	42.7	42.0
レジャーランド	10.2	9.6	10.9	18.7	9.3	2.7	15.3	6.0	9.3
その他	3.6	3.6	3.5	2.7	2.0	6.0	1.3	4.0	5.3

属性別に見ると、性別では男性が「温泉旅館」が全体の傾向と異なり二番目に高いポイント(41.8%)であり、次いで「史跡・文化財」(25.3%)となっている。女性では「特産品の買物」が二番目に高く(38.3%)、次いで「温泉旅館」(37.8%)となっている。

年齢別では、30代以下及び40～50代では上位3位の選択肢とポイントは全体の傾向とほぼ変わらないが、60代以上では3位に「史跡・文化財」(36.0%)が位置している。

エリア別では近郊都市エリア及び県内大都市エリアでは、上位3位の選択肢とポイントは全体の傾向とほぼ変わらないが、巨大消費エリアでは「美味しい郷土料理」と「温泉旅館」が同率1位(42.0%)となっており、次いで「史跡・文化財」が26.7%となっている。

大井町まちづくりアンケート調査
調査結果報告書

発 行 日 平成 27 年 3 月
発 行 大井町役場 企画財政課
〒258-8501 神奈川県足柄上郡大井町金子 1995 番地
TEL 0465-85-5003
FAX 0465-82-9965
調 査 分 析 ランドブレイン株式会社